

**第3次所沢市地域福祉計画
策定に関する市民意識調査報告書**

令和2年3月

所沢市

目次

I 調査概要.....	1
1. 調査の目的.....	2
2. 調査概要.....	2
3. 図表の見方.....	2
II 結果分析.....	3
1. 回答者の属性（経年比較）.....	4
2. お住まいの地域について.....	8
3. 地域での福祉活動について.....	9
4. 居場所や相談場所について.....	10
5. 相互理解・共生について.....	12
6. 福祉情報の入手について.....	12
7. 地域福祉を担っている人について.....	13
8. 判断能力が低下した方への支援について.....	13
9. 生活困窮者などへの支援について.....	14
10. 災害時の助け合いなどについて.....	14
11. 優しいまちづくりについて.....	15
III 集計結果.....	17
1. 回答者ご本人について.....	18
2. お住まいの地域について.....	25
3. 地域での福祉活動について.....	36
4. 居場所や相談場所について.....	48
5. 相互理解・共生について.....	65
6. 情報の入手について.....	69
7. 地域福祉を担っている人について（一般向け調査のみ）.....	73
8. 判断能力が低下した方への支援について（一般向け調査のみ）.....	79
9. 生活困窮者などへの支援について（一般向け調査のみ）.....	82
10. 災害時の助け合いなどについて（一般向け調査のみ）.....	85
11. 優しいまちづくりについて（一般向け調査のみ）.....	90
12. 地域福祉の推進について（一般向け調査のみ）.....	93
IV 自由記述.....	95
1. 中高生向け調査.....	96
2. 一般向け調査.....	114
V 調査票.....	143
1. 中高生向け調査.....	144
2. 一般向け調査.....	155

I 調査概要

1. 調査の目的

本調査は、所沢市における地域福祉のさらなる発展に向け、地域の実情、市民の地域福祉に対する考え方や意見を把握し、計画策定などの基礎資料とするとともに、本市における福祉施策の検討に活用することを目的として実施しました。

2. 調査概要

調査方法：郵送配布・郵送回収

調査対象：①14～18歳の市民 1,000人、②19歳以上の市民 4,000人をそれぞれ無作為抽出

調査期間：令和元年9月30日～10月25日（投函締切日10月15日）

回収結果：

	配布数	回収数	回収率
①14～18歳	1,000	351	35.1%
②19歳以上	4,000	1,645	41.1%
合計	5,000	1,996	39.9%

3. 図表の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、選択肢ごとの有効回答数に対する、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 「前回」とは、平成26年度に第2次所沢市地域福祉計画策定のために実施した市民意識調査結果を表しています（18歳以上の市民3,000件、回収1,042件、回収率34.7%）。
- 設問文や選択肢を省略して表記している場合があります。
- ①14～18歳の市民を対象とした調査を「中高生向け調査」とし、文中の「《中高生》」は14～18歳の市民を対象とした調査の結果を指します。同様に、②19歳以上の市民を対象とした調査を「一般向け調査」とし、文中の「《一般》」は19歳以上の市民を対象とした調査の結果を指します。

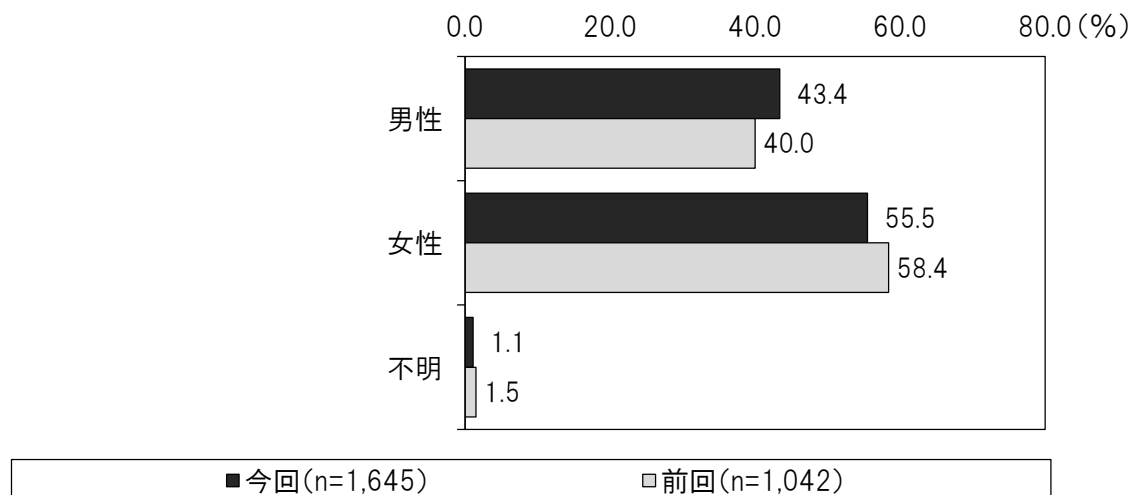
II 結果分析

1. 回答者の属性（経年比較）

一般向け調査の結果について、前回調査結果との比較を行いました。

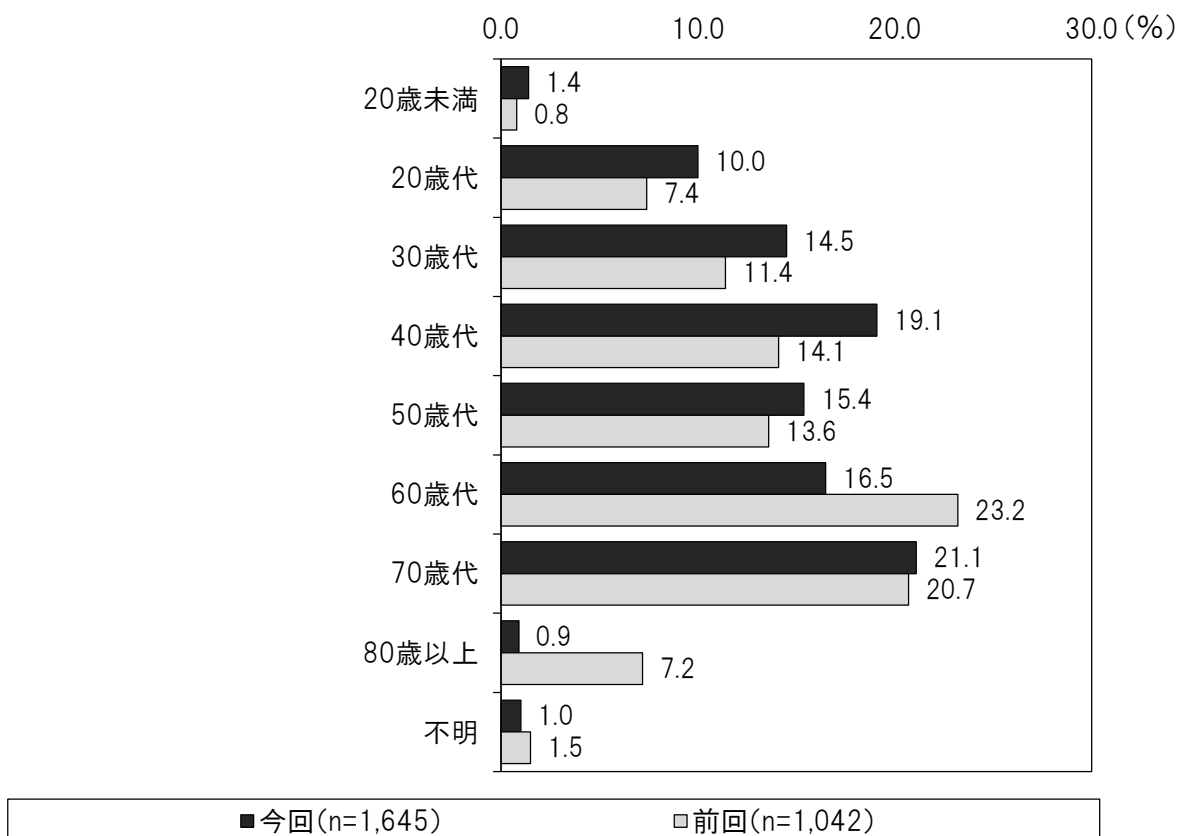
【性別】

前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっています。



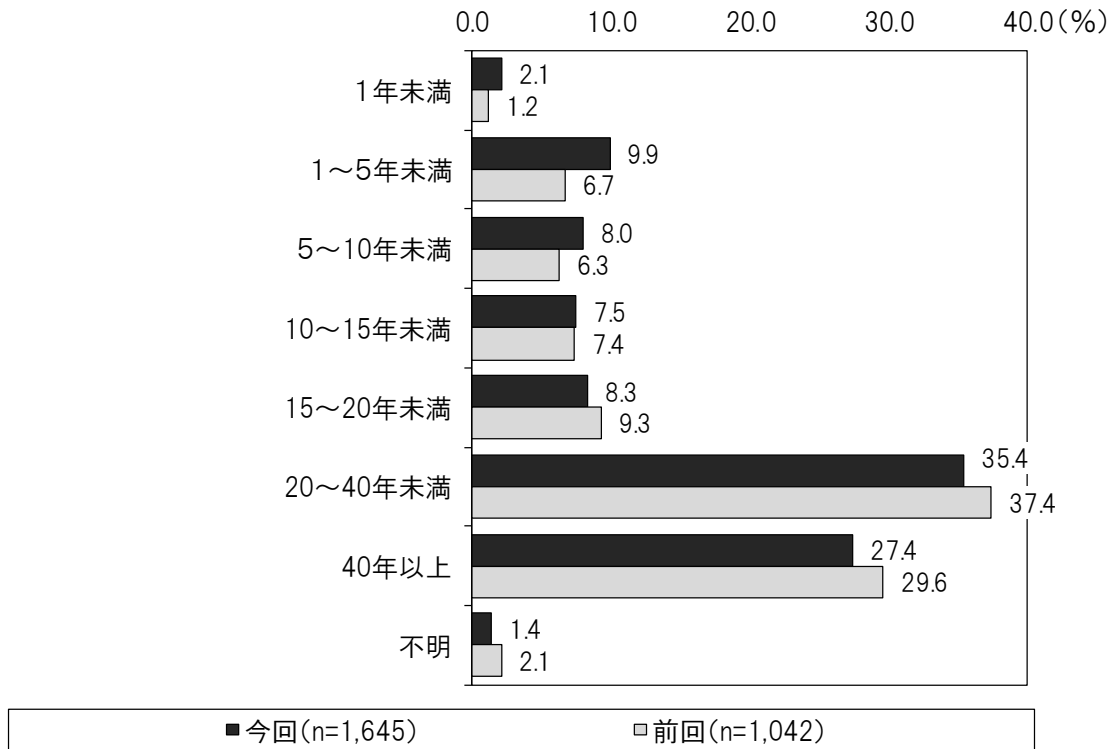
【年代】

「40歳代」が5.0ポイント増加し、「60歳代」が6.7ポイント減少しています。



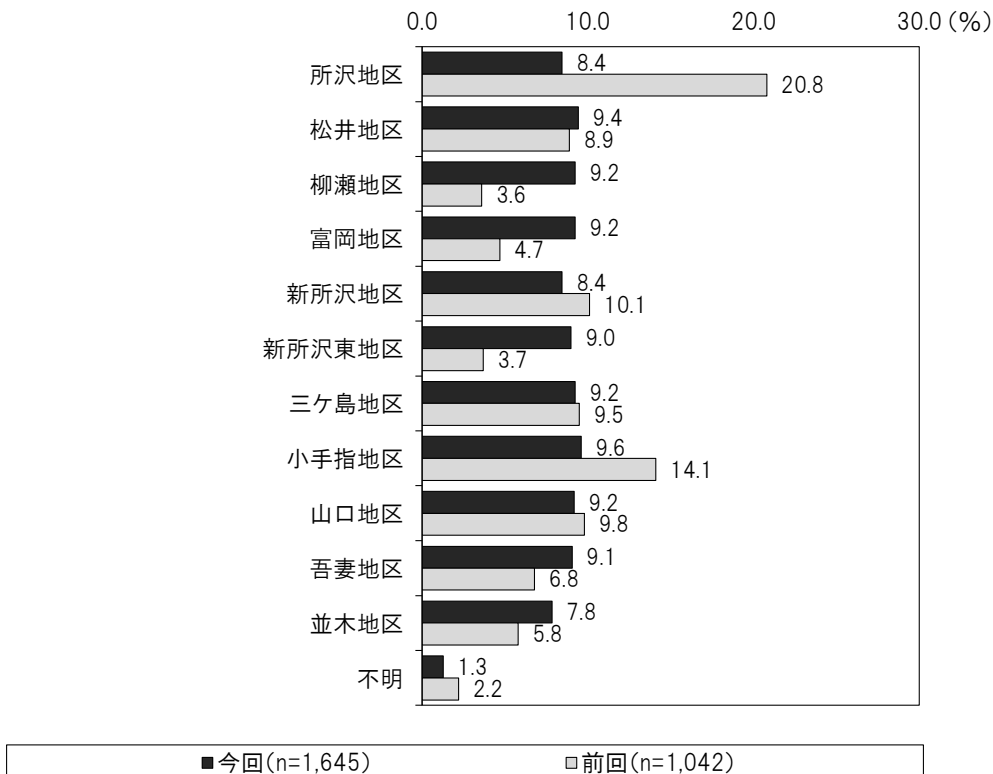
【居住年数】

前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっています。



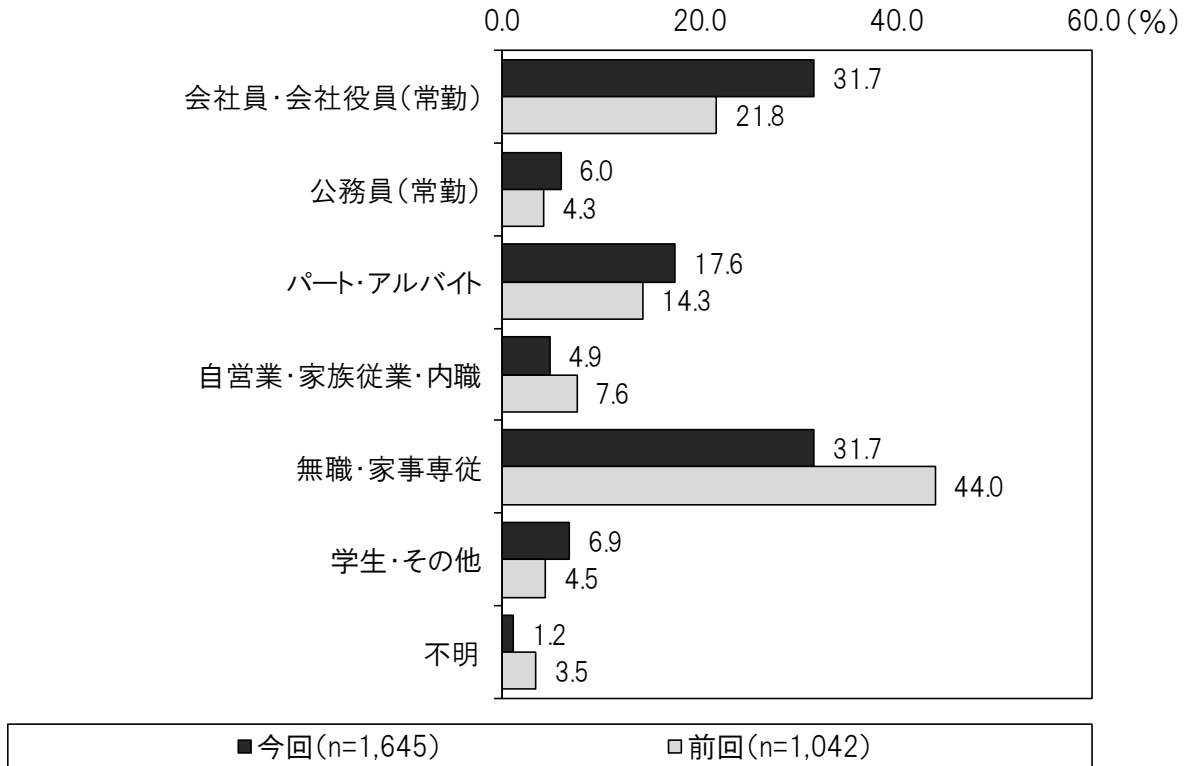
【居住地区】

「所沢地区」が12.4ポイント減少し、「柳瀬地区」が5.6ポイント、「新所沢東地区」が5.3ポイント増加しています。



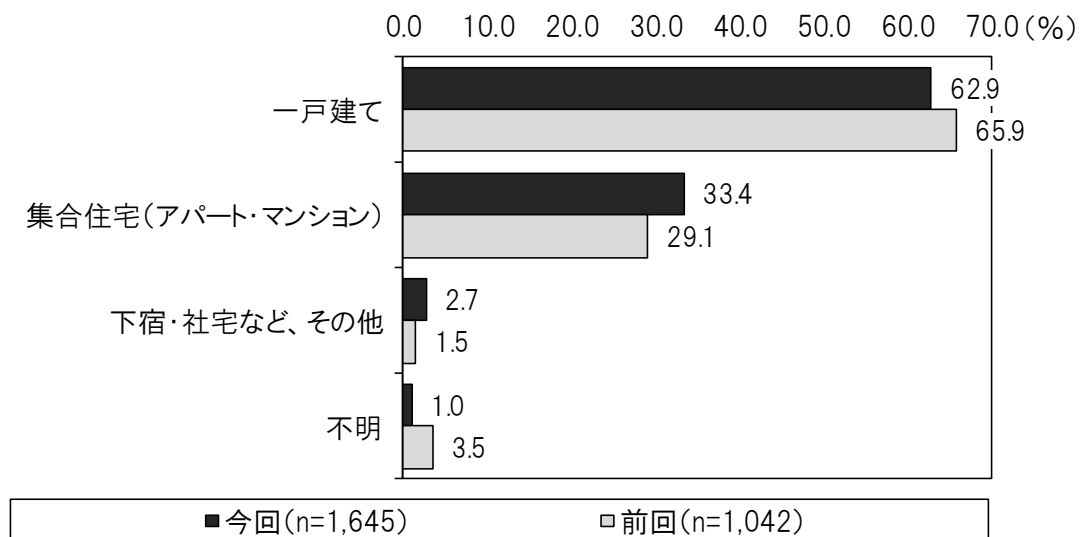
【職業】

「会社員・会社役員（常勤）」が9.9ポイント増加し、「無職・家事専従」が12.3ポイント減少しています。



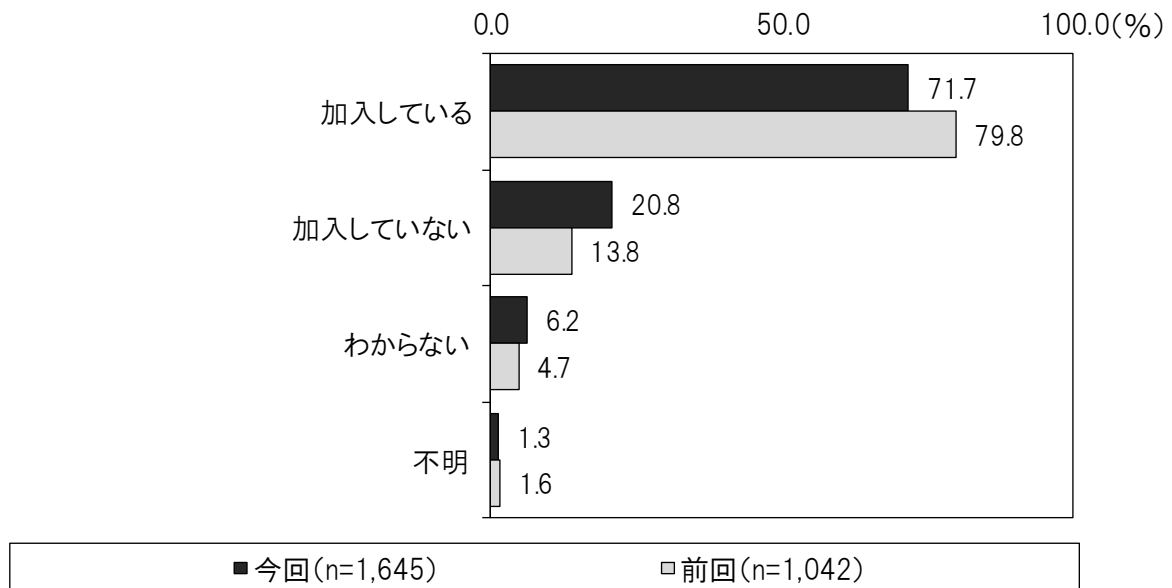
【住まい】

前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっています。



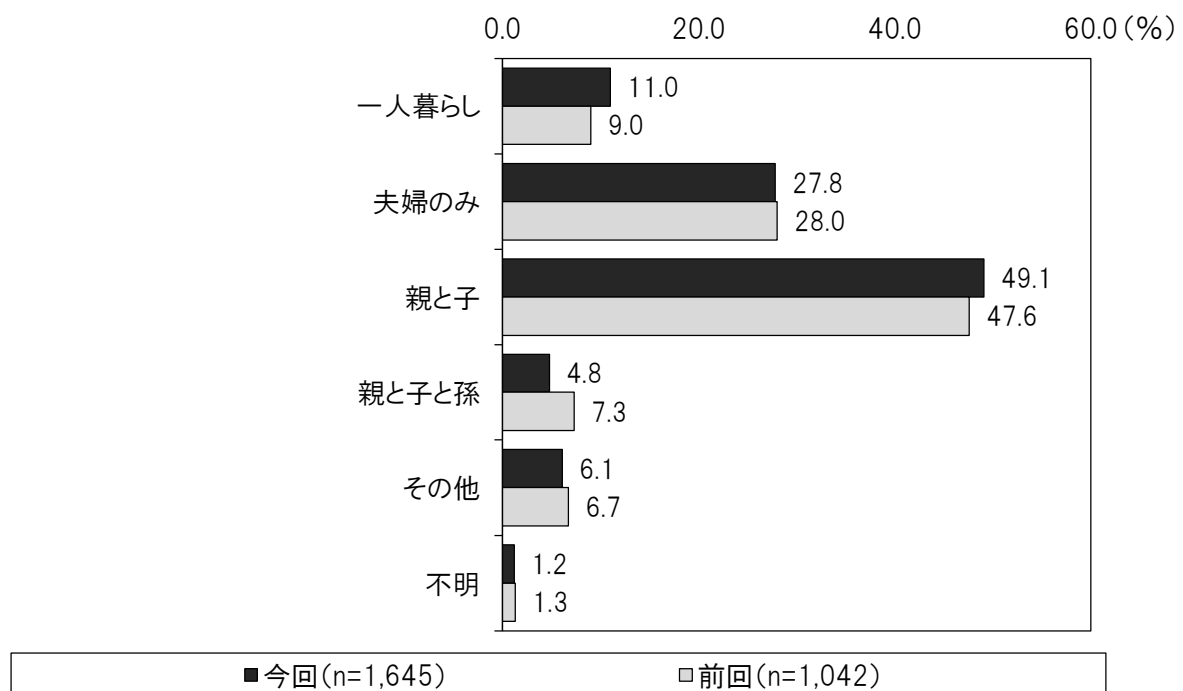
【自治会加入状況】

前回調査と比較すると、「加入している」が8.1ポイント減少し、「加入していない」が7.0ポイント増加しています。



【家族構成】

前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっています。



前回調査に比べ、年代は40歳代が、職業は会社員・会社役員（常勤）の回答割合が多くなっており、働き盛り、子育て世代から多く回答がありました。

2. お住まいの地域について

(1) 住まいや世帯の傾向【p.22～24 参照】

住まいを地区別にみると、所沢・新所沢・並木地区で「集合住宅（アパート・マンション）」が5割前後と他の地区と比べて高く、これらの地区の家族構成は、「一人暮らし」が多い傾向にあります。他方、富岡・三ヶ島・山口地区では「一戸建て」が8割を超えていますが、これらの地区の家族構成は、「一人暮らし」が少ない傾向にあります。

また、自治会・町内会への加入状況を見ると、アンケートの回答者においては、富岡・三ヶ島地区で8割台と他の地区と比べて高くなっています。

所沢市は市域が広く地理的条件なども異なることから、地域によって住まいや家族構成等に異なった傾向が見られます。地域における様々な課題は、それらを要因としているケースも少なくありません。今後の地域福祉の推進に向けた取り組みは、それぞれの地域の特徴や傾向などを踏まえ、検討していく必要があります。

(2) 近所付き合いの現状と希望【p.25～31 参照】

住みやすさの指標の一つ「近所や地域の人との交流・ふれあい」について、《中高生》、《一般》ともに8割弱が“住みやすい”と回答しています。

また、近所付き合いについて、現状では、地区や年代を問わずに“あいさつ程度”が高くなっていますが、今後の希望については、《中高生》では同様に“あいさつ程度”が45.0%で最も高くなっているのに対し、《一般》では「災害時・緊急時であれば助け合えるような付き合いはしたい（44.5%）」が最も高く、「日常生活で困ったときに相談したり、助け合える人がほしい（14.8%）」も3番目に高いものとなっています。

近所付き合いについて、現状はあいさつ程度の関係であっても、災害時・緊急時には助け合える関係を望む声が多く、災害時の助け合いや地域での支え合いなど共助の意識が潜在していることがうかがえます。こうしたことから、自主防災組織等の地域の取り組みに対する支援等、共助の意識で助け合い、支え合う地域づくりを推進していくことが求められます。

また、《中高生》は、あいさつ程度に留めた関係を望んでいますが、ボランティア活動などについては高い参加意欲を示していることから（後述）、身近な地域での助け合い活動を切り口にした若い世代への意識啓発が必要です。

(3) 身近な地域での見守り・助け合い【p.32～35、93、94 参照】

「近所や地域で気にかかる人（支援が必要そうな人）」について、《中高生》、《一般》ともに「高齢者のみの世帯（単身含む）」が約33%で最も高いものの、続いて「わからない」が約30%、「気にかかる人はいない」が約25%となっています。

また、「近所や地域の方が生活上の困りごとを抱えていることが分かった場合」について、《中高生》、《一般》ともに「手助けしたいが難しい」が45%前後で最も高くなっていますが、そのほか「誰か他の人に相談する」が約26%、「手助けする」が約21%と、合わせて5割弱の方が何らかの手立てを行うことを考えています。

なお、「どうしていいかわからない」が20%台となっていますが、地域福祉を進めていくために、市が優先的に取り組むべき施策として「必要な人へ支援をつなげる仕組みづくり」が約31%と4番目に高くなっています。

前項において現状の近所付き合いが「あいさつ程度」であることに加え、“気にかかる人”を含め、近所や地域のことはよくわからないといった状況がうかがえますが、こうした状況は、いざという時に助け合うことができない、近隣同士のトラブルを招くなど、不安やリスク、住み心地の悪さにつながりかねません。そのため、身近な地域のことや近所の方が抱える課題などを、地域住民が“我が事”として捉えられるよう、地域課題を主体的に把握するための意識づくりや、地域ぐるみで課題解決に取り組むためのプロセスを支援していく必要があります。

また、「近所や地域で気にかかる人（支援が必要そうな人）」は、高齢者のみの世帯（3割程度）を筆頭に、認知症、病気・障害、ひきこもりなど、様々な課題を抱える人や世帯が存在する状況ですが、手助けが必要な人に対して「どうしていいかわからない」という回答も多くなっています。

実際に困りごとを抱えている人に直面した場合、助けたい気持ちはあっても、具体的にどうすればいいのかわからず、必要な支援につながらないなどのケースも想定されます。自分でできることは何か、どこに相談を持ち掛ければよいかなど、対処の仕方に困ることがないよう、身近な相談窓口や、民生委員・児童委員など相談先へつなぐ役割の存在について、さらなる周知が求められています。

3. 地域での福祉活動について

（1）《中高生》のボランティア活動等への状況【p.36～44 参照】

《中高生》の福祉活動やボランティア活動への参加状況は、「ある」が56.7%と半数を上回っており、活動に関する情報は「学校を通じて知った」が73.9%と大半を占めています。

また、参加した活動は「地域活動（地域の夏祭り、清掃など）」が74.4%と高くなっており、活動に参加して「達成感があった」、「やりがいを感じた」は合わせて77.9%にのぼりました。

今後、ボランティアに取り組みたいと回答した人が関心をもつ活動は、「地域活動（56.6%）」に加え、あまり参加経験のない「子どもに関わる活動（53.8%）」が上位を占めています。

なお、今後のボランティア活動には「積極的に取り組んでいきたい（12.8%）」、「できるだけ取り組んでいきたい（28.5%）」、「機会があれば取り組んでもよい（42.2%）」と合計8割以上が意欲を持っており、参加する条件としては、高い順に「気軽に参加できる（37.9%）」、「興味のある内容である（32.8%）」、「身近なところで参加できる（29.1%）」、「家族や友人などと一緒に参加できる（29.1%）」となっています。

ボランティア活動に参加するきっかけは学校を通じての案内が大半を占めており、地域と学校との連携は不可欠であると考えられます。

また、参加意欲は8割を超える一方で、活動するためには、興味を引く内容であることや、気軽に参加できたり、誰かと一緒に参加できたりするなどの条件も挙げられています。

そのため、学校以外からの参加方法も広く検討するとともに、情報の周知、交流や学習支援といった子どもに関わる活動プログラムの準備等、参加への障壁を下げ、また参加したことがその後の継続的な福祉活動につながるような支援が求められます。

(2) 《一般》のボランティア活動等への状況【p.42～47 参照】

《一般》の地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種支援活動への今後の活動希望について、年代別にみると、いずれの年代でも「機会があれば取り組んでもよい」が5割程度と最も高く、40歳代以上では、年代が上がるにつれ「積極的に取り組んでいきたい」「できるだけ取り組んでいきたい」が高くなる傾向にあります。

また、活動に参加するための条件として、高い順に「活動時間や曜日を自由に選べる(44.3%)」、「身近なところで参加できる(38.1%)」、「気軽に参加できる(35.9%)」、「経済的な負担が少ない(31.5%)」となっており、年代別にみると、19・20歳代で「気軽に参加できる」が、30～60歳代で「活動時間や曜日を自由に選べる」が、70歳代で「身近なところで参加できる」が、それぞれ最も高くなっています。

さらに、地域の助け合い・支え合い活動の活発化に向けて大切だと思うことは「助け合いの場や組織の情報を得やすくする(42.6%)」が最も高く、順に「学校や会社などで福祉教育を充実する(26.3%)」、「困っている人と支援できる人とを調整できる人材を育成する(25.8%)」、「地域福祉活動の重要性を発信・PRする(25.3%)」と続いています。

地域でのボランティア活動等について、全ての年代で半数近くが「機会があれば取り組んでもよい」と回答していますが、いずれの地区や年代においても、その条件として、“活動日時を選べること”を筆頭に、“気軽に参加できること”、“身近なところで活動できること”の3つが高く、加えて、子育て世代を中心に“経済的な負担が少ない”といったニーズも高いことから、仕事や生活に影響しない範囲での活動であれば協力を得られる可能性があることがうかがえます。若い世代が活動に参加し、継続していくために、彼らの視点や様々な生活スタイルに合わせた柔軟な参加形態の在り方などを検討・工夫していくことが必要です。

また、活動の担い手不足や高齢化が課題となっている中で、今後、さらに地域の助け合い支え合いを活発化させるためには、情報を得やすい環境づくりに加え、地域のことやボランティアに関心・意欲がある人を地域とつなぐ人材を育成・支援していく必要性があります。

4. 居場所や相談場所について

(1) 居場所について【p.48～50 参照】

自分が居場所と感じられる場所については、《中高生》《一般》ともに「自宅」が約94%と大半を占めています。自宅以外については、《中高生》では順に「学校(55.8%)」、「塾・予備校(20.5%)」、「友人・知人の家(19.7%)」と続きますが、《一般》では自宅以外の割合の合計が40～50歳代で5割半ばと比較的低くなっています。

また、《中高生》は「インターネット(SNS)(14.8%)」が5番目に入り、《一般》の5.3%と比べて高くなっています。《一般》を年代別にみても、19・20歳代が13.8%と比較的高くなっています。その他、年代別では、40歳代以下は「カフェなどの飲食店」、60歳代以上は「公民館・図書館などの公共施設」、「趣味や習い事の教室」が他の世代より高い傾向にあります。

他方、居場所が「特にない」と答えている人は《中高生》《一般》ともに2%程度です。

居場所としては「自宅」が圧倒的に多い状況となっており、人々にとって住まいが、心の拠り所となっていることがうかがえます。

他方、40～50歳代では自宅以外の割合が低くなっているほか、居場所が特にない方も僅かにみられることなどから、社会的な孤立も想定されるため、誰でも気軽に立ち寄りことのできる居場所づくりや、地域とのつながりを持つ機会が得られるような支援が必要であることがうかがえます。

なお、若年層は「インターネット(SNS)」を居場所とする傾向も出ており、社会や文化の多様化に合わせて、居場所の在り方を検討していくことが求められます。

(2) 生活上の悩みや不安【p.51～57 参照】

日常の中での悩みや不安として挙げられたことは、《中高生》では順に「学業・進路のこと(62.4%)」、「特にない(27.9%)」、「お金のこと(18.8%)」となっており、それらの相談先は、順に「家族・親戚(65.8%)」、「友人・先輩後輩(60.1%)」となっている一方で、「相談したいと思わない(14.0%)」が3番目に高い状況です。

また、《一般》は、順に「自分や家族の健康に関すること(49.4%)」、「生活費など経済的なこと(34.5%)」、「自分や家族の生活に関すること(28.4%)」、「特にない(18.5%)」となっていますが、年代別に見ると、19・20歳代では「仕事や勉強に関すること(41.0%)」、30歳代では「生活費など経済的なこと(51.9%)」が最も高くなっています。

《一般》の相談先は、順に「家族・親戚(83.6%)」、「友人・知人(45.2%)」、「市役所など行政の窓口(20.2%)」、「職場の人(15.6%)」となっている一方で、「誰(どこ)に相談すれば良いかわからない(6.3%)」、「相談しない(4.2%)」、「相談したい人がいない(相談したい場所がない)(2.7%)」といった回答も一定数みられます。

悩み・不安については、《中高生》や19・20歳代は学業・仕事のこと、30～40歳代は経済的なことや育児・子育てのこと、50歳代は家族関係や介護のこと、60歳代以上は自分や家族の健康のことなど、年代によって異なる特徴が見られますが、特に30歳代と40歳代で悩みや不安が1つでもあると回答した割合が比較的高くなっており、自身のみならず、親や子も含めて様々な課題を抱えていることがうかがえます。

また、「誰(どこ)に相談すれば良いかわからない」、「相談しない」、「相談したい人がいない(相談したい場所がない)」については、既存の相談窓口や支援制度の対象とならない、いわゆる「制度の狭間」の課題を抱えている可能性が考えられます。

そのため、各種相談体制が連携し、複合的な課題や制度の狭間の課題を抱えた人などを含め、あらゆる相談を包括的に受け止められる機能を強化していくことが求められます。

(3) 相談支援窓口の認知度【p.58～64、93、94 参照】

市内の相談支援窓口について、《中高生》では「どれも知らない(43.9%)」が最も高く、知っている窓口は「市役所市民相談(30.2%)」、「保健センター(29.1%)」となっています。

《一般》では順に「市役所市民相談(52.3%)」、「保健センター(46.9%)」、「地域包括支援センター(32.3%)」となっている一方で、「この中で知っているものはない(20.5%)」が5番目に高くなっています。加えて、「あったかサポートセンター」、「生活支援コーディネーター」、「暮らしの相談事業」はいずれも2%程度と認知度が低く、これらの傾向は地区別でみても大きな差が見られない状況です。

また、年代別では、19・20歳代は「この中で知っているものはない(39.9%)」、30～40歳代では「保健センター」が約52%と最も高くなっています。

なお、市が優先的に取り組むべき施策として「相談しやすい窓口の充実(39.4%)」、「わかりやすい福祉情報の提供(38.3%)」、「必要な人へ支援をつなげる仕組みづくり(31.3%)」などが挙げられています。

「市役所市民相談」や「保健センター」など行政が設置する窓口は一定数認識されているものの、まちづくりセンターなどで実施している福祉相談会、民生委員・児童委員やコミュニティーソーシャルワーカー（CSW）など、より身近な圏域にある相談先は認知度が低くなっていることから、身近で気軽に相談できる場をさらに周知する必要があります。

加えて、年代が下がるにつれ「この中で知っているものはない」との回答割合が上がるため、若年層に対する相談窓口全般の周知も必要です。

市の施策に対する要望からは、既存の各種相談機能を充実しつつ、相談窓口間や相談窓口へのつなぎ役等とのさらなる連携により、誰でも相談しやすく、また様々な悩みや不安が身近な相談窓口へとつながる環境を整備していくことが求められていると考えられます。また、そうした環境整備の一環として、相談の入口となる福祉情報については市民にわかりやすいものが求められています。

5. 相互理解・共生について【p.65～68 参照】

福祉教育・福祉学習の経験は、《中高生》では「小学校で学んだ」、「中学校で学んだ」が6～7割となっているほか、学んだことがその後「役に立っている（44.4%）」が最も高くなっています。

《一般》を年代別にみると、19・20～30歳代では「小・中学校などの授業で学んだ」が最も高くなっていますが、40歳代以上は「特に学んだ経験はない」が4～6割と最も高い状況です。

福祉教育・福祉学習をより効果的に行っていくために必要なこととしては、順に「年齢や障害などに関わらず、地域の皆が交流・学習できる機会づくり（48.4%）」、「支援の必要な人への接し方などを学ぶことができる講座の開催（30.1%）」、「支援の必要な人から直接話を聞いたり、交流できる機会づくり（29.9%）」などが挙げられています。

また、障害のある人への理解を深めるために必要なこととしては、「障害のある人とふれあう機会を増やす（34.1%）」、「学校教育で障害に対する理解を深める（29.3%）」などが多く挙げられています。

相互理解・共生の地域づくりを進めるためには、福祉学習等を通じてお互いの立場や価値観を理解し合い、地域福祉への関心や支え合いの心を育み、他人事を“我が事”と思える意識を醸成していくことが重要です。

福祉教育・福祉学習を受けた経験は、学校教育を受けた年代によって差があることに加え、効果的な福祉学習のためには「年齢や障害などに関わらず、地域の皆が交流・学習できる機会づくり」が必要と考えられており、学校教育に加え、地域で福祉を学ぶことのできる機会を増やしていくことが重要です。

また、障害のある人に対する理解を深めるためには、学校教育に加え、障害者とふれあう機会の提供や、関係団体等との連携が重要です。

6. 福祉情報の入手について【p.69～72 参照】

《中高生》が情報を得るために利用しているものは、順に「テレビ・ラジオ・新聞（67.8%）」、「LINE（67.5%）」、「Instagram（インスタグラム）（43.3%）」となっており、相談先として利用しているものは、主に「LINE（19.9%）」となっています。

《一般》では、生活や地域に関する情報の入手先として、順に「広報ところざわ（75.2%）」、「市のホームページ（25.8%）」、「テレビ・ラジオ・新聞（22.1%）」となっている一方で、「市役所の窓口（5.5%）」、「ちやお（所沢社協だより）（4.3%）」、「社会福祉協議会のふくし掲示板

(1.6%)」、「社会福祉協議会のホームページ・メルマガ(1.1%)」が低い状況です。年代別に見ると、いずれの年代も「広報ところざわ」が最も高く、19・20～50歳代では「市のホームページ」や「インターネット」が、60歳代以上では「テレビ・ラジオ・新聞」や「身近な人からの口コミ情報」が高い傾向にあります。

また、自分に必要な福祉サービスの情報がどの程度入手できているかについては、「十分入手できている」、「十分ではないが、入手できている」の27.1%より、「ほとんど入手できていない」、「全く入手できていない」の35.7%が上回っており、年代別にみると、19・20～50歳代は「ほとんど入手できていない」が比較的高く、特に19・20～30歳代は「全く入手できていない」についても、他の世代より高くなっています。

広報ところざわが幅広い年代に普及していることを受け、広報を活用した福祉情報の提供が有効であることがうかがえますが、働き盛り・子育て世代等の比較的低い年齢層にはインターネット等の電子媒体、高い年齢層には口コミ(地域の人へのPR)など、情報の内容やターゲットとする世代によって、既存の様々な手法を効果的に用いる工夫が必要です。

加えて、テレビやラジオ、新聞についても、情報の入手先として効果が高いものと考えられ、報道機関や民間の情報誌等を有効活用していくことも大切です。

また、入手できていないと感じる割合は、年代が下がるにつれ高くなり、19・20～30歳代は4割以上となっていることから、若年層に情報が届きやすいと考えられるSNS等での情報発信を充実する必要があります。

7. 地域福祉を担っている人について【p.73～78 参照】

民生委員・児童委員については、自分の地域の担当、活動内容ともに「知らない」が6割台となっています。年代別にみると、年代が上がるにつれ認知度が高くなり、70歳代以上はいずれも「知っている」が「知らない」より高くなっています。

また、知っている活動内容は、順に「高齢者世帯への訪問・声かけ(86.1%)」、「地域住民の見守り活動(60.4%)」、「高齢者がいる世帯の調査(57.8%)」となっています。

なお、60歳代以下では、地域の担当を知っている割合よりも、活動内容を知っている割合の方が高くなっています。

CSW(コミュニティ・ソーシャル・ワーカー)については、自分の住んでいる地域の担当、活動内容ともに「知らない」が9割台となっており、年代別でも概ね9割が知らない状況です。

民生委員・児童委員は、地域住民にとって最も身近な相談先(つなぎ役)の1つであり、複合的な課題を抱える家庭も多くなっていることがうかがえることから、役割や活動内容を広く周知し、地域の担当を認識できるよう支援していく必要があります。

CSW(コミュニティ・ソーシャル・ワーカー)は、福祉課題の解決に向けたコーディネート役として各地区に配置されており、個別支援や相談会の実施、居場所づくり等、地域福祉の重要な役割を担うことから、民生委員・児童委員と同様にその役割や機能の周知を強化していく必要があります。

8. 判断能力が低下した方への支援について【p.79～81 参照】

成年後見制度の認知度は、順に「制度名は知っているが、内容は知らない(53.0%)」、「制度名も内容も知らない(27.1%)」となっており、年代別にみると、19・20～30歳代は「制度名も内容も知らない」が高く、40歳代以上は「制度名は知っているが、内容は知らない」が高い状況

です。

成年後見制度の利用意向については、順に「わからない(53.5%)」、「利用したい(30.6%)」、「利用したくない(14.4%)」となっています。

また、「わからない」「利用したくない」と答えた理由として、順に「制度を利用せずに配偶者や子どもなどの親族に任せたい(49.0%)」、「制度の内容や利用方法がよくわからない(38.4%)」、「他人に財産管理を任せることに抵抗がある(34.7%)」となっており、年代別にみると、19・20歳代では「他人に財産管理を任せることに抵抗がある」、30～40歳代では「制度の内容や利用方法がよくわからない」が高くなっています。

成年後見制度は、内容を知らない人が約8割となり、高齢化が進む中、認知度の向上が喫緊の課題です。その要因として、制度名を知っていても利用意向は半数が「わからない」としているなど、具体的な内容や制度の利用方法・手順がわかりづらいといった点がうかがえるため、制度や実例をわかりやすく紹介したり、年代・立場などターゲットを絞った案内をしたりするなど、周知啓発の強化が必要です。

また、他人より親族に任せたいという意向が高くなっていることから、親族後見を含め、後見人に対する支援・相談体制を充実していく必要があります。

9. 生活困窮者などへの支援について【p.82～84 参照】

生活に困っている人を地域で支えることについて、順に「支援したい気持ちはあるが、自分の生活があるので難しい(50.1%)」、「間接的な支援(生活必需品の寄付など)であればしてみたい(26.9%)」となっています。

また、生活に困っている人を市が支援していくにあたり有効と思う取り組みは、順に「仕事の紹介やあっせん(51.6%)」、「就労に必要な訓練の支援(48.3%)」、「生活に困窮している家庭の子どもに対する学習支援や居場所づくり(47.1%)」、「社会参加を促す取り組み(30.3%)」、「住居支援(宿泊・衣食の提供など)(28.0%)」となっています。

地域での生活困窮者への対応として、直接的な支援に取り組みたいという声は低い一方で、ボランティア活動への取り組み意向と同様に、自分の生活に影響しない範囲の間接的な支援ならば協力を得られる可能性があることがうかがえます。

そのため、経済的な自立支援や子どもへの支援、住まいの支援といった公的支援に加え、市民参加による間接的な支援の在り方についても検討する必要があります。

10. 災害時の助け合いなどについて【p.85～89、93、94 参照】

近所の避難行動要支援者に対する協力意向について、順に「どちらかといえば協力したい(49.8%)」、「協力したいが理由があって難しい(17.3%)」、「積極的に協力したい(13.9%)」となっており、前回調査と比較して「積極的に協力したい」は5.6ポイント、「どちらかといえば協力したい」は10.1ポイント増加しています。

年代別にみると、19・20歳代で「積極的に協力したい」と「どちらかといえば協力したい」が合わせて75.0%と他の年代に比べて高く、この世代は、市が優先的に取り組むべき施策としても「災害時の安心・安全の仕組みづくり」の回答が多くなっています。

避難行動要支援者を手助けしやすくするための取り組み組等については、順に「近所の人や、自治会・町内会の班単位などで情報を共有しておくこと(58.4%)」、「制度のわかりやすい説明を受けること(45.0%)」、「支援が必要な人と、普段から交流しておくこと(36.1%)」となっています。

また、災害で自宅に住めなくなった場合に頼れる人は、「家族・親戚（74.0%）」が最も高くなっているものの、「誰も頼れる人がいない（14.6%）」が次に高い状況です。

なお、災害ボランティアセンター（災害時、こどもと福祉の未来館に設置）による市内各所へのボランティア派遣については、順に「知らない（58.4%）」、「知らない、かつ、こどもと福祉の未来館もわからない（31.1%）」となっています。

前回調査と比較して災害時における助け合いの意識が高まっており、昨今、地震や豪雨による災害が増加する中、近所で困っている人がいる場合は出来るだけ手助けしたいと思う人が増えていることがうかがえます。

手助けをするためには、近所や自治会の班などでの情報共有が必要だと思える人も多いことから、避難行動要支援者の把握をはじめ、防災を切り口とした交流等、顔の見える関係づくりを進め、身近に頼れる人がいない場合でも、災害時に孤立しない仕組みづくりが求められます。

また、本市の災害ボランティアセンターの認知度が低いことから、災害における市民の高い協力意向を受け止め、活用できるよう、当該センターの機能・役割・仕組み等を広く周知する必要があります。

11. 優しいまちづくりについて【p.25、90～92 参照】

安心して住み続けるために住環境・生活で重要だと思える取り組みについて、順に「災害に対する安全な市街地整備（66.7%）」、「地域の防犯対策の強化（61.9%）」、「ゴミ出しなど生活マナー向上対策（35.1%）」、「高齢者などへの買い物支援の助け合い（30.8%）」となっており、地区別・年代別でも概ね同様の傾向となっています。

また、住宅確保要配慮者が民間賃貸住宅に入所しやすくなる仕組み・サービスについては、順に「身寄りのない方が保証人を確保しなくても入居できる仕組み（36.7%）」、「収入が低くても入居できるなど、入居要件の緩和（14.3%）」、「単身高齢者などへの見守りや安否確認サービス（14.1%）」となっています。

なお、高齢者や障害者が暮らすための環境について、《中高生》では「あまり住みやすくない（19.1%）」、「住みやすくない（5.1%）」となっており、《一般》では「あまり住みやすくない（32.8%）」、「住みやすくない（9.1%）」となっています。

住環境や生活で重要だと思える取り組みについて、安全な市街地整備や防犯対策の強化、生活マナーの向上対策が重視され、次いで高齢者の買い物支援も高い状況であり、日々の暮らしに欠かせない安全面や衛生面、食生活への支援が求められています。

住宅確保要配慮者への仕組みやサービスとして、身寄りのない人に対する支援や入居要件の緩和があげられており、住宅セーフティネット等、取り組みの周知普及に努める必要があります。

また、地域の住みやすさについて、高齢者や障害者が暮らす環境としては“住みやすくない”という回答が、自然環境や交通、生活利便性、子どもが暮らす環境等よりも高かったことから、当事者ニーズを汲み取り、住みやすくないと感じる要因を解消していくことが求められます。

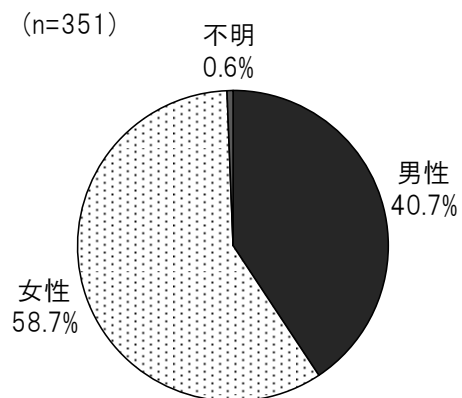
Ⅲ 集計結果

1. 回答者ご本人について

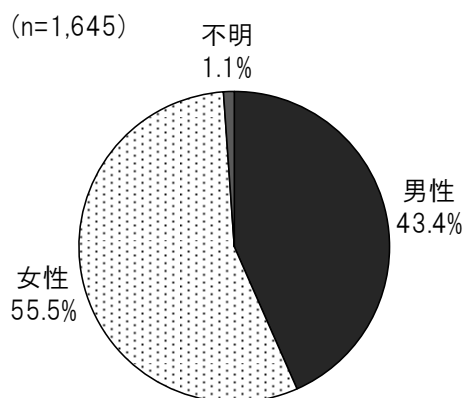
あなたの性別を教えてください。(〇は1つ)

<中高生向け調査:問1、一般向け調査:問1>

<中高生向け調査>



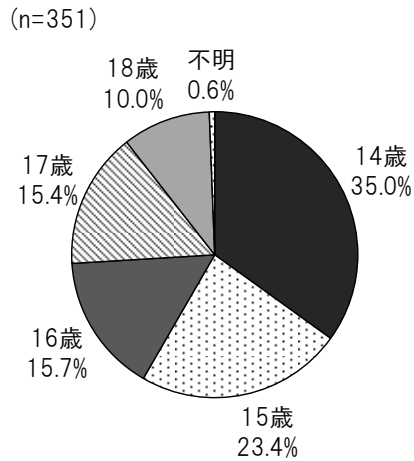
<一般向け調査>



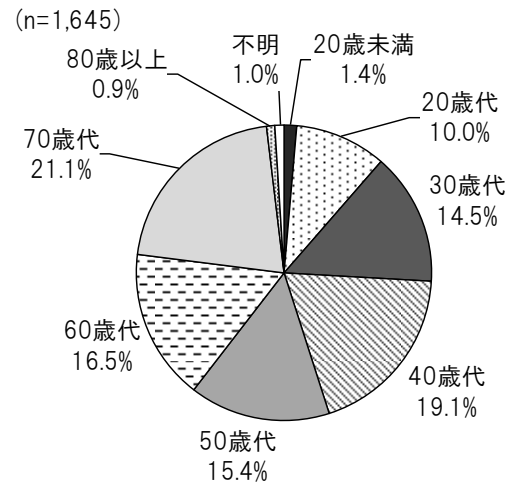
あなたの年齢（年代）（令和元年9月1日現在）を教えてください。

＜中高生向け調査：問2＞（数字を記入）＜一般向け調査：問2＞（○は1つ）

＜中高生向け調査＞



＜一般向け調査＞



一般向け調査について、地区別にみると、柳瀬地区と新所沢地区と小手指地区で「40歳代」が、富岡地区で「60歳代」が、それぞれ最も高くなっています。

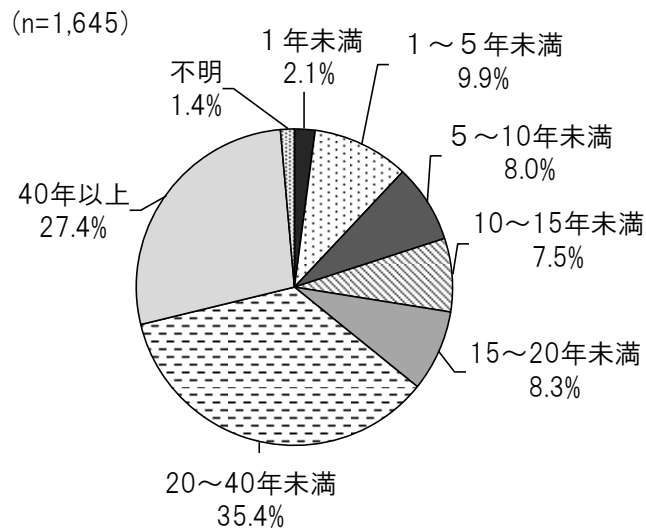
【地区別クロス】

＜一般向け調査＞

(単位: %)	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明
所沢地区 (n=139)	1.4	10.1	15.8	18.0	15.1	18.7	20.1	0.7	0.0
松井地区 (n=155)	0.6	12.3	11.6	18.7	14.8	16.8	21.3	3.9	0.0
柳瀬地区 (n=152)	2.6	11.8	14.5	21.7	16.4	13.2	19.7	0.0	0.0
富岡地区 (n=152)	1.3	7.9	18.4	17.8	14.5	23.0	15.8	1.3	0.0
新所沢地区 (n=139)	1.4	8.6	15.1	20.1	19.4	15.1	18.7	1.4	0.0
新所沢東地区 (n=148)	0.7	11.5	14.9	17.6	17.6	14.2	23.6	0.0	0.0
三ヶ島地区 (n=152)	2.6	7.9	14.5	21.1	14.5	14.5	23.0	1.3	0.7
小手指地区 (n=158)	0.6	10.8	16.5	21.5	14.6	14.6	20.3	0.6	0.6
山口地区 (n=151)	1.3	9.9	12.6	17.9	13.2	19.9	24.5	0.7	0.0
吾妻地区 (n=149)	0.7	10.1	13.4	17.4	16.1	20.1	22.1	0.0	0.0
並木地区 (n=129)	2.3	10.9	14.7	19.4	15.5	11.6	25.6	0.0	0.0

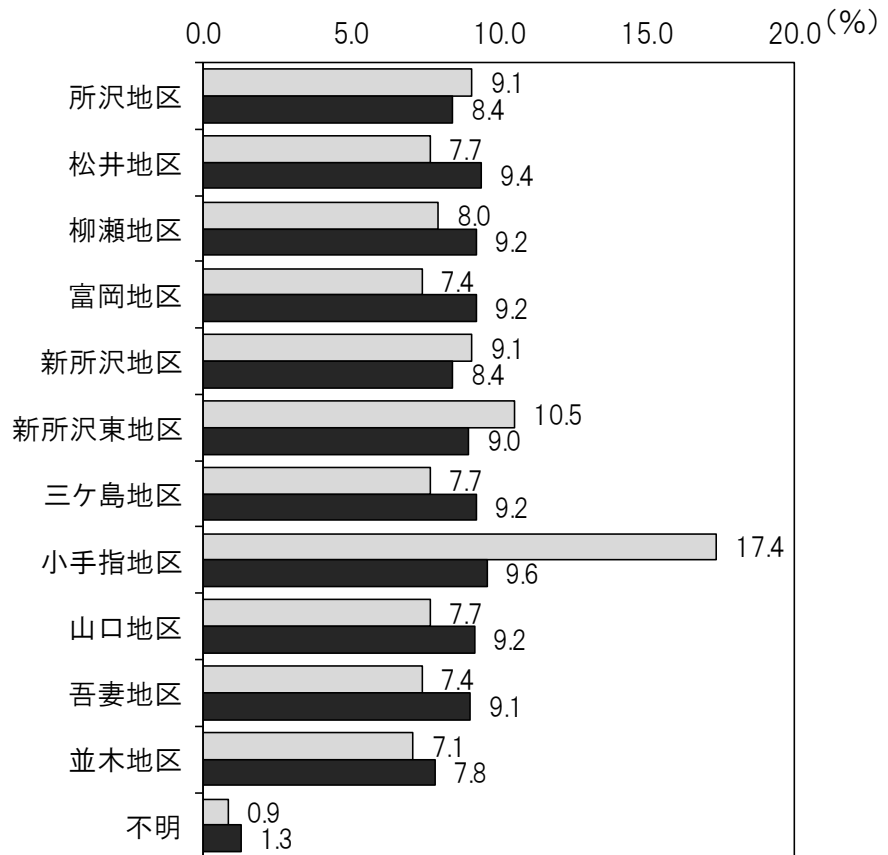
所沢市に住んでどのくらいですか。(〇は1つ)

<一般向け調査:問3>



あなたのお住まいの地域(町名)を教えてください。(〇は1つ)

<中高生向け調査:問3、一般向け調査:問4>

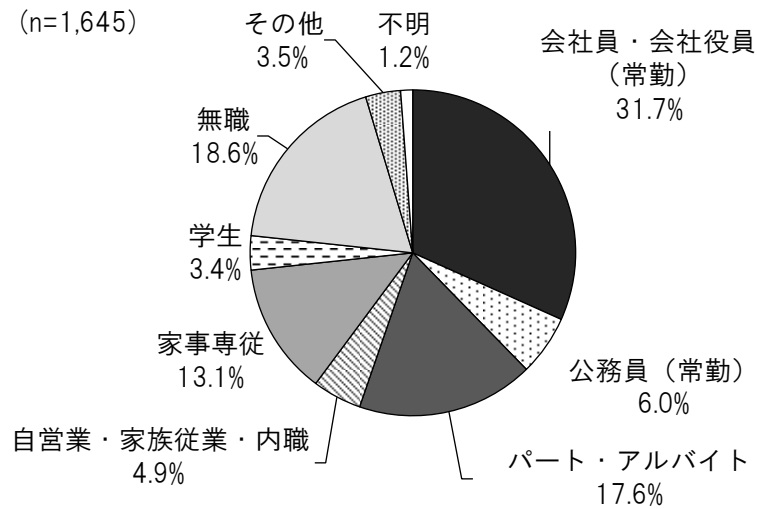


□ 中高生向け調査(n=351)

■ 一般向け調査(n=1,645)

ご職業は何ですか。（〇は1つ）

<一般向け調査:問5>



年代別にみると、60歳代で「家事専従」が、70歳代以上で「無職」が、それぞれ最も高くなっています。

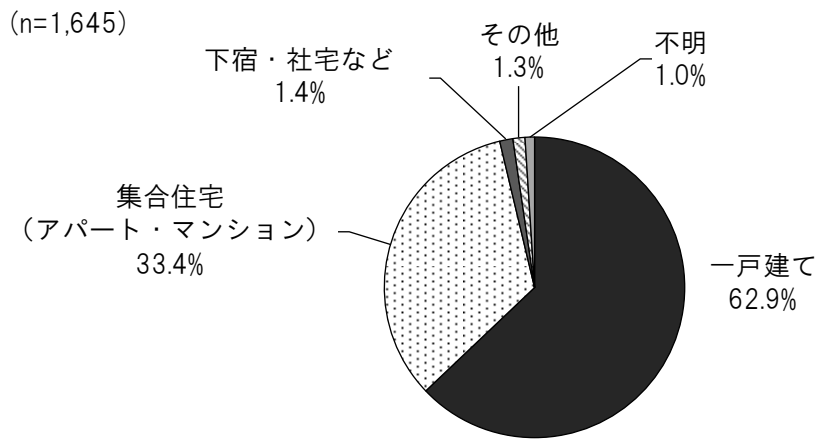
また、40～60歳代で「パート・アルバイト」が2割台と、他の年代に比べて高くなっています。

【年代別クロス】

(単位: %)	会社員・会社役員 (常勤)	公務員 (常勤)	パート・アルバイト	自営業・家族従業・ 内職	家事専従	学生	無職	その他	不明
19・20歳代(n=188)	43.1	8.0	10.6	0.5	2.7	29.3	3.2	2.1	0.5
30歳代(n=239)	50.6	10.5	16.3	4.2	12.1	0.4	3.3	2.5	0.0
40歳代(n=314)	49.0	8.3	24.8	3.8	8.6	0.0	1.9	3.5	0.0
50歳代(n=254)	37.8	9.1	27.6	9.1	9.8	0.0	4.3	2.4	0.0
60歳代(n=271)	19.9	3.0	21.4	4.8	22.1	0.0	21.8	6.3	0.7
70歳代(n=347)	4.3	0.3	6.9	6.3	18.7	0.0	59.1	3.7	0.6
80歳以上(n=15)	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0

お住まいについて教えてください。(〇は1つ)

<一般向け調査:問6>



地区別にみると、所沢地区、新所沢地区、並木地区で「集合住宅（アパート・マンション）」が最も高くなっています。

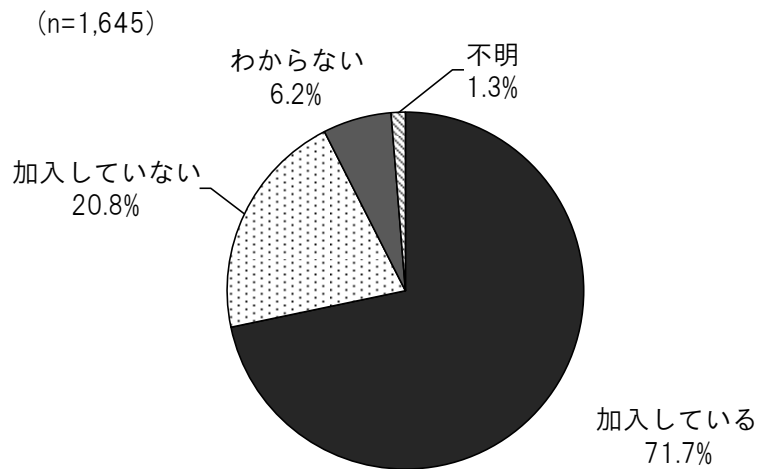
また、富岡地区、三ヶ島地区、山口地区で「一戸建て」が8割を超えています。

【地区別クロス】

(単位: %)	一戸建て	集合住宅 (アパート・マンション)	下宿・社宅など	その他	不明
所沢地区 (n=139)	43.2	55.4	0.0	1.4	0.0
松井地区 (n=155)	76.1	23.2	0.0	0.6	0.0
柳瀬地区 (n=152)	55.9	42.1	1.3	0.7	0.0
富岡地区 (n=152)	84.2	13.8	0.7	1.3	0.0
新所沢地区 (n=139)	47.5	49.6	0.0	2.2	0.7
新所沢東地区 (n=148)	57.4	39.9	2.7	0.0	0.0
三ヶ島地区 (n=152)	83.6	14.5	0.7	1.3	0.0
小手指地区 (n=158)	60.8	38.0	0.0	1.3	0.0
山口地区 (n=151)	82.8	17.2	0.0	0.0	0.0
吾妻地区 (n=149)	59.1	39.6	0.0	1.3	0.0
並木地区 (n=129)	38.8	44.2	11.6	5.4	0.0

あなたの世帯は自治会・町内会に加入していますか。（〇は1つ）

<一般向け調査:問7>



地区別にみると、すべての地区で「加入している」が最も高くなっています。また、新所沢地区、小手指地区、並木地区で「加入している」が6割台と、他の地区に比べて低く、富岡地区、三ヶ島地区で8割台と高くなっています。

年代別にみると、年代が上がるにつれて「加入している」が高くなる傾向にあります。

【地区別クロス】

(単位: %)	加入している	加入していない	わからない	不明
所沢地区 (n=139)	70.5	21.6	7.9	0.0
松井地区 (n=155)	74.8	20.6	4.5	0.0
柳瀬地区 (n=152)	75.7	16.4	7.9	0.0
富岡地区 (n=152)	80.9	13.8	3.9	1.3
新所沢地区 (n=139)	64.0	29.5	6.5	0.0
新所沢東地区 (n=148)	72.3	20.9	6.1	0.7
三ヶ島地区 (n=152)	80.3	13.2	4.6	2.0
小手指地区 (n=158)	66.5	27.2	6.3	0.0
山口地区 (n=151)	74.2	23.8	1.3	0.7
吾妻地区 (n=149)	72.5	20.1	7.4	0.0
並木地区 (n=129)	61.2	25.6	13.2	0.0

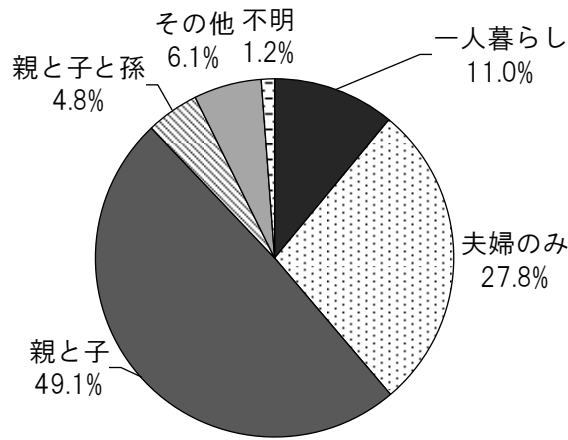
【年代別クロス】

(単位: %)	加入している	加入していない	わからない	不明
19・20歳代 (n=188)	49.5	30.3	19.7	0.5
30歳代 (n=239)	55.6	33.9	10.0	0.4
40歳代 (n=314)	68.5	25.8	5.4	0.3
50歳代 (n=254)	77.6	19.3	2.8	0.4
60歳代 (n=271)	82.7	12.9	4.1	0.4
70歳代 (n=347)	86.7	11.0	1.7	0.6
80歳以上 (n=15)	100.0	0.0	0.0	0.0

ご家族の構成について教えてください。(〇は1つ)

<一般向け調査:問8>

(n=1,645)



地区別にみると、すべての地区で「親と子」が最も高くなっています。
年代別にみると、60歳代以上で「夫婦のみ」が最も高くなっています。

【地区別クロス】

(単位: %)	一人暮らし	夫婦のみ	親と子	親と子と孫	その他	不明
所沢地区 (n=139)	15.8	33.8	37.4	5.0	7.9	0.0
松井地区 (n=155)	11.6	23.2	54.8	3.9	6.5	0.0
柳瀬地区 (n=152)	9.9	25.7	55.9	5.3	3.3	0.0
富岡地区 (n=152)	6.6	33.6	46.7	7.9	3.9	1.3
新所沢地区 (n=139)	10.8	29.5	48.9	3.6	7.2	0.0
新所沢東地区 (n=148)	14.9	26.4	48.0	3.4	6.8	0.7
三ヶ島地区 (n=152)	8.6	25.7	48.7	7.2	9.9	0.0
小手指地区 (n=158)	12.0	24.1	54.4	3.2	5.7	0.6
山口地区 (n=151)	4.6	32.5	49.7	5.3	7.9	0.0
吾妻地区 (n=149)	12.1	30.2	51.7	3.4	2.7	0.0
並木地区 (n=129)	16.3	24.0	46.5	5.4	7.0	0.8

【年代別クロス】

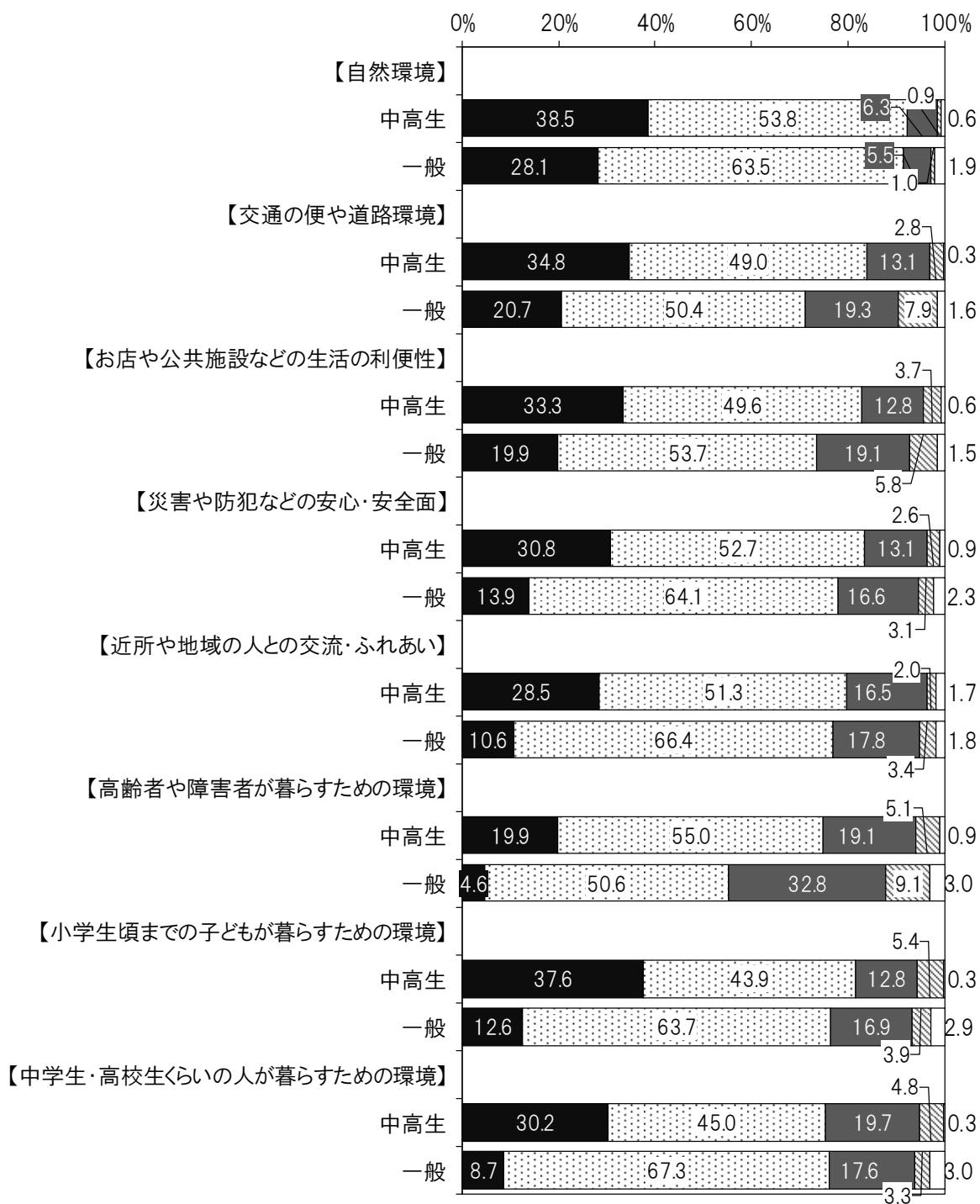
(単位: %)	一人暮らし	夫婦のみ	親と子	親と子と孫	その他	不明
19・20歳代 (n=188)	14.4	7.4	63.8	8.5	5.9	0.0
30歳代 (n=239)	13.4	10.5	66.5	4.6	4.6	0.4
40歳代 (n=314)	7.3	15.0	67.8	3.8	5.7	0.3
50歳代 (n=254)	7.5	22.0	58.7	4.3	7.5	0.0
60歳代 (n=271)	11.1	47.2	29.2	3.7	8.5	0.4
70歳代 (n=347)	13.5	51.6	24.2	5.5	4.6	0.6
80歳以上 (n=15)	13.3	53.3	20.0	0.0	13.3	0.0

2. お住まいの地域について

所沢市（特に自分の住んでいる地域）は住みやすいと思いますか。（それぞれ○は1つ）

< 中高生向け調査：問4、一般向け調査：問9 >

■とても住みやすい □まあまあ住みやすい ■あまり住みやしくない □住みやしくない □不明

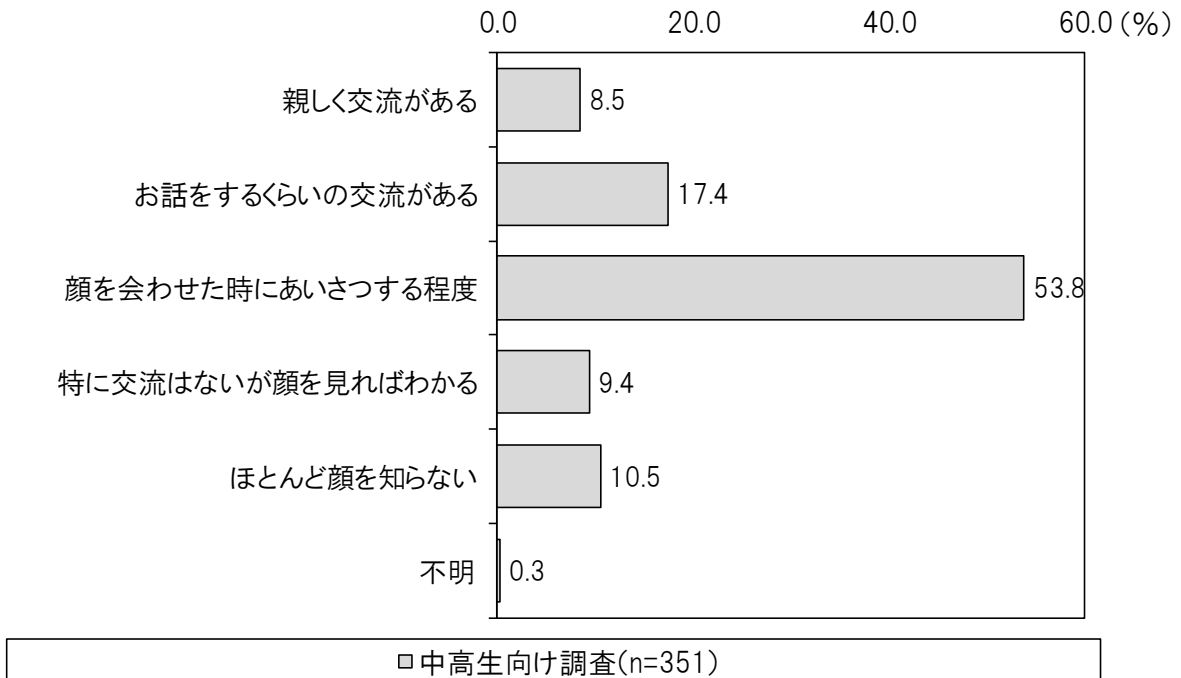


中高生向け調査 (n=351) 一般向け調査 (n=1,645)

現在、どのような近所（徒歩5分程度の範囲）付き合いをしていますか。（○は1つ）

< 中高生向け調査：問5、一般向け調査：問 10 >

< 中高生向け調査 >

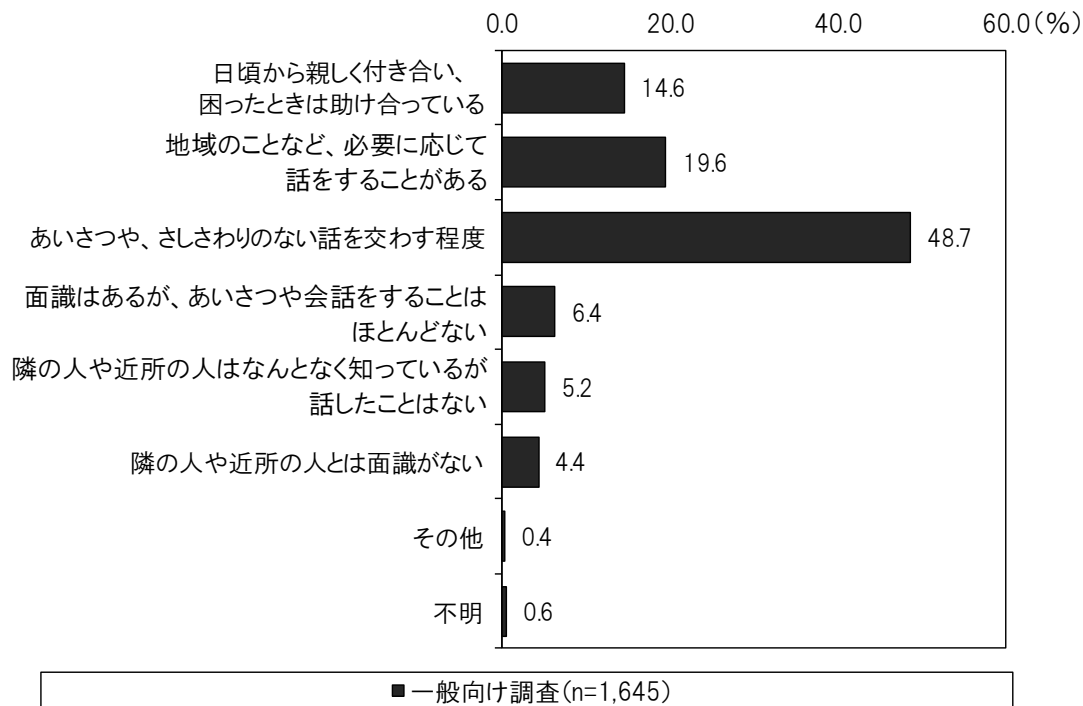


地区別にみると、すべての地区で「顔を会わせた時にあいさつする程度」が最も高くなっています。また、柳瀬地区で「親しく交流がある」と「お話をするくらいの交流がある」がそれぞれ5.0%未満と、他の地区に比べて低くなっています。

【地区別クロス】

(単位: %)	親しく交流がある	お話を交わら	程度にあいさつする時	かが特 に顔を 見れば ない	らほと んど 顔を 知	不明
所沢地区 (n=32)	9.4	15.6	50.0	9.4	15.6	0.0
松井地区 (n=27)	11.1	29.6	44.4	0.0	14.8	0.0
柳瀬地区 (n=28)	3.6	3.6	53.6	21.4	14.3	3.6
富岡地区 (n=26)	3.8	30.8	57.7	3.8	3.8	0.0
新所沢地区 (n=32)	12.5	9.4	50.0	15.6	12.5	0.0
新所沢東地区 (n=37)	5.4	8.1	64.9	10.8	10.8	0.0
三ヶ島地区 (n=27)	7.4	22.2	55.6	0.0	14.8	0.0
小手指地区 (n=61)	14.8	13.1	60.7	6.6	4.9	0.0
山口地区 (n=27)	14.8	22.2	51.9	11.1	0.0	0.0
吾妻地区 (n=26)	3.8	23.1	42.3	19.2	11.5	0.0
並木地区 (n=25)	0.0	28.0	48.0	8.0	16.0	0.0

<一般向け調査>



地区別にみると、すべての地区で「あいさつや、さしさわりのない話を交わす程度」が最も高くなっています。また、柳瀬地区で「日頃から親しく付き合い、困ったときは助け合っている」が1割未満と他の地区に比べて低くなっています。

【地区別クロス】

(単位: %)	日頃から親しく付き合い、困ったときは助け合っている	地域のことなど、必要に応じて話をすることがある	あいさつや、さしさわりのない話を交わす程度	面識はあるが、あいさつや会話をするのはほとんどない	隣の人や近所の人とはなんとなく知っているが話したことはない	隣の人や近所の人とは面識がない	その他	不明
所沢地区 (n=139)	12.2	12.9	50.4	10.8	7.2	5.8	0.7	0.0
松井地区 (n=155)	18.7	18.7	47.1	3.2	6.5	5.8	0.0	0.0
柳瀬地区 (n=152)	9.2	21.1	50.7	5.9	7.2	5.3	0.0	0.7
富岡地区 (n=152)	14.5	19.7	53.9	4.6	4.6	2.0	0.7	0.0
新所沢地区 (n=139)	11.5	17.3	49.6	9.4	5.8	4.3	1.4	0.7
新所沢東地区 (n=148)	12.2	22.3	45.3	5.4	6.1	7.4	0.0	1.4
三ヶ島地区 (n=152)	15.8	21.1	50.0	6.6	3.9	2.0	0.0	0.7
小手指地区 (n=158)	15.8	19.6	47.5	7.6	3.2	5.1	0.6	0.6
山口地区 (n=151)	18.5	25.2	44.4	3.3	3.3	4.6	0.0	0.7
吾妻地区 (n=149)	12.1	21.5	49.0	8.1	4.0	3.4	1.3	0.7
並木地区 (n=129)	20.9	14.0	47.3	7.0	7.0	3.1	0.0	0.8

年代別にみると、80歳以上を除くすべての年代で「あいさつや、さしさわりのない話を交わす程度」が最も高くなっています。また、年代が上がるにつれて「日頃から親しく付き合い、困ったときは助け合っている」と「地域のことなど、必要に応じて話をすることがある」が高くなる傾向にあります。

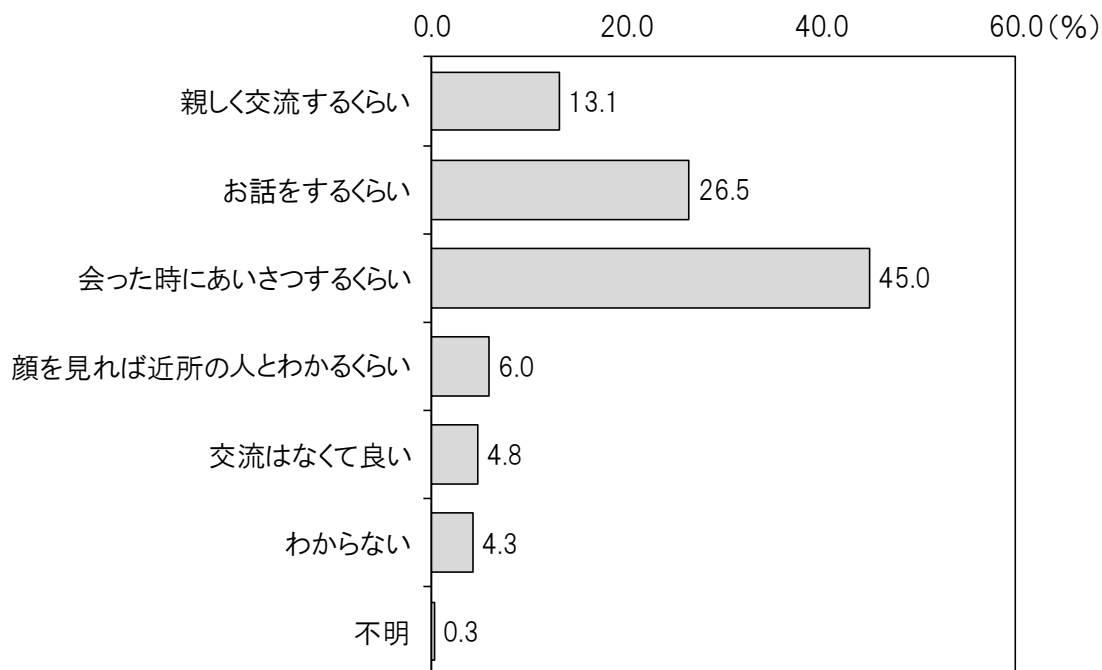
【年代別クロス】

(単位: %)	日頃からは助け合っている	地域のことなど、必要に応じて話をする	あいさつや、さしさわりのない話を交わす程度	面識はあるが、あいさつや会話をすることはほとんどない	隣の人や近所の人とはなんとなく話したことはない	隣の人や近所の人とは面識がない	その他	不明
19・20歳代(n=188)	6.4	4.8	50.0	10.1	11.2	16.5	1.1	0.0
30歳代(n=239)	10.5	10.5	50.2	8.4	10.5	8.8	0.4	0.8
40歳代(n=314)	10.8	15.6	53.5	10.5	6.7	2.5	0.0	0.3
50歳代(n=254)	10.2	22.8	56.7	4.3	2.4	2.0	0.8	0.8
60歳代(n=271)	17.3	29.2	44.3	5.2	2.2	1.1	0.4	0.4
70歳代(n=347)	25.1	26.8	41.2	2.6	2.0	1.2	0.3	0.9
80歳以上(n=15)	40.0	33.3	26.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

近所付き合いについて、今後どうしたいと思いますか。（〇は1つ）

＜中高生向け調査：問6、一般向け調査：問11＞

＜中高生向け調査＞



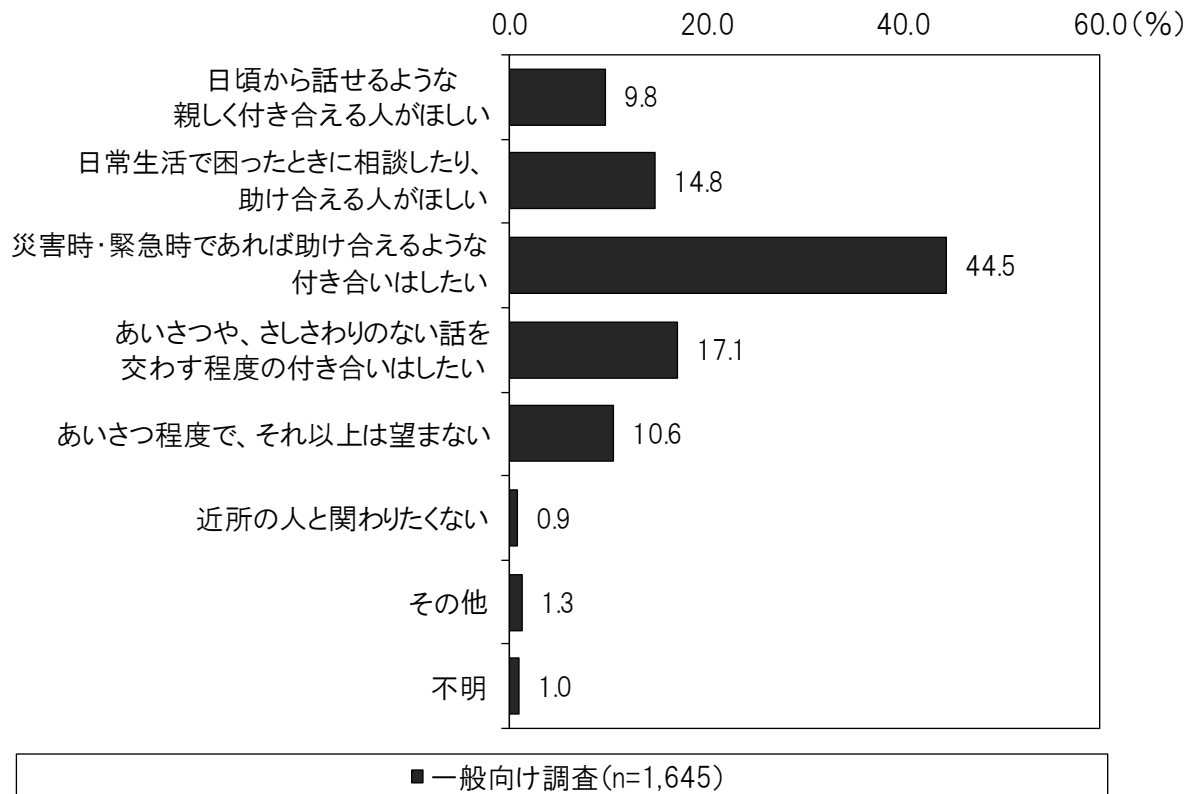
□ 中高生向け調査(n=351)

地区別にみると、松井地区と三ヶ島地区で「お話をするくらい」が最も高くなっています。その他の地区では、「会った時にあいさつするくらい」が最も高くなっています。

【地区別クロス】

(単位: %)	く親らしく交流する	いお話をするくらい	さ会つたときにあい	らの顔を見れば近所	い交流はなくて良い	わからない	不明
所沢地区(n=32)	9.4	31.3	43.8	3.1	6.3	6.3	0.0
松井地区(n=27)	18.5	40.7	22.2	7.4	11.1	0.0	0.0
柳瀬地区(n=28)	10.7	17.9	46.4	10.7	3.6	7.1	3.6
富岡地区(n=26)	15.4	19.2	34.6	11.5	7.7	11.5	0.0
新所沢地区(n=32)	18.8	15.6	46.9	9.4	6.3	3.1	0.0
新所沢東地区(n=37)	10.8	16.2	56.8	8.1	5.4	2.7	0.0
三ヶ島地区(n=27)	11.1	40.7	37.0	0.0	3.7	7.4	0.0
小手指地区(n=61)	16.4	26.2	52.5	3.3	0.0	1.6	0.0
山口地区(n=27)	7.4	33.3	44.4	3.7	7.4	3.7	0.0
吾妻地区(n=26)	15.4	30.8	38.5	11.5	3.8	0.0	0.0
並木地区(n=25)	8.0	24.0	56.0	0.0	4.0	8.0	0.0

<一般向け調査>



地区別にみると、すべての地区で「災害時・緊急時であれば助け合えるような付き合いはしたい」が最も高くなっています。

【地区別クロス】

(単位: %)	日頃から話せる人がほしい	日常生活で困ったときに助け合える人がほしい	災害時・緊急時であれば助け合えるような付き合いはしたい	あいさつや、さしさわりのない話を交わす程度の付き合いはしたい	あいさつ程度で、それ以上は望まない	近所の人と関わりたくない	その他	不明
所沢地区 (n=139)	8.6	13.7	44.6	17.3	11.5	0.7	2.9	0.7
松井地区 (n=155)	9.7	17.4	38.1	19.4	11.6	0.6	1.9	1.3
柳瀬地区 (n=152)	8.6	14.5	46.7	16.4	11.2	0.0	0.0	2.6
富岡地区 (n=152)	9.2	12.5	42.8	21.1	11.2	2.0	0.7	0.7
新所沢地区 (n=139)	5.0	16.5	43.2	23.7	10.1	0.7	0.0	0.7
新所沢東地区 (n=148)	8.8	14.9	44.6	16.9	10.8	1.4	1.4	1.4
三ヶ島地区 (n=152)	8.6	17.8	50.0	15.1	5.9	0.0	2.0	0.7
小手指地区 (n=158)	12.0	12.0	44.9	19.0	9.5	0.6	1.3	0.6
山口地区 (n=151)	9.9	16.6	45.7	13.2	9.3	3.3	1.3	0.7
吾妻地区 (n=149)	12.8	12.8	49.0	10.7	11.4	0.7	2.0	0.7
並木地区 (n=129)	14.7	14.0	39.5	15.5	14.7	0.0	0.8	0.8

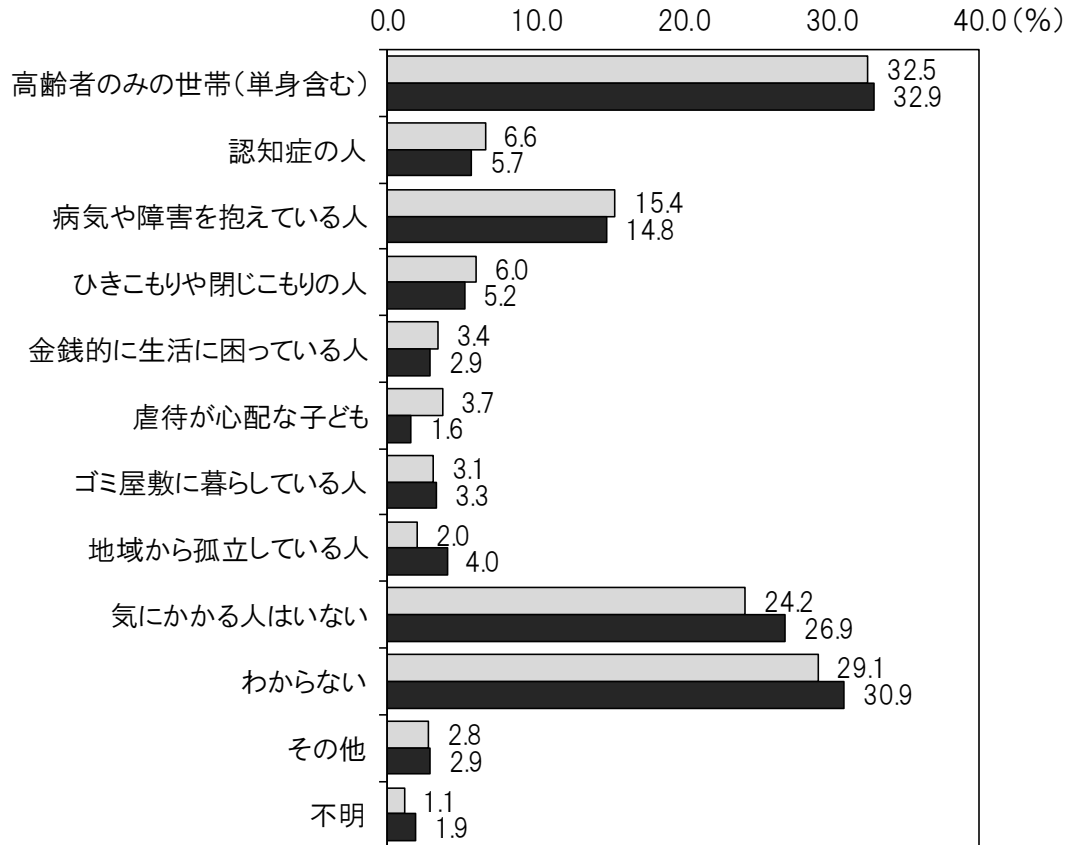
年代別にみると、すべての年代で「災害時・緊急時であれば助け合えるような付き合いはしたい」が最も高くなっています。また、19・20歳代で「あいさつ程度で、それ以上は望まない」が2割台と、他の年代に比べて高くなっています。

【年代別クロス】

(単位: %)	き日 合頃 えから る人が 話せる 人がほ しいよ うな親 しく付	た日 常生 活で困 ったと きほに 相談し	え災 害時 ・緊急 時であ れば助 け合	た話を 交わす 程度の 付き合 いはし ない	まあい さつ程 度で、 それ以 上は望 まない	近所 の人と 関わり たくない	その他	不明
19・20歳代(n=188)	6.9	11.2	42.0	14.9	21.3	2.1	1.6	0.0
30歳代(n=239)	7.5	15.1	39.7	19.7	15.1	1.7	0.0	1.3
40歳代(n=314)	10.2	14.3	44.9	20.1	8.9	0.3	1.0	0.3
50歳代(n=254)	8.3	14.6	50.0	16.5	7.9	1.2	0.8	0.8
60歳代(n=271)	11.4	13.3	49.1	14.8	8.9	0.4	1.1	1.1
70歳代(n=347)	12.7	17.6	40.3	16.7	7.2	0.6	2.9	2.0
80歳以上(n=15)	6.7	20.0	66.7	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0

あなたの近所や地域には、次のような気にかかる人（支援が必要そうな人）がいますか。
 (〇はいくつでも)

<中高生向け調査:問7、一般向け調査:問12>



□ 中高生向け調査(n=351)

■ 一般向け調査(n=1,645)

地区別にみると、中高生向け調査では富岡地区と新所沢東地区で「気にかかる人はいない」が、所沢地区、松井地区、山口地区、吾妻地区で「わからない」がそれぞれ最も高くなっています。また、所沢地区で「金銭的に生活に困っている人」が1割台と他の地区に比べて高くなっています。

一般向け調査では松井地区で「気にかかる人はいない」が、所沢地区、柳瀬地区、新所沢地区、新所沢東地区で「わからない」が、それぞれ最も高くなっています。また、並木地区で「認知症の人」が1割台、「病気や障害を抱えている人」が2割台と、それぞれ他の地区に比べて高くなっています。

【地区別クロス】

<中高生向け調査>

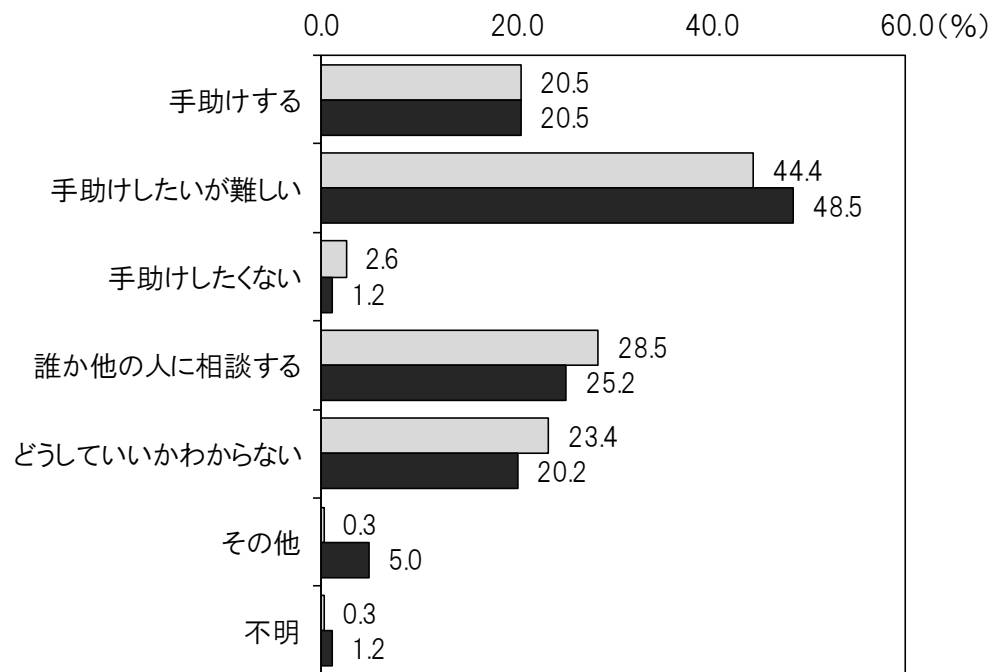
(単位: %)	高齢者のみの世帯(単身含む)	認知症の人	病気や障害を抱えている人	ひきこもりや閉じこもりの人	金銭的に生活に困っている人	虐待が心配な子ども	ゴミ屋敷に暮らしている人	地域から孤立している人	気にかかる人はいない	わからない	その他	不明
所沢地区(n=32)	18.8	3.1	15.6	12.5	15.6	6.3	0.0	6.3	21.9	37.5	0.0	0.0
松井地区(n=27)	29.6	3.7	14.8	0.0	0.0	0.0	7.4	0.0	22.2	33.3	3.7	0.0
柳瀬地区(n=28)	32.1	0.0	7.1	3.6	0.0	0.0	3.6	3.6	28.6	25.0	3.6	3.6
富岡地区(n=26)	23.1	15.4	11.5	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	38.5	34.6	0.0	0.0
新所沢地区(n=32)	37.5	6.3	15.6	3.1	0.0	0.0	9.4	0.0	21.9	21.9	0.0	3.1
新所沢東地区(n=37)	21.6	8.1	13.5	10.8	5.4	2.7	0.0	2.7	32.4	27.0	8.1	0.0
三ヶ島地区(n=27)	48.1	0.0	11.1	7.4	0.0	3.7	7.4	0.0	14.8	22.2	0.0	0.0
小手指地区(n=61)	41.0	13.1	26.2	3.3	3.3	6.6	0.0	0.0	24.6	23.0	4.9	0.0
山口地区(n=27)	29.6	0.0	14.8	3.7	0.0	3.7	0.0	3.7	18.5	40.7	3.7	3.7
吾妻地区(n=26)	30.8	3.8	7.7	3.8	0.0	3.8	0.0	0.0	26.9	30.8	0.0	3.8
並木地区(n=25)	40.0	12.0	16.0	16.0	8.0	8.0	4.0	4.0	12.0	36.0	4.0	0.0

<一般向け調査>

(単位: %)	高齢者のみの世帯(単身含む)	認知症の人	病気や障害を抱えている人	ひきこもりや閉じこもりの人	金銭的に生活に困っている人	虐待が心配な子ども	ゴミ屋敷に暮らしている人	地域から孤立している人	気にかかる人はいない	わからない	その他	不明
所沢地区(n=139)	31.7	4.3	12.2	5.0	3.6	2.2	1.4	2.9	28.8	32.4	2.2	2.2
松井地区(n=155)	29.0	4.5	12.3	3.9	0.6	1.9	3.9	4.5	34.2	28.4	1.9	1.3
柳瀬地区(n=152)	25.7	4.6	14.5	3.3	3.3	0.7	3.3	3.3	28.9	33.6	4.6	2.6
富岡地区(n=152)	33.6	6.6	12.5	4.6	0.7	2.6	1.3	6.6	23.0	32.9	3.9	0.7
新所沢地区(n=139)	33.1	7.2	15.8	5.0	2.9	2.2	1.4	5.0	21.6	36.0	2.9	2.2
新所沢東地区(n=148)	28.4	4.1	13.5	4.7	4.7	1.4	1.4	2.0	30.4	37.2	0.0	2.7
三ヶ島地区(n=152)	35.5	3.3	14.5	8.6	1.3	1.3	3.9	4.6	27.0	27.6	5.9	1.3
小手指地区(n=158)	34.8	5.7	14.6	2.5	1.9	1.3	5.1	3.8	25.9	27.8	1.9	3.2
山口地区(n=151)	33.8	5.3	18.5	7.3	3.3	0.0	2.6	1.3	29.1	25.2	2.0	2.6
吾妻地区(n=149)	35.6	8.1	13.4	5.4	2.7	3.4	6.0	4.0	28.2	27.5	3.4	0.7
並木地区(n=129)	42.6	10.1	20.9	7.8	7.0	0.8	7.0	5.4	17.1	28.7	3.1	1.6

近所や地域の方が加齢、障害、病気などで生活上の困りごとを抱えていることが分かった場合、あなたはどうしますか(どう考えますか)。(〇はいくつでも)

<中高生向け調査:問8、一般向け調査:問13>



□ 中高生向け調査(n=351)

■ 一般向け調査(n=1,645)

地区別にみると、中高生向け調査では新所沢地区で「どうしていいかわからない」が、三ヶ島地区で「手助けしたいが難しい」と「誰か他の人に相談する」が、小手指地区で「誰か他の人に相談する」が、それぞれ最も高くなっています。

一般向け調査ではすべての地区で「手助けしたいが難しい」が最も高くなっています。また、並木地区で「誰か他の人に相談する」が3割台と、他の地区に比べて高くなっています。

【地区別クロス】

<中高生向け調査>

(単位: %)	手助けする	手助けしたいが難しい	手助けしたくない	誰か他の人に相談する	どうしていいかわからない	その他	不明
所沢地区 (n=32)	25.0	53.1	3.1	25.0	18.8	0.0	0.0
松井地区 (n=27)	14.8	37.0	7.4	22.2	33.3	0.0	0.0
柳瀬地区 (n=28)	10.7	50.0	0.0	25.0	17.9	0.0	3.6
富岡地区 (n=26)	19.2	42.3	0.0	34.6	26.9	3.8	0.0
新所沢地区 (n=32)	21.9	34.4	3.1	9.4	40.6	0.0	0.0
新所沢東地区 (n=37)	18.9	51.4	2.7	18.9	21.6	0.0	0.0
三ヶ島地区 (n=27)	0.0	48.1	3.7	48.1	18.5	0.0	0.0
小手指地区 (n=61)	32.8	39.3	0.0	41.0	21.3	0.0	0.0
山口地区 (n=27)	18.5	44.4	0.0	40.7	33.3	0.0	0.0
吾妻地区 (n=26)	23.1	42.3	3.8	23.1	15.4	0.0	0.0
並木地区 (n=25)	24.0	52.0	4.0	20.0	8.0	0.0	0.0

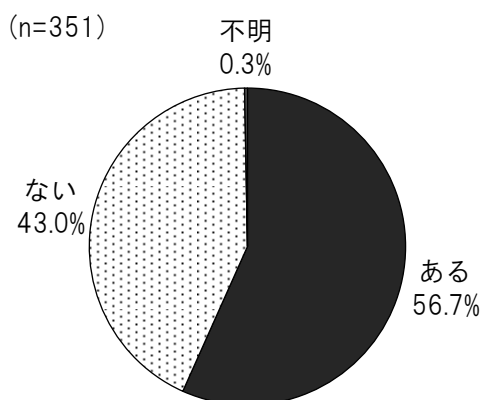
<一般向け調査>

(単位: %)	手助けする	手助けしたいが難しい	手助けしたくない	誰か他の人に相談する	どうしていいかわからない	その他	不明
所沢地区 (n=139)	20.1	56.1	0.7	24.5	13.7	3.6	0.0
松井地区 (n=155)	21.3	47.7	0.0	28.4	20.6	7.1	0.0
柳瀬地区 (n=152)	20.4	52.0	0.7	26.3	18.4	3.3	0.7
富岡地区 (n=152)	19.7	50.0	2.0	18.4	24.3	5.3	1.3
新所沢地区 (n=139)	16.5	50.4	1.4	19.4	25.2	2.2	0.7
新所沢東地区 (n=148)	16.2	43.9	2.0	27.7	20.3	8.8	1.4
三ヶ島地区 (n=152)	23.7	48.7	1.3	23.7	19.1	3.9	1.3
小手指地区 (n=158)	19.0	45.6	1.3	29.7	17.7	5.7	1.3
山口地区 (n=151)	25.2	45.7	2.0	23.8	23.8	4.6	0.7
吾妻地区 (n=149)	26.8	43.6	0.7	20.1	22.1	5.4	1.3
並木地区 (n=129)	17.1	48.1	0.8	37.2	15.5	5.4	3.9

3. 地域での福祉活動について

あなたは、福祉活動やボランティア活動に参加したことがありますか。(〇は1つ)

<中高生向け調査:問9>



地区別にみると、柳瀬地区、富岡地区、小手指地区を除いて「ある」が「ない」を上回っています(富岡地区は同数)。

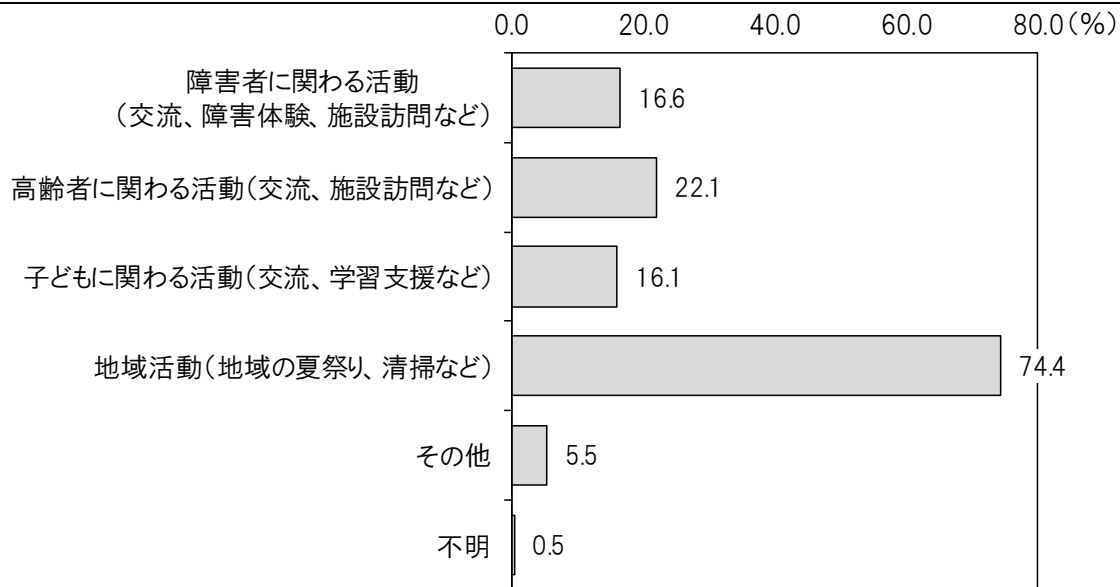
【地区別クロス】

(単位: %)	ある	ない	不明
所沢地区(n=32)	71.9	28.1	0.0
松井地区(n=27)	63.0	37.0	0.0
柳瀬地区(n=28)	46.4	50.0	3.6
富岡地区(n=26)	50.0	50.0	0.0
新所沢地区(n=32)	68.8	31.3	0.0
新所沢東地区(n=37)	59.5	40.5	0.0
三ヶ島地区(n=27)	51.9	48.1	0.0
小手指地区(n=61)	42.6	57.4	0.0
山口地区(n=27)	66.7	33.3	0.0
吾妻地区(n=26)	61.5	38.5	0.0
並木地区(n=25)	52.0	48.0	0.0

中高生向け調査問9で、福祉活動やボランティア活動に参加したことが「ある」と回答した方にお聞きします。

どのような活動に参加しましたか。(〇はいくつでも)

<中高生向け調査:問10>



□ 中高生向け調査(n=199)

地区別にみると、すべての地区で「地域活動」が最も高くなっており、三ヶ島地区では「障害者に関わる活動」も高くなっています。

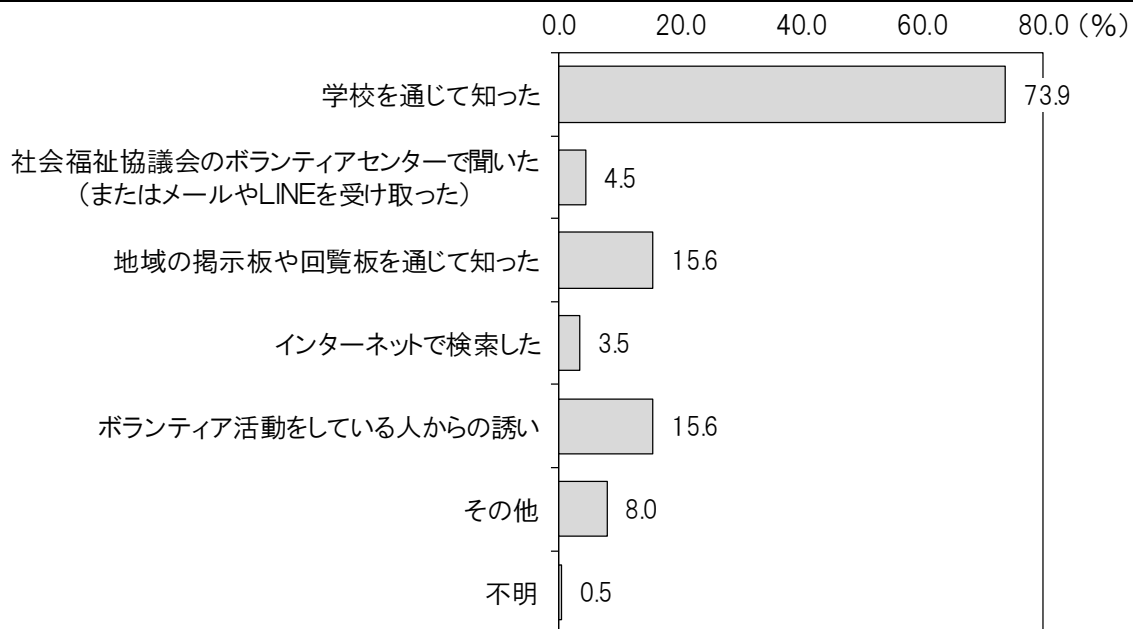
【地区別クロス】

(単位: %)	障害者に関わる活動	高齢者に関わる活動	子どもに関わる活動	地域活動	その他	不明
所沢地区 (n=23)	4.3	13.0	8.7	91.3	4.3	0.0
松井地区 (n=17)	11.8	17.6	5.9	82.4	0.0	0.0
柳瀬地区 (n=13)	15.4	46.2	23.1	69.2	7.7	0.0
富岡地区 (n=13)	15.4	46.2	0.0	61.5	7.7	7.7
新所沢地区 (n=22)	0.0	27.3	9.1	90.9	4.5	0.0
新所沢東地区 (n=22)	22.7	9.1	22.7	63.6	4.5	0.0
三ヶ島地区 (n=14)	50.0	35.7	35.7	50.0	0.0	0.0
小手指地区 (n=26)	30.8	15.4	19.2	50.0	15.4	0.0
山口地区 (n=18)	11.1	16.7	11.1	94.4	0.0	0.0
吾妻地区 (n=16)	6.3	6.3	18.8	81.3	6.3	0.0
並木地区 (n=13)	23.1	38.5	23.1	76.9	7.7	0.0

中高生向け調査問9で、福祉活動やボランティア活動に参加したことが「ある」と回答した方にお聞きします。

その活動に関する情報はどのように知りましたか。(〇はいくつでも)

<中高生向け調査:問 11>



□ 中高生向け調査(n=199)

地区別にみると、すべての地区で「学校を通じて知った」が最も高くなっており、新所沢東地区では「地域の掲示板や回覧板を通じて知った」も高くなっています。

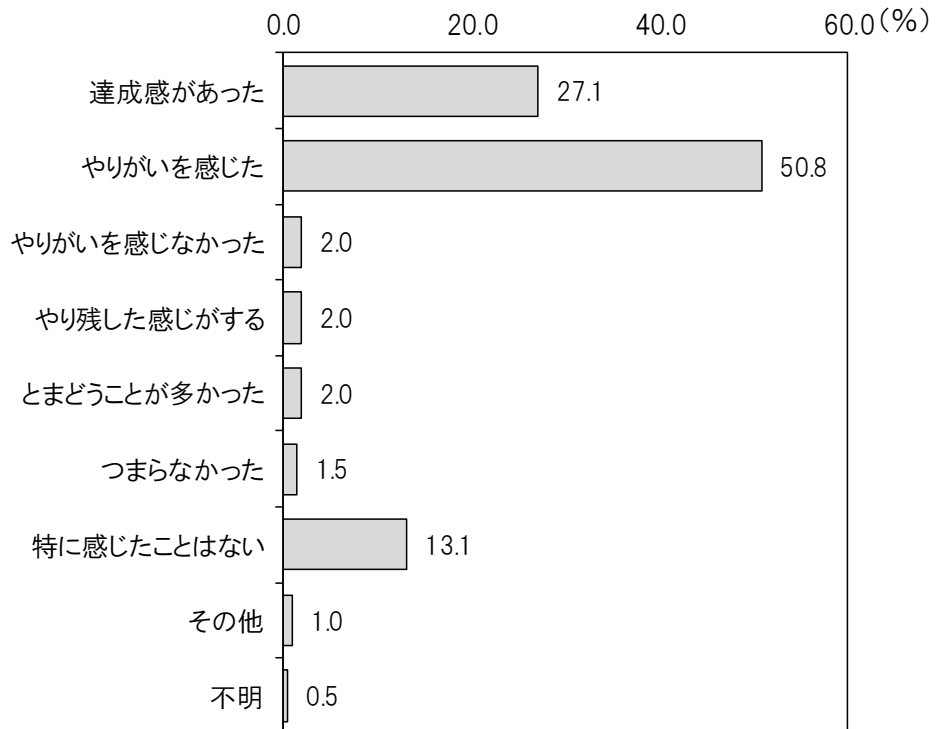
【地区別クロス】

(単位: %)	学校を通じて知った	社会福祉協議会のボランティアセンターで聞いた	地域の掲示板や回覧板を通じて知った	インターネットで検索した	ボランティア活動をしている人からの誘い	その他	不明
所沢地区 (n=23)	91.3	4.3	13.0	0.0	4.3	4.3	0.0
松井地区 (n=17)	82.4	0.0	5.9	5.9	17.6	5.9	0.0
柳瀬地区 (n=13)	76.9	23.1	23.1	0.0	23.1	15.4	0.0
富岡地区 (n=13)	53.8	0.0	30.8	0.0	23.1	15.4	7.7
新所沢地区 (n=22)	77.3	4.5	9.1	4.5	13.6	4.5	0.0
新所沢東地区 (n=22)	40.9	9.1	40.9	0.0	9.1	9.1	0.0
三ヶ島地区 (n=14)	92.9	0.0	7.1	0.0	14.3	0.0	0.0
小手指地区 (n=26)	57.7	3.8	23.1	15.4	19.2	19.2	0.0
山口地区 (n=18)	88.9	0.0	5.6	5.6	16.7	0.0	0.0
吾妻地区 (n=16)	81.3	0.0	6.3	0.0	18.8	6.3	0.0
並木地区 (n=13)	76.9	7.7	0.0	0.0	23.1	7.7	0.0

中高生向け調査問9で、福祉活動やボランティア活動に参加したことが「ある」と回答した方にお聞きします。

活動に参加してどう感じましたか。(〇は1つ)

<中高生向け調査:問12>

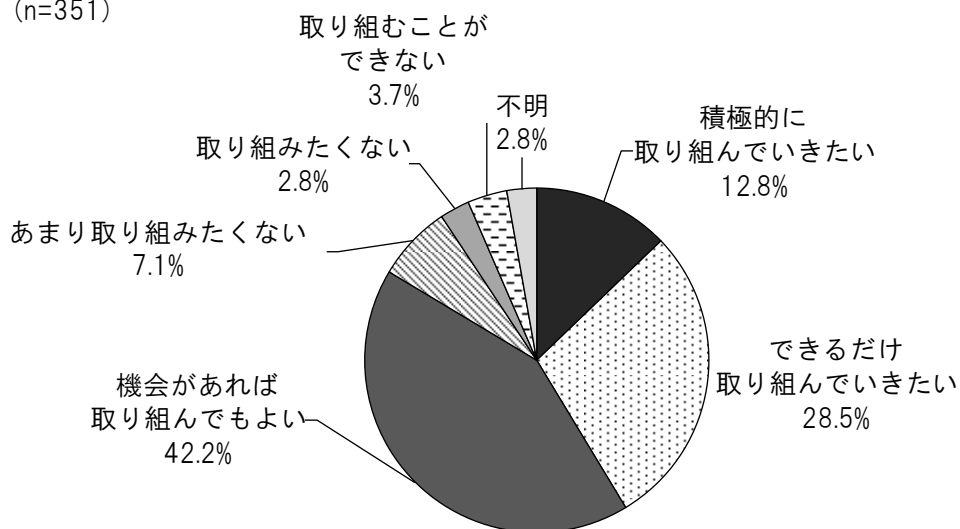


□ 中高生向け調査(n=199)

あなたは今後、ボランティア活動にどの程度取り組んでいきたいと考えるか。(〇は1つ)

<中高生向け調査:問13>

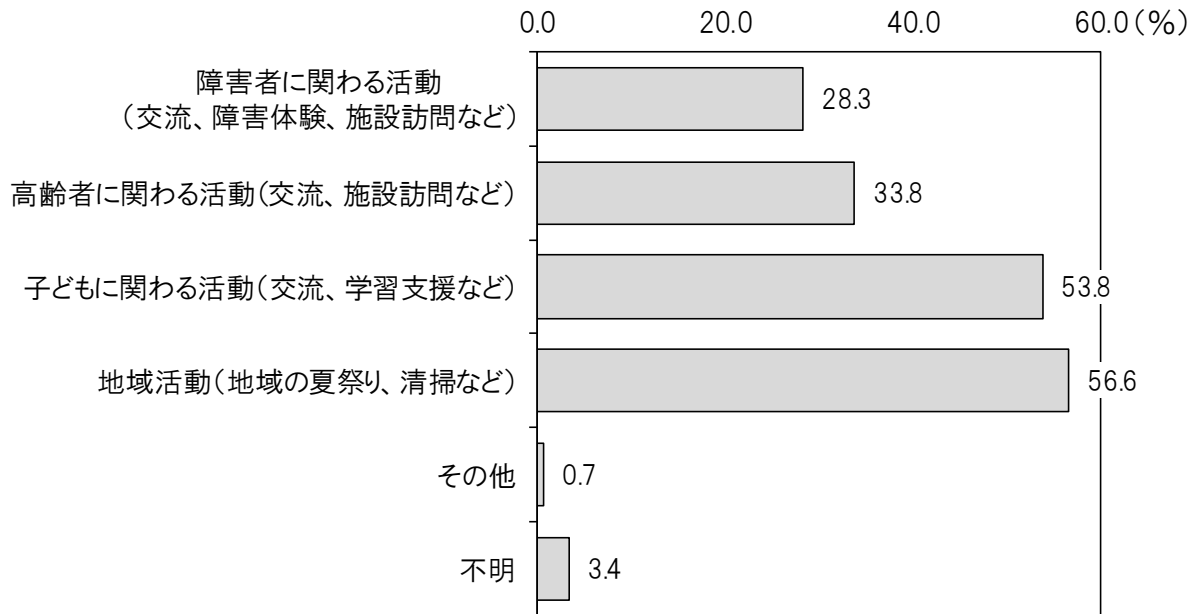
(n=351)



中高生向け調査問 13 で、「積極的に取り組んでいきたい」、「できるだけ取り組んでいきたい」と回答した方にお聞きします。

どのような活動に関心がありますか。(〇はいくつでも)

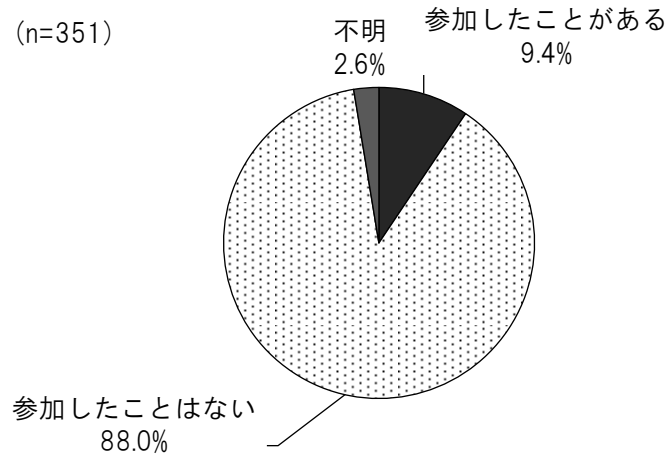
<中高生向け調査:問 14>



□ 中高生向け調査(n=145)

あなたは社会福祉協議会が行っている夏のボランティア体験など、一時的なボランティアに参加したことがありますか。(〇は1つ)

<中高生向け調査:問 15>



地区別にみると、すべての地区で「参加したことはない」が「参加したことがある」を上回っています。

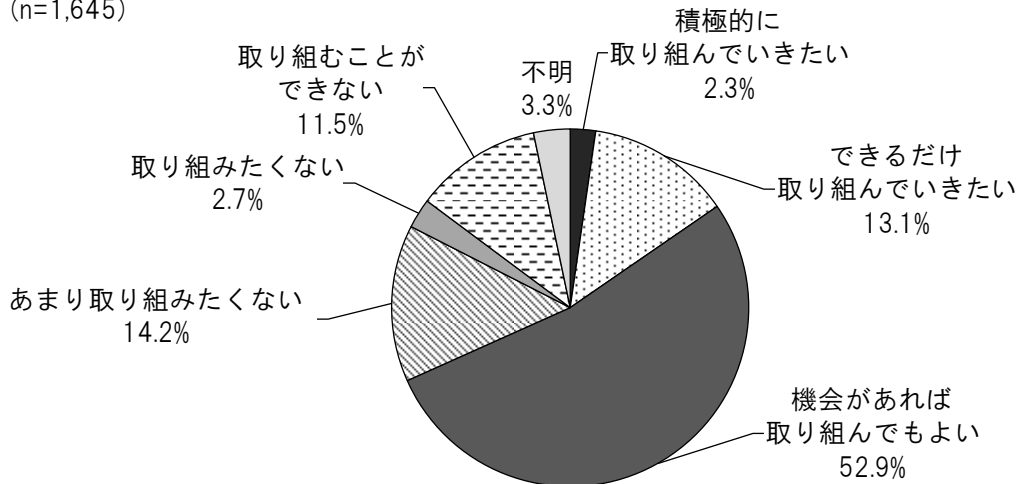
【地区別クロス】

(単位: %)	参加したことがある	参加したことはない	不明
所沢地区 (n=32)	18.8	81.3	0.0
松井地区 (n=27)	7.4	92.6	0.0
柳瀬地区 (n=28)	10.7	82.1	7.1
富岡地区 (n=26)	0.0	96.2	3.8
新所沢地区 (n=32)	15.6	81.3	3.1
新所沢東地区 (n=37)	10.8	86.5	2.7
三ヶ島地区 (n=27)	3.7	96.3	0.0
小手指地区 (n=61)	3.3	93.4	3.3
山口地区 (n=27)	14.8	85.2	0.0
吾妻地区 (n=26)	15.4	80.8	3.8
並木地区 (n=25)	8.0	88.0	4.0

あなたは、今後、地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動などに、どの程度取り組んでいきたいと考えますか。（〇は1つ）

<一般向け調査:問 14>

(n=1,645)



地区別にみると、すべての地区で「機会があれば取り組んでもよい」が最も高くなっています。

【地区別クロス】

(単位: %)	積極的に取り組んでいきたい	できるだけ取り組んでいきたい	機会があれば取り組んでもよい	あまり取り組みたくない	取り組みたくない	取り組むことができない	不明
所沢地区 (n=139)	0.0	17.3	47.5	15.1	1.4	15.1	3.6
松井地区 (n=155)	2.6	9.0	54.8	12.3	2.6	13.5	5.2
柳瀬地区 (n=152)	1.3	11.8	56.6	12.5	3.9	8.6	5.3
富岡地区 (n=152)	2.0	15.1	50.0	12.5	5.3	9.9	5.3
新所沢地区 (n=139)	2.2	10.8	59.7	13.7	1.4	10.8	1.4
新所沢東地区 (n=148)	2.0	11.5	53.4	18.9	2.7	8.8	2.7
三ヶ島地区 (n=152)	3.9	13.8	55.3	11.2	1.3	12.5	2.0
小手指地区 (n=158)	1.9	12.0	50.0	17.7	4.4	13.3	0.6
山口地区 (n=151)	3.3	14.6	47.0	19.2	2.6	9.9	3.3
吾妻地区 (n=149)	4.0	14.8	53.7	12.1	2.0	10.1	3.4
並木地区 (n=129)	2.3	14.0	59.7	10.1	1.6	10.9	1.6

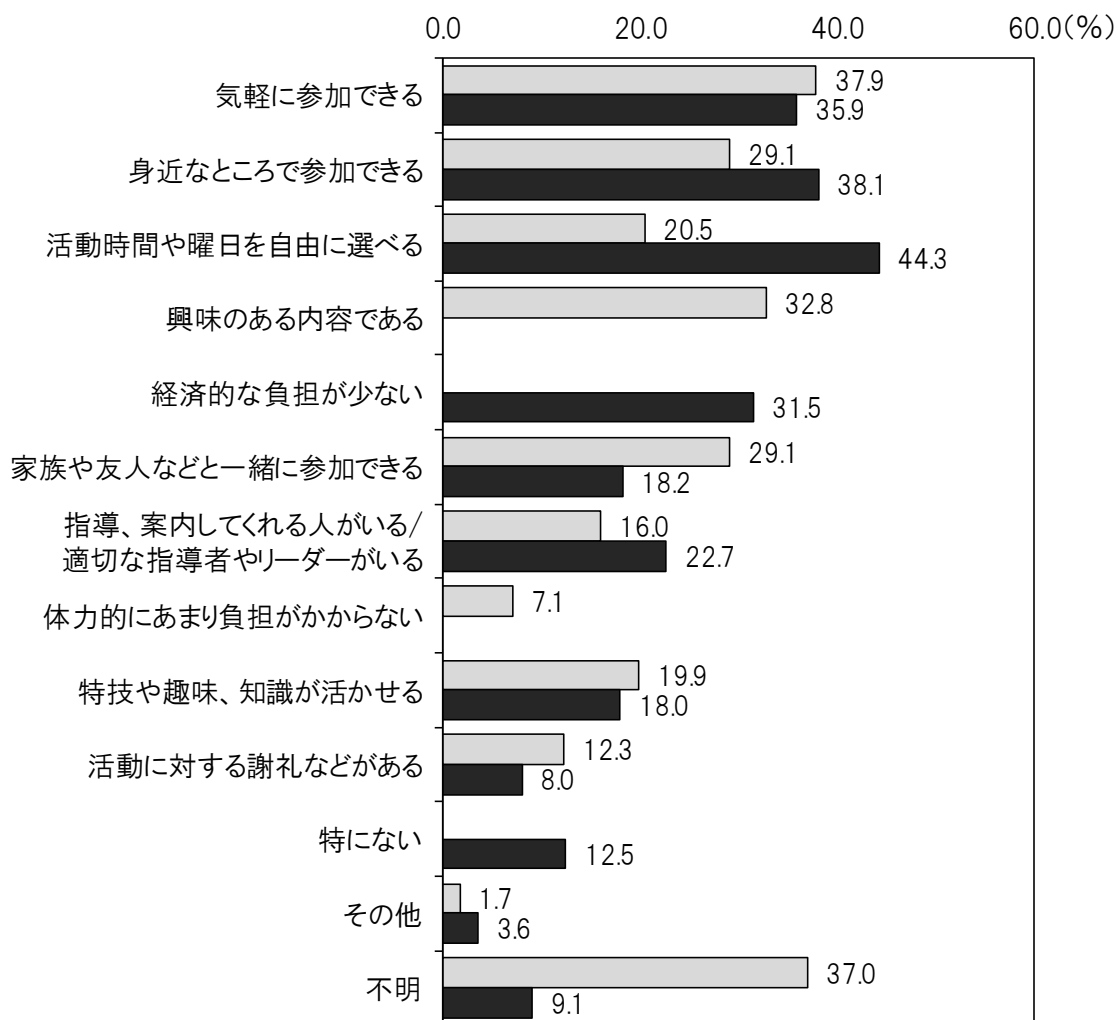
年代別にみると、すべての年代で「機会があれば取り組んでもよい」が最も高くなっています。また 50 歳以上で「できるだけ取り組んでいきたい」が年代が上がるにつれ高くなる傾向にあります。

【年代別クロス】

(単位：%)	積極的に取り組んでいきたい	できるだけ取り組んでいきたい	機会があれば取り組んでもよい	あまり取り組みたくない	取り組みたくない	取り組むことができない	不明
19・20歳代(n=188)	1.6	9.6	59.0	12.2	4.3	10.6	2.7
30歳代(n=239)	0.4	10.0	55.6	17.2	4.6	11.3	0.8
40歳代(n=314)	1.6	9.9	58.3	14.3	2.9	10.8	2.2
50歳代(n=254)	1.2	12.6	52.8	18.9	2.0	9.1	3.5
60歳代(n=271)	4.1	14.8	53.9	13.3	1.8	8.5	3.7
70歳代(n=347)	4.0	18.4	44.1	11.0	1.7	15.6	5.2
80歳以上(n=15)	0.0	20.0	46.7	0.0	0.0	33.3	0.0

これまでボランティア活動に参加したことのある方は、どのような条件であれば、今後も参加したいと思いますか。また、参加したことのない方は、どのような条件であれば参加したいと思いますか。（〇はいくつでも）

<中高生向け調査:問 16><一般向け調査:問 15>



□ 中高生向け調査(n=351)

■ 一般向け調査(n=1,645)

※中高生向け調査には選択肢「経済的な負担が少ない」「特にない」が、一般向け調査には選択肢「興味のある内容である」、「体力的にあまり負担がかからない」がありません。

地区別にみると、多くの地区で「活動時間や曜日を自由に選べる」が最も高くなっていますが、所沢地区で「身近なところで活動できる」が、松井地区で「身近なところで活動できる」と「活動時間や曜日を自由に選べる」が、柳瀬地区で「気軽に参加できる」が、それぞれ最も高くなっています。

年代別にみると、30歳代～60歳代で「活動時間や曜日を自由に選べる」が最も高くなっています。19・20歳代では「気軽に参加できる」が、70歳代で「身近なところで活動できる」が、それぞれ最も高くなっています。

<一般向け調査>

【地区別クロス】

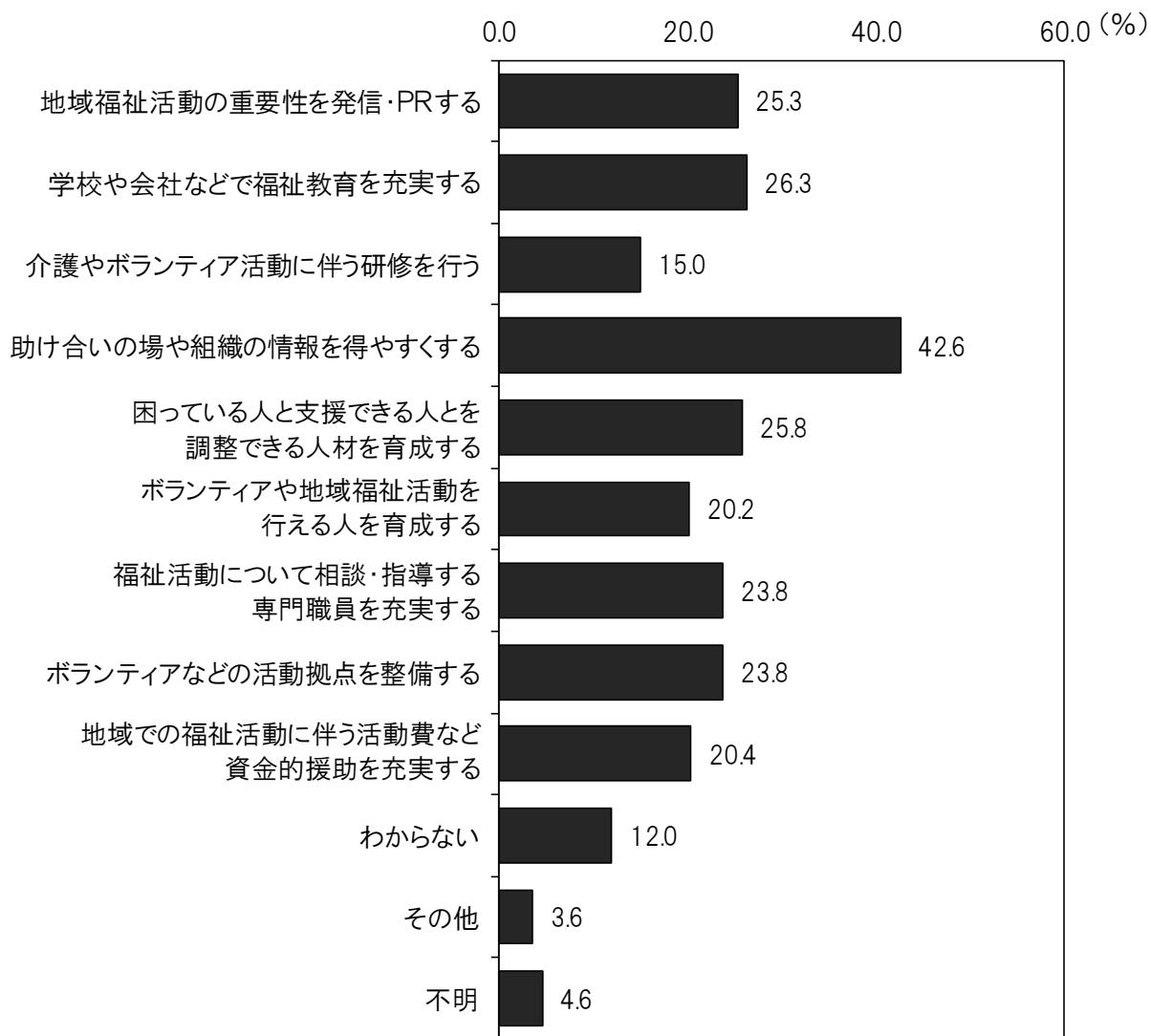
(単位: %)	気軽に参加できる	身近なところで参加できる	活動時間や曜日を自由に選べる	経済的な負担が少ない	家族や友人などと一緒に参加できる	適切な指導者やリーダーがいる	特技や趣味、知識が活かせる	活動に対する謝礼などがある	特にない	その他	不明
所沢地区 (n=139)	34.5	38.1	37.4	25.9	14.4	24.5	20.1	5.0	14.4	5.8	7.9
松井地区 (n=155)	36.8	45.2	45.2	29.0	21.9	21.3	16.8	9.7	11.0	0.6	11.6
柳瀬地区 (n=152)	36.8	35.5	35.5	36.2	21.7	19.1	21.1	12.5	12.5	2.0	13.2
富岡地区 (n=152)	30.3	40.8	43.4	27.6	14.5	15.8	15.1	5.9	13.2	3.9	13.2
新所沢地区 (n=139)	41.0	37.4	46.8	36.0	22.3	19.4	18.7	10.1	12.2	2.2	5.8
新所沢東地区 (n=148)	31.1	36.5	41.2	29.7	16.2	25.0	12.2	6.1	13.5	4.7	7.4
三ヶ島地区 (n=152)	31.6	34.2	46.1	31.6	21.1	27.6	21.7	5.9	11.8	5.3	7.2
小手指地区 (n=158)	36.1	42.4	51.3	26.6	19.6	19.0	15.2	5.7	12.7	4.4	5.7
山口地区 (n=151)	41.7	39.1	54.3	37.1	16.6	21.9	17.9	7.9	12.6	4.0	7.3
吾妻地区 (n=149)	38.3	36.9	40.3	30.9	13.4	25.5	21.5	10.7	12.8	2.7	8.7
並木地区 (n=129)	41.1	33.3	49.6	39.5	20.2	33.3	20.2	10.1	10.9	3.1	7.8

【年代別クロス】

(単位: %)	気軽に参加できる	身近なところで参加できる	活動時間や曜日を自由に選べる	経済的な負担が少ない	家族や友人などと一緒に参加できる	適切な指導者やリーダーがいる	特技や趣味、知識が活かせる	活動に対する謝礼などがある	特にない	その他	不明
19・20歳代 (n=188)	37.2	34.0	36.7	33.5	22.9	10.6	21.3	18.6	13.8	1.6	8.5
30歳代 (n=239)	40.6	36.4	49.4	37.7	24.7	24.3	19.7	16.7	14.2	4.6	7.1
40歳代 (n=314)	38.9	38.5	45.5	41.1	22.6	22.9	18.2	6.7	7.0	2.9	10.2
50歳代 (n=254)	35.0	37.0	50.4	33.5	12.2	22.4	15.4	5.5	15.4	2.8	5.5
60歳代 (n=271)	36.5	41.7	46.9	29.9	10.3	28.8	19.6	3.0	10.7	2.6	10.3
70歳代 (n=347)	30.8	39.5	39.2	18.7	17.3	23.6	16.4	4.0	14.7	5.8	10.7
80歳以上 (n=15)	20.0	26.7	33.3	20.0	40.0	26.7	13.3	0.0	20.0	6.7	0.0

地域における助け合い、支え合い活動を活発にするためには、どのようなことが大切だと思いますか。（〇はいくつでも）

<一般向け調査:問 16>



■ 一般向け調査(n=1,645)

年代別にみると、80歳以上を除くすべての年代で「助け合いの場や組織の情報を得やすくする」が最も高くなっています。

【年代別クロス】

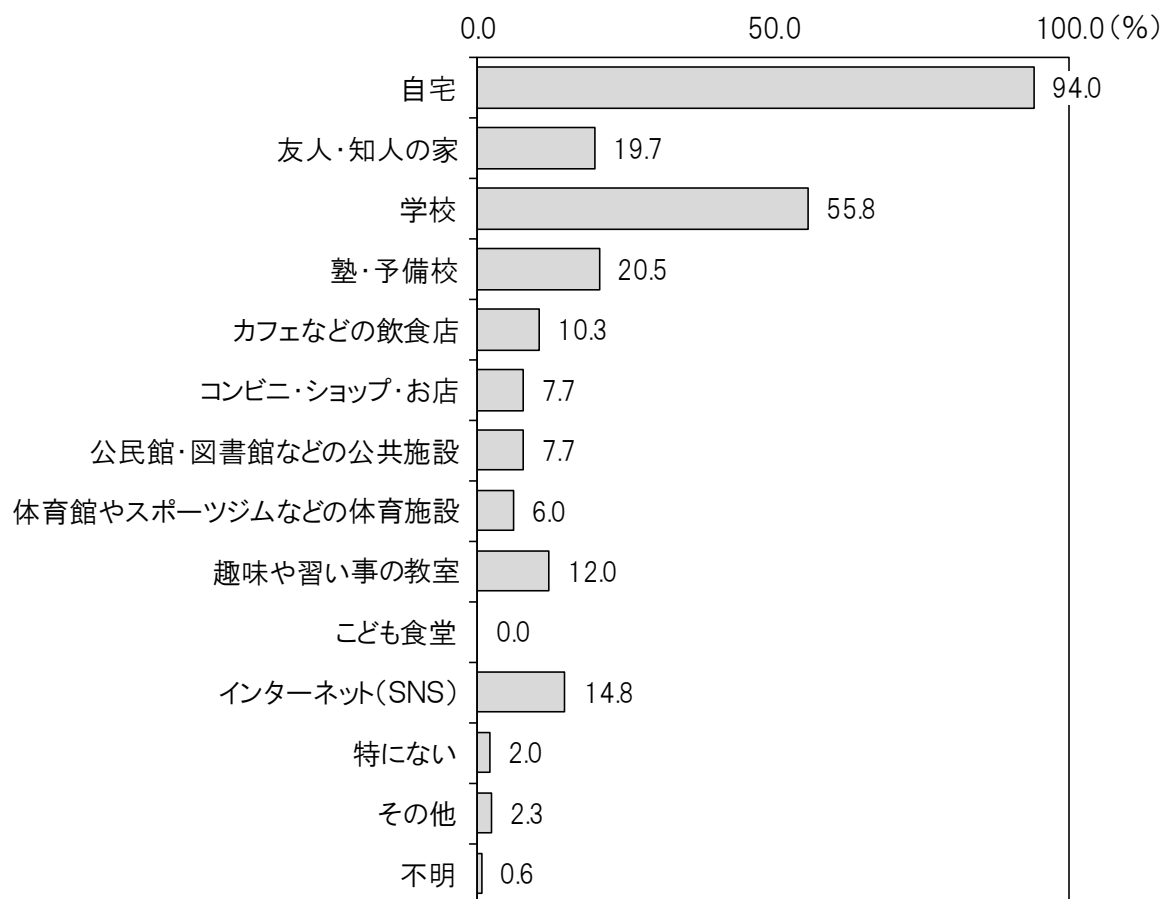
(単位: %)	地域福祉活動の重要性を発信・PRする	学校や会社などで福祉教育を充実する	介護やボランティア活動に伴う研修を行う	助け合いの場や組織の情報を得やすくする	困っている人と支援できる人とを調整できる人材を育成する	ボランティアや地域福祉活動を行える人を育成する	福祉活動について相談・指導する専門職員を充実する	ボランティアなどの活動拠点を整備する	地域での福祉活動に伴う活動費など資金的援助を充実する	わからない	その他	不明
19・20歳代(n=188)	23.9	27.7	11.7	40.4	21.8	13.8	12.2	26.1	21.3	13.8	4.8	3.2
30歳代(n=239)	23.8	31.0	14.2	43.5	28.9	18.0	24.7	23.8	27.2	12.6	5.9	0.8
40歳代(n=314)	22.0	32.2	14.0	42.0	30.3	20.4	26.1	24.5	18.2	9.9	4.5	3.5
50歳代(n=254)	22.0	25.2	14.6	44.1	28.0	23.6	21.7	26.4	22.8	12.2	2.0	3.1
60歳代(n=271)	27.3	24.0	16.6	49.4	24.7	22.9	25.5	22.5	21.0	11.4	3.3	5.2
70歳代(n=347)	29.7	19.9	16.7	38.3	22.5	20.5	27.7	21.3	15.9	13.0	1.7	8.4
80歳以上(n=15)	53.3	26.7	26.7	33.3	6.7	26.7	33.3	20.0	13.3	13.3	0.0	0.0

4. 居場所や相談場所について

あなたにとって「居場所」と感じられる場所は、どのようなところですか。(〇はいくつでも)

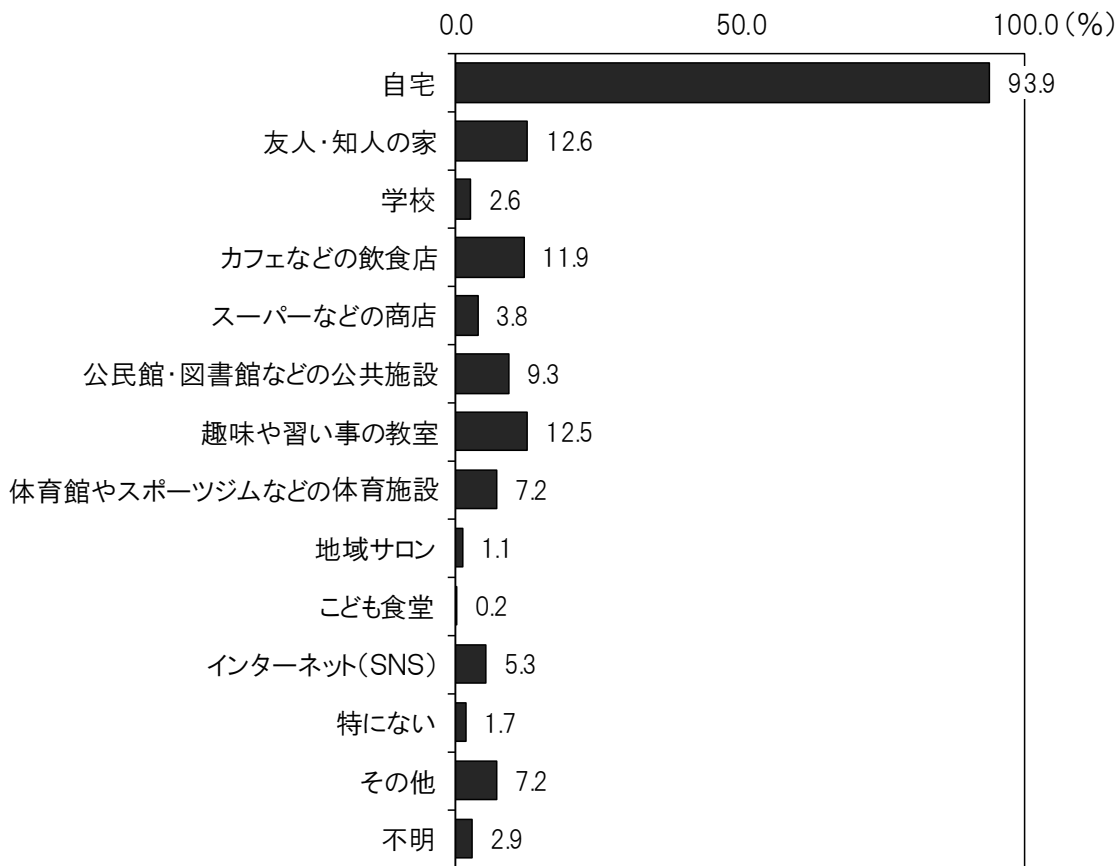
<中高生向け調査:問 17、一般向け調査:問 17>

<中高生向け調査>



□ 中高生向け調査(n=351)

<一般向け調査>



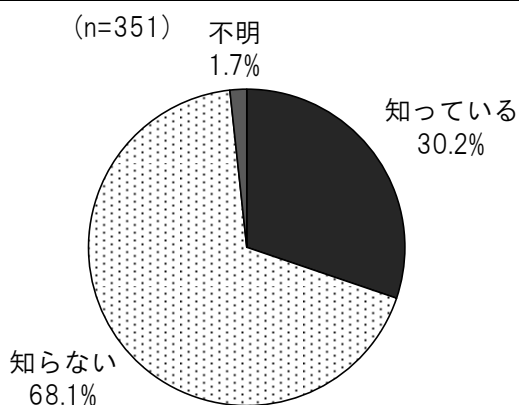
■一般向け調査 (n=1,645)

年代別にみると、すべての年代で「自宅」が最も高くなっています。また、19・20歳代から40歳代で「カフェなどの飲食店」、60歳代以上で「公民館・図書館などの公共施設」、「趣味や習い事の教室」、「体育館やスポーツジムなどの体育施設」がそれぞれ高い傾向にあります。また自宅以外の居場所の合計をみると、40歳代、50歳代で割合が低くなっています。

【年代別クロス】

(単位: %)	自宅	友人・知人の家	学校	カフェなどの飲食店	スーパーなどの商店	公民館・図書館などの公共施設	趣味や習い事の教室	ム体館やスポーツジムの体育施設	地域サロン	こども食堂	インターネット(SNS)	特にない	その他	不明	居場所の合計 【再掲】自宅以外の
19・20歳代 (n=188)	91.5	22.3	14.9	18.6	2.1	5.9	3.7	2.7	0.0	0.0	13.8	2.1	4.8	2.7	88.8
30歳代 (n=239)	96.2	18.0	1.7	15.1	3.8	6.3	5.4	5.9	0.8	0.4	8.4	1.3	12.1	0.4	77.9
40歳代 (n=314)	95.2	11.5	1.0	14.3	1.6	4.5	7.3	2.9	0.3	0.3	3.8	2.2	9.2	1.9	56.7
50歳代 (n=254)	94.5	7.9	0.4	9.4	3.9	3.9	7.9	5.9	1.2	0.0	4.3	0.0	8.7	3.5	53.5
60歳代 (n=271)	93.0	11.1	0.7	8.9	4.1	13.7	19.6	10.0	1.8	0.0	2.6	2.6	6.6	3.7	79.1
70歳代 (n=347)	93.7	8.9	1.2	8.4	5.8	17.6	24.2	12.4	1.7	0.3	3.5	1.7	2.6	3.5	86.6
80歳以上 (n=15)	100.0	26.7	6.7	6.7	26.7	20.0	13.3	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	126.8

平成 29 年 1 月、新所沢駅西口徒歩 5 分（泉町）のところに「所沢市子どもと福祉の未来館」がオープンしました。この施設を知っていますか。（○は 1 つ）〈中高生向け調査：問 18〉



地区別にみると、新所沢地区と新所沢東地区で「知っている」が「知らない」を上回っています。

年代別にみると、すべての年代で「知らない」が「知っている」を上回っています。

【地区別クロス】

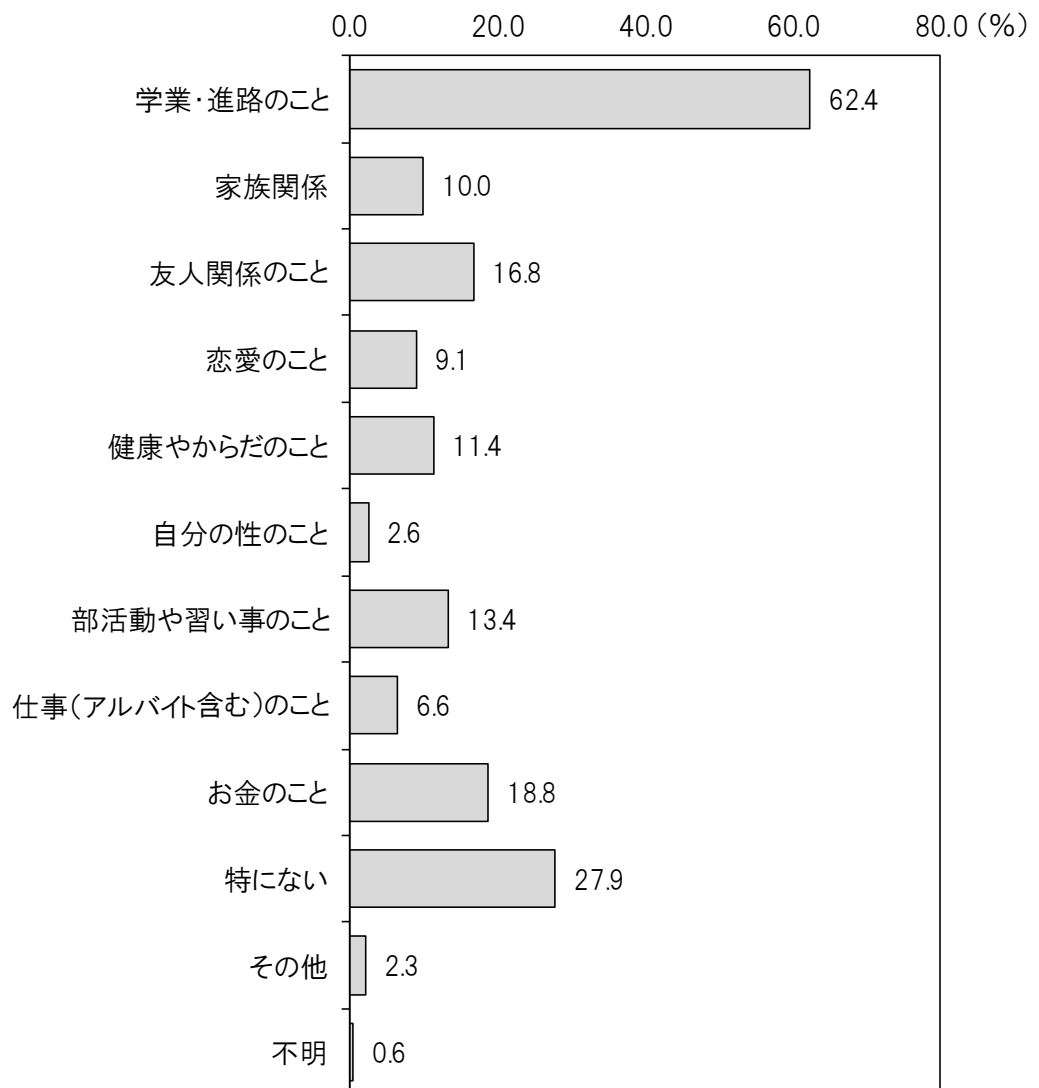
(単位: %)	知っている	知らない	不明
所沢地区 (n=32)	25.0	71.9	3.1
松井地区 (n=27)	14.8	85.2	0.0
柳瀬地区 (n=28)	10.7	89.3	0.0
富岡地区 (n=26)	34.6	57.7	7.7
新所沢地区 (n=32)	62.5	34.4	3.1
新所沢東地区 (n=37)	51.4	48.6	0.0
三ヶ島地区 (n=27)	7.4	92.6	0.0
小手指地区 (n=61)	36.1	63.9	0.0
山口地区 (n=27)	18.5	74.1	7.4
吾妻地区 (n=26)	26.9	73.1	0.0
並木地区 (n=25)	28.0	72.0	0.0

【年代別クロス】

(単位: %)	知っている	知らない	不明
14歳 (n=123)	32.5	65.0	2.4
15歳 (n=82)	25.6	74.4	0.0
16歳 (n=55)	32.7	61.8	5.5
17歳 (n=54)	35.2	64.8	0.0
18歳 (n=35)	22.9	77.1	0.0

あなたは、困っていることや悩んでいることがありますか。(〇はいくつでも)

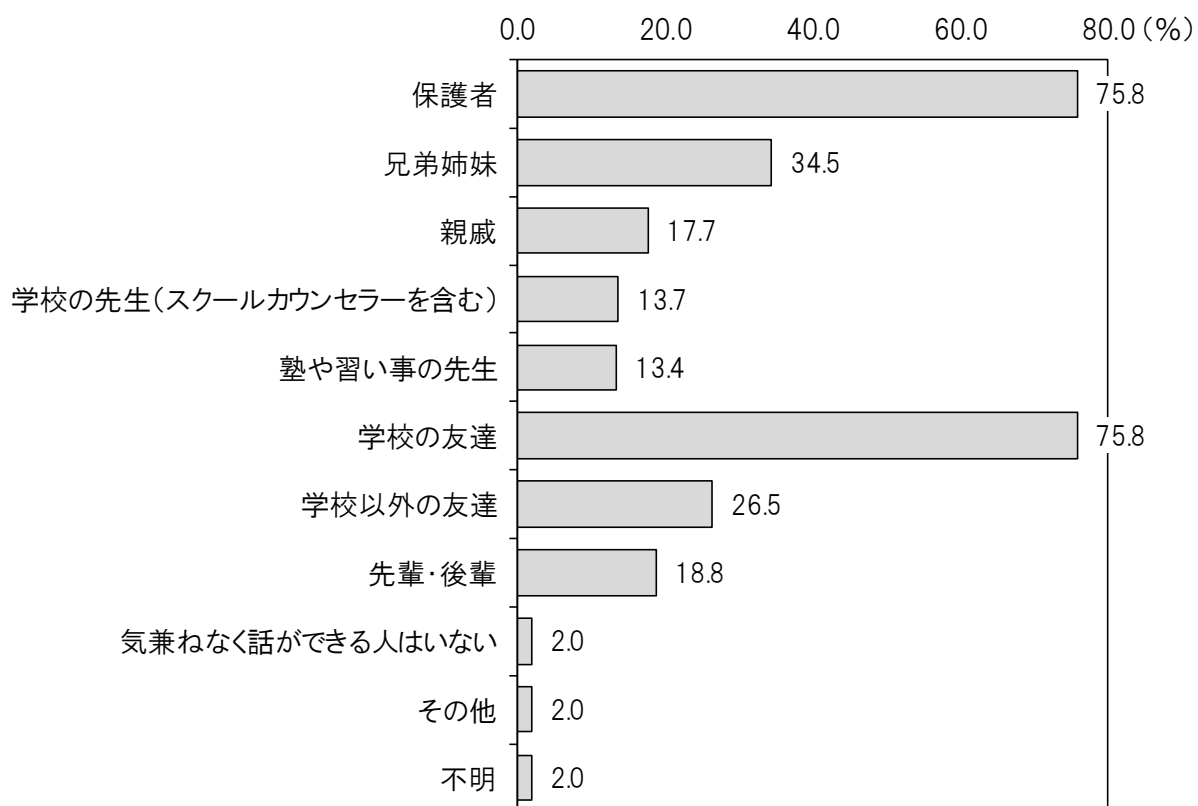
<中高生向け調査:問 19>



□ 中高生向け調査(n=351)

あなたにとって、気兼ねなく話ができる人は誰ですか。（〇はいくつでも）

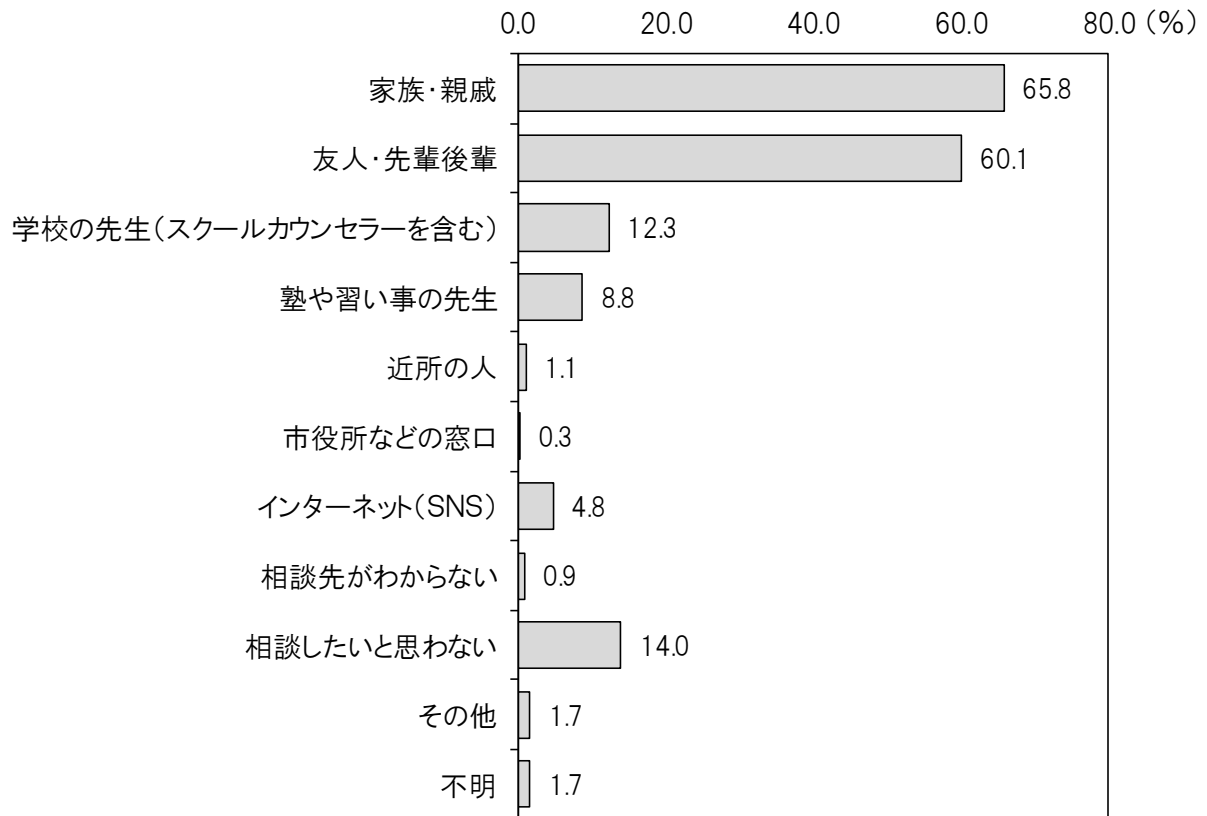
< 中高生向け調査: 問 20 >



□ 中高生向け調査(n=351)

あなたが普段困っていることや悩んでいることは、どこに相談していますか（しようと思えますか）。（〇はいくつでも）

< 中高生向け調査: 問 21 >

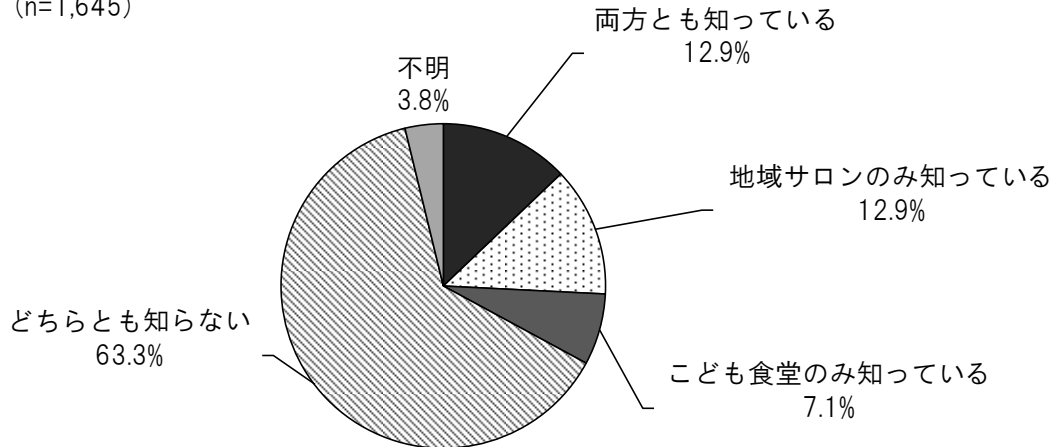


□ 中高生向け調査(n=351)

子どもから大人まで気軽に集い、交流する場所として、地域の人あるいは民間団体が運営する「地域サロン」や「こども食堂」があります。このような場所が市内にあることを知っていますか。（〇は1つ）

<一般向け調査:問 18>

(n=1,645)



地区別にみると、すべての地区で「どちらとも知らない」が最も高くなっています。また、柳瀬地区で「地域サロンのみ知っている」が2割台と、他の地区に比べて高くなっています。

年代別にみると、すべての年代で「どちらとも知らない」が最も高くなっています。

【地区別クロス】

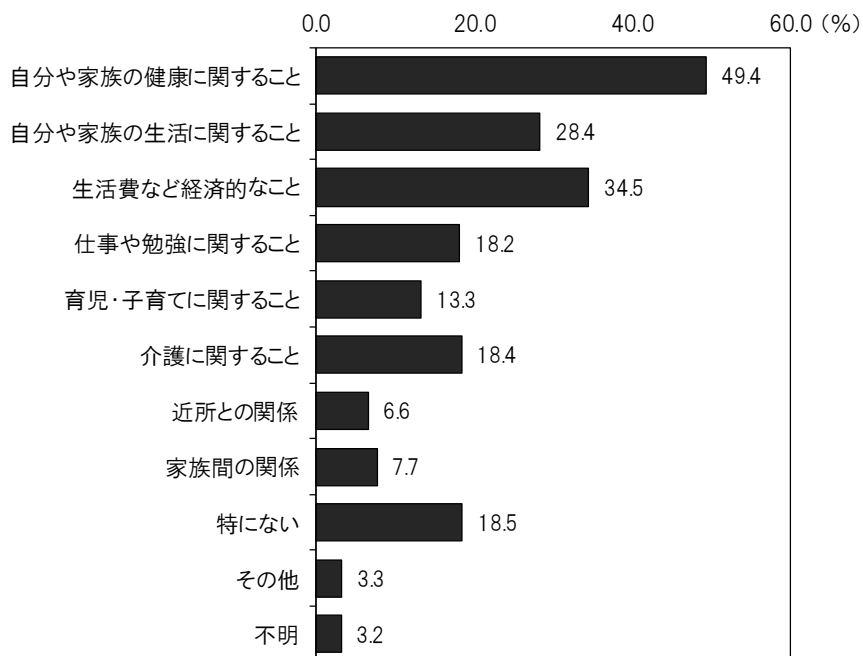
(単位: %)	両方とも知っている	地域サロンのみ知っている	こども食堂のみ知っている	どちらとも知らない	不明
所沢地区 (n=139)	11.5	8.6	7.9	67.6	4.3
松井地区 (n=155)	12.3	9.0	8.4	65.2	5.2
柳瀬地区 (n=152)	8.6	23.0	5.9	57.9	4.6
富岡地区 (n=152)	18.4	11.2	2.6	63.2	4.6
新所沢地区 (n=139)	16.5	12.9	5.0	61.2	4.3
新所沢東地区 (n=148)	8.8	15.5	4.7	68.9	2.0
三ヶ島地区 (n=152)	11.2	12.5	11.2	63.2	2.0
小手指地区 (n=158)	12.0	11.4	8.9	65.8	1.9
山口地区 (n=151)	11.9	10.6	9.3	64.2	4.0
吾妻地区 (n=149)	13.4	10.7	8.7	63.1	4.0
並木地区 (n=129)	17.8	17.1	4.7	58.1	2.3

【年代別クロス】

(単位: %)	両方とも知っている	地域サロンのみ知っている	こども食堂のみ知っている	どちらとも知らない	不明
19・20歳代 (n=188)	8.5	5.9	9.6	73.4	2.7
30歳代 (n=239)	13.4	10.0	9.2	66.5	0.8
40歳代 (n=314)	15.6	13.4	6.1	63.1	1.9
50歳代 (n=254)	10.6	11.4	8.7	65.4	3.9
60歳代 (n=271)	14.0	13.3	6.3	60.9	5.5
70歳代 (n=347)	11.8	19.0	5.2	58.2	5.8
80歳以上 (n=15)	40.0	13.3	0.0	46.7	0.0

あなたは、毎日の暮らしの中で、次のどのようなことに悩みや不安を感じていますか。
 (〇はいくつでも)

<一般向け調査:問 19>



■一般向け調査(n=1,645)

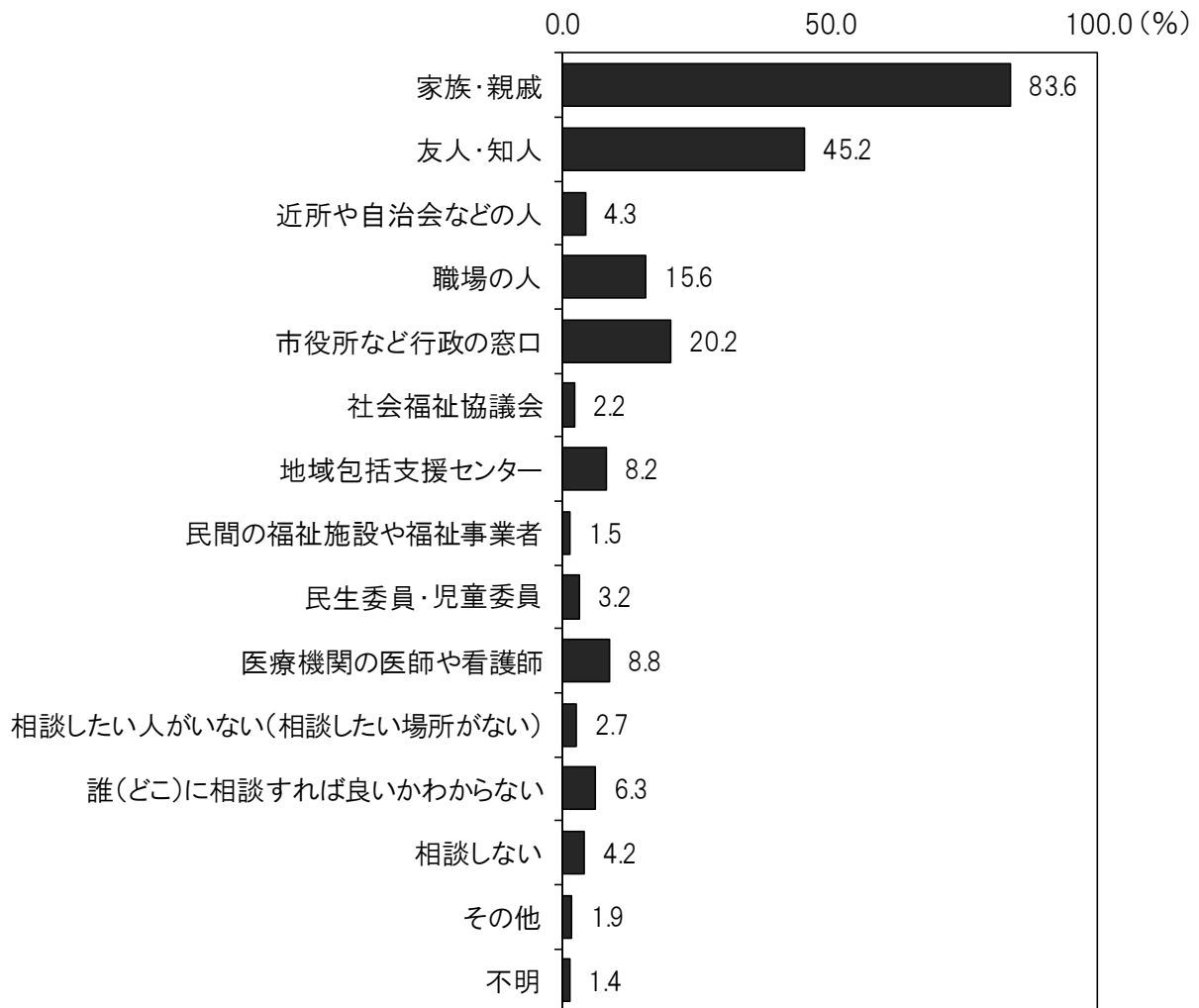
年代別にみると、19・20歳代で「仕事や勉強に関すること」が、30歳代で「生活費など経済的なこと」が、それぞれ最も高くなっています。また、30歳代と40歳代で「育児・子育てに関すること」が、60歳代以上で「自分や家族の健康に関すること」が、それぞれ他の年代に比べて高くなっています。

【年代別クロス】

(単位: %)	自分や家族の健康に関すること	自分や家族の生活に関すること	生活費など経済的なこと	仕事や勉強に関すること	育児・子育てに関すること	介護に関すること	近所との関係	家族間の関係	特になし	その他	不明
19・20歳代(n=188)	26.6	29.3	36.7	41.0	9.0	10.1	6.9	9.0	22.3	3.7	2.7
30歳代(n=239)	41.8	34.7	51.9	32.2	38.9	13.0	8.8	9.6	11.3	3.8	0.4
40歳代(n=314)	46.5	31.2	39.5	27.1	24.5	17.2	6.4	5.4	15.3	5.1	2.2
50歳代(n=254)	49.2	32.3	35.0	16.1	8.7	24.8	5.9	11.8	17.3	1.6	3.9
60歳代(n=271)	61.6	28.8	30.3	6.3	2.2	18.8	8.1	7.0	18.1	1.8	4.1
70歳代(n=347)	60.8	18.7	20.2	0.6	0.6	21.3	4.6	5.2	24.8	2.9	3.7
80歳以上(n=15)	60.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	6.7	6.7	20.0	13.3	6.7

あなたは、生活上の困りごとが生じた時、次のうち誰（どこ）に相談しますか。（〇はいくつでも）

<一般向け調査:問 20>



■ 一般向け調査 (n=1,645)

年代別にみると、いずれの年代でも「家族・親戚」が最も高く、次いで「友人・知人」が高くなっています。また、40歳代以下で「職場の人」が他の年代に比べて高くなっているほか、世代を問わず「誰（どこに）に相談すれば良いかわからない」と答えた方が一定割合います。

さらに、「市役所など行政の窓口」、「社会福祉協議会」、「地域包括支援センター」、「民生委員・児童委員」、「医療機関の医師や看護師」は年代が上がるにつれ高くなる傾向にあります。

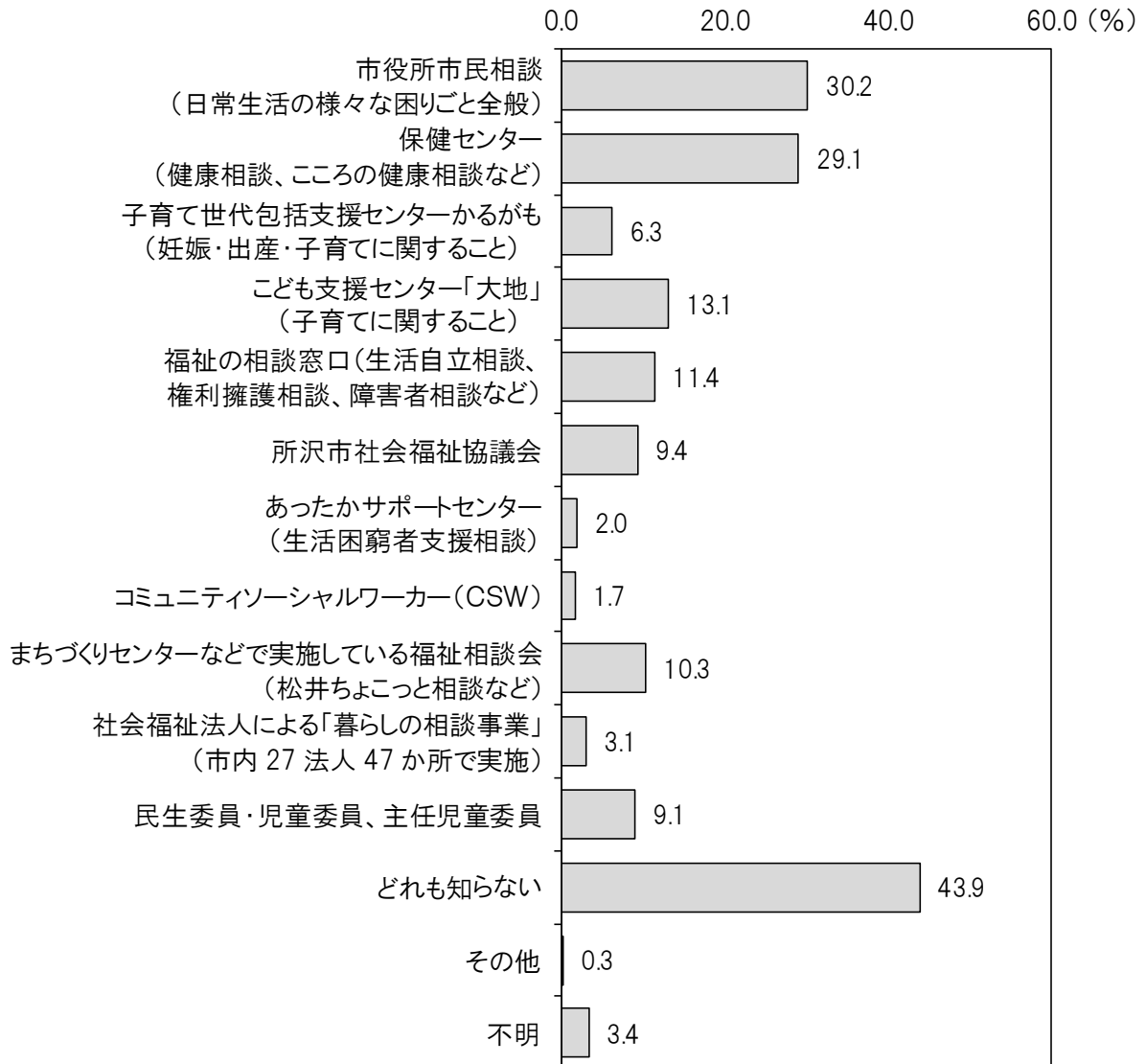
【年代別クロス】

(単位: %)	家族・親戚	友人・知人	近所や自治会などの人	職場の人	市役所など行政の窓口	社会福祉協議会	地域包括支援センター	民間の福祉施設や福祉事業者	民生委員・児童委員	医療機関の医師や看護師	相談したい人がいない（相談したい場所がない）	誰（どこ）に相談すれば良いかわからない	相談しない	その他	不明
19・20歳代(n=188)	84.6	59.6	1.6	27.7	9.0	0.0	1.1	0.0	0.0	4.8	3.2	5.9	5.3	0.5	0.5
30歳代(n=239)	87.0	54.4	3.8	23.4	12.1	0.4	2.1	2.1	0.0	6.3	2.1	5.4	3.8	2.9	2.1
40歳代(n=314)	87.3	50.3	2.5	22.3	14.6	0.6	3.5	0.6	1.3	6.1	3.2	5.4	3.8	3.2	1.3
50歳代(n=254)	81.9	46.1	2.0	17.7	24.4	2.4	8.3	1.2	2.0	8.3	2.8	7.9	5.9	0.8	0.8
60歳代(n=271)	82.3	39.1	7.4	9.6	26.6	4.4	10.7	3.0	2.2	12.5	3.0	6.6	4.4	1.5	1.8
70歳代(n=347)	80.7	30.8	6.3	1.4	27.1	3.7	19.0	1.4	10.4	12.4	2.0	6.1	2.9	1.4	1.2
80歳以上(n=15)	86.7	40.0	6.7	0.0	40.0	13.3	6.7	6.7	13.3	13.3	0.0	6.7	0.0	6.7	6.7

以下は、市内にある福祉に関する相談先です。あなたが知っているものに○をつけてください。（○はいくつでも）

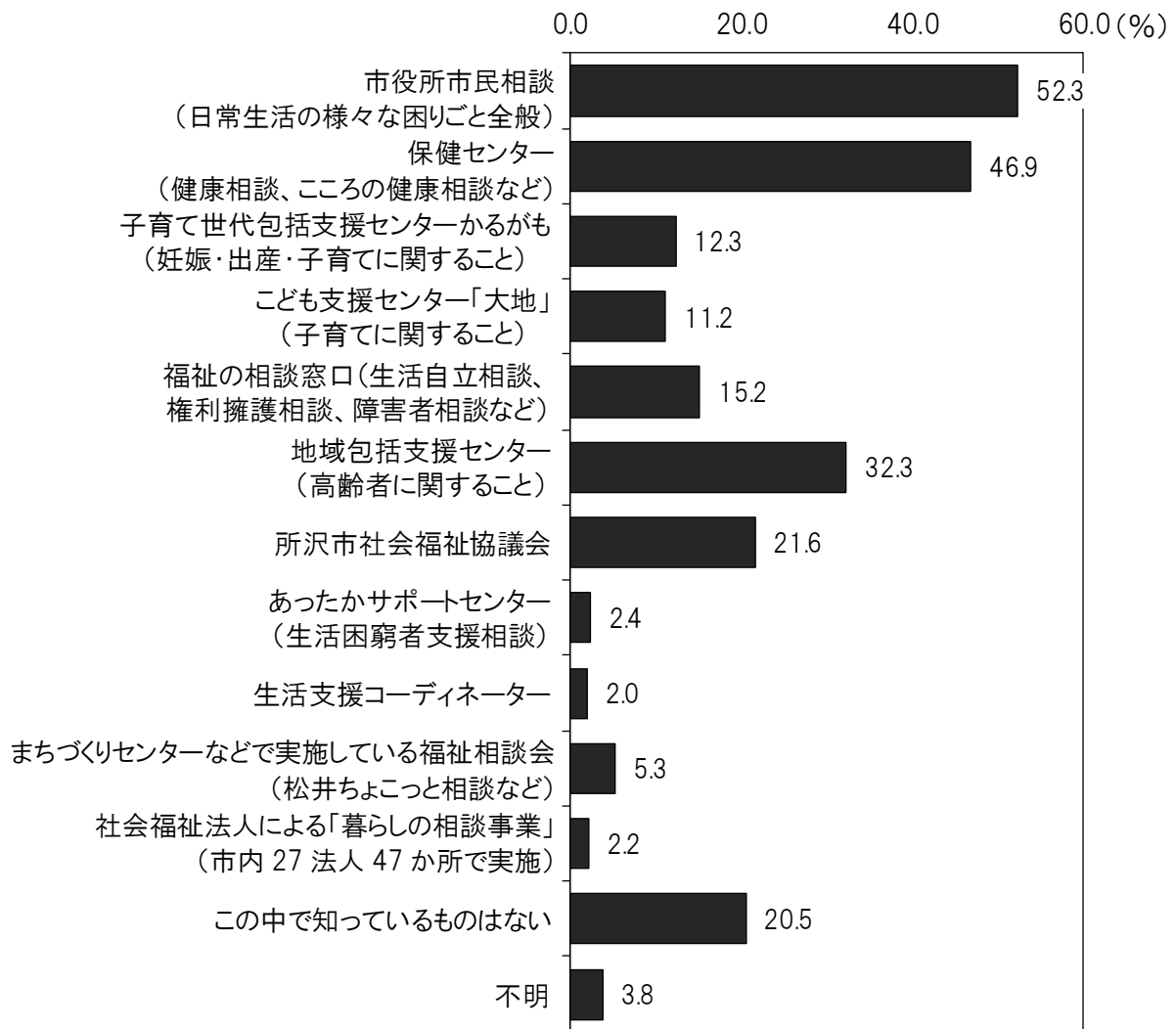
< 中高生向け調査: 問 22 > < 一般向け調査: 問 21 >

< 中高生向け調査 >



□ 中高生向け調査(n=351)

<一般向け調査>



■ 一般向け調査(n=1,645)

地区別にみると、すべての地区で「市役所市民相談」が最も高くなっています。

年代別にみると、19・20歳代で「この中で知っているものはない」が、30歳代と40歳代で「保健センター」が、それぞれ最も高くなっています。また、「この中で知っているものはない」が年代が下がるにつれ高くなる傾向にあるほか、60歳以上で「地域包括支援センター」が4割を超え、他の年代に比べて高くなっています。

【地区別クロス】

(単位: %)	市役所市民相談	保健センター	子育て世代包括支援センター	こども支援センター「大地」	福祉の相談窓口	地域包括支援センター	所沢市社会福祉協議会	あったかサポートセンター	生活支援コーディネーター	実施している福祉相談会	まちづくりセンターなどで実施	社会福祉法人による「暮らしの相談事業」	この中で知っているものはない	不明
所沢地区(n=139)	56.1	49.6	12.2	10.8	15.1	36.7	24.5	3.6	2.9	4.3	2.9	18.7	2.9	
松井地区(n=155)	51.6	50.3	11.6	11.6	12.9	32.9	21.9	3.2	1.9	7.7	3.2	19.4	3.9	
柳瀬地区(n=152)	50.0	43.4	9.9	7.9	13.2	34.2	14.5	0.7	1.3	5.9	0.7	21.1	6.6	
富岡地区(n=152)	53.3	51.3	15.1	12.5	14.5	29.6	23.0	1.3	0.7	7.2	2.0	20.4	2.0	
新所沢地区(n=139)	54.7	48.9	11.5	13.7	12.2	29.5	22.3	0.0	2.9	5.8	0.0	19.4	2.9	
新所沢東地区(n=148)	52.0	48.0	16.2	8.8	20.9	29.1	23.0	4.1	2.0	6.1	2.7	20.9	2.0	
三ヶ島地区(n=152)	45.4	42.1	7.9	9.2	17.8	32.2	21.1	2.6	2.6	3.3	3.9	26.3	2.0	
小手指地区(n=158)	55.7	44.9	10.8	15.2	13.9	36.1	23.4	3.8	1.9	4.4	3.8	18.4	3.2	
山口地区(n=151)	52.3	43.7	15.2	13.2	19.2	34.4	21.2	2.6	2.0	4.0	2.6	19.2	3.3	
吾妻地区(n=149)	48.3	47.0	11.4	7.4	11.4	31.5	20.1	1.3	2.0	4.7	0.7	24.2	4.0	
並木地区(n=129)	58.9	50.4	14.7	13.2	17.8	32.6	24.8	3.9	2.3	4.7	2.3	17.1	6.2	

【年代別クロス】

(単位: %)	市役所市民相談	保健センター	子育て世代包括支援センター	こども支援センター「大地」	福祉の相談窓口	地域包括支援センター	所沢市社会福祉協議会	あったかサポートセンター	生活支援コーディネーター	実施している福祉相談会	まちづくりセンターなどで実施	社会福祉法人による「暮らしの相談事業」	この中で知っているものはない	不明
19・20歳代(n=188)	38.3	35.6	12.8	11.2	13.8	20.7	13.3	3.7	2.7	6.4	2.1	39.9	3.7	
30歳代(n=239)	41.4	52.7	20.9	20.1	11.7	16.3	13.0	3.3	2.1	6.3	2.5	24.3	4.2	
40歳代(n=314)	48.4	51.0	13.7	15.9	14.6	23.6	18.2	2.9	2.5	4.5	2.2	23.6	2.2	
50歳代(n=254)	56.3	49.2	13.0	11.4	16.9	39.8	23.6	3.1	3.1	3.5	2.0	17.3	3.1	
60歳代(n=271)	60.1	48.3	11.8	7.4	18.8	40.2	28.8	1.8	0.7	5.2	1.1	16.6	3.3	
70歳代(n=347)	60.8	42.7	5.2	3.7	14.7	45.5	28.0	0.6	1.2	5.8	3.2	10.7	5.2	
80歳以上(n=15)	73.3	60.0	0.0	0.0	20.0	53.3	26.7	0.0	0.0	6.7	0.0	13.3	0.0	

実際に相談したことがある場合、その窓口はどこですか。また、相談して解決できたこと、相談してよかったことなどがあればお書きください。

<一般向け調査:問 22>

個人のプライバシーに関わるもの、不適切な表現、明らかに誤字・脱字と考えられる箇所等については、修正を加えています。

相談した窓口	相談して解決できたこと、よかったこと
市役所	高額療養費の支給申請の計算方法。転籍届の記入方法、必要書類。
市役所	法律相談
市役所	税金のこと、介護認定のこと。
市役所	障害者が受けられるサービスをきき、自宅に手すりをつける際の助成金を教えてもらえた。
市役所	一人親の支援で職業の相談などしていただきました。
市役所、民生委員。	家庭訪問、日没予約。
市役所介護相談、保健センター。	介護の悩みを発散できて心が楽になった。解決には至らなかったが、想い悩みを聞いてもらえるだけでも心の憂さがやわらいだ。
市役所市民相談	管理組合(マンション)、高齢化問題。
市役所市民相談	相続の事で書類について聞くことが出来た。
市役所市民相談	冷静な判断と方向づけ。(自分だけだと考えが堂々巡りになり抜け出せない)
市役所市民相談	オレオレ詐欺のハガキが来た時。自転車を購入して最初から故障していた時。
市役所市民相談	税金のこと。さほど良かったとは思わないが、やや助かった。
市役所市民相談	相談したが参考にならなかった。市民の気持ちになった回答をしていないと感じた。
市役所市民相談	参考になった。
市役所市民相談	アドバイスを頂き、専門機関に相談できた。
市役所市民相談	ポスティングによる屋根の修理事業の信用度について相談。業者を信用せず、信頼出来る業者に頼む様にとの事。ポスティング業者には今は良いと断る事にしました。
市役所市民相談	相続
市役所市民相談	子供の離婚問題。
市役所市民相談	参考になった。
市役所市民相談	相談内容によって適切な相談所を紹介していただきとてもありがたく思っております。何かあったらまず市役所へ行くのが私のスタイルです。
市役所市民相談	裁判、法律相談。
市役所市民相談	不動産に関する法的なこと。詳しくは分からない事多くあったが、大略の事が分かって良かった。
市役所市民相談	マンション相続について相談。具体的な指針を教えて頂いた。
市役所市民相談	様々な困り事全般。(病気の事。)
市役所市民相談、地域包括支援センター。	困っていた高齢者を行政に案内し対応をお願いした。
市役所市民相談、保健センター、地域包括支援センター、教育センター。	特に保健センターでは偏見や理解されない病気になった家族の相談に寄り添ってくれました。
市役所市民相談、保健センター。	離婚する為の相談。人間ドック後の相談。
市民相談	犬の散歩の人々が多く、糞を全く片づけてくれなくて困った。看板を市からいただいて糞が少なくなった。
市民相談	親が亡くなった時、手続きや相続の相談。
市民相談	一人で相談に行った時は気持ちが落ち着きました。

相談した窓口	相談して解決できたこと、よかったこと
市民相談、保健センター、地域包括支援センター、社協。	法律相談、健康相談、介護の調整、家事援助。
市民相談課	相談後、弁護士と話し合い、訴訟中です。
消費者センター	窓口の人は、だめだったが、相談員の人は親切に対応していただき良かった。解決することができました。窓口でも電話でも、取り次ぎがうまく出来ず、相談員の名前を言って何とかなった。
消費者相談センター	解決は自分的には満足出来なかったですが、相手方と交渉して頂いて、良かったです。
市役所福祉課	台風で屋根が飛ばされ修理費を出して貰った件。
市役所介護保険課	介護認定
健康保険担当課	障害者(娘)手帳の件、支援いただける具体的な事項(医療費援助など)。
生活環境課	野良猫に餌をやる方が近所に居て、何匹も集まり鳴き声や糞で迷惑しています。ボランティアの方が手術をしてくれた様ですが、一向に減りませんでした。
教育センター	過去に子育てで悩んだ時。時間を取って具体策をアドバイスしてもらえた。
教育センター	まだ解決していません。
教育センター(けやき台)	長女(第一子)が小1の時、厳しく育て過ぎて虐待になっているのではないかと相談。数回じっくり話を聞いてアドバイスや励ましを下さり、先に進むことができた。
地域福祉センター	自分の発達障害について適切な医療機関を紹介してもらった。
地域福祉センター	就労支援を受けた。
子育てセンター	子育てに関する事。
子育て関係	引越して来た時に色々とお世話になりました。
子供支援センター、マーガレット。	ありませんでした。
こども支援センター	こどもの発達について、子育てについて専門家に気軽に相談できる事。
こども支援センター	分からない事や悩むことが子育てにおいて多いので、すぐに相談できて良かった。
子ども支援センター(マーガレット)	発達に関する事を続けて相談できるのが良い。
福祉の相談窓口、障害者相談。	分からない事を伺って、窓口の人は丁寧に教えてくれた。
福祉の相談窓口。	障害者福祉サービス等の申請方法などを理解できた。
未来館の1F	息子再就職先。
子供未来館	保育園の入園について。
保健センター	婦人科で女医さんの医院を紹介してもらった。担当の方が優しく接して下さった。(女性)
保健センター	幼い子供の体調不良時に相談の電話をして対応して頂きました。
保健センター	子供の歯について相談し、悩みが解決できて助かった。1歳の為歯医者で治療できる年齢でもなかったので気軽に相談できた。
保健センター	周りに相談していても個人の経験や体験しか聞けないが、様々なアドバイスを出してくれた上、親身に話を聞いてくださり少し心が軽くなった。
保健センター	子育てに悩み相談したが、分かってもらえず余計につらくなった(何年も前ですが)。
保健センター	子供の体調不良の相談、必要な医療機関を教えてくれた。
保健センター	うつ病の家族のつどいに参加。
保健センター	子供の予防接種の事を丁寧に教えて下さいました。
保健センター	どうしてよいか分からなかったが、一旦受け入れてくれる窓口があってよかった。
保健センター	話を聞いてもらえた。
保健センター	離乳食の進め方について。
保健センター	解決できてとても良かったです。

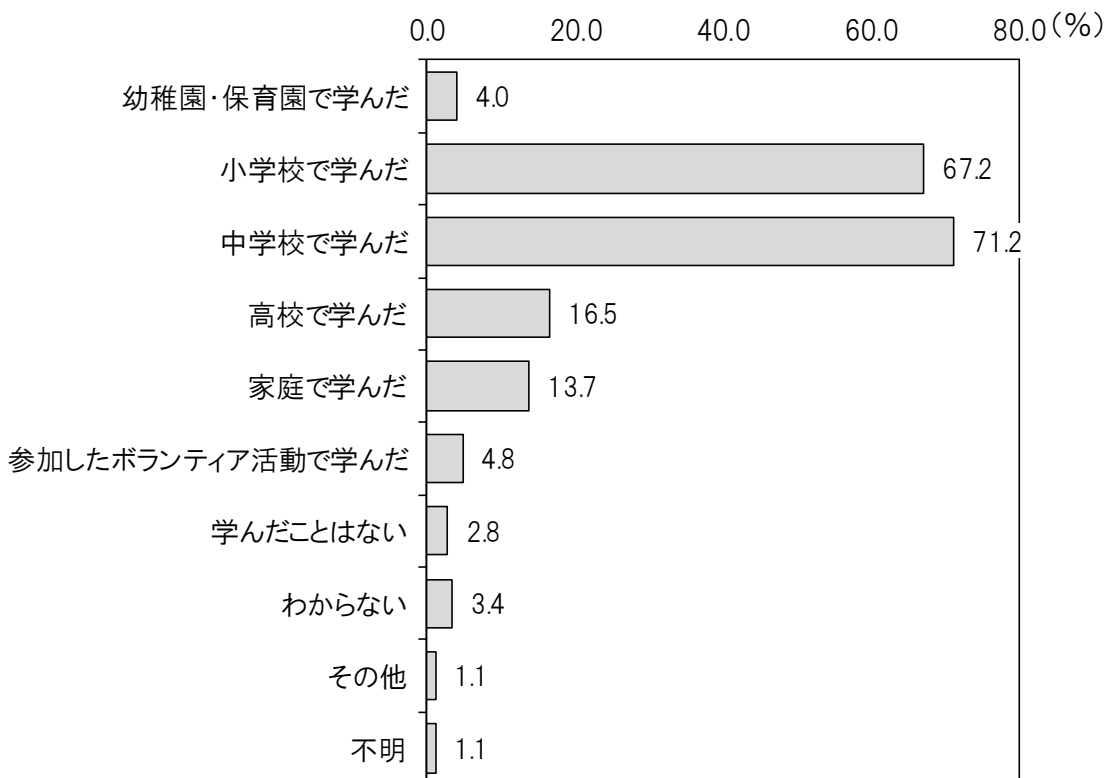
相談した窓口	相談して解決できたこと、よかったこと
保健センター	母親が統合失調症だが、本人は認めず困っていたが、保健センターに相談したことをきっかけに、入院から施設に入るところまでこれた。
保健センター	良いリハビリ先を教えてくださいました。ありがとうございました。
保健センター、市役所市民相談。	保健センターの相談は意味ない。もう二度と相談しない。市役所→相談がひきつがれず。
保健センター、社会福祉協議会。	障害を持つ子ども(成人)について、グループホームを探して頂いて、子ども「居場所」について、一緒に考えて頂けること。
保健センター。病院の先生(36年間通院)。	行くまでが大変(心の決心)辛いです。
保健センターこころの健康相談	話を聞いてもらった事は、良かったと思う。
こころの健康相談室	母のケアマネジャーは自分にはできないと言ったけど自分しかやるしかなかったので介護に疲れている。
包括	親の事。(施設入所の事など。)
地域包括	介護認定
包括支援センター	地方に住む高齢の両親に関してデイサービス等の相談にのって頂いた事。
包括支援センター	近所の高齢の知的障害のある方が金銭トラブル(詐欺など)にあった時に相談した。また別の高齢者が認知症で自宅が分からなくなったことがあり、見守って欲しいと相談した。
地域包括センター	親の介護の事、用品の事など。病院についても色々聞きました。
地域包括支援センター	介護に関する支援を受け、今の生活は満足している。
地域包括支援センター	夫の介護の折、色々相談に応じていただいた。
地域包括支援センター	母の介護。
地域包括支援センター	親の介護の際にケアマネジャーを中心に必要に応じて相談に乗ってくれて、入院、入所の時も親身になって支えて頂きました。大変お世話になりました。
地域包括支援センター	父の認定や、デイサービスの利用。
地域包括支援センター	介護保険の申請。
地域包括支援センター	病院への勧め。
地域包括支援センター	同居の義母が歩行困難となり、その補助となる用具を紹介、斡旋して頂きました。
地域包括支援センター	介護申請やケアマネジャー、その他サービスが受けられることを知る事ができた。
地域包括支援センター	一人世帯で(男性)本人、他人の綺麗な花等々持ってきてしまう。家族に対する女性高齢者、不安がある私、娘と話し地域包括支援につなげ対応していただいた。
地域包括支援センター	敬老会で介護保険について詳細な説明をして頂き大変喜ばれた。
地域包括支援センター	親の介護について相談できたこと。
地域包括支援センター	ケアマネジャーの変更。
地域包括支援センター	老年夫が足アキレス腱を切った時車イス借用、2階階段の手すりをつけてもらいました。近所の人に相談し、地域包括支援センターを知り、相談しました。「要支援2」です。今後の事は地域包括支援センターに相談しようと夫婦で決めています。大助かりしました。
地域包括支援センター	妻の要介護認定とデイサービス。
地域包括支援センター	介護認定について。
地域包括支援センター	優秀なケアマネジャーを紹介していただいた。
地域包括支援センター	ケアマネジャーを紹介してもらい親の支援をもらっている。
地域包括支援センター	介護認定を受ける事が出来た。
地域包括支援センター	母親(当時90才)の介護について相談。
地域包括支援センター	母の介護の件で伺いましたが親切に動いてくれました。
地域包括支援センター	介護の全てを支援して頂き、無事に看取ることが出来、助かりました。色々教えて頂きました。
地域包括支援センター	夫が原因不明の病気となり、一人での介護には限界があると感じ相談しました。心強く助かりました。幸い夫の病気が少しずつ良くなり世話にならずにすみました。

相談した窓口	相談して解決できたこと、よかったこと
地域包括支援センター	主人の尿漏れおむつ代が自費で支払いをしておりましたが、相談し毎月届けて下さり、代金も少額で助かりました。また、脳梗塞の後遺症の歩行の為のリハビリの施設も通えるようになり、助かっています。
地域包括支援センター	サービスの受け方、種類が分かり良かった。
地域包括支援センター	介護申請の為。
地域包括支援センター	高齢者の母の介護について。
地域包括支援センター	父の事で相談し、すぐに動いていただき、地域の施設を利用出来る事になった。
地域包括支援センター、所沢市役所。	介護保険の認定がとれ、利用している(夫)。
地域包括支援センター、福祉の相談窓口。	高齢の母の施設についての助言。
地域包括支援センター松井西	自身の生活の事。妻の病气、入院の事。
社会福祉協議会	祖母、母の介護の事。親身になって一番良い方法を提案して下さい。
社会福祉協議会	病院入院時の連帯保証人を社協でお願い出来るか相談したところ、今の所無い事が確認でき良かった。
社会福祉協議会	車椅子の無料貸し出し、手話講習会の情報。
社会福祉協議会	生活していく上での心の重荷が軽くなった。
社会福祉協議会	自己破産するとき手助けしてもらった(弁護士の紹介)。
社会福祉協議会	家を貸しているが病気で働けなくなって家賃を払って貰えない。生活保護を受けるようになって少しずつ払って貰えるようになった。
社会福祉協議会	まだ、解決とまでいきませんが、気持ちの拠り所となっています。
社会福祉協議会 CSW	ひきこもりの人が社会にでていけるようになったこと。
民生委員	年金だけでは生活出来ないの相談し、福祉の方と相談し、生活保護のお世話になっています。
民生委員(20 数年前の事)。	家族崩壊を目前になった時、子供等に対し市からどんな助けがもらえるのか教えてもらったこと。又、もらえない事も教えてもらった。
民生委員の方、直接相談。	急に動けなくなった姉の車いすを貸してもらったりと色々話を聞いていただき本当にありがたく思っています。
弁護士の無料相談。	時間が短すぎて、有用な解答は、知識として自分が持っている以上のものは与えられなかった。
弁護士相談、30 分/1 回無料。	叔母からの別荘相続の件で 5 年経過した為、自治会費支払書が郵送された。自治会員でもなく対応の相談をした。叔母は原野商法を抱えていたので解決には至らないが相談できた事で自分の判断が出来たので落ち着く事が出来た。
市主催の弁護士相談。	あまり親切ではなかったです。
ケアマネジャー	父の時にいっぱいお世話になりました。
福祉	車いすが沢山あるのに順番があるので時間がかかります。それから毎日市役所に行ってみても車いすは沢山ありました。1 カ月そのままです。順番ってなんですか。今困っている人に貸すことでしょうか。
病院	難病治療に伴う全身的な状態悪化があり、軽症の為保健所でもいい情報がなく、買い物や通院治療もできなかったの困っていましたが、病院との治療方針の共有と、体の回復に向けコメントと処方をしていただき、助かりました。4 ヶ月かけて徐々に良くなっているの、長期サポートをいただいている状況です。この間、ところバスを気にせず利用できるのは有り難かったです。
回答なし	事故の相談をしたことが以前あったが、相談にあたる人が非常に横柄で感じが悪かった。無料でもこういう人たちには教育をするべき!
回答なし	消費者センター

5. 相互理解・共生について

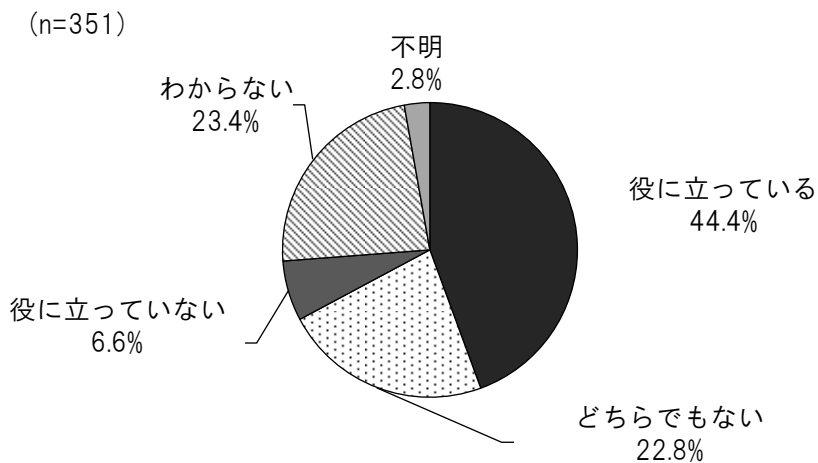
学校や家庭などで、障害者や高齢者のことについて、学んだことがありますか（車いすや手話などの体験、障害者による講演会などに参加した、認知症について学んだ、など）。
 （〇はいくつでも）

<中高生向け調査:問 23>



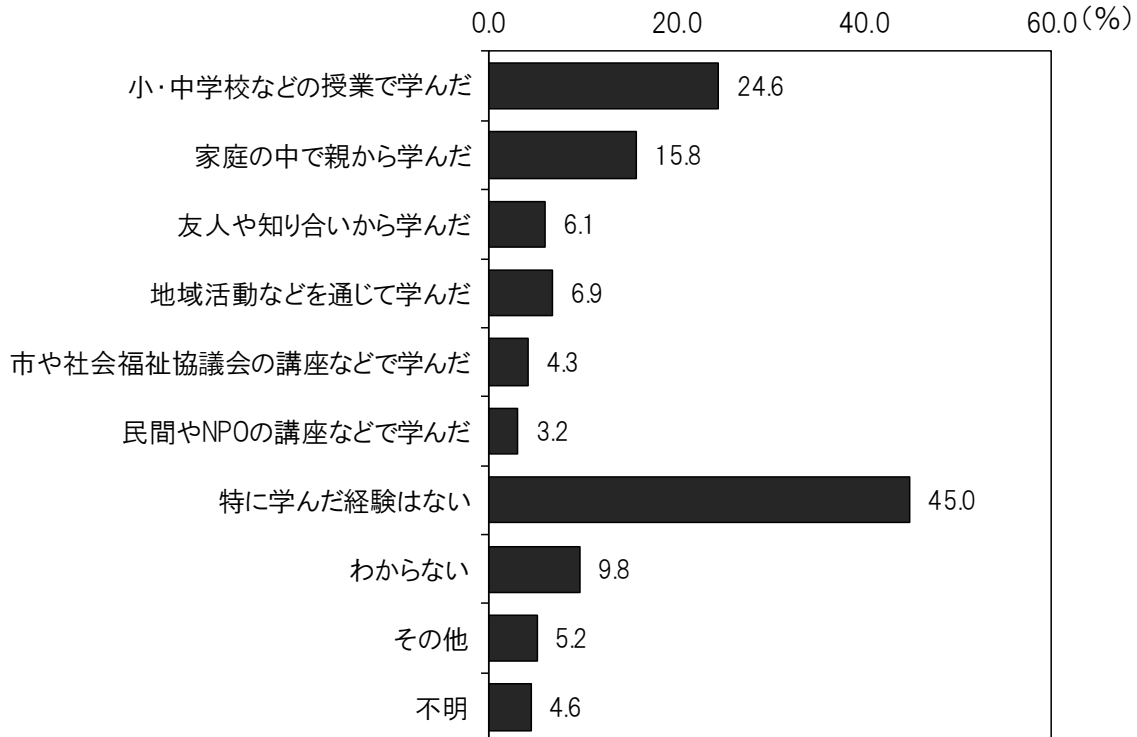
□ 中高生向け調査(n=351)

学んだことは、その後の生活に役立っていますか。（〇は1つ） <中高生向け調査:問 24>



あなたは、福祉教育・福祉学習（思いやりの心や福祉への理解と参加の心を育てる教育・学習）を受けた経験がありますか。（〇はいくつでも）

<一般向け調査:問 23>



■一般向け調査(n=1,645)

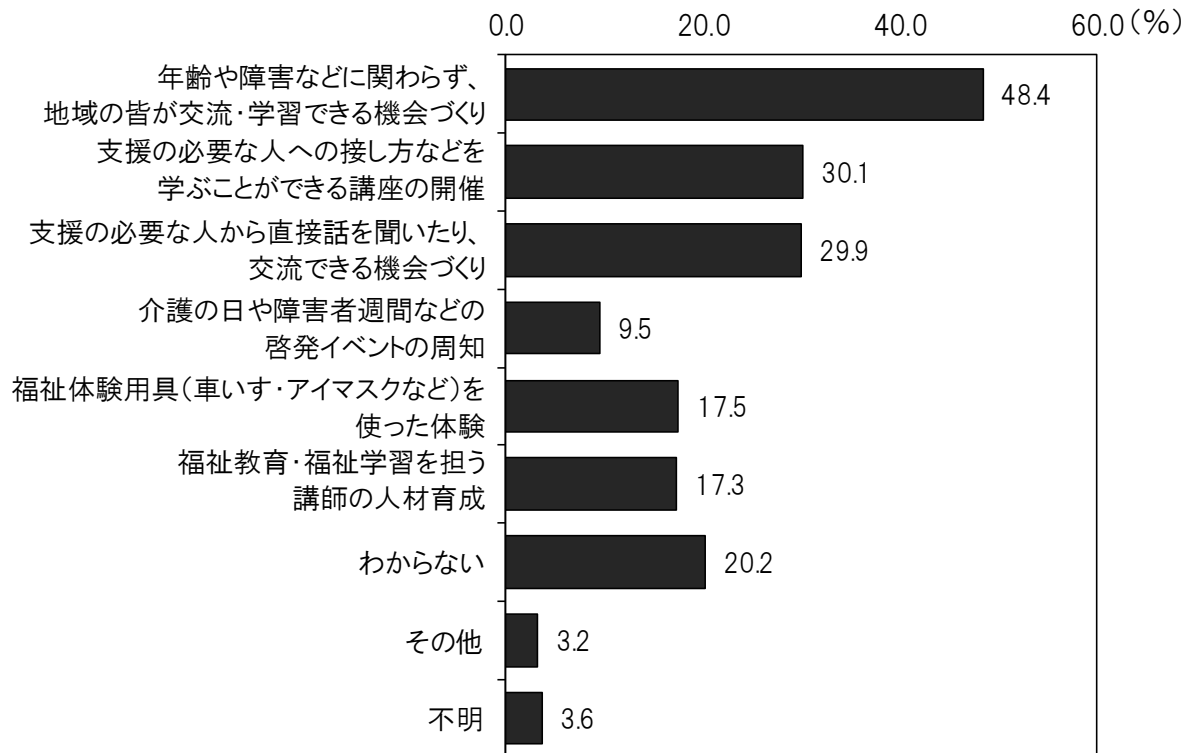
年代別にみると、19・20歳代、30歳代では「小・中学校などの授業で学んだ」が最も高くなっています。

【年代別クロス】

(単位: %)	小・中学校などの授業で学んだ	家庭の中で親から学んだ	友人や知り合いから学んだ	地域活動などを通じて学んだ	市や社会福祉協議会の講座などで学んだ	民間やNPOの講座などで学んだ	特に学んだ経験はない	わからない	その他	不明
19・20歳代(n=188)	71.3	20.2	3.7	4.3	1.6	1.6	10.1	11.2	3.7	2.7
30歳代(n=239)	42.7	15.1	4.2	4.2	1.7	4.2	28.9	14.2	7.9	3.3
40歳代(n=314)	22.6	16.2	6.4	4.1	2.5	2.5	45.2	12.7	6.1	4.1
50歳代(n=254)	20.1	18.5	5.1	6.7	2.8	3.5	53.5	9.1	5.1	2.8
60歳代(n=271)	9.6	11.4	6.6	8.9	6.6	4.4	58.3	5.9	5.9	5.5
70歳代(n=347)	5.5	15.3	8.4	10.4	7.5	3.2	58.5	6.1	2.9	6.9
80歳以上(n=15)	0.0	6.7	13.3	26.7	20.0	0.0	60.0	13.3	0.0	0.0

福祉教育・福祉学習をより効果的に行っていくために、どのような取り組みが必要と考えますか。(〇はいくつでも)

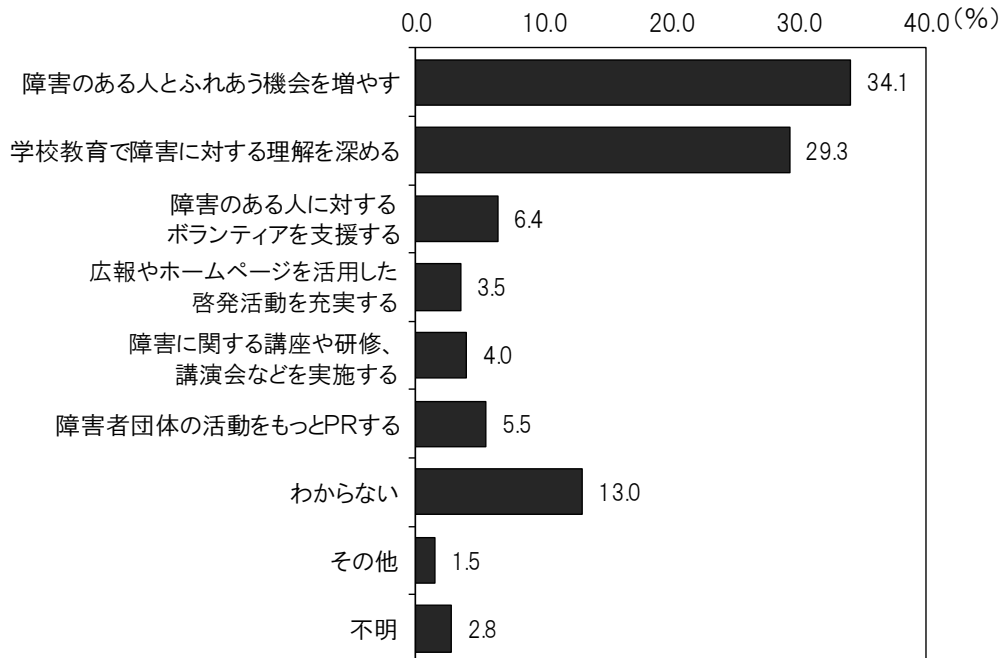
<一般向け調査:問 24>



■ 一般向け調査(n=1,645)

障害のある人に対する理解を深めるために、今後、どのような取り組みが必要だと思いますか。（〇は1つ）

<一般向け調査:問 25>



■ 一般向け調査(n=1,645)

年代別にみると、30歳代から70歳代までは「障害のある人とふれあう機会を増やす」が最も高くなっており、19・20歳代と80歳以上で「学校教育で障害に対する理解を深める」が最も高くなっています。

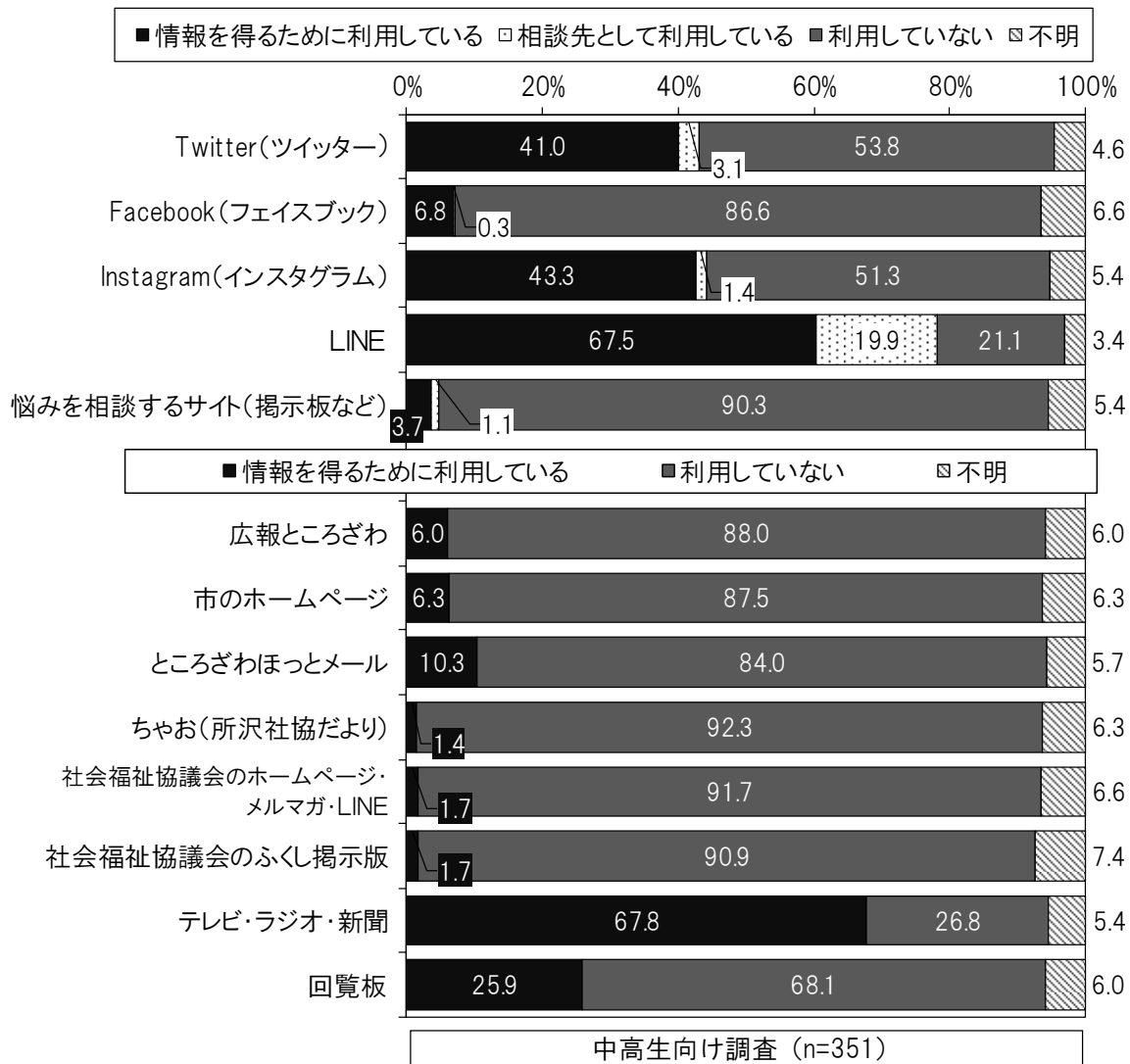
【年代別クロス】

(単位: %)	障害のある人とふれあう機会を増やす	理解を深める	学校教育で障害に対する理解を深める	ボランティアを支援する	障害のある人に対するボランティア	した啓発活動を充実する	広報やホームページを活用	講演会などを実施する	障害に関する講座や研修、PRする	障害者団体の活動をもっとPRする	わからない	その他	不明
19・20歳代(n=188)	28.7	41.5	6.4	4.3	2.1	3.7	9.6	1.6	2.1				
30歳代(n=239)	43.5	31.0	4.6	1.3	2.5	2.9	10.0	1.3	2.9				
40歳代(n=314)	38.2	29.3	6.7	2.9	2.9	4.5	10.5	3.2	1.9				
50歳代(n=254)	38.6	28.3	7.9	1.2	6.3	3.1	13.0	0.8	0.8				
60歳代(n=271)	31.7	26.2	5.9	5.5	3.0	7.4	15.5	1.1	3.7				
70歳代(n=347)	25.9	24.2	6.6	5.2	6.3	9.2	17.3	0.9	4.3				
80歳以上(n=15)	20.0	40.0	13.3	6.7	0.0	6.7	13.3	0.0	0.0				

6. 情報の入手について

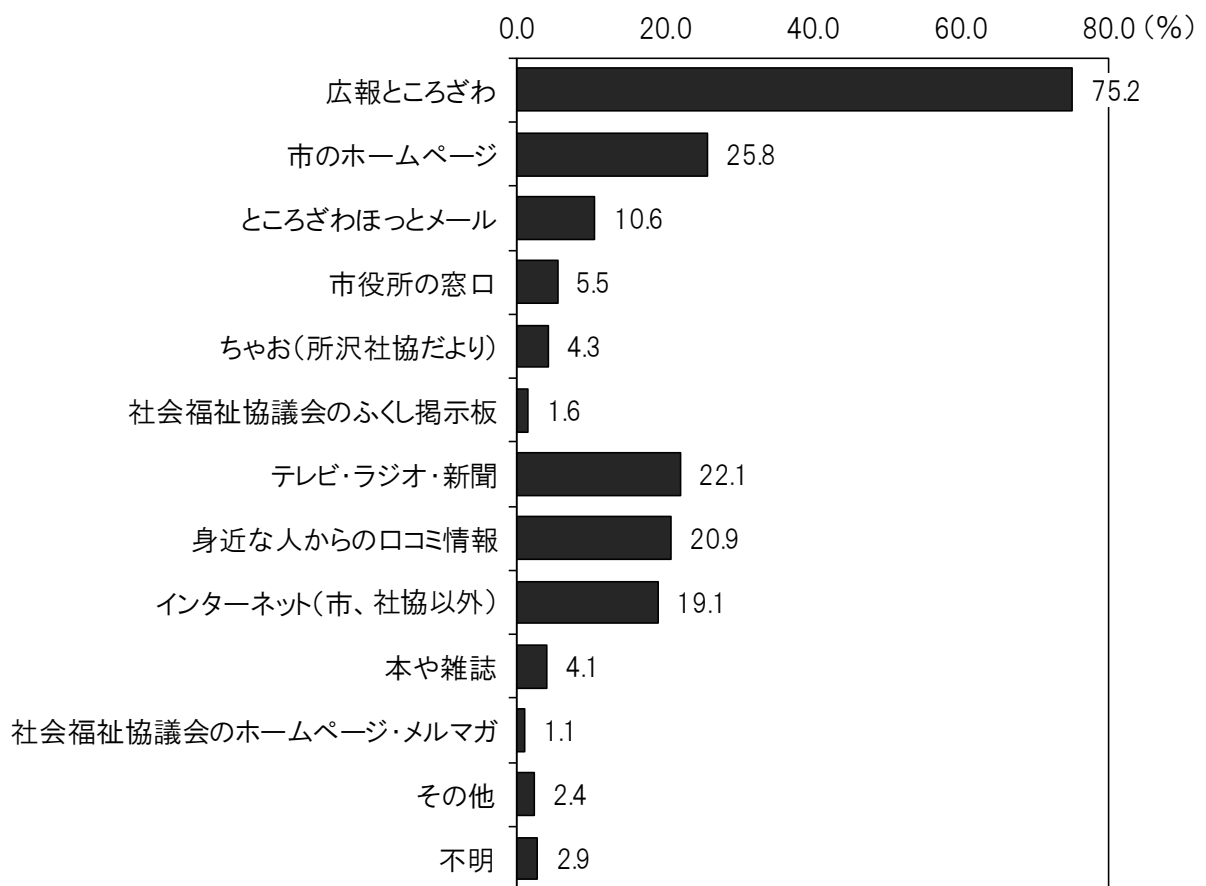
下記の情報媒体について、情報収集や相談先として利用していますか。（それぞれ〇は1つ以上）

<中高生向け調査:問 25>



生活や地域に関する情報はどこから得ていますか(得ようと思いますか)。(〇はいくつでも)

<一般向け調査:問 26>



■一般向け調査(n=1,645)

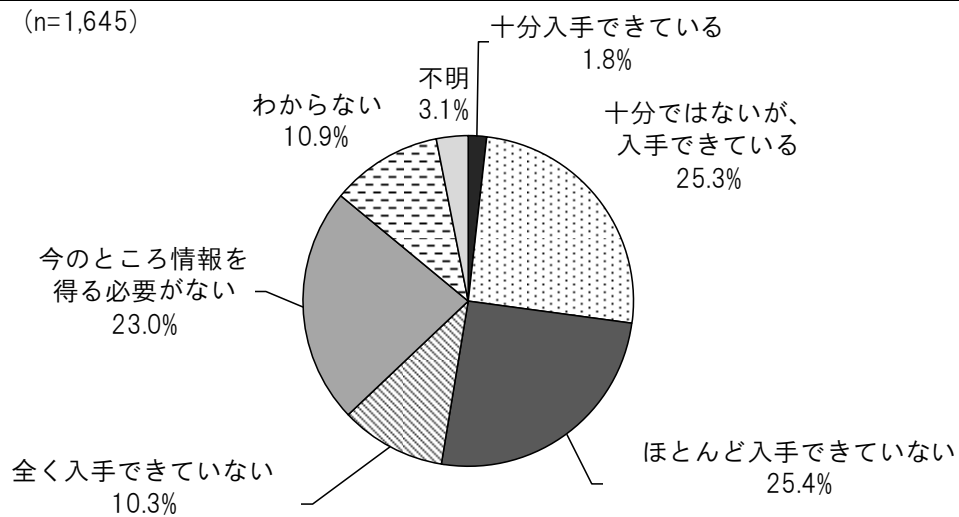
年代別にみると、すべての年代で「広報ところざわ」が最も高く、年代が上がるにつれその割合が高くなる傾向にあります。また、40歳代で「ところざわほっとメール」が、他の年代に比べて高くなっています。その他、「インターネット（市、社協以外）」は年代が下がるにつれ高くなり、「身近な人からの口コミ情報」は、40歳代以上で年代が上がるにつれ高くなる傾向にあります。

【年代別クロス】

(単位：%)	広報ところざわ	市のホームページ	ところざわほっとメール	市役所の窓口	ちやお（所沢社協だより）	社会福祉協議会のふくし掲示板	テレビ・ラジオ・新聞	身近な人からの口コミ情報	インターネット（市、社協以外）	本や雑誌	社会福祉協議会のホームページ・メルマガ	その他	不明
19・20歳代 (n=188)	41.5	29.8	5.9	2.1	1.1	0.5	20.2	19.1	34.6	3.2	0.5	3.2	2.7
30歳代 (n=239)	68.2	36.4	11.7	5.0	2.1	0.8	17.2	15.5	28.9	6.3	0.8	2.1	2.1
40歳代 (n=314)	78.7	31.8	23.6	6.1	3.2	0.6	19.4	15.9	24.2	4.1	0.0	2.5	1.6
50歳代 (n=254)	78.3	30.7	11.0	3.9	3.9	0.8	17.7	18.1	20.9	2.8	2.0	3.1	2.8
60歳代 (n=271)	85.6	22.1	7.4	8.5	8.9	2.6	27.7	24.7	13.3	4.1	2.2	1.1	3.0
70歳代 (n=347)	84.7	11.5	3.5	6.3	4.9	3.5	28.0	26.8	4.0	3.7	0.9	2.3	4.9
80歳以上 (n=15)	86.7	6.7	0.0	0.0	13.3	0.0	26.7	66.7	6.7	6.7	0.0	6.7	0.0

あなたは、自分に必要な「福祉サービス」の情報をどの程度入手できていると思いますか。
 (〇は1つ)

<一般向け調査:問 27>



年代別にみると、80歳以上を除き、「ほとんど入手できていない」「全く入手できていない」の合計が「十分できている」「十分ではないが、入手できている」の合計を上回っています。また、19・20歳代、30歳代で「全く入手できていない」の割合が他の世代より高くなっています。

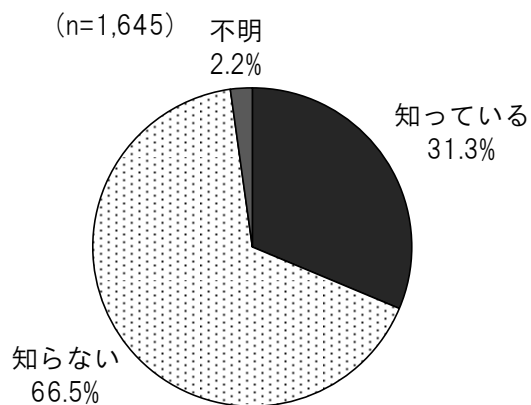
【年代別クロス】

(単位: %)	十分入手できている	十分ではないが、入手できている	ほとんど入手できていない	全く入手できていない	今のところ情報を得る必要がない	わからない	不明
19・20歳代(n=188)	0.5	16.0	26.1	17.6	20.7	17.6	1.6
30歳代(n=239)	2.9	25.9	27.6	14.6	18.0	9.6	1.3
40歳代(n=314)	2.9	28.7	28.7	6.7	18.8	12.4	1.9
50歳代(n=254)	2.0	24.0	28.3	8.7	24.8	9.8	2.4
60歳代(n=271)	1.5	24.4	24.0	10.0	26.6	9.2	4.4
70歳代(n=347)	0.6	27.7	21.0	8.4	27.7	9.5	5.2
80歳以上(n=15)	6.7	40.0	13.3	6.7	33.3	0.0	0.0

7. 地域福祉を担っている人について（一般向け調査のみ）

あなたは、自分の住んでいる地域を担当している民生委員・児童委員を知っていますか。
（〇は1つ）

<一般向け調査:問 28>



地区別にみると、すべての地区で「知らない」が「知っている」を上回っています。

年代別にみると、70歳以上で「知っている」が「知らない」を上回っています。また、「知っている」は年代が上がるにつれ高くなる傾向にあります。

【地区別クロス】

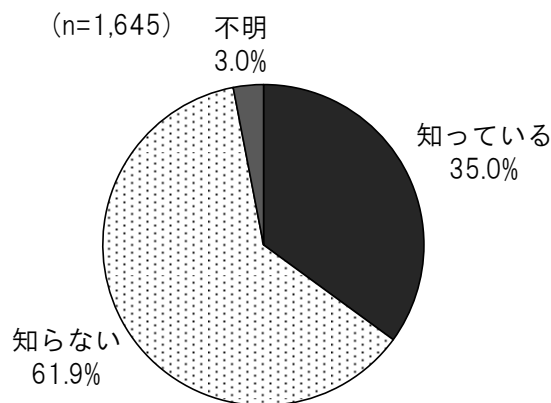
(単位: %)	知 っ て い る	知 ら な い	不 明
所沢地区 (n=139)	30.2	66.9	2.9
松井地区 (n=155)	34.2	63.9	1.9
柳瀬地区 (n=152)	28.3	69.1	2.6
富岡地区 (n=152)	32.9	64.5	2.6
新所沢地区 (n=139)	24.5	71.9	3.6
新所沢東地区 (n=148)	31.8	67.6	0.7
三ヶ島地区 (n=152)	34.2	64.5	1.3
小手指地区 (n=158)	30.4	68.4	1.3
山口地区 (n=151)	35.8	61.6	2.6
吾妻地区 (n=149)	30.2	69.8	0.0
並木地区 (n=129)	32.6	63.6	3.9

【年代別クロス】

(単位: %)	知 っ て い る	知 ら な い	不 明
19・20歳代 (n=188)	5.3	93.1	1.6
30歳代 (n=239)	10.5	88.3	1.3
40歳代 (n=314)	13.1	86.0	1.0
50歳代 (n=254)	20.5	77.6	2.0
60歳代 (n=271)	35.4	61.6	3.0
70歳代 (n=347)	78.4	18.2	3.5
80歳以上 (n=15)	93.3	6.7	0.0

あなたは、民生委員・児童委員の活動内容を知っていますか。(〇は1つ)

<一般向け調査:問 29>



地区別にみると、すべての地区で「知らない」が「知っている」を上回っています。

年代別にみると、70歳以上で「知っている」が「知らない」を上回っています。また、「知っている」は年代が上がるにつれ高くなる傾向にあります。

【地区別クロス】

(単位: %)	知 つ て い る	知 ら な い	不 明
所沢地区(n=139)	34.5	61.9	3.6
松井地区(n=155)	36.1	60.0	3.9
柳瀬地区(n=152)	32.9	63.8	3.3
富岡地区(n=152)	34.9	61.2	3.9
新所沢地区(n=139)	28.1	66.9	5.0
新所沢東地区(n=148)	36.5	60.1	3.4
三ヶ島地区(n=152)	32.2	66.4	1.3
小手指地区(n=158)	38.6	59.5	1.9
山口地区(n=151)	42.4	55.0	2.6
吾妻地区(n=149)	35.6	64.4	0.0
並木地区(n=129)	31.8	63.6	4.7

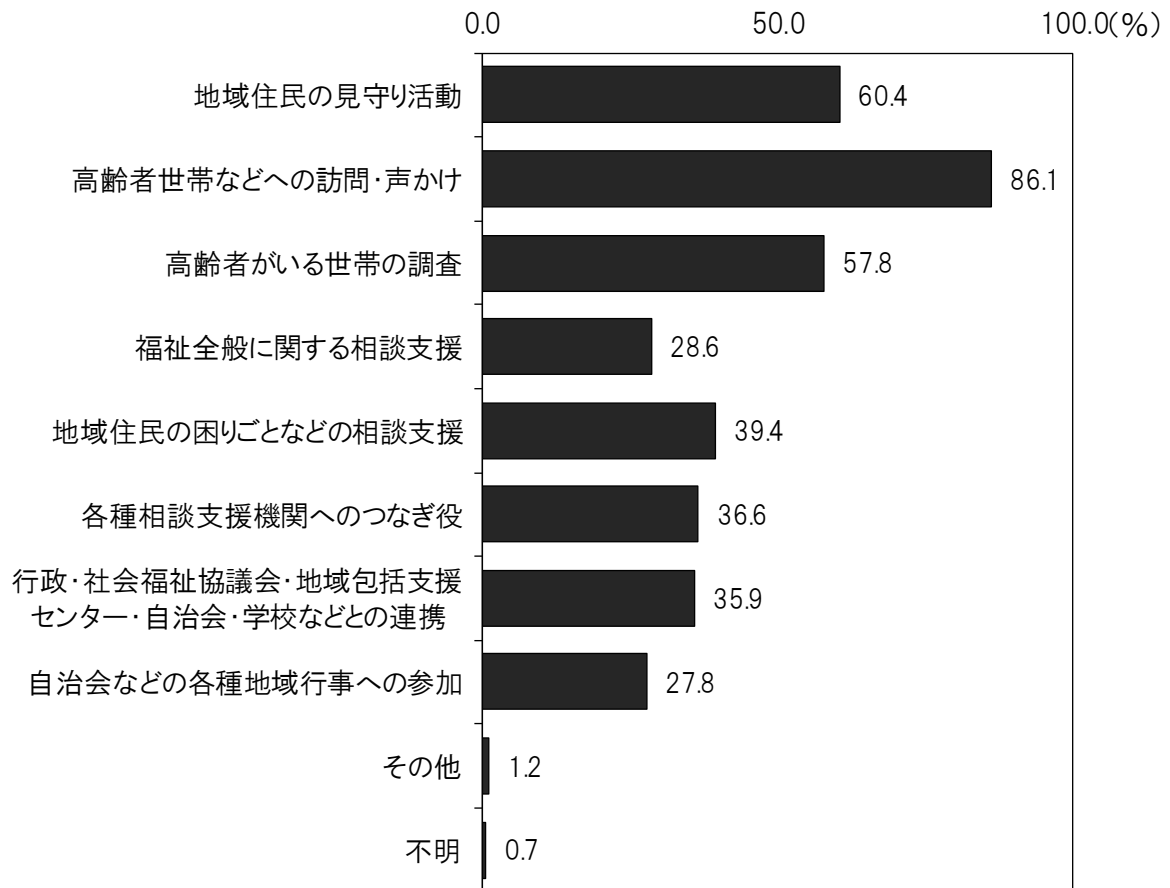
【年代別クロス】

(単位: %)	知 つ て い る	知 ら な い	不 明
19・20歳代(n=188)	6.9	91.5	1.6
30歳代(n=239)	17.2	81.6	1.3
40歳代(n=314)	24.5	73.9	1.6
50歳代(n=254)	37.0	61.0	2.0
60歳代(n=271)	46.9	49.8	3.3
70歳代(n=347)	59.7	33.7	6.6
80歳以上(n=15)	73.3	20.0	6.7

一般向け調査問 29 で、民生委員・児童委員の活動内容を「知っている」と答えた方にお聞きします。

あなたが知っている民生委員・児童委員の活動は次のどれですか。（〇はいくつでも）

<一般向け調査:問 30>

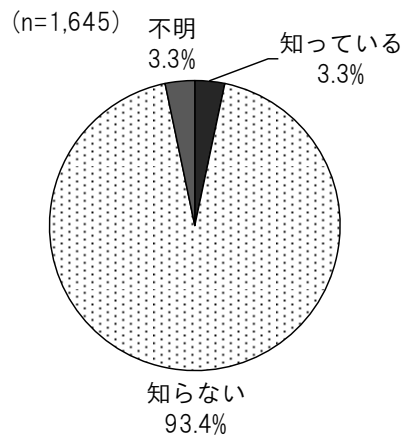


■ 一般向け調査(n=576)

社会福祉協議会では、各地区にCSW（コミュニティ・ソーシャル・ワーカー）を配置しています。あなたは、自分の住んでいる地域を担当しているCSWを知っていますか。

（〇は1つ）

<一般向け調査:問 31>



地区別にみると、すべての地区で「知らない」が「知っている」を上回り、「知っている」の割合はすべての地区で1割未満となっています。

年代別にみると、「知っている」の割合は、80歳以上を除くすべての年代で1割未満となっています。

【地区別クロス】

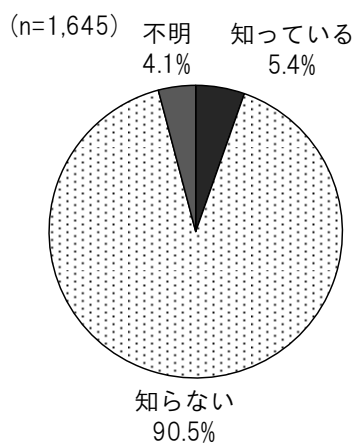
(単位: %)	知っている	知らない	不明
所沢地区 (n=139)	2.9	93.5	3.6
松井地区 (n=155)	3.9	92.3	3.9
柳瀬地区 (n=152)	0.7	93.4	5.9
富岡地区 (n=152)	3.3	94.1	2.6
新所沢地区 (n=139)	3.6	92.1	4.3
新所沢東地区 (n=148)	0.7	98.6	0.7
三ヶ島地区 (n=152)	6.6	91.4	2.0
小手指地区 (n=158)	4.4	92.4	3.2
山口地区 (n=151)	2.6	94.7	2.6
吾妻地区 (n=149)	4.0	95.3	0.7
並木地区 (n=129)	3.9	89.9	6.2

【年代別クロス】

(単位: %)	知っている	知らない	不明
19・20歳代 (n=188)	1.6	93.6	4.8
30歳代 (n=239)	2.5	94.6	2.9
40歳代 (n=314)	1.3	97.1	1.6
50歳代 (n=254)	1.2	96.1	2.8
60歳代 (n=271)	3.3	93.0	3.7
70歳代 (n=347)	7.2	88.8	4.0
80歳以上 (n=15)	20.0	80.0	0.0

あなたは、CSWの活動内容を知っていますか。

<一般向け調査:問 32>



地区別、年代別いずれも「知らない」が「知っている」を上回り、「知っている」の割合はすべての地区、年代で1割未満となっています。

【地区別クロス】

(単位:%)	知 っ て い る	知 ら な い	不 明
所沢地区(n=139)	6.5	89.2	4.3
松井地区(n=155)	6.5	88.4	5.2
柳瀬地区(n=152)	2.0	91.4	6.6
富岡地区(n=152)	6.6	90.8	2.6
新所沢地区(n=139)	6.5	88.5	5.0
新所沢東地区(n=148)	3.4	93.9	2.7
三ヶ島地区(n=152)	6.6	90.1	3.3
小手指地区(n=158)	5.7	91.1	3.2
山口地区(n=151)	4.6	92.1	3.3
吾妻地区(n=149)	4.7	94.6	0.7
並木地区(n=129)	7.8	85.3	7.0

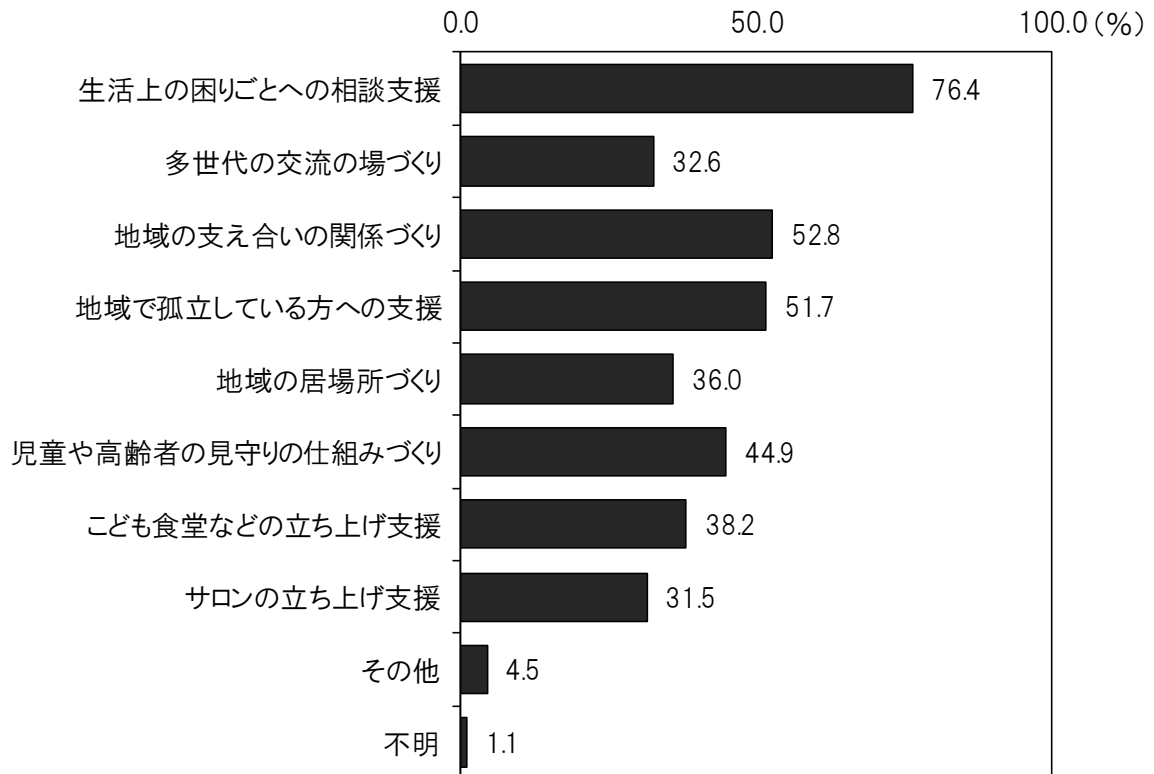
【年代別クロス】

(単位:%)	知 っ て い る	知 ら な い	不 明
19・20歳代(n=188)	4.8	89.9	5.3
30歳代(n=239)	5.4	91.6	2.9
40歳代(n=314)	3.8	94.6	1.6
50歳代(n=254)	5.1	92.1	2.8
60歳代(n=271)	7.0	88.6	4.4
70歳代(n=347)	6.1	87.9	6.1
80歳以上(n=15)	6.7	80.0	13.3

一般向け調査問 32 で、CSWの活動内容を「知っている」と答えた方にお聞きします。

あなたが知っているCSWの活動は次のうちどれですか。（〇はいくつでも）

<一般向け調査:問 33>

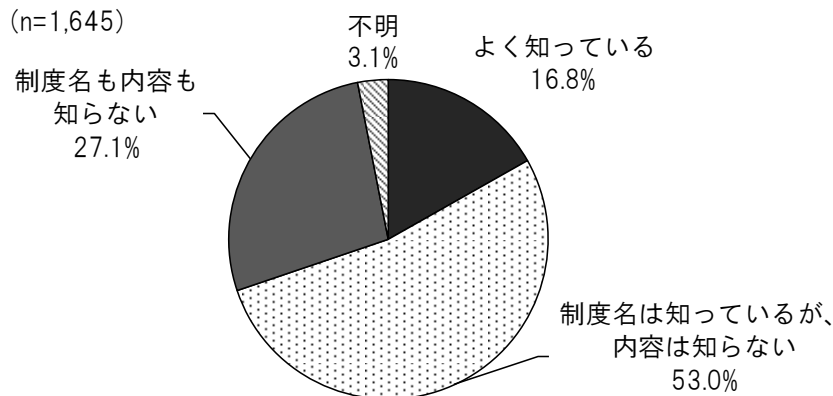


■ 一般向け調査(n=89)

8. 判断能力が低下した方への支援について（一般向け調査のみ）

成年後見制度は、障害や認知症などで判断能力が十分でない場合、ご本人に代わり財産管理や施設入所・入院の契約手続きなどを後見人が支援する制度です。あなたはこの制度について知っていますか。（〇は1つ）

<一般向け調査:問 34>



地区別にみると、すべての地区で「制度名は知っているが、内容は知らない」が最も高くなっています。

年代別にみると、19・20歳代と30歳代で「制度名も内容も知らない」が最も高くなっています。また、40歳代以上では「よく知っている」と「制度名は知っているが、内容は知らない」を合計した“少なくとも制度名は知っている”が7割以上となっています。

【地区別クロス】

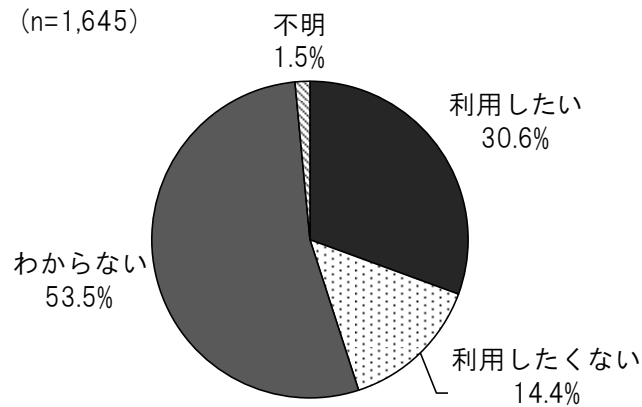
(単位: %)	よく知っている	内容は知らないが、制度名は知っているが、	制度名も内容も知らない	不明
所沢地区 (n=139)	18.7	51.1	27.3	2.9
松井地区 (n=155)	16.8	46.5	33.5	3.2
柳瀬地区 (n=152)	13.8	57.2	26.3	2.6
富岡地区 (n=152)	12.5	53.9	27.6	5.9
新所沢地区 (n=139)	14.4	55.4	25.2	5.0
新所沢東地区 (n=148)	19.6	52.0	27.7	0.7
三ヶ島地区 (n=152)	14.5	53.3	29.6	2.6
小手指地区 (n=158)	17.1	48.7	32.3	1.9
山口地区 (n=151)	17.2	55.0	24.5	3.3
吾妻地区 (n=149)	19.5	58.4	22.1	0.0
並木地区 (n=129)	20.9	53.5	20.2	5.4

【年代別クロス】

(単位: %)	よく知っている	内容は知らないが、制度名は知っているが、	制度名も内容も知らない	不明
19・20歳代 (n=188)	17.6	29.8	50.0	2.7
30歳代 (n=239)	18.0	38.9	41.8	1.3
40歳代 (n=314)	17.2	54.1	28.0	0.6
50歳代 (n=254)	19.3	55.9	22.8	2.0
60歳代 (n=271)	16.6	64.6	14.8	4.1
70歳代 (n=347)	13.3	63.1	17.0	6.6
80歳以上 (n=15)	13.3	66.7	20.0	0.0

将来的にあなた自身の判断能力が不十分になった場合、成年後見制度を利用したいと思いますか。(〇は1つ)

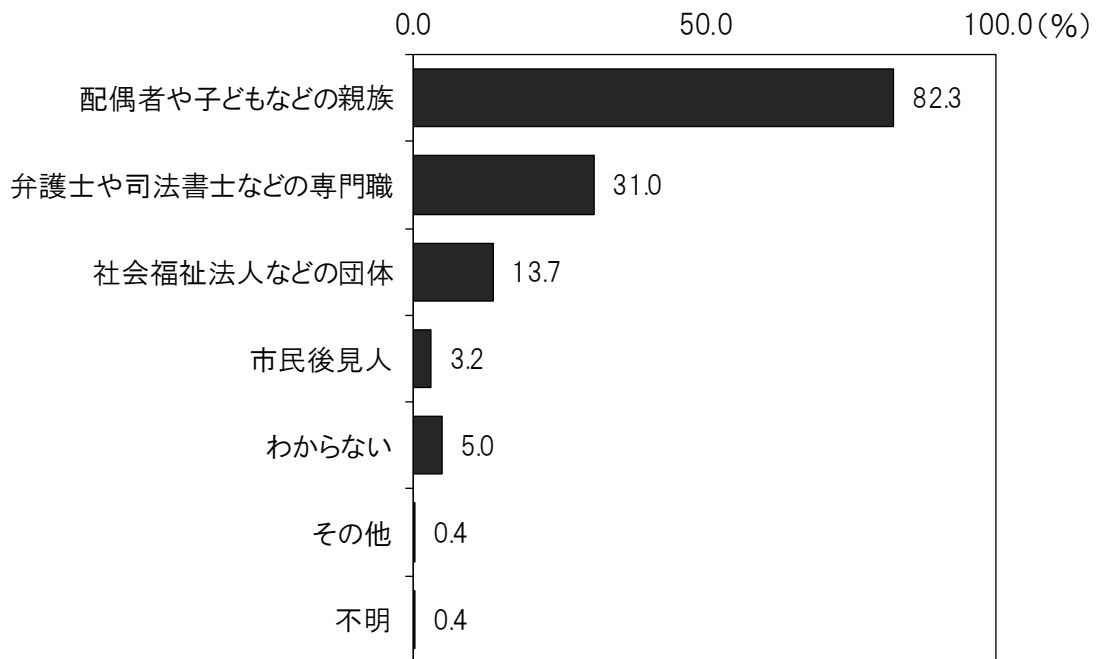
<一般向け調査:問 35>



一般向け調査問 35 で、成年後見制度を「利用したい」と答えた方にお聞きします。

成年後見制度を利用することになった場合、誰に後見人になって支援してほしいですか。(〇はいくつでも)

<一般向け調査:問 36>

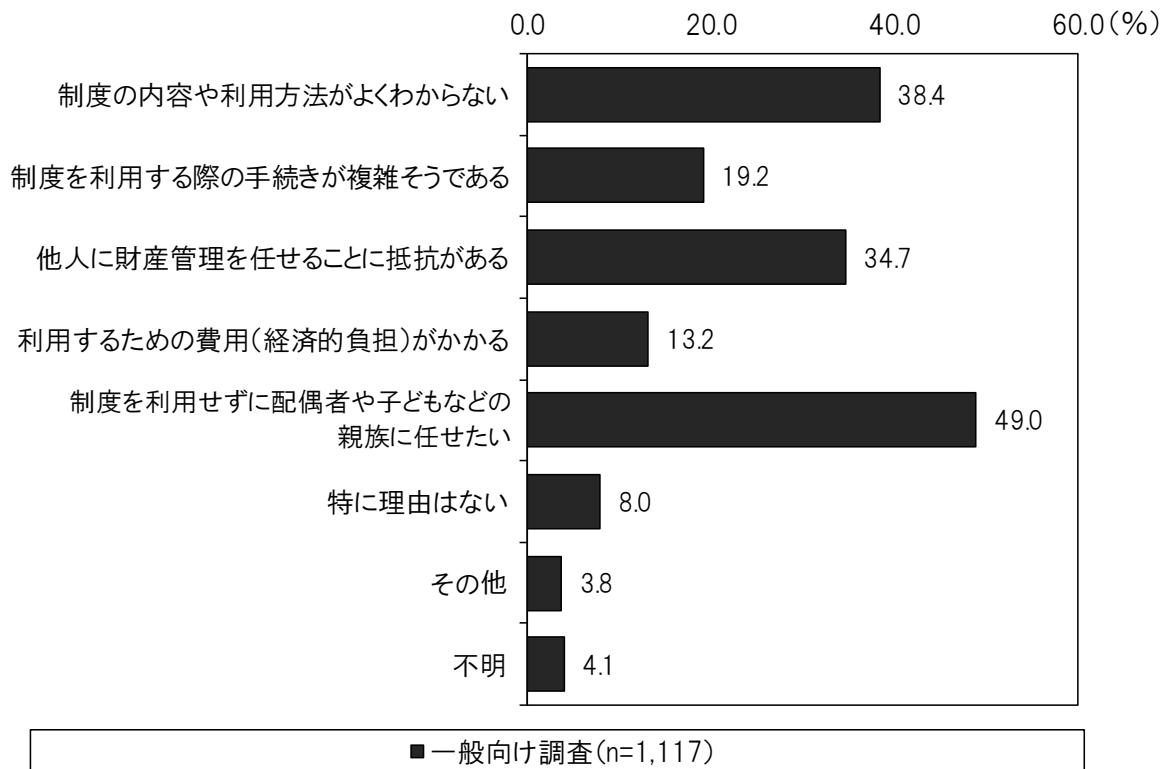


■ 一般向け調査(n=503)

一般向け調査問 35 で、成年後見制度を「利用したくない」、「わからない」と答えた方にお聞きします。

「利用したくない」あるいは「わからない」と答えた理由は何ですか。(〇はいくつでも)

<一般向け調査:問 37>



年代別にみると、19・20歳以上で「他人に財産管理を任せることに抵抗がある」が、30歳代と40歳代で「制度の内容や利用方法がよくわからない」が、それぞれ最も高くなっています。

【年代別クロス】

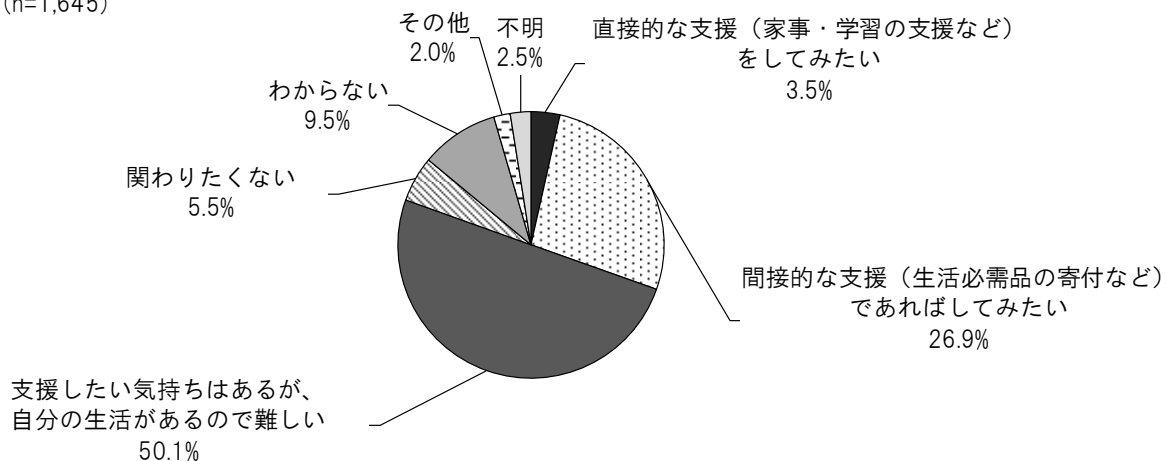
(単位: %)	よくわからない内容や利用方法が	制度が複雑そうである際の手続	他人に財産管理を任せる	経済的負担(費用)がかかる	配偶者や子どもを利用せずに親族に委任	特に理由はない	その他	不明
19・20歳代(n=107)	35.5	24.3	37.4	13.1	31.8	12.1	5.6	3.7
30歳代(n=171)	52.0	23.4	42.7	17.5	35.7	5.8	2.9	0.6
40歳代(n=193)	42.5	16.6	41.5	13.5	39.4	7.3	3.6	6.2
50歳代(n=180)	41.7	22.8	33.9	15.0	48.3	5.0	5.0	5.6
60歳代(n=199)	32.7	16.1	30.2	11.1	57.3	9.5	2.5	5.5
70歳代(n=245)	29.8	15.1	27.8	10.6	66.5	9.0	3.7	2.9
80歳以上(n=11)	36.4	27.3	18.2	18.2	72.7	9.1	0.0	9.1

9. 生活困窮者などへの支援について（一般向け調査のみ）

生活に困っている人を地域で支えることについて、あなたはごどう思いますか。（○は1つ）

<一般向け調査:問 38>

(n=1,645)



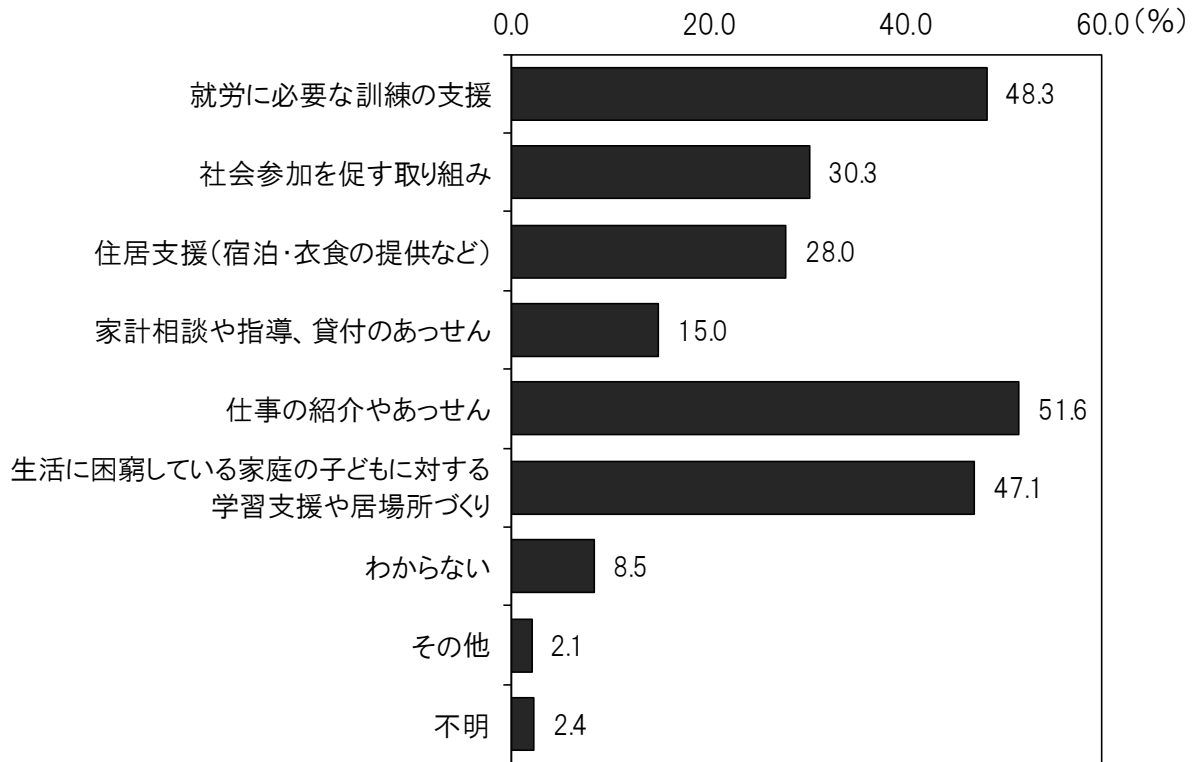
年代別にみると、すべての年代で「支援したい気持ちはあるが、自分の生活があるので難しい」が最も高く、次いで「間接的な支援であればしてみたい」が高くなっています。

【年代別クロス】

(単位: %)	直接的な支援をしてみたい	間接的な支援であればしてみたい	の支援したい気持ちはあるが、自分の生活があるので難しい	関わりたくない	わからない	その他	不明
19・20歳代 (n=188)	3.7	21.3	57.4	4.3	10.6	2.1	0.5
30歳代 (n=239)	5.0	20.5	54.4	8.8	7.9	2.5	0.8
40歳代 (n=314)	2.5	29.0	52.2	4.8	7.3	1.9	2.2
50歳代 (n=254)	3.1	24.8	51.2	7.9	9.1	2.4	1.6
60歳代 (n=271)	3.7	35.8	42.4	3.7	10.3	1.8	2.2
70歳代 (n=347)	3.5	28.2	46.1	3.7	11.5	1.7	5.2
80歳以上 (n=15)	0.0	13.3	73.3	6.7	6.7	0.0	0.0

生活に困っている人を市が支援していくために、どのような取り組みが有効だと思いますか。
(〇は3つまで)

<一般向け調査:問 39>



■ 一般向け調査(n=1,645)

地区別にみると、所沢地区、柳瀬地区、小手指地区、吾妻地区で「就労に必要な訓練の支援」が、並木地区で「生活に困窮している家庭の子どもに対する学習支援や居場所づくり」が、それぞれ最も高くなっています。その他の地区では「仕事の紹介やあっせん」が最も高くなっています。

【地区別クロス】

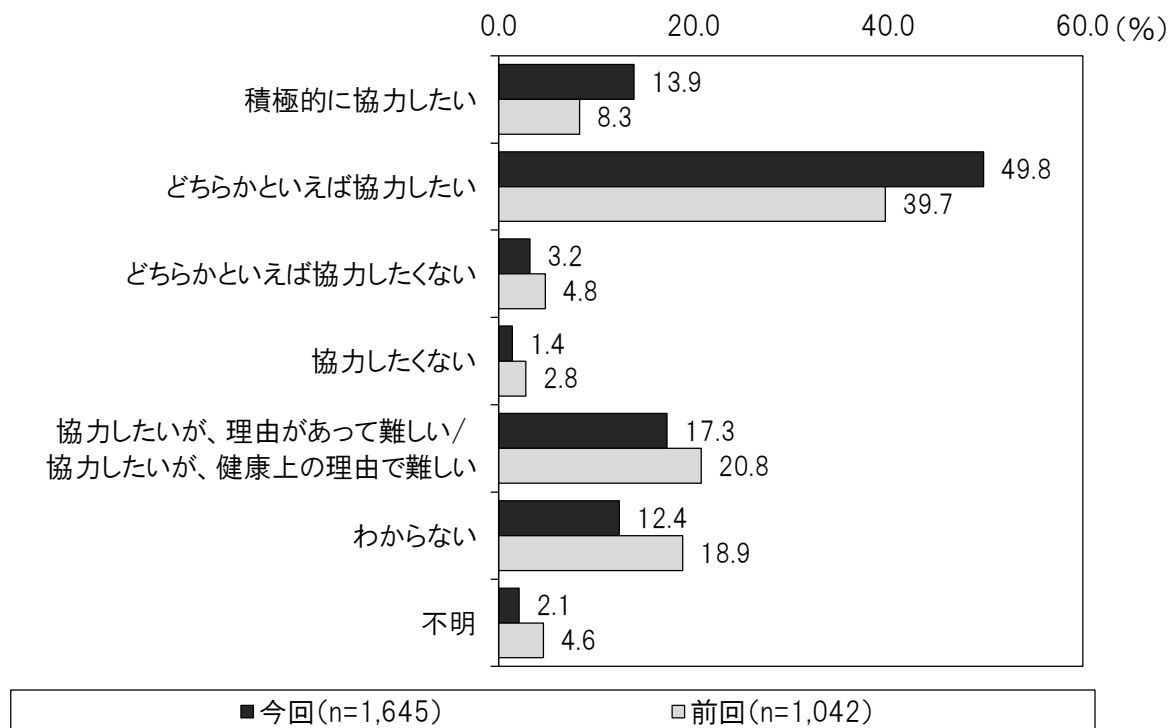
(単位：%)	就労に必要な訓練の支援	社会参加を促す取り組み	住居支援（宿泊・衣食の提供など）	家計相談や指導、貸付のあっせん	仕事の紹介やあっせん	生活に困窮している家庭の子どもに対する学習支援や居場所づくり	わからない	その他	不明
所沢地区 (n=139)	50.4	27.3	30.2	12.2	47.5	48.9	4.3	5.0	2.9
松井地区 (n=155)	43.9	27.7	29.0	12.9	58.7	50.3	9.0	1.3	1.3
柳瀬地区 (n=152)	56.6	29.6	28.3	17.8	49.3	41.4	8.6	2.0	2.6
富岡地区 (n=152)	36.2	27.6	27.0	15.1	51.3	48.7	13.2	3.9	1.3
新所沢地区 (n=139)	44.6	31.7	29.5	18.0	56.8	43.9	7.2	0.7	2.2
新所沢東地区 (n=148)	50.7	26.4	27.0	14.2	54.7	45.3	8.8	1.4	2.7
三ヶ島地区 (n=152)	46.7	34.2	26.3	13.8	49.3	42.1	11.8	2.6	3.9
小手指地区 (n=158)	48.7	35.4	25.3	16.5	46.8	47.5	10.1	1.3	2.5
山口地区 (n=151)	49.7	32.5	28.5	17.9	55.0	51.0	6.0	2.6	1.3
吾妻地区 (n=149)	54.4	28.2	32.9	17.4	48.3	47.7	4.7	1.3	2.0
並木地区 (n=129)	49.6	33.3	26.4	10.9	52.7	57.4	7.0	0.8	2.3

10. 災害時の助け合いなどについて（一般向け調査のみ）

市では、災害時に避難することが困難な方が、地域の助け合いによって避難できるよう「避難行動要支援者」を登録しています。このような方が近所にいたら手助けする人として協力したいと思いますか。（〇は1つ）

<一般向け調査:問 40>

前回調査と比較すると、「積極的に協力したい」が5.6ポイント、「どちらかといえば協力したい」が10.1ポイント増加し、「わからない」が6.5ポイント減少しています。



地区別にみると、すべての地区で「どちらかといえば協力したい」が最も高くなっています。また、吾妻地区と並木地区で「積極的に協力したい」が2割前後と他の地区に比べて高くなっています。

年代別にみると、80歳以上を除くすべての年代で「どちらかといえば協力したい」が最も高くなっています。また、19・20歳代で「積極的に協力したい」が2割弱と他の年代に比べてやや高くなっています。

【地区別クロス】

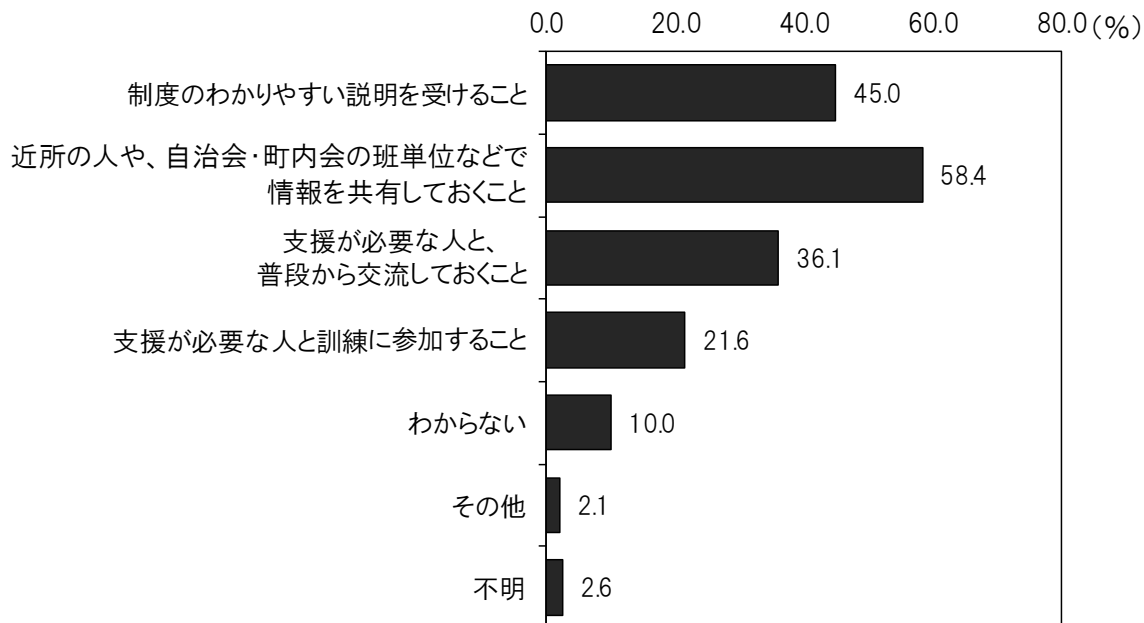
(単位:%)	積極的に協力したい	どちらかといえば協力したい	いどちらかといえば協力したくない	協力したくない	し協力したいが、理由があつて難	わからない	不明
所沢地区(n=139)	15.1	46.8	1.4	2.2	19.4	13.7	1.4
松井地区(n=155)	12.3	52.9	2.6	1.3	15.5	14.2	1.3
柳瀬地区(n=152)	13.8	55.9	2.6	0.7	13.8	12.5	0.7
富岡地区(n=152)	15.1	47.4	4.6	0.7	13.8	16.4	2.0
新所沢地区(n=139)	12.9	44.6	2.9	2.2	23.0	12.9	1.4
新所沢東地区(n=148)	10.8	52.7	3.4	3.4	18.2	10.1	1.4
三ヶ島地区(n=152)	11.8	47.4	3.9	0.7	18.4	14.5	3.3
小手指地区(n=158)	11.4	53.8	2.5	1.9	15.8	12.7	1.9
山口地区(n=151)	12.6	55.0	6.0	1.3	14.6	7.9	2.6
吾妻地区(n=149)	18.8	46.3	1.3	0.7	21.5	8.7	2.7
並木地区(n=129)	20.2	45.7	3.1	0.8	16.3	11.6	2.3

【年代別クロス】

(単位:%)	積極的に協力したい	どちらかといえば協力したい	いどちらかといえば協力したくない	協力したくない	し協力したいが、理由があつて難	わからない	不明
19・20歳代(n=188)	18.6	56.4	3.2	3.2	7.4	11.2	0.0
30歳代(n=239)	14.2	48.5	3.3	1.7	18.4	12.6	1.3
40歳代(n=314)	9.2	53.5	3.2	1.3	18.8	12.7	1.3
50歳代(n=254)	12.6	49.6	4.7	2.0	16.9	13.0	1.2
60歳代(n=271)	16.6	47.6	3.7	0.7	14.0	14.8	2.6
70歳代(n=347)	14.1	46.7	1.4	0.6	23.1	10.1	4.0
80歳以上(n=15)	13.3	26.7	0.0	0.0	33.3	26.7	0.0

避難行動要支援者の方を手助けするにあたっては、どのような機会や取組があれば手助けがしやすくなると思いますか。（〇はいくつでも）

<一般向け調査:問 41>



■ 一般向け調査(n=1,645)

地区別にみると、すべての地区で「近所の人や、自治会・町内会の班単位などで情報を共有しておくこと」が最も高くなっています。

【地区別クロス】

(単位: %)	を制度のわかりやすい説明を受け	を内会の班単位などで共有しておくこと	近所の人が、自治会・町内会と普段から交流しておくこと	支援が必要な人と訓練に参加すること	わからない	その他	不明
所沢地区 (n=139)	47.5	54.7	33.8	19.4	12.9	4.3	2.9
松井地区 (n=155)	36.1	62.6	44.5	27.1	11.0	2.6	1.9
柳瀬地区 (n=152)	46.7	55.3	33.6	19.1	8.6	2.6	2.0
富岡地区 (n=152)	43.4	61.2	32.2	23.7	9.2	3.3	3.3
新所沢地区 (n=139)	44.6	49.6	37.4	18.0	11.5	0.7	2.9
新所沢東地区 (n=148)	48.0	59.5	27.7	17.6	12.8	1.4	2.0
三ヶ島地区 (n=152)	46.7	59.9	30.3	17.8	11.8	1.3	3.3
小手指地区 (n=158)	41.8	58.2	43.0	21.5	10.1	0.0	0.6
山口地区 (n=151)	45.0	64.9	39.7	26.5	4.0	2.0	2.6
吾妻地区 (n=149)	43.6	58.4	35.6	22.8	10.7	2.7	2.7
並木地区 (n=129)	51.9	56.6	38.8	24.0	6.2	2.3	2.3

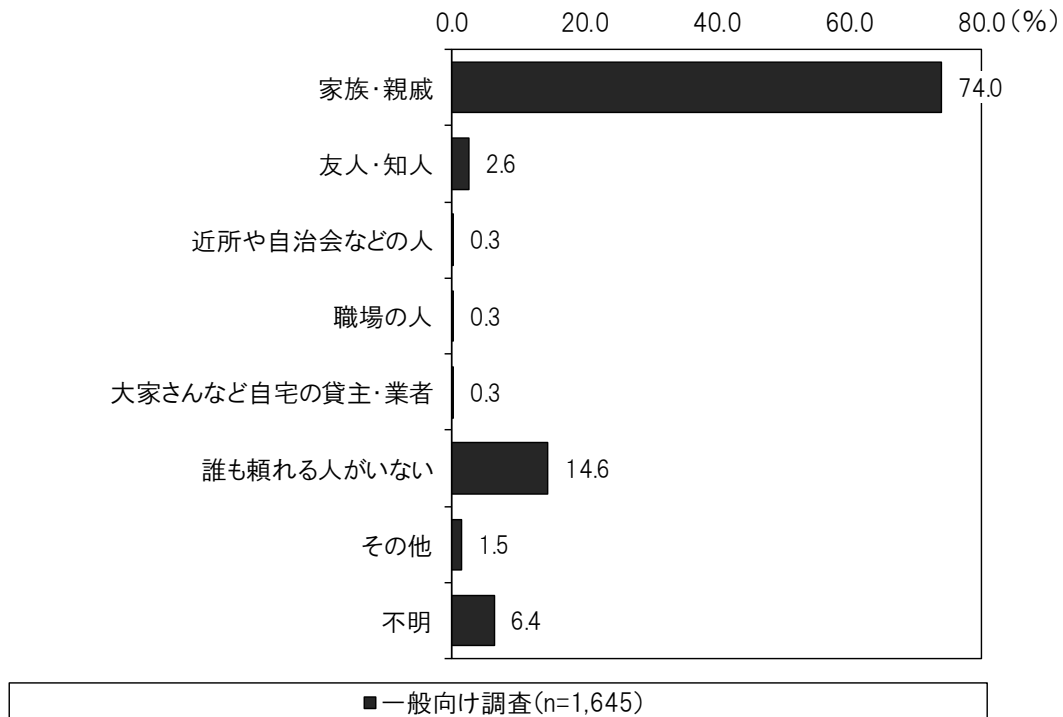
年代別にみると、すべての年代で「近所の人や、自治会・町内会の班単位などで情報を共有しておくこと」が最も高くなっています（19・20歳代では「制度のわかりやすい説明を受けること」と同割合）。

【年代別クロス】

(単位: %)	を制度のわかりやすい説明を受けられること	近所の人や、自治会・町内会の班単位などで共有しておくこと	支援が必要な人と、普段から交流しておくこと	支援が必要な人と訓練に参加すること	わからない	その他	不明
19・20歳代 (n=188)	49.5	49.5	31.4	22.3	8.5	3.2	0.5
30歳代 (n=239)	44.4	56.1	42.3	27.6	10.5	4.2	2.1
40歳代 (n=314)	49.0	56.4	41.1	25.8	6.4	2.2	1.3
50歳代 (n=254)	48.8	53.9	35.4	19.7	13.8	0.4	1.6
60歳代 (n=271)	45.4	64.6	35.8	21.4	10.3	1.8	3.0
70歳代 (n=347)	35.7	64.8	30.5	14.1	10.7	1.2	4.6
80歳以上 (n=15)	33.3	66.7	40.0	33.3	20.0	0.0	6.7

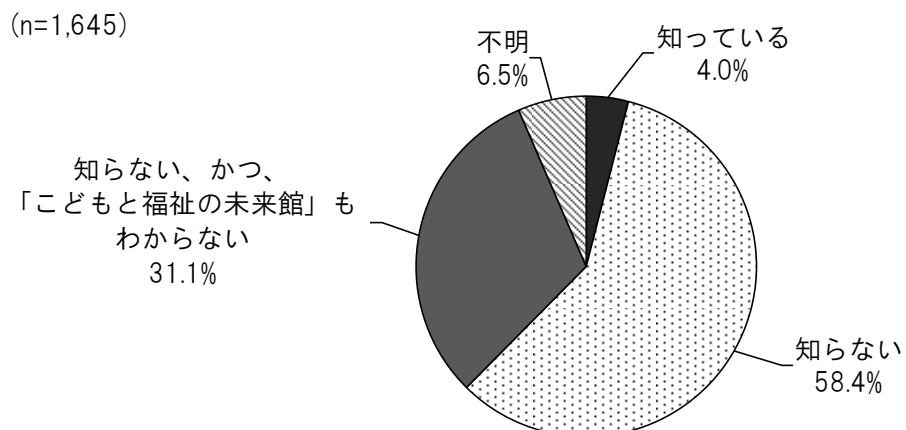
あなたの家が、火災や水害に見舞われて自宅に住めなくなった場合、当分の間、身を寄せる場所などを頼れる人はいますか。(〇は1つ)

<一般向け調査:問 42>



市内で災害があった場合、社会福祉協議会が「こどもと福祉の未来館」に災害ボランティアセンターを立ち上げ、市内各所へボランティアを派遣します。このことについて知っていましたか。(〇は1つ)

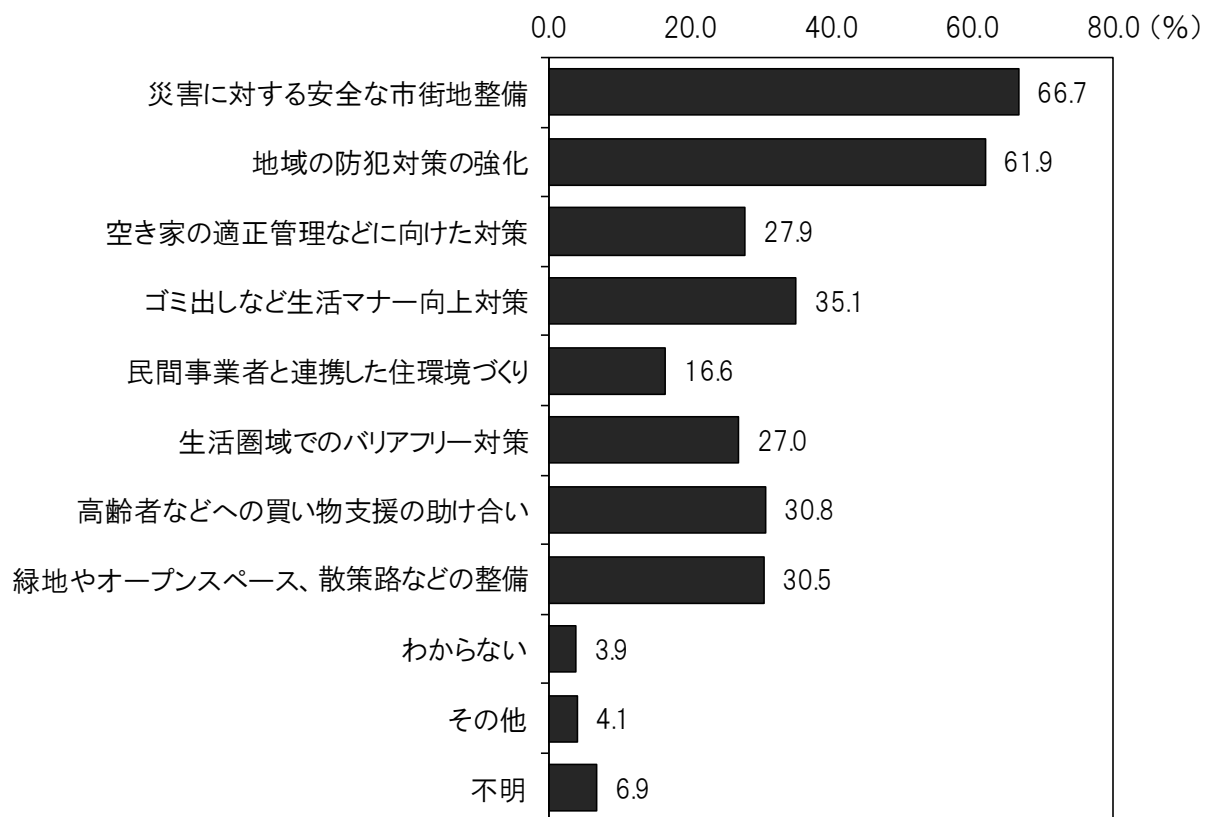
<一般向け調査:問 43>



11. 優しいまちづくりについて（一般向け調査のみ）

地域で安心して長く住み続けるために、住環境や生活であなたが重要だと思う取り組みは何ですか。（〇はいくつでも）

<一般向け調査:問 44>



■ 一般向け調査(n=1,645)

地区別にみると、すべての地区で「災害に対する安全な市街地整備」と「地域の防犯対策の強化」が5割を超えて高くなっています。また、松井地区と新所沢地区では「緑地やオープンスペース、散策路などの整備」が、山口地区では「高齢者などへの買い物支援の助け合い」が3番目に高くなっています。

年代別にみると、80歳以上を除くすべての年代で「災害に対する安全な市街地整備」と「地域の防犯対策の強化」が5割半ばを超えて高くなっています。また、年代が上がるにつれて「高齢者などへの買い物支援の助け合い」が高くなる傾向にあります。

【地区別クロス】

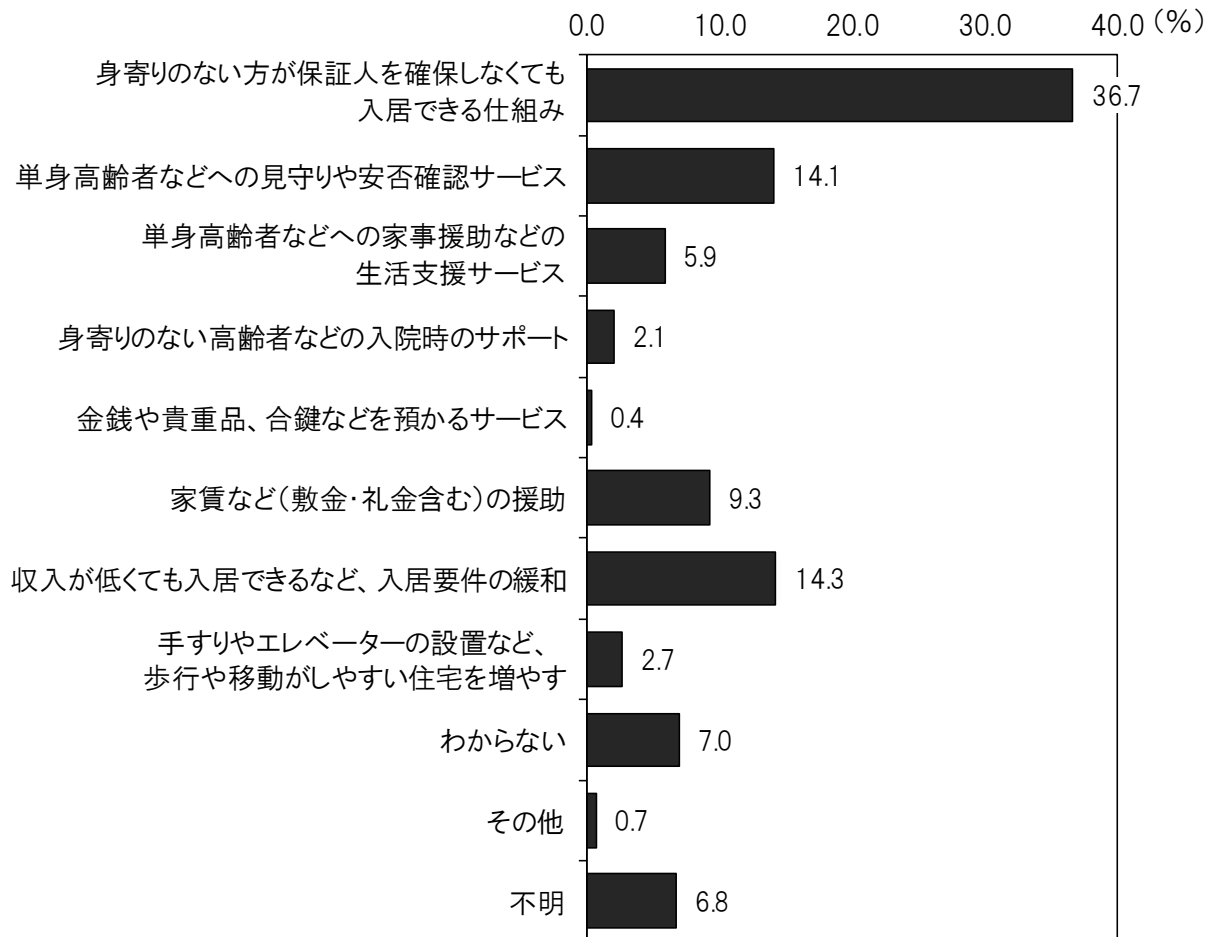
(単位: %)	街地整備 災害に対する安全な市	地域の防犯対策の強化	空き家の適正管理など に向けた対策	ゴミ出しなど生活マ ナー向上対策	住民事業者と連携した 環境づくり	生活圏域でのバリアフ リ対策	高齢者などへの買い物 支援の助け合い	緑地やオープンスペー ス、散策路などの整備	わからない	その他	不明
所沢地区 (n=139)	71.2	60.4	30.2	38.1	20.9	29.5	25.9	33.8	3.6	2.9	6.5
松井地区 (n=155)	69.7	72.9	25.8	29.7	15.5	26.5	30.3	35.5	4.5	1.3	5.8
柳瀬地区 (n=152)	65.8	67.1	25.7	39.5	20.4	23.7	30.3	29.6	4.6	4.6	5.9
富岡地区 (n=152)	55.9	53.9	25.7	29.6	15.1	27.0	27.6	27.0	6.6	3.9	9.9
新所沢地区 (n=139)	69.8	61.2	23.7	28.8	12.9	29.5	25.2	36.0	3.6	4.3	5.0
新所沢東地区 (n=148)	70.9	62.2	29.7	36.5	13.5	27.7	24.3	23.0	5.4	2.7	7.4
三ヶ島地区 (n=152)	61.8	61.2	27.0	35.5	13.2	25.0	32.2	29.6	3.9	3.9	7.9
小手指地区 (n=158)	64.6	62.0	26.6	38.0	19.6	22.8	34.2	34.2	3.8	1.9	5.7
山口地区 (n=151)	66.2	61.6	31.8	32.5	13.9	25.8	39.1	27.2	3.3	6.0	6.0
吾妻地区 (n=149)	71.8	62.4	28.9	37.6	16.8	32.2	31.5	34.9	0.7	8.1	6.0
並木地区 (n=129)	66.7	55.8	31.8	40.3	21.7	30.2	38.8	25.6	3.1	5.4	8.5

【年代別クロス】

(単位: %)	街地整備 災害に対する安全な市	地域の防犯対策の強化	空き家の適正管理など に向けた対策	ゴミ出しなど生活マ ナー向上対策	住民事業者と連携した 環境づくり	生活圏域でのバリアフ リ対策	高齢者などへの買い物 支援の助け合い	緑地やオープンスペー ス、散策路などの整備	わからない	その他	不明
19・20歳代 (n=188)	67.0	59.6	25.0	36.7	21.8	33.0	21.8	37.2	4.3	4.8	4.8
30歳代 (n=239)	68.6	69.0	31.8	39.7	22.2	32.2	26.8	39.7	5.4	7.1	2.9
40歳代 (n=314)	66.9	62.4	28.0	36.0	16.6	27.1	30.3	25.2	2.5	6.4	6.7
50歳代 (n=254)	70.9	66.9	29.9	36.2	20.1	29.9	32.7	29.9	3.9	2.8	4.7
60歳代 (n=271)	66.1	57.9	29.2	33.9	12.2	23.2	33.9	25.8	4.1	2.6	10.0
70歳代 (n=347)	62.0	58.2	24.2	29.7	11.2	21.0	34.0	29.7	3.5	1.4	10.1
80歳以上 (n=15)	73.3	46.7	33.3	46.7	13.3	26.7	46.7	26.7	13.3	6.7	0.0

高齢者や低所得者、子育て世代などの住宅確保要配慮者が、民間の賃貸住宅に入所する場合に、どのような仕組みやサービスがあれば、入居しやすくなると思いますか。（〇は1つ）

<一般向け調査:問 45>

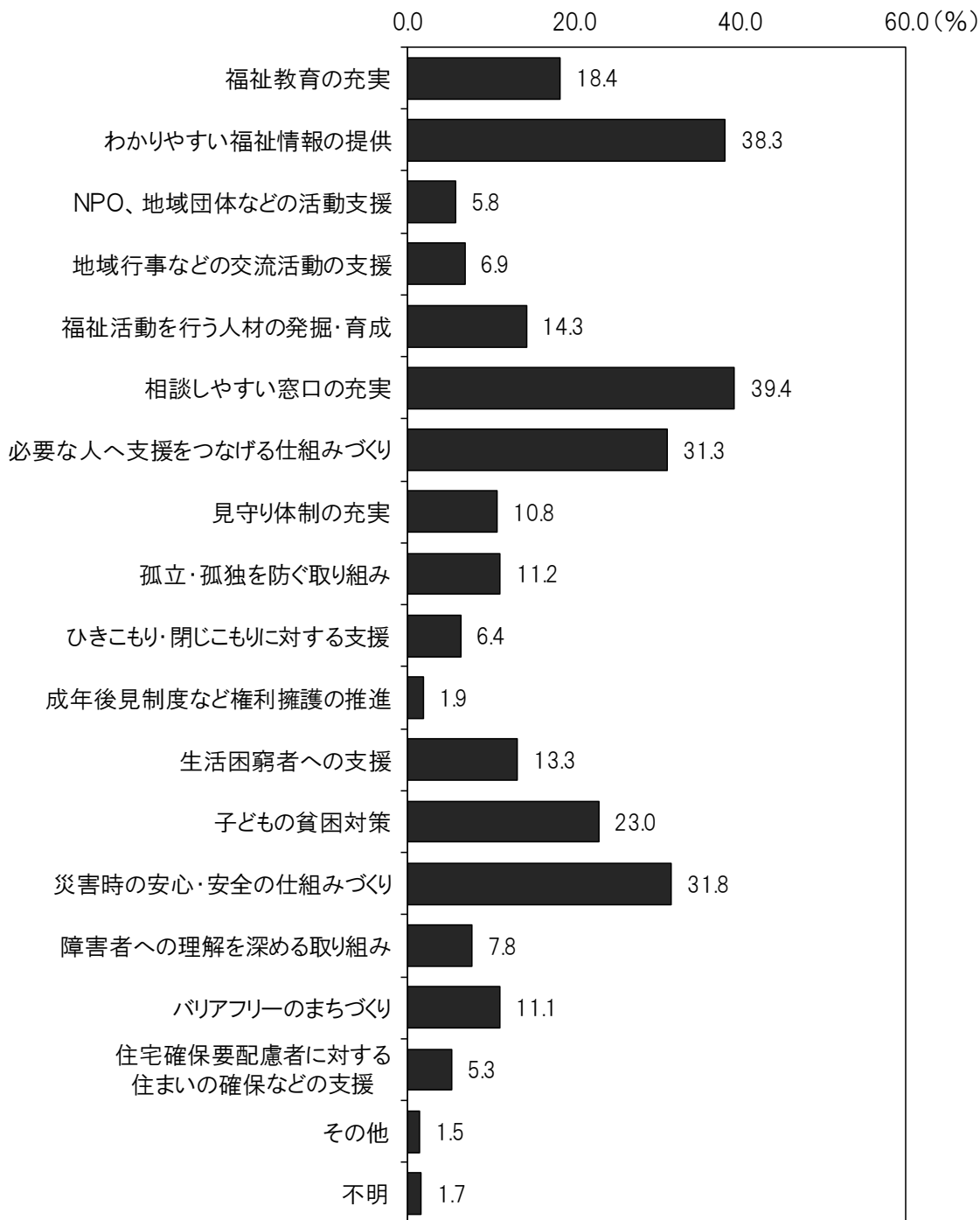


■ 一般向け調査(n=1,645)

12. 地域福祉の推進について（一般向け調査のみ）

地域福祉を進めていくために、市が優先的に取り組むべき施策は、どのようなことだと思いますか。（〇は3つまで）

<一般向け調査:問 46>



■ 一般向け調査(n=1,645)

地区別にみると、所沢地区、柳瀬地区、三ヶ島地区で「わかりやすい福祉情報の提供」が、新所沢東地区で「災害時の安心・安全の仕組みづくり」が、それぞれ最も高くなっています（吾妻地区では「相談しやすい窓口の充実」と「災害時の安心・安全の仕組みづくり」が同割合）。

年代別にみると、19・20歳代で「災害時の安心・安全の仕組みづくり」が、30歳代で「必要な人へ支援をつなげる仕組みづくり」が、それぞれ最も高くなっています。また、50歳代以上では「わかりやすい福祉情報の提供」と「相談しやすい窓口の充実」が第1位または第2位を占めています。

【地区別クロス】

(単位: %)	福祉教育の充実	わかりやすい福祉情報の提供	NPO、地域団体などの活動支援	地域行事などの交流活動の支援	福祉活動を行う人材の発掘・育成	相談しやすい窓口の充実	必要な人へ支援をつなげる仕組みづくり	見守り体制の充実	孤立・孤独を防ぐ取り組み	ひきこもり・閉じこもりに対する支援	成年後見制度など権利擁護の推進	生活困窮者への支援	子どもの貧困対策	災害時の安心・安全の仕組みづくり	障害者への理解を深める取り組み	バリアフリーのまちづくり	確保などの支援	住宅確保要配慮者に対する住まいの	その他	不明
所沢地区 (n=139)	19.4	43.2	8.6	7.2	16.5	33.8	34.5	10.8	11.5	5.8	1.4	11.5	27.3	29.5	7.9	10.1	3.6	2.2	1.4	
松井地区 (n=155)	18.7	39.4	7.1	8.4	18.1	47.1	29.7	14.2	11.6	9.0	1.3	10.3	22.6	26.5	5.2	11.0	3.2	0.6	0.0	
柳瀬地区 (n=152)	23.0	46.1	5.3	5.3	13.8	39.5	31.6	13.2	9.2	2.6	0.7	12.5	20.4	32.2	8.6	12.5	5.9	1.3	0.7	
富岡地区 (n=152)	14.5	36.8	3.9	7.2	12.5	40.1	28.9	9.9	9.9	2.6	1.3	15.1	25.0	30.3	12.5	9.2	5.3	2.0	4.6	
新所沢地区 (n=139)	24.5	33.8	3.6	9.4	15.1	36.7	31.7	12.2	12.9	4.3	1.4	11.5	15.8	27.3	8.6	13.7	7.2	1.4	0.7	
新所沢東地区 (n=148)	18.9	29.7	4.7	6.8	13.5	33.1	34.5	7.4	10.1	8.1	2.0	16.2	27.7	35.8	8.1	10.1	6.8	0.7	3.4	
三ヶ島地区 (n=152)	19.7	39.5	5.9	6.6	15.8	36.2	32.2	11.2	8.6	7.9	2.6	15.8	23.7	30.3	9.2	10.5	7.2	2.0	1.3	
小手指地区 (n=158)	22.2	35.4	5.1	7.0	15.2	38.6	28.5	8.2	12.7	5.7	2.5	14.6	19.0	31.6	8.2	10.8	5.1	0.6	2.5	
山口地区 (n=151)	9.9	37.7	4.6	10.6	10.6	40.4	31.1	12.6	12.6	8.6	2.0	16.6	28.5	32.5	4.6	9.3	4.6	1.3	2.0	
吾妻地区 (n=149)	10.7	40.3	8.1	5.4	10.7	40.9	33.6	8.7	9.4	8.7	2.7	12.8	23.5	40.9	5.4	15.4	2.7	3.4	0.0	
並木地区 (n=129)	21.7	40.3	7.0	3.1	14.7	46.5	29.5	9.3	16.3	6.2	3.1	8.5	20.2	34.1	6.2	10.1	7.0	0.0	1.6	

【年代別クロス】

(単位: %)	福祉教育の充実	わかりやすい福祉情報の提供	NPO、地域団体などの活動支援	地域行事などの交流活動の支援	福祉活動を行う人材の発掘・育成	相談しやすい窓口の充実	必要な人へ支援をつなげる仕組みづくり	見守り体制の充実	孤立・孤独を防ぐ取り組み	ひきこもり・閉じこもりに対する支援	成年後見制度など権利擁護の推進	生活困窮者への支援	子どもの貧困対策	災害時の安心・安全の仕組みづくり	障害者への理解を深める取り組み	バリアフリーのまちづくり	確保などの支援	住宅確保要配慮者に対する住まいの	その他	不明
19・20歳代 (n=188)	27.7	30.3	3.7	7.4	14.4	25.0	32.4	7.4	12.8	8.0	3.7	19.7	31.9	39.4	10.1	20.7	2.7	2.1	1.6	
30歳代 (n=239)	21.8	36.4	6.3	5.4	10.5	29.3	37.7	9.6	11.3	6.3	1.3	10.9	31.8	35.6	8.4	12.6	1.7	1.7	1.7	
40歳代 (n=314)	18.8	31.8	5.1	6.4	12.4	37.6	33.8	11.5	10.2	8.3	1.6	11.5	28.0	31.5	8.6	8.6	7.3	2.2	0.0	
50歳代 (n=254)	19.3	37.0	5.9	5.5	15.7	44.1	33.9	13.4	10.2	5.5	2.0	11.8	19.3	33.5	7.1	11.0	7.1	2.0	1.6	
60歳代 (n=271)	14.4	47.6	6.3	5.2	16.2	42.8	32.5	9.2	11.1	5.2	1.8	12.9	21.0	26.6	8.1	8.9	5.2	0.4	2.2	
70歳代 (n=347)	13.0	43.5	6.3	9.5	15.9	48.4	22.8	11.8	12.7	5.2	1.7	15.0	13.0	28.5	6.1	9.2	6.3	0.3	2.9	
80歳以上 (n=15)	26.7	40.0	13.3	33.3	13.3	53.3	20.0	6.7	6.7	13.3	0.0	6.7	6.7	33.3	0.0	6.7	0.0	6.7	0.0	

IV 自由記述

個人のプライバシーに関わるもの、不適切な表現、明らかに誤字・脱字と考えられる箇所等については、修正を加えています。

1. 中高生向け調査

- ・ 今後、所沢市はどのようなまちになってほしいか

＜中高生向け調査：問 26＞ 96

- ・ あなたの地域、所沢市をより良くするためのアイデアやご意見など

＜中高生向け調査：問 27＞ 103

2. 一般向け調査

- ・ 地域での支え合いを広げていくためのアイデアや、地域福祉についてのご意見など

＜一般向け調査：問 47＞ 114

1. 中高生向け調査

今後、所沢市はどのようなまちになってほしいと思いますか。あなたが考えるキャッチフレーズを「〇〇〇〇まち」の形で教えてください。（例：「高齢者や障害者にやさしいまち」「ゆずりあいのできるまち」「みんなが笑顔になれるまち」など）〈中高生向け調査:問 26〉

所沢地区

内容	内容
不便なく暮らせる町。	市民の皆が楽しく暮らせるまち。
どんな人でも暮らしやすい町。	虐待が無い町。
伝統を後世につなげる町。	高齢者や障害者を含む皆が暮らしやすい町。
伝統を引き継いでいける町。	一生住み続けたい町。
穏やかでのびのびできる町。	ささえあいのまち。
笑顔で溢れてる町。	おもいやりの町。
治安が良く、安全な町。	全ての人にとって住みやすいまち。
緑が多い町。犬や猫などの動物の虐待が無い町(そもそも今あるかどうかは知らん)。	たがいに助け合い発展しつづけられるまち。
優しい町。	たすけあえるまち。
ストレスのかからない治安の良い町。	便利なまち。
緑豊かな町。	住むのに困らないまち。
互いに困った時に、助け合える町。	優しさのまち。
様々な年代の人が住みやすい町。	若者が集まる街。
安全な町。	全員が頼り、助け合う町。
誰もが笑顔になれるまち、安心安全なまち。	

松井地区

内容	内容
若者も安全に暮らせる町。	快適な暮らしができる町。
助け合える町。	住みやすい町。
日本一ゴミが少ない町。	助け合いが当たり前になるまち。
互いに優しい町。	みんなが笑顔になれるまち。
安心安全な町。	皆で助け合う活気のある街。
住みやすい町。	緑の多いまち。
交通の便が良い町。	世界一笑顔があふれる町。
みんなが元気な町。	将来安心して暮らせるまち。
明るい町。	誰もが働きやすいまち。

内容	内容
事故が無くなる町。	おちつくまち。
支えあえる町。	やさしさあふれるまち。
何でもある町。	

柳瀬地区

内容	内容
眠らない町。	暮らしやすいまち。バリアフリーなまち。
みんなが平等に幸せな町。	住み易いまち。
緑が多く、みんなが笑顔になれる町。	助けあえるまち。
みんなが住みやすい町。	共生社会ができるまち。
バリアフリーに力を入れていて、様々な年齢の人に優しい町。	困っている人がいないまち！
あたたかくて住みやすい町。	みんなに優しいまち。
笑顔たくさんな町。	自然と都市が共存する、住みやすい町。
みんなにとって住みやすい町。	世代に関係なく暮らせるまち。
自然にあふれたキレイな町。	市民全員が誇れるまち。
思いやりのある町。	市の端っこまですみやすいまち。
安心できる町。	子供を守っていける町。
老若男女が笑顔で暮らせる町。	みんなが楽しいと思えるような町。

富岡地区

内容	内容
安心安全暮らしやすい町。	学生が遊べる場所がたくさんあるまち。
若い人も過ごしやすい町。	みんなが個性を活かせるまち。
「生活に困ってる人が日本一少ない町」。	小さい子供、高齢者、障害者の人たちが安心して暮らせる町。
子供や中高生に優しい町。	住みやすいまち。
「いじめ0の町」。「発展した町」。	お互い尊重しあっていくまち。
楽しく明るくすごせる町。	愛にあふれる町。
お互いに助け合えるまち。	子どもも大人も楽しめるまち。
相手の事を思いやれる優しいまち。	明るいまち。
笑顔で挨拶ができるまち。	防犯の町。
みんな幸せなまち。	みんなが暮らしやすい町。
皆が気持ちよく過ごせるまち。	

新所沢地区

内容	内容
きれいな町。	思いやりができるまち。
何も無いがそこがいい町。	地球環境に優しい街。
わかりません。	遊べるものがたくさんある町。
いいまち。	みんなで支える町。
若者が住みやすい町。	住みやすいまち。全ての動植物に優しいまち。
教育水準の高い町。	幸せの連鎖が起こるまち。
人と人との間に壁の無い町。	子供達の元気な声があふれるまち。
安全で笑顔あふれて支えあえる町。	環境に優しいまち。
お互いを理解し合える町。	「楽しいまち」
市全体が自分の居場所になる町。	暮らしに便利な町。
豊かな町。	誰もが住みやすいまち。
犯罪のない安全なまち。	おもいやりのある町。
スポーツで元気！活気あるまち。	みんなに優しい町。
どんな人でも住みやすいまち。	

新所沢東地区

内容	内容
大人から子供まで住みやすい町。	自然と都会がとけ込こんだまち。
最低最悪の市長のいない町。	幸せのまち。
住み続けたいと思える町。	子供や高齢者や障害者がみんな平等に暮らせる町。
買物とかに便利な町。安全な町。たくさん遊べる町。賑やかな町。	全ての人にとって平等で快適なまち。
助け合いの心を大切にする町。	楽しく住めるまち。
どの世代の人にも、優しく住みやすい町。	知り合いの多い仲良いまち。
幸福度の高い街、所沢！	川越を抜いて埼玉県 3 位の市になってほしい。
安心・安全に暮らせる町。	道路環境がよい町。
優しい人が多く楽しい町。	誰もが暮らしやすい安全なまち。
犯罪が起こらない町。	みんなが仲良くなれる町。
ハンディキャップがある人たちに優しい町。不登校が少なくなる町。	皆が住みやすいまち。
安全・安心。	日本一の何かがあるまち。ユニバーサルデザインになってるまち。
楽しい町。	人と自然にやさしいまち。

内容	内容
赤ちゃんから高齢者まで楽しめる町(いっしょに)。	誰もが笑顔で安心して暮らせる町。
歩きタバコがないまち。	一人一人がどんな人にも優しい。

三ヶ島地区

内容	内容
充実した生活ができる町。	犯罪が無く、明るいまち。
みんなが過ごしやすい町。	思いやりのあるまち。
誰でも過ごしやすい町。	どの世代も安心して暮らせて、環境も治安も良いまち。笑顔あふれ、皆が所沢市民としての誇りを持つまち。
老若男女、安心して暮らせる町、楽しく暮らせる町。	安全。
渋谷みたいな町。	人が住みやすいまち。
人の集まる町。	便利で住みやすいまち。
安全に暮らせる町。	どんな人にとっても暮らしやすいまち。
少子高齢化について議論出来る町。	くらしやすいまち。
交通ルールを守る町。	市民にやさしいまち。
年代に問わず楽しめる町。	平等なまち。
偏見のないまち。	安全・安心のまち。

小手指地区

内容	内容
犯罪の無い良い町。	明るく楽しいまち。
みんなに優しい町。	勉強が出来、充実するまち。
水道を民営化しない町。	皆が「幸せだ」と心から思えるまち。
すべての市民に優しい町。	本当に人の事を思いやれる人が暮らすまち。
安心して、遊びまくる町。	老若男女が住みやすいまち。
誰もが平等で家族のような存在の町。	みんなが安心して暮らせるまち。
事故が少ない町。	明るくみんなが暮らしやすいまち。
誰もが楽しい町。	誰にでも優しく接せる町。
みんなが過ごしやすい町。	元気な子供が多いまち。
誰とでも関わり合える町。	全員が信頼し合えて助け合える町。
みんなと生きる町。	安全、快適でみんなが笑顔で暮らせる町。
誰もが住みやすいと思える町。	笑顔の多いまち。
みんなが優しい町。	人づき合いがしやすいまち。

内容	内容
犯罪が少ない町。	社会的、身体的弱者に手を差し伸べられるまち。開発で自然を一方向的に壊すのではなく共存できるまち。
誇れるショッピングセンターがある町。	広い世代からたしまれるまち。
障がい者と楽しく暮らせる町。	心が穏やかになれるまち。
自然があふれ、安心して暮らせる町。	高齢者や障害者にやさしいまち。学習環境が整備されたまち。
高齢者や障害者を助けられるまち。高齢者や障害者が無料で医療を受けられるまち。	みんなが快適に暮らせるまち。
今ある自然をずっと守っていけるまち。	住みやすいまち。
子供に優しい町。	だれでも安心(やすらげる)できるまち。
治安が良いまち。	市民の意見が反映されていくまち。
誰でも優しくできるまち。	気づかいができるまち。
子供と高齢者に優しいまち。	緑がいつまでも続く町。日々進歩、未来を守れる町。
目くばりきくぱり思いやりのまち。	高齢者や障害者が不自由なく暮らせる町。
子供がもっと輝いているまち。	お金があふれる裕福な町。
皆が自分以外のことをかんがえられるまち。	積極的に話し平和な町。
近所の人と親しく何でも話せるようなまち。	誰もが住みやすい町。
住む人が理想とするまち。	

山口地区

内容	内容
みんなで助け合う町。	所沢市民でよかったと思えるまち。
安心して住める町。	住みやすく、安全なまち。
みんながみんなに優しい町。	今のままで充分です。
みんながみんな優しい町。	助け合いのできる町。
全体的に何不自由ない町。格差の無い町。	いろんな人が安心できるまち。
安心、安全な町。	助け合いのまち。
みんなが幸せになれる町。	みんなが学校に行くまち。
常に高齢者、障害者のことを考えて笑顔で暮らす町。	高齢者や子どもが楽しく暮らせる町(虐待がない町)。
「全ての人にとって住みよい町」。	誰もが安心安全で暮らせるまち。
ユニバーサルデザインなまち。みんなが笑顔になるまち。きれいなまち。ととのったまち。	豊かな町。

内容	内容
誰にでもやさしくできるまち。	お互いがお互いのことを考えられる町。挨拶をする町。高齢者が威張らず、若者がいきらない町。全員が謙遜する町。
市民ひとりひとりがやさしくなれるまち。	

吾妻地区

内容	内容
共に助け合える町。	スタイリッシュな町。
子供がもっと住みやすい町(小中学校にエアコンの設置、道路の整備など)。	誰もが居場所のある、笑顔が絶えない町。
誰もが住みやすい町。みんなが親切な町。	自然豊かなまち。
みんなが住みやすい町。	色々な設備が充実しているまち。
よく学び、よく遊べる町。	平和なまち。
住み心地の良い町。	ともだちができるまち。
思いやりのある町。	誰もが幸せになれるまち。
みんながのびのび自分らしく生きられる町。	みんなが安心して暮らせる町。
安心して暮らせる町。	助け合いの出来るまち。
どんな人も住みやすい町。	便利ですみやすいまち。
誰にでも優しい町。	交通の利便性(主に路線バス)が良く、地域の特色(主に自然環境)を活かし中心部と地域を繋ぐまち。「つなげるまち、つながるまち、所沢」。
自然を忘れない町。	アットホームなまち。

並木地区

内容	内容
子供が安心して暮らせる町。	ゆずりあいのできるまち。
みんなが楽しいと思える町。	相手をおもいやってやさしくできるまち。
観光スポットがある町。	みんなのくらしやすいまち。
みんなが何度も訪れたいと思える町。	みんなが輝けるまち。
きれいで自然豊かでみんなが笑顔になれる町。	老若男女関係なく親密なまち。
みんなの居場所ができる町。	あいさつを積極的にできるまち。
自然豊かな町。子どもとお年寄りに優しい。	仲良いまち。
マナーをきちんと守るまち。	たのしいまち。
皆がより住みやすいまち。	カミングアウトがしやすい町。愛しかない町。

内容	内容
暮らしやすいまち。	わかりません。
市民の声がとどくまち。	笑顔あふれる盛んな町。

地区回答なし

内容	内容
気遣いのできる町。	住みやすい町。
信頼あるまち。	

あなたの地域、所沢市をより良くするためにはどうしたら良いかなど、地域の福祉、地域の暮らしについて、アイデアや意見があればお書きください。〈中高生向け調査：問 27〉

所沢地区

内容
もう少し大型施設や娯楽施設を増やしてほしい。例、ショッピングセンターや屋内型複合レジャー施設的なもの。
みんなで助け合う。
ところバスの本数を増やしてください。お好み焼き店前の信号で車の信号無視がとても多いです。信号をLED化してください。小学校や中学校のお手洗いをリニューアルしてください。
駅前に鳥が多い。
カラスによる被害をなくしてほしい。ショッピングモールなど遊ぶ場所を増やしてほしい。
とにかくたくさんの木を植える！
挨拶する。
アメリカの寄付制度を採り入れたらいい(詳しくは調べてください)。例えばスリフト。誰でも無料で家具、本、電化製品、衣類、おもちゃを寄付し、それを安く買える施設です。ちなみに衣類は\$.33～\$3.00 くらいです。雇用も生まれます。職場に慣れる必要のある人に良いです。フードパントリー。企業や個人で食料を寄付する施設です。(牛乳、コーンフレーク、缶詰など)それを低所得者に渡します。
街路樹を増やす。木造建築。
市民の交流の場を作る。運動会やスポーツ大会のような、参加したら必ず話したり、コミュニケーションを取れたりできるイベントを行う。
公園等、子供の遊べる場所をつくる。
交通の便を良くする。電車の駅が遠い地域でのバスの本数を増やす。ところバスとか…(20分に1本くらい)。⇒高齢者の車による事故防止につながると思う！
狭山線の複線化。所沢駅でホームドアが付いた後も大人から子供まで電車が見える場所を作って欲しい。ライオンズが優勝したのだからもっと盛り上げるイベントが有ったら嬉しい。
少しでも様子がおかしいと思ったら、声を掛ける様にする。
所沢には、幅の狭い道や、歩道のない道が多くあるので、高齢者や、障害者、小さい子供の為にも少しでも幅を作り安全な道が増えると良いと思う。
夜の街灯が暗い所も明るくして欲しい。
意見箱を作り、作るだけでなく気軽に使える様にポスターで呼びかける。
思いつきません。
駅ナカ商業施設のオープンによるのかは分かりませんが、スーパーが最近閉店しました。それによって子供が気軽に100円ゲーム等で遊んだりオモチャを買う場所(デパートは少し少ないかと)本を買う場所、CDを買う場所が無いと思います。ネットでもいいとか、市に訴えてどうする、と思うと思いますが、どうにかならないかなあと思います。
若い人から高齢者まで利用出来る、勉強スペースや、交流の場を作るべきだと思う。

内容
おしゃれな施設が増える事。

松井地区

内容
もっと色々な場所にゴミ箱を設置して欲しい。まわりに捨てられる場所がないからポイ捨てをする。メリット…ごみが減る。デメリット…回収作業が大変、カラスや猫 etc の被害、イタズラ。
個人一人一人が他人を気遣うこと。
大型のショッピングセンターが出来てほしい。
スケボー出来る所を作ってほしい。全くないから。
バス停を多くする。
段差をなくす。コミュニケーションをとる。
学校でのボランティアの参加者が、お祭りなどじゃないととても参加者が少ないので、ボランティア後、小学生～大人にかけて楽しめるようなものを行えたらいいと思います。そしたら、それ目当てにはなってしまいますが、それで参加をしてボランティアの楽しさを分かれば、たくさんの方が参加してくれると思います！最終的にはボランティアのために来てくれる人がいることを願いますが。
今年度中に小中学校のエアコンが使えるようにしてほしいです。ところバスの数をもっと増やした方がいいと思います。卒業式は卒業生が主役なのに来賓の方の話の割合が多すぎるので来賓の方を5人くらいにするべきです。見通しが悪い道があるので見やすくした方がいいと思います。給食で麺類が出てスプーンしか出ないのでフォークか箸を出すべきだと思います。老人ホームなどに入りたくても入れない人がいるので老人ホームを増やした方がいいのでは？体育館が雨漏りしたり、バスケのドリブルをするとボールが変な方向に行ってしまう床なので建て替えをするべきです。
遊園地のような乗り物があるテーマパークがあると良い。
問 28 の 2～4 はもっと宣伝…というか伝えるべきだと思います、こういう場があると親とのギクシヤクした時、頼れる所が出来るので。イジメの子や虐待された子の為の施設を作るべきだと思います。いじめを受けて、死ぬほど辛かったし、頼れる場所が欲しいと思ってました。以上です、読んで頂いて有り難うございました。
所沢祭り以外で何か、子供から大人、お年寄りまで楽しめるイベントがあれば良いと思う。ボランティア活動や、地域の施設の事をSNSやチラシなどを使ってもっとピーアールして皆に知ってもらうべきだと思う。
地域ごとにコミュニケーションをとるイベントを行えばいいと思う(お祭りなど)。
プロペ通りのお店をもっと小さい子が楽しめるお店を作る。プロペ通りは飲み屋が多いので減らして、服屋やカフェなどを増やして楽しい通りにして欲しい。西武園をもっと活気のある遊園地にして欲しい。

柳瀬地区

内容
まず川を綺麗にしろ。
自分のことだけではなく周りも考える。
高齢者の方が見やすいように文字を大きくする。階段や段差がある場合はスロープを横につける。
地域のイベントを増やし交流を高める。福祉施設を増やし、高齢者や障害者にとって住みやすい町にする。
ショッピングモール
バリアフリーを増やす。
お年寄りだけでなく若い人たちが”所沢で育って良かった”と誇りに思える町にしてください。
少子化が進む中、高齢者ばかり考えずに、学生など未来を背負う子供たちの事も考え図書館の利便性の向上を考えて欲しい。また外国人への対応なども考え、より暮らしやすい街にしたい。
ショッピングモールを作って欲しい(映画館とか)。にぎやかな場所があっても良いと思う。
中学校が荒れているので見に来てください。助けて下さい。しっかり勉強したい人が迷惑になっています。問題児をかばう先生がいます、圧力をかける先生がいます。
公共の場をもっと綺麗にする。学校のトイレ、エアコン。道路をなめらかにする。坂の横の土を危なくないようにする(小学生が危ない)。
学校に行けない子が、気軽に通える学校を作るとより良い町になると思います(県外からも受け入れる)。
近く開業するさくらタウンへの駅からの道をもう少し広くしたり標識を立てたりなど、行きやすくなった方が、いいと思う。
個人個人が積極的に活動できる場所を設け、街づくりの意見とかを聞き実行する。
交流施設や勉強施設を増やして欲しい。
中心地だけ発展せず、もっと周りを見て欲しい。
私の家のまわりは高齢者や障害者の方々に不便な所はないと感じますが、子供達(幼稚園児くらい)にとっては住みにくいんじゃないかと感じています。気軽に行ける公園が無いからです。線路の向こう側に一応あるのですが、遠回りして暗いトンネルをくぐらないと行けません。だから、家の前の道路で遊ぶしかないんです(幼稚園児とかは保護者も一緒じゃないと危ないから)。畑とか自然を無くして、丈夫なのかわからない家をパッと作るなら、子供だってこれから増えていくだし、小さい公園でもいいので作って下さい。公園を！お願いします。私が小さい時は空地があったから遊んでたけど、道路で遊んでいるから、私が自転車で通ると衝突しそうになるし、車のクラクションの音もよく聞きます。他の場所でもあったことなのですが、子供たちの声が反響してマンションに住んでる人はうるさいと感じているみたいです。それで子供達に苦情が来て、思いっきり遊べないのはおかしいと思いませんか？角川のやつとかを一生懸命つくって活性化しようとしているのは私たちにとってもすごく嬉しいことですが、もっと身近な所から良くして欲しいです。公園なくて地域の人が声をあげてくれてみたいですが、再度お願いします。

富岡地区

内容
若者から高齢者が利用できる商業施設が設置されたいと思う。駅に本屋がないので本屋があつたらいいと思う。
高齢者が増えてきて、高齢者が過ごしやすい町になっていると思います。しかし、このまま「高齢者だけ」が過ごしやすい町を作っても、若い人たちがこの町を出て、何も活性化しないと思います。なので、若い人達の意見や考えにもう少し耳を傾けてくれてもいいと思います。
もっと学校の設備を良くしてほしい。
中学のクーラー早くつけてほしいし、水道の水がおいしくない。校庭の管理をしっかりしてほしい。下校時の制服は不要に思う。街灯を増やしてほしい。学校の外観は床のタイルを変えて綺麗にしていきたい。新しい用具がほしい(バスケットボール、掃除用具など)。グリーンカーテンがあるといい。体育より勉強時間を増やし、時期に合わせた時間割にしてほしい。休み時間はしっかり休ませてほしい(集団走←体育は授業内でやってほしい)。
通学路で道路工事が中々終わらず、困っているので、管理してほしいです。学校で、熱中症になる人が多く、学校にエアコンを皆希望しています。学校に不要物を持ってくる人が多いので、指摘して欲しいです。いじめで学校に来れてない人が多く、いじめを減らす活動を行って欲しいです。
ボランティア活動などの情報を把握し易くして欲しい。
より良くするためには、良くない所をピックアップする。悪い所を改善しないと良いと思えないと思う。
もっとバリアフリーの坂とか増やして欲しい。
もっと小さな子供達や障害をおもちの方、高齢の方等が暮らしやすくなるような施設を作れば良いと思いました。
まず、市長さんがどんな町を作りたいのか、具体的に示した方がいと思う。単に「よりよい町」ではなく、例えば農業を強くしたなら、埼玉県内でも7位とそれなりなので、簡単ではないけれど農業学園なんて作ってみたり、有名な漫画家とコラボして所沢の野菜はここがすごい！みたいなのを作ってみてもいいかもしれない。人を集めたいとかだったら、幸いなことに池袋という都会の町から電車一本で行けるので、そのアドバンテージを活かして所沢に他にも遊べる場所を増やしたり、せっかく Twitter をやっているんだから所沢にまつわる有名なことをして発信してみたり、さっきの農業と同じで映画とかアニメにしてみたりとかしてみてもいいと思う。福祉とかでもそういう子供が好きなアニメとかで教えたりするのもいいんじゃないかを感じる。
もっと街灯を増やす。
わかりません。

新所沢地区

内容
ゴミのポイ捨てをしない(道路や公園に)。
福祉関係の建物が最近できたりしているが正直使ったことも使おうとも思わないから、そこにお金を使うのではなく市民に還元してほしいし、税もその分下げてほしい。

内容
わかりません。
小、中学校などの学習環境の充実。
道路の整備が、まだ不十分な所(カーブミラー？が少ないなど)が多いと思うので、危険な所は整備してほしいです。
歩道の段差をできる限り小さくする。緑町の中央公園をもっと多くの人に利用してもらうため、入り口の段差と急な坂道を無くす。より多くの人に利用してもらうため。入口の7/8が急な坂があったり段差がある。
古い学校を建て替える(統合なども)。
所沢市は広いので、競技場や広いフリースペースの運動場を作って欲しい。他の街には競技場が有るのに所沢には無い。みんなで運動が出来るスペースを作って下さい。
スーパーなどで点字ブロックが有る所に自転車を置いている人が沢山いるので、もっと貼り紙とかをした方がいいと思います。車いすの人などが昇りやすい様に段差をなくして坂にした方がいいと思います。
ボランティア活動を活発にする。
税負担の縮小。アミューズメントパークの拡充。
街灯を増やす。事故が多い交差点をもっと変える。自転車を通りやすくする。
皆の意見が通らないのもっと広く意見を通して欲しい。市長の意見ばかりで嫌だ。
台風被害にあった地域へ市の職員を中心にボランティアの人を集めて市としてボランティアに行ってもらいたい。ゼツタイに。

新所沢東地区

内容
運動、スポーツのできる環境を増やす。
所沢市の小中学校にエアコンをつける。校庭を土ではなく人工芝や芝にする。市長もエアコンの無い部屋で仕事などをやる。子供いなくなりますよ？子供が住みにくい町。都や他県の視察をして学習してください。子供のほうがあなたより出来ると思います。熱中症になったら市長のせいですよ？
首都圏へのアクセスがある程度良いこと以外に、町としての魅力があるべきだと思う。また、駅周辺以外の地域にはほとんど行かないので、若者にとっての所沢市は領域ではなく点と線のイメージであるように感じる。エアコン問題のように、いくら市民が声を上げてあれこれ理由をつけて対応しなかった行政(特に市長)に対し良いイメージがない。
交通ルールを守らない人が多いと感じています。みんなが安全に生活できるように守るべき事は守るようにしたほうがいいと思います。
航空公園や市民体育館を活用して、スポーツイベントや大会をもっともっと積極的に受け入れると、より魅力的な町になると思います。
街灯を増やす。
子どもとお年寄りの触れ合い。

内容
新所沢駅からリハビリテーションセンターまで行くのにはどうしても急な坂を上る必要があって私が会った車椅子の男性は坂が上れなくて(上る力が無く)困っていました。私は坂の上まで押しましたが相手が成人男性ということもありとても大変でした。坂でも車椅子の人が上れるような道を作ったら良いのではないのでしょうか。
スポーツなどを活気づける。
市のお金の使い道の優先順位をもっと精査して欲しい。例えば交通量の多い所の歩道を整備する等、これからも所沢市を良くするために頑張ってください。
気軽に行って勉強できたり、同年代の人と話せる場が欲しい。学生の社会勉強の為のアルバイトなどを作って欲しい。
地域の人ともっと交流が出来るようイベントを増やす。
未来を支える子供達が快適な環境で勉強やスポーツ、人々との交流、沢山の経験が出来る様になって欲しい。災害が有った時に備え、高齢者、障害者、外国人を含むすべての人が確実に情報が得られるようなシステム(メールや放送等)を整えて欲しい。所沢を訪れる人が増える様に街をきれいにしたり、案内を分かり易くしたりするなど、おもてなしの心があふれる街にして欲しい。
米軍基地の返還。西武にもっと頑張ってもらう。西武と JR の接続を良くする。私立高校がほとんどないので、何とかして欲しい。
美原町の中にあまり街灯がついていなく暗くて、あまり安心して歩けない所が有ったりするので、街灯を増やしたらいいと思います。
ライオンズやブロンコスなどプロスポーツチームとの連携を図り、イベントなどを沢山して欲しい。
中高生などが、遊びに行くような、ショッピングモールみたいな所を増やす。
地域の人達が自慢できる存在でありたい。学校の部活での表彰。部活の時間を長くして欲しいです。各部活経験者の先生を 1 人は入れてほしいです。学力 UP→エアコンをつけて欲しいです。学校の荷物が重くて辛いです。←身長が止められたら嫌です。過去最高 15kg、道の途中で思わず泣いてしまいそうになりました。教材の電子化や置き勉ありになりませんか。
冬でも通える室内プールが欲しいです。航空公園の遊具目当てに人が集まるぐらいの立派な物を作って欲しいです(昭和記念公園レベル)。正直、今の航空公園は、小学生にとってつまらなくて、わざわざ行くこととは思いません。今の子供たちの思い出に残る様な楽しい公園を作って、子供達の子供に遊ばせたいと思わせるようなインパクトのある公園に！
中高生も参加しやすいボランティアを増やす。

三ヶ島地区

内容
住民の声をもっとよく聞く。
夜、駅の周りですら、暗いので、少しでも街灯が増えればいいなと思っています。
コンビニなどのお店を増やす。外灯を増やす。

内容
所沢の中心部だけでなく端の方まで街を活性化させてほしい。→お店を増やす。もっと遊べる場所がほしい。(例・ショッピングモールとか)←人が集まるようになる。所沢中心部にしかない。もっとライオンズに染めて全国的に所沢にライオンズにした方がいいと思う。
不審者が出ないで安全に通学できるような、暮らしがしたいです。近所にお年寄りが多いのでスーパー、お店があった方が買い物に行きやすいと思います。
目に見える障害のみでなく、精神的な障害に関する教育も充実させてほしい。また、学校教員もそういった病気に対する接し方を変えるべきだと思う。
老人と核家族を結び、寂しい育児をしないで済む仕組みを考える。
もっと中高生でも遊べる場所があるようにしてほしい。
電灯をつける。
もうすこしお互いを考える。
中高生にも市役所などが行っている活動をより知ってもらう為に、公式ツイッターやインスタグラムをフォローしてもらい動きを広める。
教育
駅の周辺にお店を増やす。駅の拡大。小手指で電車が止まりやすい。休むスペースがすくない。外の街灯の少なさ。駅のホームゲートを作る(人身事故が多い為)。
交通の便を良くする。
私が小学校の頃の授業で障害者施設、老人ホームに伺う総合学習がありました。特に今電車通学するようになり、障害を持った方を苦手にする友人もいますが、私は全く抵抗がありません。小さい頃から、色々な方と触れ合ってきたよかったです。小中学校でのこうした学習で、町の偏見が少し変わっていく気がします。
街灯を増やす。ミラーを増やす。

小手指地区

内容
不審者情報が多く入るので、防犯対策をもっとした方がよい。
いつでも誰でも意見を市に言えるように、インターネットを用いて意見箱のようなサイトを設置する。そのサイトを市民全員に知ってもらえるような何かしらの工夫をする。
補助金(障害者、母子家庭、高齢者)。
道路の整備をしてほしい。
スーパーを死守してほしい。カフェやファストフード店が少ないので増やしてほしい。
高齢者が過ごしやすいように工夫をしてほしい。歩行者の歩く歩道が狭い部分があるから広くしてほしい。
車いすの人のために、段を無くす。トイレなど、どのものでも声をつける。
ボランティア活動に気軽に参加できるようポスターなどで案内。健康な飲食品提供。
駅の周りの放置自転車を無くしてほしい。図書館の机のスペースをもっと増やしてほしい。

内容
犯罪の対策をもう少し強化してほしい。歩行者の信号がない所に設置してほしい。駅の周辺をもっと活性化させた方が良くと思う。
市長がもっと市民の声を聞けばよい。本当に困っている人を助ける市長を選んでほしい。進学する費用とかもっと助けて欲しい。
もっと人に優しくした方が良く。
勉強が出来るスペース(無料で)をもっと作って欲しい。
東京に出なくても、買い物为满足に出来る様な施設がもっと増えて欲しい。公園のルールが厳しすぎる、もっと自由に遊びたい。
小中学校に老人ホームや幼稚園のボランティア活動を盛んにすべき。
夜、街灯が少ない為、家までの帰路でちょっと危険な場所があるから街灯が欲しい。近所の人と交流出来、高齢者の方も解る様な、かるたやおはじきなどの会を開いても良くと思う。
全体的にもう少し地域の人達と協力出来る事を行う。
車いすのためなどに、スロープを付ける。誰にでも優しくする。
学校などでいじめについてしっかりと伝えて変える必要がある。そのために、いじめを少しでもしてはいけないと、皆で考える時間を作った方が良く、又、アンケートなども、もっと本当の事を書けるよう、優しい表現にした方がよい。アンケートの実施は多めにして、いじめについて深く考える事を進める。
音響信号機を設置するべきだと思います。以前目の不自由な方が赤信号の時に横断歩道を渡ろうとしていました。そのときは止めることが出来ましたが、誰も見ていなかったら止められずに事故につながっていたかもしれません。このままだと危険です。
環境整備に力を入れた方が良くと思います。
自分の学校では不登校の同級生も多々います、そういった子供達ももっと軽い気持ちで悩みや不安を相談でき、自分にもっと自信が持てる様な地域にしていきたい。そして、自分が自信をもつだけでなく周りの環境も、「一人一人を受け入れる」様になって行って欲しいと思う。
私たちの様な学校がもっと福祉について学べたら良くと思います。
バリアフリーをもっと増やす。福祉に興味を持たせる機会を与える。
バリアフリー。歩道を広くする。
飲食店を増やす、百均、本屋、レンタルビデオ店を増やす。
植林をするのはどうでしょうか？既にやっていたらごめんなさい。
標識や道路の標識など、もう少し見やすくする。電柱はなくした方が良く。
様々な人がいて、様々な意見(不満・要望)がある、多くの意見を聞く、出してもらう(町内会、学校、多くの人が集まる場所から意見を出してもらう)出来る事から少しずつやってみる。
畑などが多く街灯が少ない為、明りを増やしたら良くと思う。
近隣の人達や地域の方々とのふれ合いを大事にする。
ショッピングモールなど、もっと便利に生活できるお店や、友達と遊べる場所がほしい。
みんなが助け合おうと意識する。

山口地区

内容
道路が危ない。歩道も狭いしがたがたしてるし事故が起こる。自転車専用道路が必要。真夏で、熱中症になりそうな中でも、学校で自由に冷房をつけられず部活をやりたくてもできない状況です(市内の県立高校)。命に係わる状態なので早急に対応してほしい。柔軟な対策を求めます。
市民の意見をもっと取り入れる。市民との連携をとり、同じ目線に立つ。
歩行者の道を広くするべき。
ゴミを放棄しない。見ぬふりをせず、必ず見たら拾う(ゴミを)。高齢者に優しい町づくり(ユニバーサルデザイン等)。暴力を振るわせない教育。匿名で相談できる物を作る。暴言や人を傷つけない心を学ぶ。
公民館の情報をより広く知らせる。
バスが少ないから、増やして欲しい。コンビニ増やして欲しい。
信号などを増やす。ポイ捨てされているゴミ→ゴミ箱を増やす。公園の危険な所を無くす。もっと読書をする(小学生へ)。
下山口駅前コンビニを作してほしい。
私の家の周辺は小さい子供が良く遊んでいるのですが、住宅街の中の道路で遊んでいて、その道路は割と車が良く通ります、見ていてヒヤッとするときも有ったりします。でも、だからと言って小さい子供達が遊んじやいけないとなってしまうたら可哀そうです。なので公園をもっと作って欲しいなと思います。もしその公園の一部にベンチでお米を炊けるかまどベンチにしたら、災害時にも役立つと思います。
スロープで入れる店を増やす。
防犯対策をもっとしっかりして欲しい。
学生だけで利用できる学習スペースが欲しい。

吾妻地区

内容
道路の安全整備。小中学校にエアコンの設置。小中学校のトイレなど、学校の整備(壁、床、机、エアコン、トイレなど)。
小さい子～高齢者などでも交流の場を増やしていく。
市内の全小中学校にエアコン設置。公園等の増設。
市民の人が何か要望や困っている時に、紙に書いて、入れられるポストのようなものをたくさん設置すると良いと思う。困っているけど、誰に言えばいいのか分からない…そんな人の手助けになると思う。名前は言いたくなければ書かなくてよい。
ひきこもりの原因となる、いじめを無くす様に心掛けて欲しいです。先生方が見てない間によく起こっていると思いますので、この事を頭の片隅に入れておいてほしいと思います。
地域のみならず他市からもボランティア等で市内のものに参加したりできるようなものが増えたらもっと活動が活発になるのかも…。
道を綺麗にしてほしいです(舗装工事とか…)。

内容
公共施設での、スロープや手すりなど、いろんな人がより良く過ごせるようにしたら良いと思う。公共施設だけでなく、いろんな場所でも、増やしてゆけばいいと思う。
近所の人々が皆、おじいちゃん、おばあちゃんだったり、引っ越してしまったり近所が物騒。町会の小グループのリーダーの役割がすぐに自分の家に回ってきてしまう。若い人にもっと引っ越してきてもらえる様に環境を整える。
バリアフリーの充実。子供たちの為に公園を増やす。
学校にクーラーをもっと早くつけて欲しかった。学校の先生の授業が分かり難いです。
所沢駅に映画館を作る。
市中心部と地方の方とを公共交通機関で繋げて欲しい。地域によって開発の格差があると感じているが、地域の特色、自然環境を守ることを第一優先にして開発して欲しい。

並木地区

内容
保育園、幼稚園、小児科を増やす。信頼のできる、先生をもっと増やす。バリアフリー化を勧める。
私は英語が好きで、外国の方とたくさん話がしたいと思います。また、グローバル化している現代において子供達にも普段から本物の英語に触れさせることが大切だと思うので、世界とのつながりを持つと良いと思いました。そのために外国人が来てくれる様な観光スポットを作ったり、交流の場を設けられるというのはどうでしょうか。
埼玉西武ライオンズや埼玉ブロンコスといったプロスポーツの応援や地域が一体化となるためのきっかけにして欲しい。「所沢らしさ」を多くの人に感じてもらえるような町づくり。所沢駅周辺の「複合アミューズメント施設」などといった娯楽施設が欲しい。
機会があればボランティアを実施したいが、私が住んでいる所では、その様な情報がほとんど無い。中高生が分かるような情報発信をして欲しい。P6 の「夏のボランティア体験」などのパンフレットはどこで配布しているのでしょうか？広報ところざわは毎回読んでいます。所沢のツイッターを見ています。
自転車専用道路の設置。
バスの充実(本数を増やす)。
小、中学校にボランティア活動の授業を増やし、みんな一人一人の所沢市について考えればいい。
安全にすること。
ところバスの運行本数を増やす。街灯を増やす。R463に自転車専用レーンを設置する。電線の埋設。基地全面返還。図書館本館の建て直し、開館時間の延長。米軍基地の周囲にランニングコース整備。災害に強いまちづくり。航空公園にもっと運動器具を設置する。災害時には、インターネット通販の欲しいものリスト使うと良い。市民の声をもっと聴けと騒ぐ連中も沢山いるだろうが、今回挙げた物の中で不可能な物もある。しかし市長に声を届かせる機会を我々若者に与えて頂き感謝する。
今の環境で満足しています。
高齢者にやさしいまち。

内容
エアコン早くつけてください。体育館は避難所です！全校教室、体育館もエアコン早くして下さい。涼しい環境を下さい。
若者たちを巻き込んだ、何か新しいイベントを行う。

地区回答なし

内容
小学校を統合すればよいと思います。
自転車が通りやすい道路にしてほしい。

2. 一般向け調査

地域での支え合いを広げていくためのアイデアや、所沢市の地域福祉についてのご意見などございましたら、ご自由にお書きください。 <一般向け調査:問 47>

所沢地区（20歳代）

内容
あくまで私の立場での意見にはなりますが、仕事をしていてわざわざ休みの日にボランティアに参加しようとは思えない。駅で盲者の方を助けたりはしますが、時間が無いと無視してしまいます。そういったわざわざ助けるぞという事ではなく、「あっ、手伝ってあげよう」というのが福祉の本来の姿かと思うので、任意ではなく参加しなければならない場での福祉教育(学校の授業など)が最も効果的だと考えます。福祉の精神を育むというか、市の活動についても正直あまり興味を持っていない。隣人とはあまり関わりたくないです。仕事以外で人と関わりたくない。
子供の福祉を充実させる為に、子育て講座等を行っている、幼稚園、保育園などの施設へもっと補助を出したり、そのような人材に対しての給与改善をするべき。
相談しても何の意味もないから自殺する人が多い。
妊婦健診が高い。都内に住んでいた時は数百円だったが、所沢に来てから数千円になった。無料に出来ないのか。少なくとも三桁で払える額にして欲しい。子供を産むまでに所沢に来てからすごくお金がかかってびっくりした。プロペ通りのキャッチが一向に減らず治安が悪い。
車イス用のトイレをもっと増やすべきかと。車イスの友人とたまに遊ぶのですが、車イス用のトイレが近になく、遊ぶ時間がすぐになくなってしまいます。車イス用のトイレを増やすことでトイレで困る事もなくなると思います。
核家族化がどんどん進行する中で、共助の仕組みを構築しようとするのは、時代の流れに逆行している。地域同士の繋がりを強くするよりも先に、個々人にとって必要な時に必要なものがある状態にする必要がある(例えば、介護施設への入所を簡便化する、生活保護の受給資格の基準を引き下げるなど)。本当に支援を必要としている人に支援を行き届けることの方が先だ。詳しい構想は、「福祉財政」の専門家に頼るべきだ。

所沢地区（30歳代）

内容
所沢市社会福祉協議会が養成している「地域福祉サポーター」と地域住民が連携し、ちょっとした支え合い(お手伝い)がカバーできる。高齢者や障害者の買い物支援。送迎や買った後の荷物を一緒に持って自宅へ運ぶ(山口地区のスーパーでの活動を市内へ)。何も属していない一般市民まで情報が届くこと。PR、広報の工夫。回覧等でも目に留まるようなチラシの作成。
私の職場は23区内ですが、平日は早朝と21時以降しか所沢に居ません。勤務先でも、ワークライフバランス、働き方改革で、リモートワークが推薦されてきてます。ただ家では集中できません。自宅だけでなく、地域にCo-workスペースを設置して、そこを中心に地域のCommunicationを広めたらいいかと思いますが？都心の企業と連携しても良いと思います。

内容
今起きている問題への対処も大切だが、福祉を必要とする人と、今現在は必要としていない人へも情報が伝わりやすくすること。将来想定される困難に先回りした対策や準備が必要と感じています。忖度が必要な選択肢があると回答が難しくなると感じました。
災害時のハザードマップのような地域福祉に関するマップがあってもいいと思う。複雑なものではなく、高齢者、小児が見ても分かりやすいものがいい。今の無関心な若者に向けての地域福祉の広報も分かりづらい。

所沢地区（40歳代）

内容
ところバスの停留所に屋根とベンチを設置（民生委員や地域包括の職員が常駐（は難しいかもしれないが）駆け込み寺的な…。お悩み持ち寄り所的な）して、待合談話ができるようにすると実際の利用者の“生の声”、困っていることや要望・希望、地域特性などを知る場になると思う。
市議選の時も思ったけど、高齢者の事ばかり…。子育て支援の充実を誰も言わない。そりゃそうですね。高齢者の方が選挙に行きますからね。このアンケートもそう。高齢者、低所得者ばかり。だから少子化が止まらない。偽善者ぶらずに子供を産みやすい環境作りも考えるべき。高齢者と子供、どっちが財産か？わかりますよね？
学校にはエアコンをつけてください。
住民主体の活動を掘り起こし、それを市が支援していくという仕組みがこれからの地域づくりに必要とされていると思います。また高齢者施設に保育園などが併設される等、世代間を越えた関わりや環境づくりに目を向けていくべきと感じます。
小学校、中学校での教育、体験の場を設けることで幼いころから理解を深めることが大事だと思います。
自己責任
福祉と共に総合病院の設立を強く希望いたします。

所沢地区（50歳代）

内容
ある日突然、家族に介護が必要となりました。たまたま運良くかかりつけ医の看護師さんにどこへ行って、どう手続きすればいいかを教えてもらいましたが、普段の生活の中では情報がほとんど知らないものばかりでした。「困ったことがあってもどこへ相談すればいいのか分からない。」これが現状です。自分の身に何か起きないとなかなか目が行かないのが地域福祉ではないでしょうか。
ものごとをすすめる上で、法律や規則は必要なことだとは思いますが、福祉の世界では命の危機を伴うような緊急性のある場面もあるはず。そういった時に書類の手続きや書面の提出などを後まわしにできるように寛容さも大切だと思います。お役所仕事と言われられないような今、目の前の人にとって最も大切な支援は何かをきちんと見定められる姿勢を大切にしていきたいです。
地震災害時の避難場所が少ない。高層マンション乱立、住民増加と比較して避難する場所は確保されているのか、されているなら情報提供して欲しい。（〇〇町は〇〇人など具体的に見込み人数も明記して）

内容
現在広報さえまともに読んでいない状態なので、色々な制度がある事を知りませんでした。市民意識調査も今まで実施されていたのでしょけれど、市長選挙の前なので、市長のアピールにしか思えませんでした。日々、一生懸命活動されている方、申し訳ありません。
お願い。プロペ通りの客引きをなくしてほしい。プロペ通りを安全な場所にしてほしい。プロペ通りを小学生が一人で歩いても安全な所にしてほしい。

所沢地区（60歳代）

内容
民間の会社にも協力をしてもらう事が必要だと思います。例えば災害時に場所を提供してもらったり、スーパーなどで余って廃棄する前のお弁当などを必要な人に運ぶなど、無理のない行動が出来ればと思います。
所沢に引越してまだ2年経っていません。申し訳ありませんが、良く理解しておりません。
「こどもと福祉の未来館」の中を時々通りますが、その時高齢者の方達のスポーツ等を行っている姿を見て、とてもよい企画だと思います。障害のある方のスポーツ、高齢者のスポーツ等楽しめる企画やイベントをたくさん計画して頂けるとよいかと思います。そのようなことを安全に行える指導者の育成もできればよいのではと思います。

所沢地区（70歳代）

内容
「近所付き合い」と「ボランティア活動・福祉活動」は違うような気がするけど。
民生委員の方が、ほとんど家にいない！（相談できない）訪問営業をしつこくされて、顔も見たくないと言っている人がいます。（断ると次から嫌な顔をされる。）民生委員の選挙は？どうなっているのですか！
若い世代、子育て世代の人の意見を積極的に取り入れ、また声を聞ける場を設けるなどして欲しい。未来明るい町づくり。

松井地区（20歳代）

内容
地域での支え合いを広げるためには周りの方とのコミュニケーションが大切だと思います。私は航空公園の近くに住んでいるので、休日はそこに行っています。散歩中に知らない方と話したりすることでコミュニケーションが出来ました。また航空公園でヨガをやっているらしいので母を誘って行きたいと考えています。このように地域の人達が自然と集まるような場所を提供することでコミュニケーションをすることが出来、地域での支え合いが広がるのではないのでしょうか。

内容
困っている人が SOS を出しやすいまちづくり。「どこに SOS を出せば良いか分からない」という人への情報提供。年代によって紙媒体のものとネット上のもの両方の発信が必要だと思う。SOS を出した人へ適している支援の機関に繋げていってあげる。(例)医療的根拠のない、療育機関を紹介するだけでは、本当の支援には繋がらない。その人にとって本当に必要な支援は何なのかを見極め専門機関へと繋げていってあげることが必要だと感じる。
地域の道が狭いので通学時車が通るので子供(広がって歩いている)が危ない！道の整備を進めてほしい。老人達も歩いているから学校の空いている部屋で老人達の憩いの場を作って子供との交流の場を作ってほしい。

松井地区（30歳代）

内容
福祉対象の人が知りたい情報を簡単に入手できるようにして欲しい。又、本当に支援を必要としている人へ適切な支援がなされるようにして欲しい。「知ってる人」「やったもの勝ち」というような福祉ではいけないと思う。本気で所沢を良くしたいのであれば、弱者をしっかりと支えるべきと思う。
会社と家の往復だけをしている日常だと、なかなか地域に目が行かないし、関わり合いも生まれない。広報等で毎回福祉についてのコーナーを設ける。市 HP で目に付くところにページを作る。年に一回位簡単な紹介チラシ(冊子)を各戸配布して、福祉を身近なものにしていく。
意識する心を養うような市の取組を SNS を通じて発信する。高齢者や生活支援が必要な方の存在をもっと若い世代に知らせないといけない。知らない事が多すぎるので、広めるという活動の工夫をしてほしいです。民間ともう少し強い連携をしたらいかがでしょうか。

松井地区（40歳代）

内容
障害の申請をしに市役所へ行った際、手続きに行った課が違ったのかもしれないが、「管轄が違うから」と別の課へ行くように指示され“たらい回しにされた”と感じたようです。もっと分かりやすい案内板があったり、そもそも“障害”の方が来ているのだから、来た方には相談コーナーに通し、担当の課の人が動く方が良いのではないのでしょうか。課・部を超えての連携や人を大切に出来る対応が必要だと思います。
多くの行事は必要ないと思う。自治会も場所により衰退しており、ケースワーカーなどがもっと自治会を支援しても良いと思う。(又は、自治会に存続の為の費用を出さないと段々消えていく)
高齢者や障害者家庭の抱える問題を各家庭ごとに把握して、待つのではなく市が積極的に介入してサポートしていく姿勢が求められていると思います。
自治会にこだわらず学校と老人ホームなど子どもたちとおじいちゃん、おばあちゃん(障害のある方)が積極的に関わる場があるといいと思う。親も参加できるとなおい。
育休退園の廃止。地球温暖化による全校、全クラスのエアコンの普及。学童の充実。
防犯、治安改善、子供の教育環境の改善。

内容
広報とところざわは毎号必ず読むようにしています。周りの主婦友達も目を通して人が多いので興味がわく内容で、発信して頂けると意識の中に地域福祉が近くなるように思います。
子育ての相談をしたいが、なかなか難しく、平日に行けなかったり、くだらない内容ではないかと思われたりしないかとか…。気軽に相談できるよう土日でも OK など、良いと思います。
自主的に参加は難しいと思うので、税金でそういった会社を作るのも有りだと思う。
色々な課題に対応する部署が複数に分かれる事は仕方ないですが、連絡する窓口は一本にしておくべきかと思えます。窓口の一本化で市民からも連絡しやすくなるし、困り事の共有がしやすくなるのではないかと思います。

松井地区（50歳代）

内容
普段所沢市内で働いていないし、あまり関心を持ってこなかった。このアンケートをきっかけにもっと知りたかったです。自治会の回覧などでボランティア活動に参加できるよう、呼びかけて頂ければと思います。
今後もこのようなアンケートを継続していけば市民の意識も向上していくと思われれます。又、インターネットでのアンケートがもし無ければ、市民の方々にネットにてアンケートが出来るアプリ等の作成をして頂ければ、より良い情報が取得できるのではと思います。
所沢市は埼玉県である為、隣接する清瀬市、東村山市に比べてグループホームやデイサービス等が非常に少ない。このままの状態が続く場合は、慣れ親しんで生活してきた所沢市から都内へ転出する事を考えざるを得ない。ハード面だけでなく、ソフト面でも年中無休 24 時間の対応をしてもらえるとありがたい。既にある民間の福祉の団体も、常に「これで良いのか？」という振り返りをしながらサービスをして欲しい。
日頃の近所との交流が必要。地域交流できる場所の確保。地域行事に対する支援。
情報が入ってこない(目にする機会が少ない)ので、わからない事が多い。
もっと気軽に行ける場所があったら良い。

松井地区（60歳代）

内容
市民 1 人 1 人が積極的に参加、参画したいと思える取り組みの実現化に期待します。
私自身、統合失調症を患っており、かつ一人暮らしなので困る事が多々あります。もう少し行政の方で支援して頂けると嬉しいのですが。
知的とか身体とか分かりやすい方の支援は手が差し伸べやすいので、だんだんと充実に向かいやすく、そういう方が生活しやすい環境が整いやすいが、今一番遅れているのが、発達障害のあるお子様の支援であると思う。現に教育関係者の無知からせっかく秀でている芽を潰してしまう。その先生の理解のなさから学校に行ってもいじめにあたりする。ちょっとしたこと(例えば保健室とか空いている部屋などに逃げ場があったり、理解者が一人でもいたり)すれば、学校に行っても傷つかないと思う。どうして学校に行けないかという事を考えて！自分が傷つかない防衛本能から出ているのだから、保健の先生はそこを理解する事かな、と思う。子供は将来の希望であり、日本の未来です。一人一人に見合ったことをもっともって考えるべき。もう一回所沢市は、そういう面が非常に遅れているし貧弱です。もっともって襟を正して！

松井地区（70歳代）

内容
権利と義務の裏表の関連性を理解促進のための広報活動など。
問 46 の 1～17 全部必要だと思います。平等に！
所沢市は住みやすい市です。離れたくないです。
地域で集える会館などを充実させてもらいたい。（地域独自の建設は難しい。現在は他の地域の施設をお借りして活動しているが、距離的に遠いので地域内に施設があればよいと思う。）
自由に話す場所を作る。

柳瀬地区（20歳代）

内容
保育園の増設。子どもが生活しやすい街づくり。
今回の制度について私はほとんど知りませんでした。私が福祉を現在必要としていない為であると考えていますが、必要な時になって知るのでは遅いので、情報の発信力を上げて欲しいと思いました。SNS やブログ、動画配信など「何となくで制度を知る」ようにして欲しい。障害者が同じ世界、同じ土俵にいることを知ってもらいたい。
自治会などの小規模ネットワーク内での定期的な関わりが持てる場があれば良いかなと思います。
支え合いは本来家庭が担う部分が大きいはずなのだが核家族化が進んだ現在、行政に期待される役割が高まっていると感じる。
私が住んでいる所は街灯がなかったり、雑草の処理がきちんと行われていないため最寄の駅までの行き来が大変不安に感じています。このままだとそこに住む人が生活しづらくなって、今よりもますます町の活気が失われていく可能性があるため、解決していただきたいと思っています。宜しくお願いします。

柳瀬地区（30歳代）

内容
地域福祉に関する情報を公報、HP だけでなく、Twitter やメルマガなどでも発信すれば情報を得られる人が増えると思います。人によって情報源として利用しているものは違うので…。
所沢市に住んでいる期間が短いからかもしれないが、福祉などの情報で知らないことが多いので、情報をもっと発信して欲しいと思いました。（長年住んでいれば知っているかもしれないが、住み始めたばかりだと地域について知らないことが多いし、情報を得る機会も少ない為）
各地域に子育てサロンが欲しい。年寄りや小学生だけでなく、シルバー人材や乳幼児にもお金を使って欲しい。保育園の質を上げて欲しい。
もっと簡単で良いので避難訓練や色々なボランティア活動を気軽にできるイベントや、小学生から教育、活動を充実させる。いろんな事が当たり前と思えるように、小さい事をコツコツやると良いと思う。
エレベーターのない地域やエレベーターまですごく遠回りしなければいけないつくりの道、道のせまい所、自転車のマナーの悪さの改善を希望。

内容
<p>子供を柳瀬小に通わせています。東所沢 4 丁目の交差点からまちづくりセンターに行くまでの通学路に、ガードレールがなく、不安に思うことがあります。朝は特に交通量も多く、トラック等も走っている為、子供が足を踏み外して道路に落ちてしまった時など、危険を感じる時があります。(歩道は少し高くなっています。)朝は登校の時間が皆同じなので、子供の数も多く歩道いっぱい横に広がっています。雨の日は特に傘がぶつかり合っており、ガードレール等があったらいいなと思うこともあります。</p>
<p>福祉だけではなく、住環境全体での市としてのスローガン、イメージ戦略が必要だと思います。例えば「所沢⇒トコ⇒自然と調和・優しさ」など。対外的なアピール、メッセージ発信をする事で、むしろ中に住む住民の意識形成に結びつくと考えためです。</p>

柳瀬地区 (40歳代)

内容
<p>東所沢に住んでいますが歩道が無かったり、あっても道がデコボコで歩きにくいです。街灯も少ない場所があり夜道が危険です。車道は一車線でバスも通るため渋滞がひどく、災害時が心配です。これからも素敵な街づくりをお願いします。</p>
<p>スーパーやコンビニ等で出る廃棄食品(まだ食べられる物)の無料提供、もしくは格安で提供する仕組み作りはでしょうか。</p>
<p>サポーターや活動する方々の相談窓口やサポート体制もあるとトラブル等が起こった時に安心していられると思います。支え合いの相方のサポート体制や見守り、最終的な統括を市の方で行って頂ければと思います。トラブル時は早急な対応も望みます。</p>
<p>時々、火の用心のバトロールの音が聞こえると和みますし、安心します。最近は減ってしまった様ですがもっと続けて広めて欲しいです。</p>
<p>いろいろな取り組みをされていることを初めて知った。今は情報を取りに行かないと得られない時代になっていると感じた。</p>
<p>1.整備している制度や環境があっても、私のように知らずにいる人が多いのかも…。2.迷子(認知症)になっている高齢者に遭遇して自宅までお連れした経験があります。ご近所の方がその方の家を知っていて教えてくれたから出来た事です。高齢者夫婦世帯(相手も体、頭不安)に対し、一般人が介入しすぎて誤解を与える心配もありましたが、通報しやすいシステムがあると少し心配がなくなります。火の始末とか大丈夫?とかずっと心配です。警察まで?と考えてしまうので。</p>

柳瀬地区 (50歳代)

内容
<p>農地活用</p>
<p>私自身は親の介護(他市)を通じて色々な公的支援があることを知りました。しかし実際に支援が必要な方でも知らない方がいるのではないのでしょうか?市側からの積極的な働きが必要だと思います。高齢になれば行動を起こすのは体力的にも精神的にも大変です。</p>

内容
国民年金受給額より生活保護受給額の方が高いことが国民年金を支払わない若者や本当は労働可能な人々が「生保を受給すればよい」との安易な考えになると思うので、義務教育中での正しい福祉教育を充実していなくては本当に必要な支援が欲しい所へ出来ないと思う。
労働者が多く、賃金がもらえる様に時給を上げてもらいたい。生活に余裕がないと、他の人を支えてあげる気持ちが出てない。多くの人が東京へ働きに行かなくてはならず、近くで働ける場所を多くしてもらいたい。アメリカの様に、寄付などをすると税金が安くなるなどのシステムを広く皆に知らせてほしい。所沢でもありますか？
自分の実家のあたりの話として、買い物等に行く時に、車を持っていない高齢者の方に声かけをして、時間の都合が合うようならば、一緒に行ったりしていると聞いたことがありました。

柳瀬地区（60歳代）

内容
高齢化社会となり、独居老人世帯が地域内で多く見られる。見守りさんを増員し地域をもっと細分化して、1週間に1度以上の訪問が出来る様な体制を構築出来れば良いと思う。見守りさんの受持ち区域が広ければ、なかなかすべての独居をフォロー出来ない。定年退職した60歳代の人を嘱託雇用して地域を回らせてみてはどうか。まだ働ける人の働き場を与え、独居世帯のより細かいフォローが出来、一石二鳥の施策と言え、これを要望したい。
住んでいる地域が所沢の東端にあるため交通不便、買い物不便、病院不便、歩道無しが多いなどの為、身体の弱い方や年齢の高い人にとっては困ることが多いと思います。下水も通っていませんので浄化槽の点検などもせねばならず、大変かなあ…です。お互いに助け合いももちろん大切ですが、住まうのに良くなるように住まう環境を整えるのも。市の大切な事業が早く実施できると良いと強く思います。誰でも休める公園も無しで残念。考えるポイントが違うと思いますが、環境を整えるのも大切と書きましたので書きました。もし年齢が重なったり、弱かったら1人住まいではとても暮らしていけないと思います。
このアンケートが必要になったかがよく分かりません。ゴミの回収制度の充実等、市民生活に密着したサービスが他の自治体に比べ劣っていると思います。今回アンケートを協力した私たちに集計結果を郵送してください。必ずお願いします。
所沢市は孫や子供達が遊べるプールが無いので孫と一緒に他の市へ行くしかない。航空公園にプールがあったらと常に思っています。ご検討お願いします。
民生委員、児童委員の存在が大きいと思う。援助、擁護される側とする側の心持をしっかり仲介できる人が大切だと思います。本当に大切な職だと思います。名誉職で終わって欲しくないなと思います。
柳瀬川の氾濫に備え、団地(都営)の空家などを利用できれば安心です。

柳瀬地区（70歳代）

内容
母と兄の2人世帯で特養に入所希望時、手続きの事で、普段から知らず助かりましたが、細かい情報も介護と医療のつながりを横のつながりで教えて欲しいです。（自分の持ち場だけの説明でなく、その1人に関わる福祉を教えて欲しいです）
民生委員はもっと法律を知っている人を任命して欲しい（暇な女性はダメ）。東所沢は、さくらタウンとしてこれから人が増えると思うが、総合病院の設置（心臓病、脳外科の専門医）。東所沢駅の充実、大きな郵便局の設置を希望する。
以前の民生委員がおしゃべりで、個人の秘密事まで全部町中に話して歩き、閉口しました。なので、他人は信用出来ません。
手当を出して福祉の専門家を育てる。体力を強化してもらい老人の筋力の衰えを防ぐ。一人暮らしでも元気な人を多く作る。自治会館を使って楽しい体力教室を定期的に行う。
健康で長生きポックリの人を多くつくる施策。地域体操。福祉の意見ではありませんが、年を取って高福祉は有難いが、これは若い人が元気でないと日本は活性化しない。日本は減びる。若い人が生活が大変で若い人こそ元気でないと結婚もできない。人口も増えず老人ばかりで老人に高福祉でない。税金をどんどん上げ高福祉でなくその分を若い人に回さないと結婚も人口も増えず日本は減び外国人受け入れでない。私の所の東所沢も外国人が非常に多い。消費税上げ不況になり税金投入ナンセンスです。
福祉の教育、情報の充実は少子高齢化社会においては重要な課題です。福祉、医学（看護他）の有資格者も卒業したばかりではこの社会に対応していくには困難が多く、有資格者の育成が重要と考えます。適切な支援をしていく為には有資格者の育成（研修制度）からと考えます。
公共施設（公民館、老人施設）に通い易く、「ところパス」を持つと時間、本数を考え有効に利用出来る様又参加しやすくしていただき度、「ところパス」を考えていただけます様。
市内でも地域によって格差があるのでその辺を改良してほしいです。

富岡地区（20歳代）

内容
今の日本や所沢市を支えてくださったのはご高齢の方々ですが、これからの未来を創っていくのは若い人や子供だと思います。正直、老人ホームばかりが建てられている現状や議員の皆さんの公約を見て私は若い人や子供に向けて書かれていないと思います。自分が親になった時は見守って下さる方が沢山いても、子育てがしづらいと生活していて思います。若い人の意見が無いのではなく、言ったところで何も改善されないという考えが私自身も勝ちます。私たちも政治に参加したいと思えるような所沢市になると、地域福祉はより一層充実したものになると思いますので、良い方向に行くように頑張ってください。若い人の小さな意見（自分で言うのも変ですが）、貴重な意見を決して無駄にしないでください。
災害に強い町にしていけたら良いと思います。
相続で揉めて空き家が増えている。指定期間内に決着しなかったら、市や政府が極端に安い価格で買い上げ、再度整備して譲渡すればいいと思う。

内容
福祉の取り組みについてこのようなアンケートを作成するのはとても良い事だと思いますが、高齢の方が多くこともあり日頃から若者の生活において焦点を向けられてないのではないかと感じています。子供の学校へ向かう通学路は細い道が多かったり、夜は暗く怪しい人が多かったりと危険が多いです。駅前やそれなりに人が集まるエリアでは道幅も広く整備されていますが、三芳町と境の人が少ない中富では非常に危険です。改善の余地がまだまだあると思います。私としては福祉の前に駅前などと同じような整備を中心から離れたエリアでも行ってほしいという思いです。

富岡地区（30歳代）

内容
携わりがない為、分からないが地域福祉を推進する方々の姿勢が非常に大事だと思います。「何となくやっている」と思われがちだと思うので、「自分がやってやる」という気持ちで強く行ってほしいです。
自分の子供は難聴かつ発達が遅れています。障害のある子が療育を受けたいのに、療育施設はとても厳しい状況の中、やりくりしてなんとかもっているのが現状です。潰れてしまつては大変です。行く場所も無いのです。もっと障害者の居る場所を作って頂きたいです。どうか奪わないで下さい。助けて下さい。
福祉には関係ありませんが、所沢市は電気自動車を勧めています(お試しで電気自動車に乗る等していたかと思います)その割には市役所、水道局等、市に関わる所に充電場所がないのはとても不便です。千葉県のみでも電気自動車があつて助けになっていたことは間違いありません。市内に充電できる場所が少なすぎます。他市では市役所にはもちろんのこと、コンビニやスーパー等、充電するのに不便を感じることはなさそうな程、置かれています。充電場所を増やしてくださいませお願い致します。
市内でも地域によって交通の便や買い物の利便性が悪い。子供への危険も多く安心、安全で生活しやすいとは言えない。
市は市でしか対応できないことを重点的に行い、それ以外は国、県、民間に頼るべきかと思います。
介護職の給料(賃金)を上げないと、介護の仕事をしたと思える人が居なくなると思う。
所沢市は高齢者が多く、財政難かもしれませんが道路、歩行者用の道路が狭く平坦ではないのであらゆる方々が暮らしぶらひので整備をお願いします。
自治会活動に参加してみて、高齢の方、子供会(小学生がいる世帯)に関わる人達など、限られた人達の協力で成り立っている実情がある。しかし、他の人達も自分達の生活で忙しく、どのように取り込んでいくかは非常に難しいと感じた。福祉については、必要と感じる人が、必要な情報を正確に受け取り易いように整備して行ってほしい。

富岡地区（40歳代）

内容
所沢市福祉部に文章(できればアンケート用紙全部)を保管してください。
アイデアを募集している事を広く市民に伝えていくべきでは? 日常生活の中で何も伝わってこないのでは。あと、アンケート長すぎ。

内容
小学～中学での9年間で当事者体験をしてみると良い。手が無かったら、足が無かったら、耳が聞こえなかったら、目が見えなかったら。異年齢合同で兄弟に障害者が居たらどう支えるか。先生が親役で、親が障害者だったらどうするか。立場によって当事者だからこそその意見が本当に意味のある活かせるアイデアになります。福祉活動において親近者にハンデのある人がいたからこの道に進み、より良くしたいと思って頑張っている方々が多いのは、身をもって感じた体験が根本にあるように思います。
高齢者、子育て世帯、働き盛り世帯と、人の為に動くには難しい人達にも、出来る事があればとは思いません。助け合う事が必要なのは分かっているけど、仕事、家事、子育ての中で時間なんてありません。自分の事で精いっぱいです。
福祉の向上のためには能動的な弱者の把握と受動的な受付能力の向上が必要。民生委員や児童委員の他、警察の見回りを必要として頂きたい。能動的アクション。受動的なものとしては福祉サービスの周知活動として広報誌(チラシでも良い)等でプレゼンスを上げることが必要。
このアンケートで知った制度がたくさんありました。もっとPRしてもらえると嬉しいです。
市の小学校を洋式トイレに変えて頂きたい。和式トイレを使用できる子供は少なく、練習する場所も無くお金を掛ける所をきちんとして欲しい。
障害のある方にとっては役所に行くのも一苦労だと思うので、手続きをスムーズに進めるためにワンストップ窓口のような形をとってほしい。アンケート項目が多いと思う。
個々の生活が忙しく、地域で支え合う事を考える。訓練する等、時間的に無理な家庭と、時間的に余裕のある家庭とに分けて、声をかけていくと良いかと思う。実際、訓練や勉強会等を受けていなくても、協力する気持ちは、皆が持っていられるよう、温かい広報活動をお願いできたらと思います。

富岡地区（50歳代）

内容
私は手話の勉強をしていますが、昼中は仕事(常勤)で夜しか時間が取れません。ご近所の方の話だと「ボランティアは昼間必要だから、昼間の時間が取れない人の為の講習は無い」と聞きました。地域福祉を広げるのであれば、手助けする人の生活パターンは色々だと云う事、時間の無い方も手助けをしたい気持ちがある事を知って頂きたいと思います。その上での政策をお願いします。
所沢市広報課のツイッターが魅力なく、せっかくの発信の場を活かせてない気がする。狭山市のと比べるとフォロワー数含め歴然。
プライベートな事を余りオープンにできない。しかしいずれは支援をしてもらう立場になるので今からどう残り人生を生活していくかを家族と話し合いたい。
隣接する他の市の市境付近の住宅地に住む人々について隣の市との地域福祉の連携を行うようにしてほしいです。私はすぐ近くのかかりつけ病院が隣の市なので、健康診断などの実施医院(所沢市内)に行きづらく、いつも受診を見送ってしまいます。
福祉活動について理解し活動して行きたいと思います。アイデア等は思いつきません。
母の介護認定に時間が掛かり大変と思った。もっと早く効率的に認定の判断が出来ないのかと思う。その為に人員を増やす事も必要かと思う。

内容
現在の自分は未だ時間が足りない。しかし今後時間が出来た時には参加するかもしれません。よって仕組み、制度等を整備してほしい。またそれらをやっている、募集している事を知らせてほしい。
住居サービス、宅配(食事)など、冊子やインターネット等で福祉事業内容を分かり易く開示していく。情報が得られない場合が多くあると思います。

富岡地区（60歳代）

内容
税金を納めている年金者でもわかりやすい、地域福祉はどんなことをしているのかを回覧で廻したいので、どんなことをしているのかをプリントして頂くと福祉の事が良く分かると思います。
すべて知識不足で申し訳ございません。
少子高齢化、不景気、所得格差大…家族の生活を守っていただけでも精一杯の感。助け合いの大事さは分かっていますが、なかなか行動には移せません。まずは家族を大切にすることが一番ですが、隣近所の方々と自治会の活動などを通して交流を絶やさない事が必要と思われる。何かの時に声をかけ合える関係づくりがはじめの一步でしょうか。(私の母の時代は井戸端会議といわれるご近所達の立ち話が地域の情報交換の場でしたが、今はそれが無いです。)
高齢者となって車の運転が出来なくなった時、そして単身者となった時の買い物、通院役所などに行く時の移動手段が一番心配です。現に困っている方がいます。当初は私が車で連れて行ったりしましたが、やはりつづけられませんでした。タクシー代、バス代の補助も良いですが、実際に連れて行ける事が一番であると思います。たくさん人の手が必要です。人の手によって生かされて長生きできるのだと思います。安心して生きていける所沢市であってほしいです。
ボランティアに頼るのではなく、あくまでも行政が財政的裏付けのもとに地域福祉を進めていくべきだと考えます。
問 46 の 2、6 に○をつけましたが、わかりやすい情報提供(言葉も)を願います。これまで相談に行ったことはありませんが、親身に話を聞いて指導して下さる、ことを願います。わからないから相談に行き、これからどのようにすれば良いのか聞くからです。よろしくお願い致します。
こちらから行けないので適度に民生委員さん等に来てほしい。

富岡地区（70歳代）

内容
道路が狭い。現在工事中の北中付近を早く開通して欲しい。踏切の立体化を早く完成し、通れるようお願いしたい。

新所沢地区（20歳未満）

内容
所沢好きです！

新所沢地区（30歳代）

内容
支援を必要としている人と、支援が必要だけれどもそれを要請しない人の 2 つに分けて考えた方が、スッキリすると考えます。前者は高齢者等、後者はひきこもり等です。NPO 法人等と繋げていく事が大切なのではないのでしょうか。
高齢者見守りサービスの具体的な内容、(かかる場合)費用などを HP に載せて頂きたいです。敷居が高い気がしてしまう…。
他者からやってほしい、と願い出て、それをやるのは福祉とは遠口と思うので、まあ、何かをするよか、心身の充実から福祉が始まると思ふわけです。お疲れ！
弱い立場の方が、共生できるような仕組みづくりをお願いします。また、孤立した方や引きこもりの方への対応支援は非常に骨の折れる大変な関わりだと思いますため、コミュニティ全体での意識が必要と感じます。
高齢の持病を抱えた身内が一人暮らしでしたが、自宅で病死していました。連絡がつかなくなり、見に行つてからの発見でしたが、死後 2 日程経っていました。高齢者の孤立を地域で見守る活動強化がこれから更に必要と思います。
地域の人と支え合いをしても良いとは思うけど、話しかけると不審者だと思われそう。私だったら、そう思ってしまう、話しかけないでほしいと思う。そんな風習がある所から変えないと、ボランティアから始まるのかな？と思いました。

新所沢地区（40歳代）

内容
質問がながすぎる。
地域福祉は難しいテーマです。困った時に助けてもらえることが普通になり、お互いに思いやる気持ちが全住民当たり前であれば、市の役割はほんの少しで済むと思いますが…。すれ違う近所の人同士でも知らないと挨拶しない社会ではなかなか難しいですね。
市長の思いを重視した予算構成ではなく、本当に必要で緊急性の高い所への適切な予算、補助を実施してもらいたいです。(学校内装木貸化はいりませんので、その予算を子供の貧困に使って下さい。
子育て世代が生活をしやすい市にしてほしい。高齢者、障害者、子育てとバランスの良い予算配分を希望します。

新所沢地区（50歳代）

内容
自転車のマナーや、歩きスマホ等、自分勝手な人が増えてきたように思います。小さい時から社会のルールを教える必要があると思います。教育は試験の為ではなく、将来社会人となるような内容も取り入れるべきです。
知るのに気軽さを。誰もが(動物も)この先も不安なく安心して暮らせる国に！PS 体には気を付けてこれからもよろしくお願いします。

内容
<p>独身の一人暮らし、持病あります。いざというときに限らず日頃から家族もあてにできないので、一人暮らしの孤独さは厳しいです。見守りの方の訪問を行ってほしい。相談できる相手がいない。健康状態が改善したら福祉の仕事をしたい。福祉の仕事に従事する人達の応援(金銭的、働き方の多様化、資格取得のための費用の援助、賃金の優遇)をしたらもっと働きたいと思える人が増えると思います。お願いします。</p>
<p>最近日本中で災害が多いので、市でも防災の予算を毎年多めに計上してストックしておいてほしい。もう一度各避難所の充実(人数分の毛布や食料品、飲み物等)を図る。学校の場合、体育館ではなく空き教室など開放してほしい。防災のみでなく、その後復旧が速く進むようにマニュアル作りなどしてほしい。停電の時にも使える衛星電話を準備してなければしてほしい。</p>

新所沢地区 (60歳代)

内容
<p>地域に住む市の職員も地域の活動を知り、関わり、連携して欲しい。自助、公助、近所の役割分担をするための話し合いの場を設ける。例えば災害時に救助活動をする住民に診療可能(停電でも)な医院の紹介など。担架で運ぶ訓練はしてもどこに運べば良いかわからない。</p>
<p>アンケートの主旨とは少し違うかもしれませんが、今、日本中で自然災害が多発し、常に避難生活者が居る状況ではないでしょうか。所沢市の体育館等の避難生活はどのようになっているのでしょうか。映像でよく見る、床に毛布を敷き、段ボールの仕切り、エアコン無しの頑張る生活でしょうか。もしそうならば、昭和初期から変わってないのでは。欧米では、一両日中に家族ごとにテント、ベッドが設置され、避難所で作られた安全で温かい食事が提供されると聞いた事があります。ボランティアとして協力したい。先進国と言われている日本、他の自治体、県、国と連携し、所沢市で先取りしてほしいです。レベルアップしてほしい。そして、イベント等でアピールされれば、税金も払い甲斐があります。全く内容が違いますが、市報9月号に「平均寿命が1位」とありました。健康寿命も具体的に〇位で〇〇歳と知りたかったです。</p>

新所沢地区 (70歳代)

内容
<p>1.「支え合い」の前に自立を！ 利用し易い料金体系の見直しを！ 「60歳からの運動の始め」は、初老の自立への第一歩。私も肩の故障で市民体育館へ通った際、トレーナーさんの方々からまだ伸びしろがありますよ！と総合的なレメニューの指導を受けて、65歳でフルマラソンデビュー。昼間の体育館は人数もまばら、60歳以上はシャワー無料とか料金を半額にするとか、老化を防ぐ手立ては予防にある。健康マイレージ等の半端な仕組より、実需をフォローする施策もあり、と思います。お風呂は無いが、障害者の方々の背中を見れば、刺激もある。年代、男女万別、参加してこそ、自己発見！ 2.「児童」「老人」の虐待は、福祉の範囲を超える犯罪です。福祉がオーバーワークとならぬように予防の意味でキャンペーンをしましょう！</p>
<p>地元公園がなく、従って独自の公民館もない。ふだん公園などふれ合う場所があればいいと思う。子どもや孫が来てもすぐそばに公園や空き地がない。あるのは駐車場のみ。ああいう場所を市が借りて公開してくれるとありがたいですね。</p>

内容
所沢市には市民を支援される部署が数箇所あるようなので、広報を使って宣伝をされることを願ひ上げます。この意識調査を拝見して知らないことが数多くありましたのでよろしく願ひいたします。
地域福祉の窓口を知らない人も多いと思いますので知らせる必要と、もっと開かれた場所であって欲しい。町内ごと自治会ごとにある事が望ましいと思います。歩いて行ける場所にあるのが良い。

新所沢東地区（30歳代）

内容
新所沢近辺の歩道を自転車でもすれ違えるくらいに広くして欲しいです。子供が車道を自転車で通るのは心配です。
期待しています。
何か情報を得たい時はまずネットで検索します（高齢になれば面倒で直接電話をすることが多そうですが…）。検索結果の1～3番目くらいまでに市のHPやアプリがヒットすると分かりやすいと思います。探すのが大変だと諦めてしまう人も多いと思います。検索ワードを周知するのも手だと思います。市民の不安や不便がどのように解消された事例があるのか知りたいと思ったので、掲示されたりHPにまとまっていれば見てみたいです。
子育て家庭への支援が足りない。教育への投資が少ない。
車の抜け道になっている場所の整備をお願いします。子供、高齢者、障害者にとって安心できるように。アイデア 1.車のスピードが出せないように、横断歩道(信号のない)手前15Mくらいからデコボコの障害物を設ける。スピードが出せなくなったりすると思う。

新所沢東地区（40歳代）

内容
先日千葉県で起こった台風の被害のニュースを見た時に思ったのですが、災害が起こったら被害地域以外の近隣自治体にも避難所を開設した方が良いのでは？水や電気などのライフラインが止まっている中で避難所を開設するなんて無謀なのでは…と感じました。千葉で起こることは埼玉でも起こり得ますから…。
ニートや引きこもり、生活保護受給者など、家の中にいる人たちにもっとボランティアなど社会に携わるよう呼びかけ、外に出すようにしないと支え合いも何も始まらないと思います。
これから8050問題が増加してくると思うが所沢市も就職氷河期世代を積極的に支援してほしい。現在、私もその世代で正社員に就けず、病気の母を抱えて困っています。
若年層の単身世帯(町内会未加入者)を地域行事にボランティア兼、婚活を組み合わせさせた仕組みで広い世代、地域の活性化につながるよう考えて、自分も市長に意見します。
もっとちゃんとやってください。
設問と回答に疑問を感じる部分がありました。次回があるならば、適切な組み合わせに変更して提案します。各論を論じている傾向が強すぎると思います。地域福祉は単発の施策で良くなるのでしょうか？市民はそれほど単純とは思っていないのでは？

内容
賃貸マンションの住民のため、あまり近所と交流が無く、地域の事を知りません。なのであまりお役に立てずすみません。
高齢者、生活困窮者、子供、障害者…etc.この方達全ての人が携帯を持っているとは思えない。迷い人や安全についての放送が市から流れますが、とにかく聞きづらいです。私は携帯やパソコンから調べる事が出来ますが、市の放送でしか情報を得られない人もいます。もう少し聞き易いものにしてほしいです。

新所沢東地区（50歳代）

内容
制度やサービスなどの内容をもっとわかりやすく、また広く提供して頂けると良いと思います。
子供達への対策も大切だと思います。しかし高齢者への対応、包括ケアシステムについての構築は所沢市はどの程度進んでいるのでしょうか？年齢の若い世代が多いのかもしれませんが…。子育ての事を語る方々が多いので気になりました。すみません。
現在大人だけの世帯であり、それぞれ仕事にもついている為、福祉関係にはあまりほとんど関わりのない世帯である為、このようなアンケート内容となってしまいました。これを機会に少し情報等に目を通してみたいと思います。ありがとうございました。
各家庭に、所沢市の福祉についてのパンフレットを配布する。

新所沢東地区（60歳代）

内容
道路(歩道)の整備。市役所等施設の近く周りは住みやすくなって来ていますが、ちょっと奥地に入ると大変な道がいっぱいです。障害者、高齢者、小さな子供等、本当に大変です。道路、歩道の整備、どうぞよろしくお願い致します。
昔学生の頃、目の見えない方に手を貸そうと声をかけると、「余計なことをするな」と叱られた経験があり、それ以来相手の方から助けを求められない限り声をかけてはいけないと思ってしまい、40年が過ぎます。どこまで手を出すべきなのか分からないのです。お互いに何を必要としているか何なら支えられるのかもつと話し合えれば良いのではと思います。新所沢駅南口側にこれでは車いすの人は通れないだろうと思う道があります。歩く人も結構大変です。何とかならないでしょうか。
2歳年上の兄が介護でお世話になっています。介護を受ける兄はいつも「大丈夫」と介護士に答えるが、本当は大丈夫ではない。身内には弱音を言うけれど、他人には弱みを見せない兄のプライドがある。福祉にボランティアで関わると受ける人も無理は言わない。仕事で関わると、不満や、無理要求が出る。これが現実。福祉を進めるためには、誰もが持っている優しさや、他人を思いやる気持ちで関われば良いのにといつも思っています。職員の皆さん大変でしょうが頑張ってください。
福祉活動が皆のために重要だとわかりました。地域のために協力したいという気持ちになりました。

新所沢東地区（70歳代）

内容
特にありません。毎日ご苦労様です。ありがとう。
子供時代からの教育が最も大切です。老後問題、弱者問題、貧困問題の全てが未来社会につながります。私ども高齢夫婦が今後最期まで生きる上で自分自身が学ぶ事が沢山あり、知らなかった事が沢山ある事をこのアンケートで教えられました。ありがとうございました。
マンションに入居していますが、このマンションは自治会に加入していません。その為、地域の情報は広報とこざわでしか知ることが出来ません。災害の時などの情報が知りたいです。
目標、目的は同じよう？組織が多すぎて焦点ボケ。まず組織改革からどうですか。
関心を持つこと。挨拶。民生委員の声がけ。
急速な高度経済の発展とともに必然的に生じる貧富の格差と更なる高齢社会という、二重の大問題に対して行政とは言え、誠に重たい問題であろうと理解しております。その一環として今回の住民意識調査も誠に大変であろうと思い、ご苦労様です。問題の答えではありませんが、感じた気持ちです。

三ヶ島地区（20歳代）

内容
明らかな地域の超高齢化が深刻化しそう。バスも地域には少ないのが 20 代の私にも不便さを感じる。運転させない(高齢者に)ためにも、バスは走らせるべき。高齢者の運転にはリスクが高すぎます。その為にも努力してほしい。

三ヶ島地区（40歳代）

内容
仕事をしている間は地域とのつながりに期待されてもできない事が多い。定年直後に参加できて、そこから、枝分かれしていくようなシステムがあると参加しやすい気がします。

三ヶ島地区（50歳代）

内容
現在、子ども育成会の役員をしております。役員をする事で地域の人との繋がりを持つ事が出来ました。ただ、活動が負担である為、育成会に入らない家庭もあります。(自治会にすら入らない家庭もあります。)育成会ではなるべく負担を少なくして活動できるよう検討しているところです。

三ヶ島地区（60歳代）

内容
民生委員の活動をしています。こちらからの提供も必要だけでもひきこもり等の方や高齢者の方寄りの声をどのように引き出していくかが難しいと思います。

三ヶ島地区（70歳代）

内容
高齢で公共（駅や）施設などへの外出時に関して、もっと市内循環バス等を何便（各地）か出して、高齢ドライバーなど無くせる様、又、無料パス等を配布出来る様所沢市も頑張って頂きたい。

三ヶ島地区（80歳以上）

内容
地域福祉について、あまり詳しくないので、説明を受ける機会があれば、と期待いたします。

小手指地区（20歳代）

内容
自然災害が多発しているため、避難グッズを配布してほしい。いざとなった時に慌てず避難できるように避難場所や必要な物などを分かりやすく町に貼り出して欲しい。
小手指の北口にも子育て世帯や集まれる場所を開放してほしい。公民館分館の空きスペースを毎日開放等。児童館も支援センターも遠くて行きづらい。

小手指地区（30歳代）

内容
「やってもらうのを待っている」だけではダメだと思う。困った時には自分で求めるべき。

小手指地区（40歳代）

内容
子供達に期待するしかないと思う。高齢者とはなかなか分かり合うのは難しいなど感じる事が何度かあった。今現在の高齢者は申し訳ないが専門家にお任せした方が良いのでは？そしてこれから高齢になっていく者（自分を含め）たちを支えられる人材は今まだ素直に何でも受け入れられる年代（小～高校生）にしてほしい。そのため学校教育をもっと充実させるべき。緑が所沢は少なすぎる。芝生のある広場、歩道にベンチ等を増やせば市民交流の場にもなると思う。高層マンションばかり作らずに緑化についても少し考えてください。子供たちみんなでヘルパー資格を目指せるような仕組みづくり等も良いと思います。
近所には高齢者や障害の方がいないので良くわかりませんが、地域となると高齢者や障害の方がたくさんいらっしゃるのではないかと思います。困っている人が居れば手助けしてあげたいと思いますが、何処にどういう人が居るのかよくわからないので、まずアンケートみたいにお手伝いできる人いますか？と地域で聞いてみて、出来る人が居たら手伝ってもらいたい形でも良いと思う。じゃないと全然わかりません。あと困っていることはありますか？も聞いた方が良く思う。（地域にて）
今回のようなアンケートを今後も定期的に行う必要があると思います。市と住民、住民同士の風通しを良くするために何が必要なのか、お互いの意見交換をする中で考え続けていくことも大切だと思います。

内容
私の属する自治会では、高齢者世帯の比率が高く、子育て世帯はほんのひと握りです。あと数年もすれば自治会活動を維持できなくなるのでは…と懸念されます。若い世代が少ない地域で、どのように地域を支え合えば良いのか、具体的なアドバイス等あれば、教えて頂きたいです。
関心のない人は全く関心がない。これらの人を「関心がある」へ持っていくのはすごく大変。強制的にでも地域、社会との関わりを持たせ、住民全員が意識高く福祉問題へ参画、取り組みが出来るような仕組み、仕掛けが必要。(難しいけど。)
機会の平等を担保する為に、子供の勉強の機会等が家庭環境に影響を受けない様に地域環境を整備するべき。自治会長もしたが、高齢者に手厚すぎるように思える。(確かに、一票持っているので重視したのは分かるが。)未来の納税者をどう育成して、所沢に残ってもらうかをもっと考えるべきでは? エアコンなど設置反対は論外である。効率的に勉強できる環境は当然のインフラであると思います。
専用窓口1つでたらいまわしせず、相談に応じておりかえしてほしい。

小手指地区 (50歳代)

内容
引越時の挨拶などがなくなっているのではどんな人か、又、家族構成が分からず、支援が必要な人の存在が分からず支援の手が届きづらい。何年も住んでいても隣の家族の顔が分からないので災害時助け合い等の協力は、あてにできない。ゴミ捨てのマナー等でもストレスを感じる事があるのでマナー教育(学校などで)が大事。
災害時の安心、安全の仕組み作り。地域での回覧板等で避難の方法や避難先の確認が出来ると良いと思います。
集計結果教えてほしいです。

小手指地区 (60歳代)

内容
「ボランティア」多くの人にとって大げさな気がするかも? 手続き、人との交流、つきあい、責任など、気軽に手を出せるような気がしません。小学生の見守りなど、下校時間に散歩の時間を合わせてもらうとか、気軽に少しお手伝い程度が出来る方法で運動できればと思う。ボランティアを否定している訳ではない。
まずは、公民館等近くで話し易い場所になってどこに相談したら良いか、窓口を広くしていただくと助かります。以前(15年程前)県道の一部が陥没して、家が揺れて辛い! と話したところ、調べて下さり連絡してみてもアドバイスをいただき、とてもありがたく、頼りになるなあと思いました。最初の一步が大事だと思います。

小手指地区 (70歳代)

内容
問 31、各地区に CSW を配置しているとの事。私の地区自治会の上の人とか近所の人に聞いても皆さん知りませんでした。担当者名と活動内容を市民全員に分かるように市広報に告知してほしいです。

内容
生活困窮者への支援、子どもの貧困対策、介護対策それらに必要な人材などお願いします。
歩きスマホ、自転車でのスマホの取り締まりと罰則化(大変危険なのになくならない)。
小学生から学び、経験を通して「心」を育てる。子育て世代の地域参加を子供に見せる。例→夏休みにおいてのラジオ体操に親子で参加。(父親も母親も)老後世代には各種勉強会、イベントへの参加を容易くできるように小規模単位に実施。等を。市民一人一人が「参加すればポイント付与」して貯める。自分への介護用等に使用しても良いし、不要なら市に寄付して福祉に使う。
福祉活動についてあまり良くわかりません。活動方法が分かれば積極的に参加したいと思います。地域福祉についてあまりわかりません。

小手指地区（年代無回答）

内容
介護が必要となる前の情報をもっと得られるようにして欲しい。民生委員が訪問し高齢者と実際に面会する、介護認定やサービスについての説明をして欲しい。高齢者は1年1年衰えていくので、早めに色々な事を教えて欲しい。またケアマネージャーの育成にも力を入れて欲しい。ケアマネージャーの善し悪しで介護サービスを受けるにあたり、かなり差があるように思う。要介護となる前に行ってほしいと思う。出来れば70歳以上とその家族を対象に説明会を開いてほしい。(80歳になると色々な面で大変になってくるので)

山口地区（20歳代）

内容
高齢者や障害者に対する福祉は多く見ますが、雇用が不安定な若年労働者に対する福祉が検討される事はないのでしょうか。色々なボランティアがあっても皆自分の事に精一杯で高齢者や障害者に関する事までは考える余裕はありません。
保育士、介護士の給料を上げ、福祉の大切さ、大変さを周知してもらおう。
今は自治会に参加しないお宅も増えてきている為、情報が行き届きにくい。加入は自由であることもこのような福祉などを推進していくには難しいのではないかと感じる。近所の関わりが少ない時代に情報発信する事は難しいと思いますが…。お互いに関わろうと思えるような町作りの支援をして頂けたらいいなと感じます。
アンケートを行うという事は、しっかり対応して下さるという事だと思いますので、よろしくお願い致します。

山口地区（30歳代）

内容
<p>自治会に入っていないので周囲のことはよく存知ません。自治会加入を勧められたこともありますが、“町内ゴミ清掃に参加しないと500円徴収”や、“町内会に入っていない人は災害時、町内会館には避難して来ても入れません”など、とても厳しいなと感じ賛同できなかったのを見送りました。どこの町内もそうなのでしょうか？各町内会で差があると良くないのでは…？と思います。長くそこに住まれている方の力が強そうで躊躇してしまいます。私は30代なので子育て世代の若い力も高齢化が進む私の地域も必要とは思いますが、なかなか一歩が踏み出せません。そういう方も多くおられるのではないのでしょうか？地域で孤立することがないように、でもお節介にはならないよう近所の方々とお付き合いって難しい時代だなと思います。市長の成果？である、「所沢市障害のある人もない人も～条例」の説明は具体的にどのようなことでしょうか。美しい詩がありますが、普段の生活で、「絆を感じながら笑顔で生き生きと…」は理想郷のようと思いました！毎日を生きるため、どの人も皆必死です。支援が必要な人々の為に本気を出してください！</p>
<p>1.人材育成。専門職と言えども職業柄よりもその人の個性が強くて思いかけずに強いショックを受けることが度々あります。その肩書だけで信用、安心しきれぬ体制を徹底してほしい。苦情の声が上がる人は対人援助をさせない。2.交流の機会。無関心な人や意欲はあるのにそのチャンスが無い人がいると思います。逆に言えば支え合いをする人は限定的なことなんだと思います。全ての人に関心がいくように待つ姿勢ではなく、引き寄せる工夫が必要だと思います。</p>
<p>所沢市、行政機関としての方針が住民に伝わりづらい。インフラ整備が整っていない。所沢駅前開発、小手指駅前開発以上が取り残されている。元々の住民、移住者の交流の機会が少ない。都心型でも地方型でもなく市の立ち位置がどこなのか分かりづらく、地元への関心が少ない。</p>

山口地区（40歳代）

内容
<p>所沢市に在住し3年近く経つがどのような取り組みをしているのか全く知らない。私自身がそれに対し興味が無いのが原因だが、どのような人に対しても取り組み活動を周知しないと発展は難しいと思う。JRでは「声掛け運動」をしている。駅を利用すると必ず「困っている人がいたら声をかける。それが困難なら見守りを」と放送を流している。電光掲示板に表示されることもある。対象は健康な人々と思われるが、ほとんどの人がスマホやイヤホンで外部からの情報を取り入れない現状があり、その放送、表示の効果がどれだけあるのか、また情報を得た人がどれだけ行動に移せるかと思うと、その人の少ないことが容易に想像できる。一般市民にとって「他人に声をかける」ことはとてもハードルが高い。まして手を出すなど本当に勇気と力のいること。情報の拡散にSNSやゲームアプリなどの利用で充分と思う。新たに何かを考えるより、既存の物を利用、発展させた方がコストも少なく他都道府県、市町村の前例も活かせるので良いのではないか。先日救急車を呼んだ。他の自治体では「ありがとうございます。これからも協力お願いします。勇気あるこの行動に大変感謝します」と書いた名刺サイズのカードをくれたが、今回はそれは無かった。そういう草の根的な、たかがカード1枚でどれだけ嬉しく誇りに思ったことか。近々所沢から転出する予定だが、今後も積極的に活動され、より愛される市になるよう願っています。</p>

内容
私は数カ月前に転入しました。近い将来、所沢で結婚、出産する予定です。育休退園制度が子育てのしづらさを象徴しているようでとても不安です。まずはこの制度からなくしてほしいです。
大塚地区に住んで新居(2016)3年目。ほぼ高齢(70歳前後かと)に近い人達です。この状況で果たしてどれだけ元気な人となっているのか？仕事をしながら自分達の生活があり親の事もあつたりすると現実問題として支援は不可能です。支え合う人の確保(資格者)がいなく問題でいいない。地域高齢化で余裕の人いない。若い人は一部だけ。他の地域の魅力ある世帯数が増えている場所を見習うべきです。住みたい町。引越をしてでも住みたい町かと思えます。
田舎と違って程よい距離感が好きです。田舎と違って放漫な老人がいないのでとても住み易いと思えます。所沢市の益々の発展を期待しています。丁度子供が保育園に行っている為に保育士さんの待遇を良くして貰いたいです。田舎の母親もリハビリ等してるのでこちらの介護士さんの待遇も良くして貰いたいです。
市の職員の誠実な態度、上面な話し方を教育をしてください。その人の性格と育った環境もあると思えますが、サービス業なのでその人の性格を見て採用してください。縁故では良い人材はいない。
父が障害者になった時の経験から思う事は、障害者手帳の申請に始まり、様々な助成を受ける為の手続きがとても大変でした。私のように両親の近くにいて手続きが出来る人がいればよいが、高齢の配偶者の方などではそのような手続きは困難だと思えます。なので役所の中にそのような方を助けられる人を配置すべきだと思います(無償にて)。

山口地区 (50歳代)

内容
障害のある人が安心して暮らせる様に入所施設、グループホームの充実を願います。障害のある人にも幸せに暮らす権利があるので。
市政側のPR不足を感じる。もっと広報活動に力を入れるべき。
小さなうちから障がいの方などいろいろな方がいることを学ぶ機会があるといいと思えます。多様性を認めたいので、自分が出来ることを考え、実際に行動に移せるように体験させることが必要と考えます。これから高齢者も増え、動ける方の力が必要となるので、ボランティア活動が進むような仕組みを(所沢市独自のもの)作っていくと良いと思えます。
専用のホームページを立ち上げ、いつでも情報を共有できる仕組みを。各イベントの結果を上記で公開。
体験、関わる事でもっと相手の立場が分かり、優しい町になると思うが仕事があり、なかなか自分の事でいっぱいな感じ。

山口地区 (60歳代)

内容
人と適切な距離を測るのは難しい。支える、支えられるというバランスをうまくとらないとトラブルに発展したり、福祉という側面が本末転倒にさえなる。プロ(福祉学)のアドバイスを要すると思えます。

内容
役員になるのが嫌だ。入っていても何のメリットもない。という事で町内会を抜けている方が多いです。市政と町内会の繋がり、災害時の町内会での役割など、生活と町内会の関わりが具体的にわかれば良いなと思います。やはりご近所との助け合いは大切ですから。

山口地区（70歳代）

内容
長年住んでいて未だ地元住民が優先されていて、借家に住んでいる障害者を無視していて、地域での支援は見られていない。役員が地元の間人であり、外から来た人に対し差別的な事であり、地域の協力は得られないと思ってます。
今のところ皆元気です。自分達でそれぞれ頑張っています。
台風で電力災害がありました。いざという時のためにところざわ未来電力の供給についてがんばって頂きたいと思います。
何事に於いても施設、組織、システムを作ったら完成というだけではないと思います。これ等をどのように回していくか、血の通ったものにしていくかが重要であると考えます。例えば、公的なお金が支払えない、毎日の食事が得られない、子供を学校に通わせることが出来ない、暖房費がないので毎日寒さに耐えられない、冷房費がない、ガスや水道や電気料金が払えないといった事が発生したら皆様は自分の事と考えてどのように対処しますでしょうか。お金もない、家もないといった事が自分の身に発生したら、どうしようもやり場のない気持ちになり、居ても立っても居られない気持ちになり、自暴自棄になってしまうと思います。最低限でもこのような人を発見する努力をして、何としてでも解決する必要があると思います。因みにこのような状況で問題が発生したというように思われることが新聞にもニュースでも目にしたり耳にしたりしたことがあります。私は気の毒にと思って唯聞いて見ているだけしか出来ませんし、非常に歯痒く感じていました。
地域包括支援センターに相談したい。

吾妻地区（20歳代）

内容
「どうしたらいいと思いますか？」という質問ではなく、「こうしたいんですけど、どうしたらいいと思いますか？」という質問にして下さい。所沢の財政が潤えば上記のことは解決しそうですね。これだけ日本は高齢国なのである意味チャンスです。高齢者への取り組み輸出モデルができればおもしろいですね。所沢は好きなのでがんばってほしいです。
福祉とは関係ないと思うが、本屋、書店を何としても誘致してほしい。
活動や制度をもっとPRしていく必要があると思う。現状では、私は知らない制度ばかりだったので SNS などで発信していくのも良いと思う。

吾妻地区（30歳代）

内容
何事も生活し易い道路の整備から。生活し易く、住み心地の良い町を作ってください。あと、アンケートに対して封筒が小さいです。アンケート実施するならもう少し考えて。返信率下げる為にわざとやっていますか？
有償ボランティアであれば協力する人も増えるのではないかと思います。
所沢防災放送が聞き取りにくいです。
福祉の情報を定期的に手紙で送付してもらえると分かりやすいと思います。
現役世代(子無し)への補助。→子育て世代ばかり支援されている(ピックアップされている)と、両者に隔たりが出来ている印象。地域に住む人という同じくくりを実感できると良いのでは？
今まで地域福祉についてきちんと考えたことがなかったから、考えるきっかけになりました。ありがとうございました。

吾妻地区（40歳代）

内容
分からない事だらけの福祉の質問でした。広報とこざわでもう少し特集を組んでも良いかと思いました。
困っていらっしゃる方こそ情報を知らない事が多いと思います。福祉導入するきっかけが少しでも多くなるよう、地域の見守る目を地域の方々に養っていけたら、より良い地域環境になっていくのだと思います。今回のアンケートの様に情報収集する事も、とても良い事と思いました。(アイデア 60歳を迎えた方に高齢者サービス情報を郵送するなどの情報提供。高齢受給前に必要な方への(介護保険を受けられたい方向けのサービス)。
障害のある人や高齢者、働くお母さん達やひきこもりの子を持つ親、かぎっ子で1人である子など色々な人が安心して集えるアートサロンができると良い。その人たちは美術でつながっていると良い。塗り絵でも良いし、色々な作品を描いたり作ったり飾ったり、そこでコーヒーを飲めたり、おしゃべりできたり。私はそんな所があるとホッとするとと思う。例えば臨床美術のようなものを取り入れてやっていけば認知症の予防にもつながる。
子供の遊び場がなく子供が家の近所で遊ぶのに理解を示さない(うるさいと文句を言うなど)人がいて、子供が息苦しい世の中だと感じるので、伸び伸び遊べて育っていけるような地域社会を望む。公園が少ない。もっと公園の数を増やし、家の近所で遊べる場所を作るべき。航空公園のような、またはもっと大規模の市民が憩える大きな公園ももっとあってしかるべきだと思う。子供、大人、市民、皆が気軽に憩える場所が欲しい。
子供を中心とした健康対策として禁煙区域やマナーを明確化するとともに、違反時の罰則厳格化についてご検討をお願いします。
皆が交流できる機会を増やし、気になる事があれば気軽に話せる窓口をPRする。

内容
高齢者が多くなり一人で生活するのも大変な人が多いです。デイサービスの利用も満員で利用したくても出来ない人、支援を必要としている人がたくさんいること。こういう人達に少しでも支援できること出来る場所が必要。地域サロンも空室があるマンションやアパートを利用して1コイン 500 円で集まれたり話が出来たり、色々な活用方法はあるかと思います。車いすも一時的貸し出しも、車がないと取りに行けない。不便です。母の介助をしていますが、公共を利用するのなかなか利用しにくいのが正直な気持ちです。
町内会の仕組みが昔ながらなので、改善したほうが良い。このままだと若い世帯が入会しなくなる。各種団体への寄付が強制的。集金回数多すぎ。どうせ強制的なら会費の収支がプラス続きなので、その内から団体へ渡してほしい。今の時代、それぞれが様々な選択肢の中から自分で楽しみを見つけているので、町内会のお楽しみイベントは必要ない(運動会、新年会等)。1 人暮らしのお年寄りとワンオペ育児母への定期的な声かけと、避難訓練の充実があればよい。
正直知らない事が多かったです。

吾妻地区 (50歳代)

内容
歩道が駅を離れるとデコボコである。そして狭い。
今回のアンケートで、こどもと福祉の未来館について知りました。HP を確認し、場所も知りました。広報やHP、SNS 等で地域福祉について情報発信が必要と感じます。
全国で自然災害により、停電や水道、ガスの停止等、又、自宅に住めない状況等が多々あり、所沢はこのような状況になった時の援助体制は大丈夫なのか不安を感じます。市民を救える水、食料、毛布等の備蓄に重点を置いてほしいです。又、どの地域にも漏れる事がないような連絡網で迅速に救えるシステムを優先的に作ってほしいです。そういう安心感を持たた時にこそ、地域の支え合いが広がり、深まるように思います。
地域掲示板のような物がインターネットであれば手助けが必要な人がお願いしたい事を入力し(民生委員が代わりに入力するなど)地域で手伝える人がそれを見て行えば良いのではないかと思う。(例)電球を交換して、買い物代行してなど(謝礼は地域通貨で支払っているという自治体を TV で観たことがあります)。外国人との共生がこれからは必要かと思う。子供への学習支援や医療通訳など転居してきてから生活支援までワンストップでできるような窓口があれば暮らしやすいのではないか。
先日の台風 19 号のことなどもあって、やはり、災害時の安全システムの建築は、地域福祉の推進も含めて、緊急の課題ではないかと思っています。

吾妻地区 (60歳代)

内容
62 歳で介護職の仕事に就いています。地域交流は本当に必要だと感じていますが、情報の提供は更に必要です。一人一人の福祉への意識を小さい時から教育して頂ければ、この世の中も良くなっていくと思います。

内容
毎年 8 月 31 日に行われる防災訓練ですが参加している人々は毎年同じで、それも世帯数の割にかなり少ない人数しか参加していません。この様な事では「いざ」災害時に適切な行動がとれないと思います。狭山市では狭山市救急救命ボランティアの団体が狭山市消防署を中心に市内での救命講習等積極的なボランティア活動を行っております。所沢は地域的にも重要な地域にもかかわらずこのような事にはまったく関心が無い様に思われます。
高齢化が進む中、住宅地域の中を通る道路の制限速度が 40km は問題だ。せめて 30km に出来ないか。
インターネット社会だが、パソコンなどできない人がいるので、皆できると思わないでほしい。
本当に生活に困ってる人はあまり文句を言いません。クレームを言った人が勝つ世の中になってませんか。
現代の地域社会では、積極的な地域活動が行われにくいので、行政の声掛けで集まるような行事(祭やレクリエーションではなく、このアンケートで扱われているような課題についての説明会、交流会。)を年に 1~2 度開催してはどうかと思います。参加しない人も居ると思いますが、関心を持って集まる人も多いと思います。
台風 19 号(柳瀬川のすぐ隣です。)の時、緊急避難と言われても、夫は病気で長く歩く事が出来なく、戻ってきました。川が氾濫しないかと、心配で一夜を過ごしました。頑張っています。
LGBTQ に対する問が 1 つも無いのはおかしい。LGBTQ も市民だし地域住民だが、いない事が前提の間になっている。既存の制度はほとんどが家族単位で作られている。高齢者、低所得者、病気、障害、ひきこもりの弱者が LGBTQ の場合、そうじゃない同じ状況の住人よりさらに大変だという事を考えて下さい。

吾妻地区（70歳代）

内容
賃貸の集合住宅に入居しています。県外から引っ越しをしてきたので、近所に知人がいません。市内のサークル活動で友人は増えました。勉強の場は広がりましたが町内会に加入していないので災害時の情報や援助が心配です。地域(自分の住んでいる近く)での支え合いのきっかけ作りが難しいです。
高齢者や病人は地域活動を免除できるようにしてほしい。
非協力的ですみません。どうしたら良いか分かりません。町内会の活動について知りたい。
左半身が動かないので、医者判断で電気自足車で急坂、買い物にリニアカーを使っていますが、車道はよいけれど歩道側ガードレールがある所は幅がいつぱいで狭いし下水のふたが不安定など整備してほしい。
通院での交通手段。
目と耳を開いて愛情と自信を持って。
町内会、自治会の会長や役員方の意識が低いように見られる。表面上の行動が目立つ。先ずこの方々への意識改革、刷り込みが必要かと思えます。

並木地区（20歳代）

内容
問 24 に書きましたが、若年層を動かすような教育、企画等を積極的にやるべきだと思います。インターネットや SNS 等を効果的に活用したり、何かインセンティブを用意することができたら福祉に時間を割く人も増えるかもしれません。エンターテインメントの幅が増え、家に居ながらも顔を合わせたりできる時代です。前向きに楽しく過ごせる環境を、IT などの技術を用いて整えていくのも効果的ではないかと思います。また今回アンケートを通して所沢含む、各地域の福祉について考え直す良いきっかけになりました。仕組み作りが大事だと考えていますが、今は空いた時間で出来ることをやろうと思います。
充実させることより、それを知らせること。
いつもお疲れ様です。住み始めて 5 年半ですが、とても所沢市並木の町を気に入っています。国リハの近くに住んでいるのでいつかボランティア等をやってみたいと思っていたのですが、市で何か募集している取り組みがあればもっとアピールして頂ければ是非参加したいと思います。今後ともよろしく願います。
頑張ってください。
アンケート全体を通して「～を知っていますか。」というものは大半知らないと感じたし、知っていたら活用できそうというものもあった。しかし、そういう情報は能動的に知ろうとした人のみしか知らないと思う。受動的な人間も、気軽に知れるような仕組みを何か考える必要があると思う。
駅前から離れた市街地の街灯設置は、犯罪の抑止にも繋がると思うので、是非積極的な設置をお願いしたいです。それに加え、防犯カメラもあると効果はさらに出てくるのではと思います。団地に住んでいますが、団地ごとの交流が昔と比べ無い様に感じます。棟ごとに月一交流会をする等、顔を互いに合わせる事で、何かがあった時に助け合える関係が少しずつ出てくるのではないかと思います。

並木地区（30歳代）

内容
大半の住民は市の仕事を理解していない。
子どもと福祉の未来館の事を知らなかった。一度行ってみようと思います。
市の予算をもっと福祉に使う必要があると思います。知らなければ利用も参加もできないので、もっと情報がいきわたるようにしてほしいです。市のホームページをみるのがなく、市役所に行かない人にどうやって情報を伝えるか工夫が必要だと思います。
問 46 選択肢6の窓口について：個人情報が出る個室、又は訪問(別場所)などが行けると良いと思う。悩みの無い人はいないが相談出来る人がいる人は少ない。人として欠陥が有ると自分を追い詰める人を助けて欲しい。選択肢 14 について、環境汚染の影響から季節外れの災害が続いている。対策は急務とされ、又実際起きた場合の行動マニュアルなどでスムーズに対応できるようにしてほしい。選択肢 15 について、子供の内からいろんなことに触れないと他者との考え方の違いに気付けない。
いつも有難う御座います。

内容
<p>1.そもそも今の「地域福祉、ボランティア、地域の支え合い」が必要になった(頼りきりになった)のは核家族化や人口政策(人口問題、産児制限)が発端です。それはアメリカを中心とした GHQ が日本の国力を削いでアメリカが都合よく世界を管理することが目的でした。今の「地域福祉」の役割をほとんど包摂していた「大家族(拡大家族)」もこれにより失われたので複数世代の同居の再評価や、人口減少、人口問題が招く現実を子供のうちからきちんと学べる環境作りが大切だと思います。「福祉」を決めるのは「政治」であり、「政治」を決めるのは市民(市長、議員)の「世界観」なので、政治や歴史への興味を育てる教育や情報発信が大事。2.福祉活動、ボランティアを行う意欲も自分が暮らす地域や所沢市、ひいては日本という国に愛着を持ち、公共の福祉に貢献したいという気持ちから生まれると思います。日本や所沢市に愛着や自信を持てるよう、教育と情報発信が大事。3.全ての福祉の基本は安全保障と治安の良さから生まれる。自衛隊、警察との連携を忘れない。</p>

並木地区 (40歳代)

内容
アンケートを使って意見を出させる事自体浅はか。質問内容に具体的なものが見えない。
問 5 に「団体職員」の選択肢がない。
ほとんど考えたことがなかったので今後考えていきたいです。

並木地区 (50歳代)

内容
自分は精神障害を持っているのですが、中々家族にも理解してもらえない。通っている病院にも説明を受けに行かない。かわりに第三者に説明を受けてもらい、家族を説得してほしい。
車いすでの外出が楽になるような道路などの整備がされるといいと思います。
小、中学校にちゃんとエアコンをつけてください！所沢は他地域より小学校の教育が遅れている。いじめ対策もお願いします。
所沢は道路が広くないところが多く、災害時他道路環境が良いとは言えません。障害者や高齢者も安心して動けるようにしてほしい。

並木地区 (60歳代)

内容
1.育休退園制度の廃止で、女性が社会で働ける環境作り。2.災害時の避難先である学校へのエアコン設置。3.市内各所の狭い歩道の解消。4.登下校時の市内の子供への見守りボランティア等の組織作り。5.日常、緊急(災害等)時のボランティア組織作り。(消防、警察、市役所、住民ボランティア等との協力体制の確保、連携。)6.日常の困り事が相談できる窓口の充実。(普及)…気軽に相談できる雰囲気がある場所作り。7.認知症サポーター養成講座について、大きなパンフレット配布よりも小さな手帳風のもので、必要事項(パンフレットの内容、連携機関一覧、緊急時の対応等)が書かれたものが貰えたら嬉しいと思う。希望者のみでも良いが。
困った時の Q&A があれば配布して欲しい。

内容
今迄は自分が何かしたい、出来るだろうと思っていましたがだんだん毎日の生活が疲れたり、思ったよりも出来なかつたりして助けてもらわないと生きていけない自分の姿を知らされています。初めはがっかりでしたが出来る事からと思っています。
マニュアルだけでなく、伴走型福祉の具体的な実現をお願いしたい。「所沢に住んでいて良かった」と思える街づくりに期待しています。よろしくお願いします。

並木地区（70歳代）

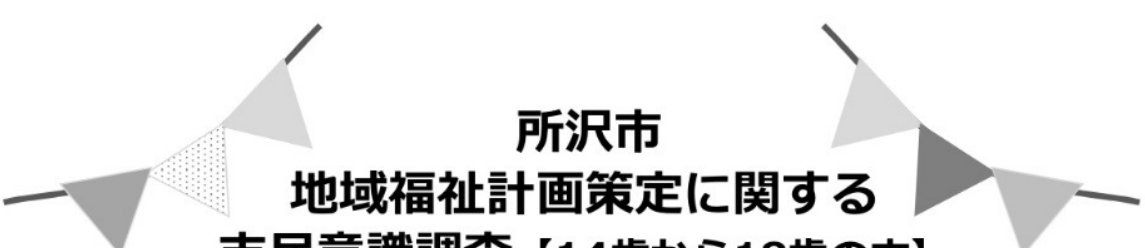
内容
地域福祉を市で積極的に行って頂いていますので、今後このような取り組みを積極的に続けていかれる事を希望します。
小生、社交ダンスをやっている(約 15 年)が、中高年の健康増進のスポーツとして最適と思っています。然るに、所沢市は社交ダンスに理解がなく、(他市、狭山、川越と比べ)場所がなく、やりたくても出来ない状態である。何とか場所を提供して欲しい。
田舎のある宮城県から就職を機会に所沢市にずっと住んでいる。毎年自治会の加入者が減り、近所付き合いも減っている。周りのご近所が何をされているのか分からない。趣味等のサークル活動をしたくてもどこで仲間を募っているか分からない。市役所にサークル活動の一覧表があると良いと思う。サークル活動や公民館でのイベントを通じて知り合う人がいると「引きこもり」等の問題も少しは「自助努力」につながるのではないのでしょうか。スタッフの皆様へ、こういったアンケートを作ったり、集計したりするのは大変だと思っています。「地域サロン」は所沢市にはどこにあったのか？と再確認できました。またこういったアンケートを作る際には参加したいと希望しております。スタッフの皆様、ありがとうございました。
このアンケートを参考にしてより良い所沢にしていきたいと思えます。
エアコン問題、育休退園問題等子供の健康や教育現場の労働環境を無視続けた市長、こども、母子支援に耳を傾けない人間が市長を続けてはこんなアンケートは何の意味もなくなるでしょうね！
ところバスの増便。若松町から東所沢までバスで行っても帰る便がありません。バスでなくても色々な方面に行ける公共の乗り物が欲しいです。

地区回答なし

年代	内容
40 歳代	質問の内容が専門的過ぎて分からない。聞いた事も無いような事柄について「どう思いますか」と問われても回答の仕様が無い。
-	感情論ではなく、論理的かつ既成概念にとらわれない、頭の中が若い発想を持つリーダーシップを行政が持ってほしい。同じ事を繰り返しては、30 年後に所沢はなくなると考える。

V 調査票

1. 中高生向け調査



所沢市 地域福祉計画策定に関する 市民意識調査【14歳から18歳の方】

～アンケート調査にご協力をお願いします～

みなさん、こんにちは。
この調査は、所沢市にお住まいの中学2年生以上の方から、無作為に選んだ1,000人に対して送付しています。

調査は、「ボランティア活動」や「福祉学習」について、さらに地域での「居場所」や「交流の場」など、みなさんの考えをお聞きすることで、誰もが地域の中で安心して暮らしていくための道しるべとも言える「第3次所沢市地域福祉計画」をつくる際に役立てることを目的としています。

無記名での回答となりますので、個人情報特定される心配はありませんし、アンケートにご回答いただくことで、市政に参加することにもつながります。お忙しいとは思いますが、ぜひともご回答いただきますよう、お願いいたします。



この意識調査を通じて、地域や福祉活動について考えるきっかけとなりましたら幸いです。

令和元年 9月 所沢市長 藤本正人

□■□ ご記入にあたっての注意事項 □■□

- ① あて名の方ご本人がお答えください。また、ご本人が記入できない場合は、ご家族の方がご本人のお考えを聞きながらご記入ください。
- ② 回答は、あてはまる答えの番号を○で囲むか、回答欄に回答を記入してください。「その他」を選んだ場合は、その具体的な内容を（ ）の中に記入してください。
- ③ 選択する答えの数は「○は1つ」「○はいくつでも」などの案内にしたがってください。
- ④ ご記入後は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、10月15日（火）までにポストに入れてください。

※調査票は無記名で、統計的に処理します。ご記入いただいた調査票を公表したり、調査の目的以外に使用したりすることは一切ありません。

お問い合わせ：所沢市役所 福祉部 地域福祉センター（所沢市こどもと福祉の未来館内）
Tel 04-2922-2115（直通） Fax 04-2922-2195

■ 地域福祉って何？



ふだんの生活の中で、ちょっとした不安や不便、心配ごとはありませんか？
登下校が不安、家族に何かあったときどこに相談すれば良いのだろう、あそこに住んでいる高齢者夫婦あるいは障害者は不便なく生活しているだろうか、隣近所の人のが全然わからない…など。

「地域福祉」とは、それぞれの地域でみんなが安心して暮らせるよう、地域（近所）の方や、福祉に取り組む団体や組織などがお互いに協力して、地域の課題解決に取り組む考え方です。

例えば、隣近所の人にあいさつしたり、高齢者に手を貸してあげたりすることも、大切な地域福祉の活動といえます。

地域のみんなが暮らしやすい地域としていくためには、公的なサービスだけではなく、こうした地域みんなの支え合いや、一人ひとりができることを始めていくことが大切なのです。



■ 地域福祉を推進するためには・・・

皆さんが日ごろ感じていることや地域の問題を把握することが重要です。

皆さんの回答が、所沢市の未来をつくります。

アンケートへのご協力をよろしくお願いします。

1. 回答者ご本人について

問1. あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

1. 男性 2. 女性

問2. あなたの年齢(令和元年9月1日現在)をお答えください。(数字を記入)

歳

問3. あなたのお住まいの地域(町名)を教えてください。

所沢市

※記入例：所沢市宮本町、所沢市東所沢和田 など

2. お住まいの地域について

問4. 所沢市(特に自分の住んでいる地域)は住みやすいと思いますか。ア～クのそれぞれの視点について、あてはまるものを1から4の中からお答えください。(それぞれ○は1つ)

	とても 住みやすい	まあまあ 住みやすい	あまり住み やすすくない	住みやす くない
ア 自然環境	1	2	3	4
イ 交通の便や道路環境	1	2	3	4
ウ お店や公共施設などの 生活の利便性	1	2	3	4
エ 災害や防犯などの 安心・安全面	1	2	3	4
オ 近所や地域の人との 交流・ふれあい	1	2	3	4
カ 高齢者や障害者が 暮らすための環境	1	2	3	4
キ 小学生頃までの子ども が暮らすための環境	1	2	3	4
ク 中学生・高校生くらい の人が暮らすための環境	1	2	3	4

問5. 現在、どのような近所（徒歩5分程度の範囲）付き合いをしていますか。
（○は1つ）

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 親しく交流がある | 2. お話をするくらいの交流がある |
| 3. 顔を会わせた時にあいさつする程度 | 4. 特に交流はないが顔を見ればわかる |
| 5. ほとんど顔を知らない | |

問6. 近所付き合いについて、今後どうしたいと思いますか。（○は1つ）

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 親しく交流するくらい | 2. お話をするくらい |
| 3. 会った時にあいさつするくらい | 4. 顔を見れば近所の人とわかるくらい |
| 5. 交流はなくて良い | 6. わからない |

問7. あなたの近所や地域には、次のような気にかかる人（支援が必要そうな人）がいますか。（○はいくつでも）

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 高齢者のみの世帯（単身含む） | 2. 認知症の人 |
| 3. 病気や障害を抱えている人 | 4. ひきこもりや閉じこもりの人 |
| 5. 金銭的に生活に困っている人 | 6. 虐待が心配な子ども |
| 7. ゴミ屋敷に暮らしている人 | 8. 地域から孤立している人 |
| 9. 気にかかる人はいない | 10. わからない |
| 11. その他（ | ） |

問8. 近所や地域の方が加齢、障害、病気などで生活上の困りごとを抱えていることが分かった場合、あなたはどうしますか（どう考えますか）。（○はいくつでも）

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 手助けする | 2. 手助けしたいが難しい |
| 3. 手助けしたくない | 4. 誰か他の人に相談する |
| 5. どうしていいかわからない | |
| 6. その他（ | ） |

●ひきこもりや閉じこもり

様々なことが原因で社会的な参加の場がせばまり、自宅以外での生活の場（学校や職場など）が長期にわたって失われている状態のことです。

- ▶ 特定の病気や障害ではなく、「状態」を表す言葉です。
- ▶ 誰にでも起こる可能性があり、回復することも可能です。
- ▶ はっきりした理由や原因がわからない場合が多くみられます。
- ▶ 本人だけではなく、家族にも支援が必要です。
- ▶ ひきこもりの状態にある人は、強い不安や葛藤を抱えています。
- ▶ 統合失調症や神経症などの病気が影響している場合もあります。

問13で「1」「2」（取り組みたい）と回答した方にお聞きします。

問14. どのような活動に関心がありますか。(〇はいくつでも)

1. 障害者に関わる活動（交流、障害体験、施設訪問など）
2. 高齢者に関わる活動（交流、施設訪問など）
3. 子どもに関わる活動（交流、学習支援など）
4. 地域活動（地域の夏祭り、清掃など）
5. その他（)

問15. あなたは社会福祉協議会が行っている夏のボランティア体験など、一時的なボランティアに参加したことがありますか。(〇は1つ)

1. 参加したことがある
2. 参加したことはない

問16. ボランティアに参加したことがある方は、どのような条件であれば、今後も参加したいと思いますか。また、ボランティアに参加したことのない方は、どのような条件であれば参加したいと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 気軽に参加できる
2. 身近なところで参加できる
3. 活動時間や曜日を自由選べる
4. 興味のある内容である
5. 家族や友人などと一緒に参加できる
6. 指導、案内してくれる人がいる
7. 体力的にあまり負担がかからない
8. 特技や趣味、知識が活かせる
9. 活動に対する謝礼などがある
10. その他（)

●気軽にボランティア体験ができます！

所沢市社会福祉協議会では、「夏のボランティア体験」として、手話体験、老人ホームでの手伝いなどの体験プログラムを行い、福祉学習を進めています。



夏のボランティア体験の様子



あなたも
ボランティア活動に
参加してみませんか？
お待ちしております！



4. 居場所や相談場所について

問17. あなたにとって「居場所」と感じられる場所は、どのようなところですか。
(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 自宅 | 2. 友人・知人の家 |
| 3. 学校 | 4. 塾・予備校 |
| 5. カフェなどの飲食店 | 6. コンビニ・ショップ・お店 |
| 7. 公民館・図書館などの公共施設 | 8. 体育館やスポーツジムなどの体育施設 |
| 9. 趣味や習い事の教室 | 10. こども食堂 |
| 11. インターネット (SNS) | 12. 特にない |
| 13. その他 () | |

●こども食堂

地域のボランティアが中心となって、無料、または安価で栄養のある食事や温かな団らんを子どもたちに提供するための取組のことで

す。現在、市内約10か所で実施しています。

【問い合わせ】

所沢市社会福祉協議会 TEL: 04-2925-0041

所沢市内の
こども食堂・
コミュニティ食堂
などの一覧▶▶



問18. 平成29年1月、新所沢駅西口徒歩5分(泉町)のところに「所沢市こどもと福祉の未来館」がオープンしました。この施設を知っていますか。(〇は1つ)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

●こどもと福祉の未来館

大人から子どもまで、地域の誰もが利用でき、日にちや時間帯によっては、皆さんの学習スペース(自習室)としても開放しています。

学習スペースの
開放日はコチラ▶



問19. あなたは、困っていることや悩んでいることがありますか。
(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. 学業・進路のこと | 2. 家族関係 |
| 3. 友人関係のこと | 4. 恋愛のこと |
| 5. 健康やからだのこと | 6. 自分の性のこと |
| 7. 部活動や習い事のこと | 8. 仕事(アルバイト含む)のこと |
| 9. お金のこと | 10. 特にない |
| 11. その他 () | |

問20. あなたにとって、気兼ねなく話ができる人は誰ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1. 保護者 | 2. 兄弟姉妹 |
| 3. 親戚 | 4. 学校の先生(スクールカウンセラーを含む) |
| 5. 塾や習い事の先生 | 6. 学校の友達 |
| 7. 学校以外の友達 | 8. 先輩・後輩 |
| 9. 気兼ねなく話ができる人はいない | |
| 10. その他() | |

問21. あなたが普段困っていることや悩んでいることは、どこに相談していますか(しようと思いませんか)。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|--------------|
| 1. 家族・親戚 | 2. 友人・先輩後輩 |
| 3. 学校の先生(スクールカウンセラーを含む) | 4. 塾や習い事の先生 |
| 5. 近所の人 | 6. 市役所などの窓口 |
| 7. インターネット(SNS) | 8. 相談先がわからない |
| 9. 相談したいと思わない | |
| 10. その他() | |

問22. 以下は、市内にある福祉に関する相談先です。あなたが知っているものに〇をつけてください。(〇はいくつでも)

1. 市役所市民相談(日常生活の様々な困りごと全般)
2. 保健センター(健康相談、こころの健康相談など)
3. 子育て世代包括支援センターかるがも(妊娠・出産・子育てに関すること)
4. こども支援センター「大地」(子育てに関すること)
5. 福祉の相談窓口(生活自立相談、権利擁護相談、障害者相談など)
6. 所沢市社会福祉協議会
7. あったかサポートセンター(生活困窮者支援相談)
8. コミュニティソーシャルワーカー(CSW)
9. まちづくりセンターなどで実施している福祉相談会(松井ちょこっと相談など)
10. 社会福祉法人による「暮らしの相談事業」(市内27法人47か所実施)
11. 民生委員・児童委員、主任児童委員
12. どれも知らない
13. その他()

●所沢市社会福祉協議会

地域福祉の推進を図ることを目的に、様々な活動をしている民間の団体です。

高齢者、障害者、子育て家庭、低所得者など支援を必要とする方を支える活動やボランティア・地域活動への支援、市民の方の相談受付などを行っています。



5. 相互理解・共生について

問23. 学校や家庭などで、障害者や高齢者のことについて、学んだことがありますか（車いすや手話などの体験、障害者による講演会などに参加した、認知症について学んだ、など）。（〇はいくつでも）

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 幼稚園・保育園で学んだ | 2. 小学校で学んだ |
| 3. 中学校で学んだ | 4. 高校で学んだ |
| 5. 家庭で学んだ | 6. 参加したボランティア活動で学んだ |
| 7. 学んだことはない | 8. わからない |
| 9. その他（ | ） |

問24. 学んだことは、その後の生活に役立っていますか。（〇は1つ）

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 役に立っている | 2. どちらでもない |
| 3. 役に立っていない | 4. わからない |

●「所沢市障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例」

障害のある人もない人も、共に支え合い、認め合い、人と人との絆を感じながら、笑顔でいきいきと地域で自立して生活できる「共生社会」の実現を目指し、「所沢市障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例」を平成30年7月1日に施行しました。

●認知症サポーターについて

認知症の方を、地域全体で支える取り組みとして、認知症を正しく理解し、自分のできる範囲で認知症の人や家族を応援する認知症サポーターを養成しています。

たとえば、友人や家族に講座で学んだ知識を伝えていくことや、認知症の人や家族の気持ちを理解するよう努める、といったことも、サポーターにできる支援のひとつです。

その他にも商店、駅、バスや電車の中で、できる範囲で手助けをするなど、いろいろなかわり方があります。



認知症サポーター養成講座の様子
(たくさんの方が受講されています)

6. 情報収集について

問25. 下記の情報媒体について、情報収集や相談先として利用していますか。
(ア～スについて、それぞれ○は1つ以上)

	情報を得るために利用している	相談先として利用している	利用していない
ア Twitter (ツイッター) ※市のアカウントに限りません	1	2	3
イ Facebook (フェイスブック) ※市のアカウントに限りません	1	2	3
ウ Instagram (インスタグラム) ※市のアカウントに限りません	1	2	3
エ LINE	1	2	3
オ 悩みを相談するサイト (掲示板など)	1	2	3
カ 広報ところざわ	1		2
キ 市のホームページ	1		2
ク ところざわほっとメール	1		2
ケ ちゃお (所沢社協だより)	1		2
コ 社会福祉協議会の ホームページ・メルマガ・LINE	1		2
サ 社会福祉協議会のふくし 掲示板	1		2
シ テレビ・ラジオ・新聞	1		2
ス 回覧板	1		2

●所沢市のTwitter、Facebook、Instagram

所沢市では、広報メディアとして、Twitter (ツイッター)、Facebook (フェイスブック)、Instagram (インスタグラム) を利用して情報発信しています。

それぞれのアカウントはこちらからアクセス▶▶



7. 所沢市のまちづくりについて

問26. 今後、所沢市はどのようなまちになってほしいと思いますか。

あなたが考えるキャッチフレーズを「OOOOまち」の形で教えてください。

(例：「高齢者や障害者にやさしいまち」「ゆずりあいのできるまち」「みんなが笑顔になれるまち」など)

問27. あなたの地域、所沢市をより良くするためにはどうしたら良いかなど、地域の福祉、地域の暮らしについて、アイデアや意見があればお書きください。

問28. 本調査票に掲載しているコラムのうち、関心を持ったもの、より深く知りたいと思ったものはありましたか。(〇はいくつでも)

1. ひきこもりや閉じこもり (4 ページ)
2. 気軽にボランティア体験ができます! (6 ページ)
3. こども食堂 (7 ページ)
4. こどもと福祉の未来館 (7 ページ)
5. 所沢市社会福祉協議会 (8 ページ)
6. 「所沢市障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例」(9 ページ)
7. 認知症サポーターについて (9 ページ)
8. 所沢市のTwitter、Facebook、Instagram (10 ページ)
9. コラム以外のこと ()
10. 特にない

アンケートは以上です。
ご協力ありがとうございました!



2. 一般向け調査

所沢市 地域福祉計画策定に関する 市民意識調査【19歳以上の方】

～アンケート調査にご協力をお願いします～

日頃から市政にご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

所沢市では「第2次地域福祉計画」に基づき、『互いの顔が見える、地域でみまもり支え合えるまち』を目指して、福祉の様々な取り組みを進めていますが、ここで、新たに「第3次地域福祉計画」を策定するため、近所付き合いやボランティア活動、地域福祉活動などに関するアンケート調査を実施することといたしました。



所沢市
イメージマスコット
トコロん

この調査は、市内にお住まいの19歳以上の方を無作為に抽出して行うもので、市民の皆さんの考え方やご意見など、お伺いした内容を調査結果にまとめ、計画策定などの基礎資料とするとともに今後の各種福祉の取り組みへつなげていくものです。

お忙しい中大変恐縮ですが、調査についてご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和元年 9月 所沢市長 藤本正人

□■□ ご記入にあたっての注意事項 □■□

- ① あて名の方ご本人がお答えください。また、ご本人が記入できない場合は、ご家族の方がご本人のお考えを聞きながらご記入ください。
- ② 回答は、あてはまる答えの番号を○で囲むか、回答欄に回答を記入してください。「その他」を選んだ場合は、その具体的な内容を（ ）の中に記入してください。
- ③ 選択する答えの数は「○は1つ」「○はいくつでも」などの案内にしたがってください。
- ④ ご記入後は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、10月15日（火）までにご投函ください。

※調査票は無記名で、統計的に処理します。ご記入いただいた調査票を公表したり、調査の目的以外に使用したりすることは一切ありません。

お問い合わせ：所沢市役所 福祉部 地域福祉センター（所沢市こどもと福祉の未来館内）
Tel 04-2922-2115（直通） Fax 04-2922-2195

■ 地域福祉って何？

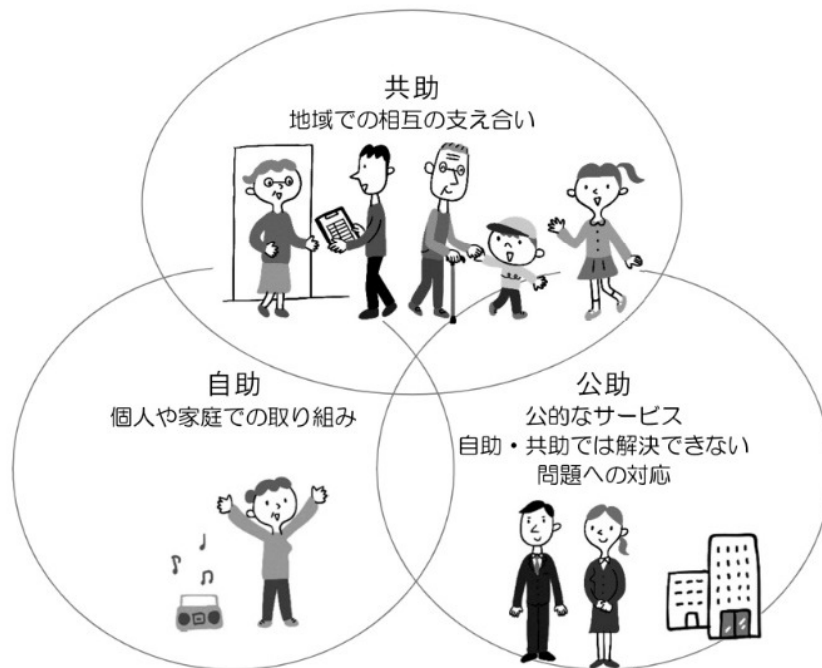


ふだんの生活の中で、ちょっとした不安や不便を感じたことはありませんか？
子どもの登下校が不安…、災害時の対応が心配…、外出したくても交通手段がない…、など。こういった不安や不便さは、ほんの少しの手助けや気づかいで解決できることがたくさんあります。

「地域福祉」とはそれぞれの地域でみんなが安心して暮らせるよう、地域住民や社会福祉関係者などがお互いに協力して、地域社会の福祉課題の解決に取り組む考えです。

例えば、隣近所の人にあいさつすることや子どもの安全を地域で見守ることなども、地域福祉の活動といえます。

地域福祉の推進には、自助・共助・公助が互いに補い合い、連携し合って、それぞれの役割を果たしていくことが求められています。



■ 地域福祉を推進するためには・・・

地域のことや、日ごろ感じる生活の課題などを一番よく知っている、
地域の皆さんの参加と協力が必要不可欠となります。
市民参加の一環として、アンケートへのご協力をよろしくお願いします。

2. お住まいの地域について

問9. 所沢市（特に自分の住んでいる地域）は住みやすいと思いますか。ア～クのそれぞれの視点について、あてはまるものを1から4の中からお答えください。（それぞれ○は1つ）

	とて も 住みやすい	まあ まあ 住みやすい	あまり 住み やすい くない	住み やす く ない
ア 自然環境	1	2	3	4
イ 交通の便や道路環境	1	2	3	4
ウ お店や公共施設などの生活の利便性	1	2	3	4
エ 災害や防犯などの安心・安全面	1	2	3	4
オ 近所や地域の人との交流・ふれあい	1	2	3	4
カ 高齢者や障害者が暮らすための環境	1	2	3	4
キ 小学生頃までの子どもが暮らすための環境	1	2	3	4
ク 中学生・高校生くらいの人が暮らすための環境	1	2	3	4

問10. 現在、どのような近所（徒歩5分程度の範囲）付き合いをしていますか。（○は1つ）

1. 日頃から親しく付き合い、困ったときは助け合っている
2. 地域のことなど、必要に応じて話をすることがある
3. あいさつや、さしさわりのない話を交わす程度
4. 面識はあるが、あいさつや会話をすることはほとんどない
5. 隣の人や近所の人は何となく知っているが話したことはない
6. 隣の人や近所の人とは面識がない
7. その他（)

問11. 近所付き合いについて、今後どうしたいと思いますか。（○は1つ）

1. 日頃から話せるような親しく付き合える人がほしい
2. 日常生活で困ったときに相談したり、助け合える人がほしい
3. 災害時・緊急時であれば助け合えるような付き合いはしたい
4. あいさつや、さしさわりのない話を交わす程度の付き合いはしたい
5. あいさつ程度で、それ以上は望まない
6. 近所の人と関わりたくない
7. その他（)

問12. あなたの近所や地域には、次のような気にかかる人（支援が必要そうな人）がいますか。（〇はいくつでも）

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 高齢者のみの世帯（単身含む） | 2. 認知症の人 |
| 3. 病気や障害を抱えている人 | 4. ひきこもりや閉じこもりの人 |
| 5. 金銭的に生活に困っている人 | 6. 虐待が心配な子ども |
| 7. ゴミ屋敷に暮らしている人 | 8. 地域から孤立している人 |
| 9. 気にかかる人はいない | 10. わからない |
| 11. その他（ | ） |

問13. 近所や地域の方が加齢、障害、病気などで生活上の困りごとを抱えていることが分かった場合、あなたはどうしますか（どう考えますか）。（〇はいくつでも）

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 手助けする | 2. 手助けしたいが難しい |
| 3. 手助けしたくない | 4. 誰か他の人に相談する |
| 5. どうしていいかわからない | |
| 6. その他（ | ） |

●ひきこもりや閉じこもり

様々なことが原因で社会的な参加の場面がせばまり、自宅以外での生活の場（学校や職場など）が長期にわたって失われている状態のことです。

- ▶ 特定の病気や障害ではなく、「状態」を表す言葉です。
- ▶ 誰にでも起こる可能性があり、回復することも可能です。
- ▶ はっきりした理由や原因がわからない場合が多くみられます。
- ▶ 本人だけではなく、家族にも支援が必要です。
- ▶ ひきこもりの状態にある人は、強い不安や葛藤を抱えています。
- ▶ 統合失調症や神経症などの病気が影響している場合もあります。

3. 地域での福祉活動について

問14. あなたは、今後、地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動などに、どの程度取り組んでいきたいと考えますか。(〇は1つ)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 積極的に取り組んでいきたい | 2. できるだけ取り組んでいきたい |
| 3. 機会があれば取り組んでもよい | 4. あまり取り組みたくない |
| 5. 取り組みたくない | 6. 取り組むことができない |

問15. これまでボランティア活動に参加したことのある方は、どのような条件であれば、今後も参加したいと思いますか。また、参加したことのない方は、どのような条件であれば参加したいと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 気軽に参加できる
2. 身近なところで活動できる
3. 活動時間や曜日を自由に選べる
4. 経済的な負担が少ない
5. 家族や友人などと一緒に参加できる
6. 適切な指導者やリーダーがいる
7. 特技や趣味、知識が活かせる
8. 活動に対する謝礼などがある
9. 特にない
10. その他 ()

問16. 地域における助け合い、支え合い活動を活発にするためには、どのようなことが大切だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 地域福祉活動の重要性を発信・PRする
2. 学校や会社などで福祉教育を充実する
3. 介護やボランティア活動に伴う研修を行う
4. 助け合いの場や組織の情報を得やすくする
5. 困っている人と支援できる人とを調整できる人材を育成する
6. ボランティアや地域福祉活動を行える人を育成する
7. 福祉活動について相談・指導する専門職員を充実する
8. ボランティアなどの活動拠点を整備する
9. 地域での福祉活動に伴う活動費など資金的援助を充実する
10. わからない
11. その他 ()

4. 居場所について

問17. あなたにとって「居場所」と感じられる場所は、どのようなところですか。
(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 自宅 | 2. 友人・知人の家 |
| 3. 学校 | 4. カフェなどの飲食店 |
| 5. スーパーなどの商店 | 6. 公民館・図書館などの公共施設 |
| 7. 趣味や習い事の教室 | 8. 体育館やスポーツジムなどの体育施設 |
| 9. 地域サロン | 10. こども食堂 |
| 11. インターネット (SNS) | 12. 特にない |
| 13. その他 () | |

問18. 子どもから大人まで気軽に集い、交流する場所として、地域の人あるいは民間団体が運営する「地域サロン」や「こども食堂」があります。このような場所が市内にあることを知っていますか。(〇は1つ)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 両方とも知っている | 2. 地域サロンのみ知っている |
| 3. こども食堂のみ知っている | 4. どちらとも知らない |

●「地域サロン」とは？

高齢者を中心に地域の方が集うサロンや世代を問わず気軽に集えるサロンがあります。

会食会・茶話会などが行われ、地域の交流の場所になっています。



●こども食堂

地域のボランティアが中心となって、無料、または安価で栄養のある食事や温かな団らんを子どもたちに提供するための取組のことです。現在、市内約10か所で実施しています。

【問い合わせ】
所沢市社会福祉協議会
TEL:04-2925-0041

5. 悩みや不安、相談について

問19. あなたは、毎日の暮らしの中で、次のどのようなことに悩みや不安を感じていますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 自分や家族の健康に関する事 | 2. 自分や家族の生活に関する事 |
| 3. 生活費など経済的な事 | 4. 仕事や勉強に関する事 |
| 5. 育児・子育てに関する事 | 6. 介護に関する事 |
| 7. 近所との関係 | 8. 家族間の関係 |
| 9. 特にない | |
| 10. その他 () | |

問20. あなたは、生活上の困りごとが生じた時、次のうち誰(どこ)に相談しますか。
(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------------|------------------|
| 1. 家族・親戚 | 2. 友人・知人 |
| 3. 近所や自治会などの人 | 4. 職場の人 |
| 5. 市役所など行政の窓口 | 6. 社会福祉協議会 |
| 7. 地域包括支援センター | 8. 民間の福祉施設や福祉事業者 |
| 9. 民生委員・児童委員 | 10. 医療機関の医師や看護師 |
| 11. 相談したい人がいない(相談したい場所がない) | |
| 12. 誰(どこ)に相談すれば良いかわからない | |
| 13. 相談しない | |
| 14. その他 () | |

問21. あなたは次の相談支援窓口を知っていますか。(〇はいくつでも)

1. 市役所市民相談(日常生活の様々な困りごと全般)
2. 保健センター(健康相談、こころの健康相談など)
3. 子育て世代包括支援センターかるがも(妊娠・出産・子育てに関すること)
4. こども支援センター「大地」(子育てに関すること)
5. 福祉の相談窓口(生活自立相談、権利擁護相談、障害者相談など)
6. 地域包括支援センター(高齢者に関すること)
7. 所沢市社会福祉協議会
8. あったかサポートセンター(生活困窮者支援相談)
9. 生活支援コーディネーター
10. まちづくりセンターなどで実施している福祉相談会(松井ちょこっと相談など)
11. 社会福祉法人による「暮らしの相談事業」(市内27法人47か所で実施)
12. この中で知っているものはない

問22. 実際に相談したことがある場合、その窓口はどこですか。また、相談して解決できたこと、相談してよかったことなどがあればお書きください。

相談した窓口	
相談して解決できたこと、 よかったこと	

6. 相互理解・共生について

問23. あなたは、福祉教育・福祉学習(思いやりの心や福祉への理解と参加の心を育てる教育・学習)を受けた経験がありますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 小・中学校などの授業で学んだ | 2. 家庭の中で親から学んだ |
| 3. 友人や知り合いから学んだ | 4. 地域活動などを通じて学んだ |
| 5. 市や社会福祉協議会の講座などで学んだ | 6. 民間やNPOの講座などで学んだ |
| 7. 特に学んだ経験はない | 8. わからない |
| 9. その他 () | |

問24. 福祉教育・福祉学習をより効果的に行っていくために、どのような取り組みが必要と考えますか。(〇はいくつでも)

1. 年齢や障害などに関わらず、地域の皆が交流・学習できる機会づくり
2. 支援の必要な人への接し方などを学ぶことができる講座の開催
3. 支援の必要な人から直接話を聞いたり、交流できる機会づくり
4. 介護の日や障害者週間などの啓発イベントの周知
5. 福祉体験用具(車いす・アイマスクなど)を使った体験
6. 福祉教育・福祉学習を担う講師の人材育成
7. わからない
8. その他()

●「福祉教育・福祉学習」の取り組みをご存知ですか？

所沢市内の各小・中学校では、総合的な学習の時間や特別活動などを通して、福祉教育が行われています。

また、所沢市社会福祉協議会では、「夏のボランティア体験」として、手話体験、老人ホームでの手伝いなどの体験プログラムを行い、福祉学習を進めています。



夏のボランティア体験の様子

問25. 障害のある人に対する理解を深めるために、今後、どのような取り組みが必要だと思いますか。(〇は1つ)

1. 障害のある人とふれあう機会を増やす
2. 学校教育で障害に対する理解を深める
3. 障害のある人に対するボランティアを支援する
4. 広報やホームページを活用した啓発活動を充実する
5. 障害に関する講座や研修、講演会などを実施する
6. 障害者団体の活動をもっとPRする
7. わからない
8. その他()

●「所沢市障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例」

障害のある人もない人も、共に支え合い、認め合い、人と人との絆を感じながら、笑顔でいきいきと地域で自立して生活できる「共生社会」の実現を目指し、「所沢市障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例」を平成30年7月1日に施行しました。

7. 福祉情報の入手について

問26. 生活や地域に関する情報はどこから得ていますか(得ようと思いますか)。
(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1. 広報ところざわ | 2. 市のホームページ |
| 3. ところざわほっとメール | 4. 市役所の窓口 |
| 5. ちやお(所沢社協だより) | 6. 社会福祉協議会のふくし掲示板 |
| 7. テレビ・ラジオ・新聞 | 8. 身近な人からの口コミ情報 |
| 9. インターネット(市、社協以外) | 10. 本や雑誌 |
| 11. 社会福祉協議会のホームページ・メルマガ | |
| 12. その他() | |

問27. あなたは、自分に必要な「福祉サービス」の情報をどの程度入手できていると思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 十分入手できている | 2. 十分ではないが、入手できている |
| 3. ほとんど入手できていない | 4. 全く入手できていない |
| 5. 今のところ情報を得る必要がない | 6. わからない |

8. 地域福祉を担っている人について

問28. あなたは、自分の住んでいる地域を担当している民生委員・児童委員を知っていますか。(〇は1つ)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問29. あなたは、民生委員・児童委員の活動内容を知っていますか。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問29で「1」(知っている)と答えた方にお聞きします。

問30. あなたが知っている民生委員・児童委員の活動は次のどれですか。
(〇はいくつでも)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 地域住民の見守り活動 |
| 2. 高齢者世帯などへの訪問・声かけ |
| 3. 高齢者がいる世帯の調査 |
| 4. 福祉全般に関する相談支援 |
| 5. 地域住民の困りごとなどの相談支援 |
| 6. 各種相談支援機関へのつなぎ役 |
| 7. 行政・社会福祉協議会・地域包括支援センター・自治会・学校などとの連携 |
| 8. 自治会などの各種地域行事への参加 |
| 9. その他() |

問35. 将来的にあなた自身の判断能力が不十分になった場合、成年後見制度を利用したいと思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|----------|------------|
| 1. 利用したい | 2. 利用したくない |
| 3. わからない | |

問35で「1」(利用したい)と答えた方にお聞きします。

問36. 成年後見制度を利用することになった場合、誰に後見人になって支援してほしいですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. 配偶者や子どもなどの親族 | 2. 弁護士や司法書士などの専門職 |
| 3. 社会福祉法人などの団体 | 4. 市民後見人 |
| 5. わからない | |
| 6. その他 () | |

問35で「2」「3」(利用したくない、わからない)と答えた方にお聞きします。

問37. 「利用したくない」あるいは「わからない」と答えた理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 制度の内容や利用方法がよくわからない
2. 制度を利用する際の手続きが複雑そうである
3. 他人に財産管理を任せることに抵抗がある
4. 利用するための費用(経済的負担)がかかる
5. 制度を利用せずに配偶者や子どもなどの親族に任せたい
6. 特に理由はない
7. その他 ()

●認知症サポーターについて

認知症の方を、地域全体で支える取り組みとして、認知症を正しく理解し、自分のできる範囲で認知症の人や家族を応援する認知症サポーターを養成しています。

例えば、友人や家族に講座で学んだ知識を伝えていくこと、認知症の人や家族の気持ちを理解するよう努める、といったこともサポーターにできる支援のひとつです。

その他にも商店、駅、バスや電車の中で、できる範囲で手助けをするなど、いろいろなかかわり方があります。



認知症サポーター養成講座の様子
(たくさんの方が受講されています)

10. 生活困窮者などへの支援について

問38. 生活に困っている人を地域で支えることについて、あなたはどのように思いますか。
(○は1つ)

1. 直接的な支援(家事・学習の支援など)をしてみたい
2. 間接的な支援(生活必需品の寄付など)であればしてみたい
3. 支援したい気持ちはあるが、自分の生活があるので難しい
4. 関わりたくない
5. わからない
6. その他 ()

問39. 生活に困っている人を市が支援していくために、どのような取り組みが有効だ
と思いますか。(○は3つまで)

1. 就労に必要な訓練の支援
2. 社会参加を促す取り組み
3. 住居支援(宿泊・衣食の提供など)
4. 家計相談や指導、貸付のあっせん
5. 仕事の紹介やあっせん
6. 生活に困窮している家庭の子どもに対する学習支援や居場所づくり
7. わからない
8. その他 ()

11. 災害時の助け合いなどについて

問40. 市では、災害時に避難することが困難な方が、地域の助け合いによって避難で
きるよう「避難行動要支援者」を登録しています。このような方が近所にいたら
手助けする人として協力したいと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 積極的に協力したい | 2. どちらかといえば協力したい |
| 3. どちらかといえば協力したくない | 4. 協力したくない |
| 5. 協力したいが、理由があって難しい | 6. わからない |

問41. 避難行動要支援者の方を手助けするにあたっては、どのような機会や取組があ
れば手助けがしやすくなると思いますか。(○はいくつでも)

1. 制度のわかりやすい説明を受けること
2. 近所の人や、自治会・町内会の班単位などで情報を共有しておくこと
3. 支援が必要な人と、普段から交流しておくこと
4. 支援が必要な人と訓練に参加すること
5. わからない
6. その他 ()

問42. あなたの家が、火災や水害に見舞われて自宅に住めなくなった場合、当分の間、身を寄せる場所などを頼れる人はいますか。(〇は1つ)

1. 家族・親戚
2. 友人・知人
3. 近所や自治会などの人
4. 職場の人
5. 大家さんなど自宅の貸主・業者
6. 誰も頼れる人がいない
7. その他 ()

問43. 市内で災害があった場合、社会福祉協議会が「こどもと福祉の未来館」に災害ボランティアセンターを立ち上げ、市内各所へボランティアを派遣します。このことについて知っていましたか。(〇は1つ)

1. 知っている
2. 知らない
3. 知らない、かつ、「こどもと福祉の未来館」もわからない

●「災害ボランティアセンター」をご存知ですか？

災害時には、被災地で災害ボランティアセンターが立ち上げられ、多くのボランティアや市民団体による活動が、被災地の復旧・復興の大きな力となっています。



災害ボランティアセンター設置訓練の様子

【お問い合わせ】
所沢市社会福祉協議会
Tel：04-2925-0041

災害ボランティア
活動については
こちら▶▶



12. 優しいまちづくりについて

問44. 地域で安心して長く住み続けるために、住環境や生活であなたが重要だと思う取り組みは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 災害に対する安全な市街地整備
2. 地域の防犯対策の強化
3. 空き家の適正管理などに向けた対策
4. ゴミ出しなど生活マナー向上対策
5. 民間事業者と連携した住環境づくり
6. 生活圏域でのバリアフリー対策
7. 高齢者などへの買い物支援の助け合い
8. 緑地やオープンスペース、散策路などの整備
9. わからない
10. その他 ()

問45. 高齢者や低所得者、子育て世代などの住宅確保要配慮者が、民間の賃貸住宅に入所する場合に、どのような仕組みやサービスがあれば、入居しやすくなると思いますか。(〇は1つ)

1. 身寄りのない方が保証人を確保しなくても入居できる仕組み
2. 単身高齢者などへの見守りや安否確認サービス
3. 単身高齢者などへの家事援助などの生活支援サービス
4. 身寄りのない高齢者などの入院時のサポート
5. 金銭や貴重品、合鍵などを預かるサービス
6. 家賃など(敷金・礼金含む)の援助
7. 収入が低くても入居できるなど、入居要件の緩和
8. 手すりやエレベーターの設置など、歩行や移動がしやすい住宅を増やす
9. わからない
10. その他 ()

●「住宅確保要配慮者」とは？

低額所得者、災害の被災者、高齢者、障害者、子どもを養育している家庭、外国人、その他住宅の確保について、特に配慮を要する方のことです。

埼玉県では住宅セーフティネット法に基づき、関係団体と連携し、民間賃貸住宅への円滑な入居を推進しています。

13. 地域福祉の推進について

問46. 地域福祉を進めていくために、市が優先的に取り組むべき施策は、どのようなことだと思いますか。(〇は3つまで)

1. 福祉教育の充実
2. わかりやすい福祉情報の提供
3. NPO、地域団体などの活動支援
4. 地域行事などの交流活動の支援
5. 福祉活動を行う人材の発掘・育成
6. 相談しやすい窓口の充実
7. 必要な人へ支援をつなげる仕組みづくり
8. 見守り体制の充実
9. 孤立・孤独を防ぐ取り組み
10. ひきこもり・閉じこもりに対する支援
11. 成年後見制度など権利擁護の推進
12. 生活困窮者への支援
13. 子どもの貧困対策
14. 災害時の安心・安全の仕組みづくり
15. 障害者への理解を深める取り組み
16. バリアフリーのまちづくり
17. 住宅確保要配慮者に対する住まいの確保などの支援
18. その他 ()

問47. 地域での支え合いを広げていくためのアイデアや、所沢市の地域福祉についてのご意見などございましたら、ご自由にお書きください。

アンケートは以上です。
ご協力ありがとうございました！



第3次所沢市地域福祉計画策定に関する市民意識調査報告書

令和2年3月

所沢市 福祉部 地域福祉センター

〒359-1112 埼玉県所沢市泉町 1861 番地の1 所沢市子どもと福祉の未来館内

Tel 04-2922-2115 Fax 04-2922-2195

Eメール b29222115@city.tokorozawa.lg.jp
